

令和元年度

笠岡市施策評価報告書

令和元年 8 月

笠岡市施策評価委員会

笠岡市の施策評価の実施にあたって、施策評価委員会による評価を行い、その結果を報告書としてとりまとめましたので、報告します。

笠岡市長 小林 嘉文 殿

令和元年8月29日

笠岡市施策評価委員会
委員長 小林 正和

1 笠岡市の行政評価について

笠岡市では、行政サービスに対する市民ニーズが多様化・高度化する中で、行政が進める政策を実現するための施策について、客観的な指標等をもとに行政評価（施策評価）を実施し、事業効果の検証や進行管理を行うことで、施策の見直しや改善につなげています。

行政評価制度を確実に実施することにより、指標実現に向け職員自らが取り組む業務を常に見直し、自らが課題を見つけ、そして改善に繋げ、行政運営全体の質的な向上が大きく促進されます。そして結果を公表して説明責任を果たすことで行政活動の透明性が高まり、市民の満足度の向上へとつながります。

2 施策評価について

平成 19 年度から施策評価を導入し、総合計画とも連携した新たな仕組みづくりが進められ、平成 23 年度から、施策評価委員会を設置して施策評価を実施しています。

平成 30 年度から始まった第 7 次笠岡市総合計画では、市民意識調査の満足度・重要度の調査結果を踏まえ、施策ごと、目標ごとに、計画期間中に実現を目指す指標を設定し、P D C A サイクルを確立して適切な進捗管理を行うことにしています。施策評価では、指標を評価の核として、その達成状況から結果にこだわって施策の進捗状況をチェックし、各施策の方針や今後の展開を明確にしていくこととしています。

3 施策評価委員会の設置について

(1) 目的

施策の実施担当部局が行った自己評価に基づき、有識者及び市民の代表者と行政組織の職員により、総合計画の進捗状況を市民の目線で評価していただくことで、施策評価の妥当性・透明性を確保し、信頼性を高めることを目的としています。

(2) 委員構成

施策評価に対する共通認識を深めるため、外部委員と内部委員の混合で構成します。(合計 8 名)

外部委員：

第 7 次総合計画審議会の会長・委員，創生総合戦略懇談会委員（計 4 名）

内部委員：

監査委員事務局長，財政課主査，政策部長，総務部長（計 8 名）

委員名簿は別紙のとおり

4 評価対象施策について

施策評価は，第 7 次笠岡市総合計画の基本計画を構成する 36 施策を評価対象としています。

- 経営戦略： 6 施策
- 活性化戦略： 8 施策
- 未来戦略： 6 施策
- 安定戦略： 12 施策
- 計画推進戦略： 4 施策

5 評価の方法等について

(1) 評価の方法

① 評価の方法

平成 30 年度における取組について，施策実施担当部局が作成した施策評価シート及び関係資料に基づく書面評価と，委員会でのヒアリングを実施しました。

②評価の観点

施策評価の仕組みをより信頼性の高いものとするため、

- ・指標の達成状況から見た現状分析が妥当であるか
- ・施策を構成する事業の進行状況の現状認識が妥当であるか
- ・これらを踏まえた改善策が適切に方向付けされているか
- ・総合評価としての認識が妥当であるか

といった視点で評価を行いました。

③委員会の開催結果

| 日 時 | 内 容 |
|----------|--|
| 7月29日（月） | 施策評価委員会（1日目） 評価方法及び進め方等の確認 施策評価シートヒアリング及び評価 |
| 8月1日（木） | 施策評価委員会（2日目） 施策評価シートヒアリング及び評価 |
| 8月2日（金） | 施策評価委員会（3日目） 施策評価シートヒアリング及び評価 これまでの委員会を踏まえての協議・まとめ |

（2）評価の結果

①総評

委員会としては、

- A：計画どおり進行している。
- B：おおむね計画どおり進行している。
- C：計画より一部遅れている。
- D：計画より遅れている。

の4段階で評価を行いました。

ヒアリングした施策は15施策中、A評価が0、B評価が12、C評価が3、D評価が0であり、ヒアリングをしなかった施策は書面だけで行い、21施策中、A評価が1、B評価が16、C評価が4、D評価が0となりました。この結果、

全 36 施策中，A 評価が 1，B 評価が 28，C 評価が 7，D 評価が 0 となりました。

(評価結果一覧表は別紙のとおり)

今年度のヒアリング施策の選定は，まず平成 30 年度実施の市民意識調査において重要度が高く，満足度が低いものを中心に主要事業も加味しながら選定しました。さらに日本遺産認定に関係するものや主要事業の 1 番目に挙げている「地場産業の育成」に該当するもの，さらには昨年度の豪雨災害など，近年重要性が増しているもの等も選定しています。

全 36 施策のうち 15 施策で評価をしましたが，新たな施策は 1 つで，残りは昨年に引き続きの施策でした。全体では新たな施策は 4 つとなっています。第 7 次笠岡市総合計画の 1 年目となり、施策評価委員は大幅に替わったのですが，今回も活発な意見が多く出ました。

施策評価シートは，今年度も非常に見やすいものになっています。今年度は第 7 次笠岡市総合計画の 1 年目の評価となりますが，第 6 次笠岡市総合計画の内容をかなり引き継いでいるためと思われます。

またヒアリングでの事業説明はポイントを掴んでの発表で，持ち時間 5 分以内で終わりましたが，その後の質疑は全体 20 分よりも伸びました。その中でも重要施策や取り組み項目が多い施策などは，大幅に伸びて活発な質疑が行われました。

各施策に対する意見等は，それぞれの評価シートに記載のとおりです。

今年度の特徴は，全 36 施策の内，A 評価は昨年と同じ 1 施策だけでしたが，C 評価が昨年の 4 施策から 7 施策と 3 施策も大幅に増加したことが挙げられます。また前年の A 評価から B 評価に下がったのが 1 施策，B 評価から C 評価に下がったのが 2 施策あります。逆に B 評価から A 評価に上がったものは 1 施策ありました。そのため全体での計画の進捗状況は，A 評価が 1 施策，B 評価が 28 施策，C 評価が 7 施策となっています。

今回，最終的な協議で評価の見直しとなったのは，2-2「定住・住宅対策」と 3-3「生涯学習の推進」の 2 施策です。

まず，2-2「定住・住宅対策」では，当初 B 評価が 2 人，C 評価が 4 人となり

C評価となっていました。社会動態の数値等が悪いためと自部署の評価がCであるため、取り組みは頑張っていると思いますが、マイナスに影響したように思えます。しかし議論を重ねた結果、委員の1人がC評価からB評価に変更し、ぎりぎりでもB評価にはなりませんでしたが、評価は上がりました。

次に、3-3「生涯学習の推進」ですが、ヒアリングで説明を受けていなかったため、当初はA評価が2人、B評価が4人でB評価だったのですが、再度協議の中で説明を受けた結果、図書館の方々がかなり頑張っているということ等が分かり、2人の委員がB評価からA評価に変更となりA評価となりました。

また自部署の評価についてですが、A評価をしたのは1部署、C評価は5部署、残りB評価は30部署となっていました。この評価の結果も委員会の決定に若干影響があったかと考えます。特にC評価をした部署は、取り組みに自信を持って上位の評価をつけることができるように、今後も取り組みに頑張りたいと考えています。

②改善を望む項目等

【評価シート】

1) シートの作成にあたって

今回使用の施策評価シートは、第6次笠岡市総合計画の評価表とそれほど変わらないため、引き続き見やすいものになってきています。さらに、的確に事業内容等が書かれていることなどは、評価できると考えます。

【評価の方法】

評価にあたっての課題は、下記の項目が挙げられます。

1) 自部署の評価が低い

自部署の評価をCとした施策は5つもあります。社会動態の影響等でなかなか改善できにくく、どうしても評価を上げにくい面もありますが、どのような取り組みをしたかということをしかりと記述してください。

2) 取組内容の記述があいまい

ヒアリングをしていない施策が21施策と多く、説明を聞けば理解できますが、書面と評価指標だけで評価をしているため、難しかった面も否めませ

ん。今後はヒアリングがなくても評価できるように記述していただくようお願いいたします。

3) B評価の固定化

今回も、B評価は36施策の内、28施策と多いようです。昨年度と比べて若干少なくなりましたが、固定化しているようにも見えます。

昨年度から第7次笠岡市総合計画が始まっていますが、今回の点を勘案して、是非とも上位の評価になるように、引き続き施策の充実に積極的に取り組んでいただくよう期待します。

施策評価結果

■ 経営戦略

| | | | | |
|-----|--------------|--|---|--|
| 1-1 | 企業誘致の推進と雇用創出 | | B | |
| 1-2 | 農業振興 | | B | |
| 1-3 | 商工業振興 | | B | |
| 1-4 | 水産業振興 | | B | |
| 1-5 | 観光振興 | | B | |
| 1-6 | 干拓地農業の活性化 | | B | |

■ 活性化戦略

| | | | | |
|-----|--------------------|--|---|---|
| 2-1 | 魅力的で快適に暮らせる都市形成 | | | C |
| 2-2 | 定住・住宅対策 | | | C |
| 2-3 | 道路ネットワーク及び港湾・漁港の整備 | | B | |
| 2-4 | 利用しやすい公共交通システムの構築 | | B | |
| 2-5 | 離島振興 | | B | |
| 2-6 | 市民参画・協働の推進 | | | C |
| 2-7 | 多様な交流の促進 | | | C |
| 2-8 | 広域連携の推進 | | B | |

■ 未来戦略

| | | | | |
|-----|-------------------------|---|---|--|
| 3-1 | 子ども・子育て環境の整備 | | B | |
| 3-2 | 学校教育の充実 | | B | |
| 3-3 | 生涯学習の推進 | A | | |
| 3-4 | スポーツの振興 | | B | |
| 3-5 | 歴史の継承・文化の振興・カブトガニの保護と活用 | | B | |
| 3-6 | 人権・男女共同参画・平和 | | B | |

■ 安定戦略

| | | | | |
|------|----------------|--|---|---|
| 4-1 | 地域福祉の推進 | | | C |
| 4-2 | 健康づくり | | B | |
| 4-3 | 医療・救急体制の整備 | | | C |
| 4-4 | 障がい者・障がい児福祉の充実 | | B | |
| 4-5 | 高齢者福祉・介護の充実 | | B | |
| 4-6 | 社会保障 | | B | |
| 4-7 | 身近な上水道 | | B | |
| 4-8 | 健全な下水道運営 | | B | |
| 4-9 | 消防体制の整備 | | B | |
| 4-10 | 地域防災の推進 | | B | |
| 4-11 | 防犯・交通安全の環境づくり | | B | |
| 4-12 | 廃棄物・環境保全 | | B | |

■ 計画推進戦略

| | | | | |
|-----|---------------|--|---|---|
| 5-1 | 情報・プロモーションの推進 | | B | |
| 5-2 | 健全な財政運営 | | | C |
| 5-3 | 財源の確保 | | B | |
| 5-4 | 計画管理 | | B | |

計 1 28 7 0

A : 計画どおり進行している
 B : おおむね計画どおり進行している
 C : 計画より一部遅れている
 D : 計画より遅れている

令和元年度 施策評価委員名簿

(順不同)

| 役 職 | 氏 名 | 団体・役職等 | 備考 |
|---------|---------|-----------------------------|------|
| 委員長 | 小 林 正 和 | 福山大学 教授 第7次笠岡市総合計画審議会 会長 | 外部委員 |
| 副委員長 | 三 谷 信 恵 | 第7次笠岡市総合計画審議会 委員 | 外部委員 |
| | 玉 置 裕 美 | 第7次笠岡市総合計画審議会 委員 | 外部委員 |
| | 高 森 正 純 | 笠岡市創生総合戦略懇談会 委員 | 外部委員 |
| | 黒 田 英 樹 | 笠岡市監査委員事務局 事務局長 | |
| | 西 江 瑞 枝 | 笠岡市総務部財政課 主査 | |
| (行政関係者) | 高 橋 文 子 | 笠岡市政策部長 | |
| (行政関係者) | 辻 田 尚 史 | 笠岡市総務部長 | |
| | | | |
| 事 務 局 | 河 田 博 之 | 笠岡市政策部企画政策課長 | |
| 〃 | 藤 井 範 章 | 笠岡市政策部企画政策課課長補佐(兼)係長 | |
| 〃 | 中 嶋 一 貴 | 笠岡市政策部企画政策課主事 | |

施 策 評 価 シ ー ト

令和元年 7 月

笠 岡 市

施策評価シート目次

経営戦略 “稼ぐ”

| | | |
|-----|--------------|----|
| 1-1 | 企業誘致の推進と雇用創出 | 1 |
| 1-2 | 農業振興 | 5 |
| 1-3 | 商工業振興 | 13 |
| 1-4 | 水産業振興 | 17 |
| 1-5 | 観光振興 | 22 |
| 1-6 | 干拓地農業の活性化 | 28 |

活性化戦略 “賑わう”

| | | |
|-----|--------------------|----|
| 2-1 | 魅力的で快適に暮らせる都市形成 | 33 |
| 2-2 | 定住・住宅対策 | 39 |
| 2-3 | 道路ネットワーク及び港湾・漁港の整備 | 46 |
| 2-4 | 利用しやすい公共交通システムの構築 | 51 |
| 2-5 | 離島振興 | 54 |
| 2-6 | 市民参画・協働の推進 | 58 |
| 2-7 | 多様な交流の促進 | 62 |
| 2-8 | 広域連携の推進 | 66 |

未来戦略 “輝く”

| | | |
|-----|-------------------------|-----|
| 3-1 | 子ども・子育て環境の整備 | 69 |
| 3-2 | 学校教育の充実 | 77 |
| 3-3 | 生涯学習の推進 | 88 |
| 3-4 | スポーツの振興 | 95 |
| 3-5 | 歴史の継承・文化の振興・カブトガニの保護と活用 | 100 |
| 3-6 | 人権・男女共同参画・平和 | 105 |

安定戦略 “安らぐ”

| | | |
|------|----------------|-----|
| 4-1 | 地域福祉の推進 | 112 |
| 4-2 | 健康づくり | 117 |
| 4-3 | 医療・救急体制の整備 | 122 |
| 4-4 | 障がい者・障がい児福祉の充実 | 129 |
| 4-5 | 高齢者福祉・介護の充実 | 134 |
| 4-6 | 社会保障 | 138 |
| 4-7 | 身近な上水道 | 145 |
| 4-8 | 健全な下水道運営 | 149 |
| 4-9 | 消防体制の整備 | 154 |
| 4-10 | 地域防災の推進 | 163 |
| 4-11 | 防犯・交通安全の環境づくり | 169 |
| 4-12 | 廃棄物・環境保全 | 173 |

計画推進戦略

| | | |
|-----|---------------|-----|
| 5-1 | 情報・プロモーションの推進 | 179 |
| 5-2 | 健全な財政運営 | 184 |
| 5-3 | 財源の確保 | 189 |
| 5-4 | 計画管理 | 194 |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|-------|--|-----|--------------|-----|------------------------------------|
| 施策No. | 1-1 | 施策名 | 企業誘致の創出と雇用創出 | 担当課 | 商工観光課 |
| 戦略の柱 | 経営戦略 “稼ぐ” | | | | |
| 基本方針 | “地元で働けるまち”を目指し、企業誘致等により雇用の場を拡大・確保するとともに、こうした市内の雇用の場と市民とのマッチングを推進します。 | | | 関係課 | 建設管理課 建設事業課 農政水産課 企業誘致推進室 |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|--------------------|------|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 | R7 目標 |
| 笠岡港工業用地での新規操業開始企業数 | 単位 | 目標 | | | 2 | 2 | 1 | 1 |
| | 企業/年 | 実績 | 1 | 1 | 0 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 0.0% | — | — | — |
| その他の場所での新規操業開始企業数 | 単位 | 目標 | | | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | 企業/年 | 実績 | 1 | 0 | 0 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 0.0% | — | — | — |
| 「企業誘致・雇用の創出」の満足度 | 単位 | 目標 | | | △ 39.7 | — | △ 34.7 | △ 24.7 |
| | % | 実績 | △ 49.7 | — | △ 34.6 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 114.7% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|---------|
| 【達成目標1】 | 企業誘致の推進 |
|---------|---------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|--------------------|------|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 笠岡港工業用地での新規操業開始企業数 | 単位 | 目標 | | | 2 | 2 | 1 |
| | 企業/年 | 実績 | 1 | 1 | 0 | — | — |
| | | 達成率 | | | 0.0% | — | — |
| その他の場所での新規操業開始企業数 | 単位 | 目標 | | | 2 | 2 | 2 |
| | 企業/年 | 実績 | 1 | 0 | 0 | — | — |
| | | 達成率 | | | 0.0% | — | — |
| 事業用地造成促進奨励金支給件数 | 単位 | 目標 | | | 1 | 1 | 1 |
| | 件/年 | 実績 | 0 | 1 | 1 | — | — |
| | | 達成率 | | | 100.0% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 15,640 | 千円 | 17,617 | 千円 | 15,041 | 千円 | 13,744 | 千円 |
| うち一般財源 | 15,640 | 千円 | 16,617 | 千円 | 15,041 | 千円 | 13,744 | 千円 |

| 1 企業誘致促進事業 | | 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
|------------|--|--|-------|----------------------|--------|---|----|--------------------|-------|----|--------|-----|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 企業 | | 市民の働く場所を確保するために、市内の適度に優良企業を誘致する。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致を積極的に推進する。 ・企業誘致促進のための助成制度、優遇措置等を充実するとともに、企業誘致体制の強化を図る。 | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | | ●県営笠岡港(港町地区)への優良企業誘致 企業誘致データによる効率的企業誘致活動の実施 <企業誘致訪問件数:3社> ●民間活力を活用した工業団地造成 新設土地造成促進奨励金等のPRと活用 ●優遇制度のPR 笠岡市のホームページへの掲載とパンフレットを活用したPR <企業立地促進奨励金交付件数1件> | | ⇒ 工業用地適地調査業務委託の実施 | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ 笠岡市企業立地ガイドの作成 | | ⇒ | | | | | |
| | | | | | | <企業立地促進奨励金交付件数:1件> | | <企業立地促進奨励金交付件数:0件> | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 3,155 | 千円 | 決算額 | 2,538 | 千円 | 決算額 | 1,428 | 千円 | 決算額 | 175 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 3,155 | 千円 | うち一般財源 | 1,538 | 千円 | うち一般財源 | 1,428 | 千円 | うち一般財源 | 175 | 千円 |

| 2 創 新設工場等設置奨励事業 | | 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
|-----------------|--|--|--------|------------------------|--------|---------------------------|----|------------------------|--------|----|--------|--------|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 企業 | | 市民の働く場所を確保するため、市内の適度に優良企業を誘致する。 | | | | 企業誘致をした後の企業に対する経営負担を軽減する。 | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | | ●民間活力を活用した工業団地の造成 新設工場等の奨励金のPR ●優遇制度のPR 笠岡市のホームページに掲載とパンフレットによるPR活動 <補助金交付件数:4件> | | ⇒ ⇒ <補助金交付件数:4件> | | ⇒ ⇒ <補助金交付件数:3件> | | ⇒ ⇒ <補助金交付件数:5件> | | | | | |
| | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 11,783 | 千円 | 決算額 | 14,374 | 千円 | 決算額 | 12,908 | 千円 | 決算額 | 12,864 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 11,783 | 千円 | うち一般財源 | 14,374 | 千円 | うち一般財源 | 12,908 | 千円 | うち一般財源 | 12,864 | 千円 |

| 3 創 ☆企業・雇用情報の提供システム構築事業 | | 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
|---------------------------------|--|---|-----|-------------------|--------|-----------------------|----|--------|-----|----|--------|-----|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 市内に住居及び就職先を探している人、企業進出を検討している企業 | | 市内企業の情報を公開することで、①移住・定住を希望する利用者の利便性が向上し、定着人口の増につながる。②企業の活性化、企業誘致につながる。 | | | | 市内の企業の企業情報、雇用情報を公開する。 | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | | 地域企業ポータルサイト・かさおか夢ワークの運用 | | ⇒ 市内事業所の新規登録依頼 | | ⇒ ⇒ | | ⇒ ⇒ | | | | | |
| | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 702 | 千円 | 決算額 | 705 | 千円 | 決算額 | 705 | 千円 | 決算額 | 705 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 702 | 千円 | うち一般財源 | 705 | 千円 | うち一般財源 | 705 | 千円 | うち一般財源 | 705 | 千円 |

【達成目標2】 地元での就業機会の拡大

達成目標2の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|----------------------|----|-----------|-----------|-----------|----------------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 笠岡公共職業安定所管内の年間有効求人倍率 | 単位 | 目標 | | | 1.4以上 | 1.4以上 | 1.4以上 |
| | 倍 | 実績 達成率 | 1.58 | 1.51 | 1.56 111.4% | — | — |
| 高校生長期インターンシップ延べ参加者数 | 単位 | 目標 | | | 39 | 46 | 60 |
| | 人 | 実績 達成率 | 27 | 32 | 42 107.7% | — | — |

達成目標2の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 51,603 | 千円 | 56,871 | 千円 | 87,376 | 千円 | 45,599 | 千円 |
| うち一般財源 | 43,953 | 千円 | 45,171 | 千円 | 47,698 | 千円 | 45,440 | 千円 |

4 勤労者福祉事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|---------|----------------|---|--------------------|------------------------------------|---------------|----|--------|--------|----|--------|--------|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 市内勤労者 | 社会環境の整備及び福祉の向上 | 余暇活動の場である労働福祉会館、勤労青少年ホーム、サンライフ笠岡でのスポーツ・レクリエーション、文化教養サークル活動の育成、充実を図る。勤労者の生活の安定と福祉の増進を図るため、笠岡市勤労者融資貸付事業を実施する。 | | | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | | | | | | |
| 取組内容 | | ●3館の利用の促進 スポーツやレクリエーション、文化教養サークル活動のPR活動を行う サンライフ笠岡空調改修事業 | ⇒ サンライフ笠岡空調改修事業 | ⇒ サンライフ笠岡エレベーター設置 工事及び便所改修工事 | ⇒ バグース備品購入 | | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 51,384 | 千円 | 決算額 | 56,588 | 千円 | 決算額 | 87,217 | 千円 | 決算額 | 45,276 | 千円 |
| | うち一般財源 | 43,734 | 千円 | うち一般財源 | 44,888 | 千円 | うち一般財源 | 47,617 | 千円 | うち一般財源 | 45,276 | 千円 |

5 モノづくり企業高校生長期インターンシップ事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|---------|---|---|--------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|----|--------|-----|----|--------|-----|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 市内の高校生 | 高校生の就業体験を行うことで、就業に関する理解を深め、就職後の職業への適応力を高める。また、地域産業の担い手の人材育成を図る。 | 笠岡市内の高等学校に在学する2年生のうち就職を希望している者を対象に、新規高等学校卒業生の採用予定のある笠岡市内に就業場所を有する事業所へ7月下旬から8月下旬のうち、原則として5日間就業体験を行う。 | | | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | | | | | | |
| 取組内容 | | ・受入事業所数 6社 ・インターンシップ学生数 9名 | ・受入事業所数 4社 ・インターンシップ学生数 12名 | ・受入事業所数 3社 ・インターンシップ学生数 5名 | ・受入事業所数 5社 ・インターンシップ学生数 10名 | | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 219 | 千円 | 決算額 | 283 | 千円 | 決算額 | 159 | 千円 | 決算額 | 323 | 千円 |
| | うち一般財源 | 219 | 千円 | うち一般財源 | 283 | 千円 | うち一般財源 | 81 | 千円 | うち一般財源 | 164 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|---------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 67,243 | 千円 | 74,488 | 千円 | 102,417 | 千円 | 59,343 | 千円 |
| うち一般財源 | 59,593 | 千円 | 61,788 | 千円 | 62,739 | 千円 | 59,184 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|-----------------------------|-------|
| ・よくなされています。今後も企業誘致を期待しています。 | → |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | |
|--|---|
| 施策の 進捗度 A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | A |
|--|---|

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------------------|---|
| 未達成 指標 への 対応策 | <p>景気の拡大の中、有効求人倍率は高い推移を保っている反面、企業は人手不足に陥っている。特に中小企業の人手不足は顕著で、新卒で高校生を採用しようとする意欲はあっても、大手志向の傾向にある高校生は地元企業への就職希望は少ない。市内には魅力のある中小企業があるが、知られていないため、企業紹介を行ったり、高校生長期インターンシップを工業高校だけでなく、商業高校や龍谷高校へも参加を呼びかけ、より多くの高校生が参加することで、高校生の市内就職につなげていきたい。</p> |
|------------------------|---|

<8.委員による評価結果>

| 総合 評価 | B | (参考) 昨年度の評価結果 | A |
|--|---|------------------|---|
| A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。 | | | |
| コメント | <p>・港町地区のほとんどの土地に工場ができているのを確認しました。サラの施設も素晴らしかったです。パートを含めると多くの雇用が発生しているようなので、素晴らしいと思いました。</p> <p>・指標がないまま総合評価Aは難しいと感じました。今年積み重ねられた実績が来年の数値に反映されることを期待しています。また、サラさんを企業誘致できたことは素晴らしいことですが、今後も笠岡で仕事をしたい若者が住み続けられるように幅広い雇用創出を願います。笠岡公共職業安定所管内の年間有効求人倍率は目標数値の見直しが必要に思われました。</p> <p>・雇用創出の実績数値が上がってくるのは数年後になりますが、今後も積極的に取り組んで下さい。</p> <p>・目標達成へ向けてよく取り組まれている。引き続き、企業誘致及び笠岡市内での就職機会の拡大を図るよう尽力されたい。</p> <p>・昨年度はA評価、部署もA評価となっていますが、結果としてB評価となりました。頑張っているとは思いますが、新規操業開始企業数等の指標が悪かったのが関係していると思います。是非とも新規操業の企業の増加に頑張ってくださいと思います。</p> <p>・企業誘致は順調に進み、新笠岡港の工業用地も全て売れたようで喜ばしいことではあるが、進出した来た企業の雇用条件等が都市部へ進学した若者をUターンして笠岡市に帰ってきて就職したいと思えるようなものなのか？</p> <p>たとえ200人強の雇用があると言われても、野菜の収穫時のみに雇用されるパート従業員であるのならば、若者のUターンは期待薄だと思われ、笠岡市公共職業安定所管内の有効求人倍率が高いと言っても、働こうと思えない企業からの求人であるならばミスマッチによるもので、素直に喜べないと思う。</p> | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|--------|---|-----|------|-----|--|
| 施策 No. | 1-2 | 施策名 | 農業振興 | 担当課 | 農政水産課 |
| 大項目 | 活気あるまちづくり | | | | |
| 基本方針 | 笠岡市の特色や強みを活かした第1次産業の活性化に向けて、農業・畜産業の振興に関わる多様な支援を行うとともに、新たな担い手の確保、農業用地・施設の適正な維持管理、鳥獣被害対策等に取り組みます。 | | | 関係課 | 定住促進センター 地域福祉課 建設管理課 建設事業課 商工観光課 |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|------------------------|-------|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 | R7 目標 |
| 市内農業産出額(農水省市町村農業産出額推計) | 単位 | 目標 | | | 619 | 659 | 669 | 709 |
| | 千万円/年 | 実績 | 599 | 602 | 未公表 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | #VALUE! | — | — | — |
| 「農林業の振興」の満足度(市民意識調査) | 単位 | 目標 | | | △ 18.0 | — | △ 16.0 | △ 14.0 |
| | % | 実績 | △ 20.0 | — | △ 25.3 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 71.1% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|----------------------|
| 【達成目標1】 | 地域の特色を活かした農業・畜産業の活性化 |
|---------|----------------------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|-------------------------------------|-------|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 市内農作物の産出額(野菜・果実) (農水省市町村農業産出額推計) | 単位 | 目標 | | | 129 | 434 | 444 |
| | 千万円/年 | 実績 | 119 | 136 | 未公表 | — | — |
| | | 達成率 | | | #VALUE! | — | — |
| 市内農作物の産出額(花き) (農水省市町村農業産出額推計) | 単位 | 目標 | | | 19 | 19 | 19 |
| | 千万円/年 | 実績 | 19 | 17 | 未公表 | — | — |
| | | 達成率 | | | #VALUE! | — | — |
| 市内農作物の産出額(米) (農水省市町村農業産出額推計) | 単位 | 目標 | | | 42 | 43 | 45 |
| | 千万円/年 | 実績 | 40 | 51 | 未公表 | — | — |
| | | 達成率 | | | #VALUE! | — | — |
| 牛の飼養頭数(笠岡市内全体/乳用牛・肉用牛数) | 単位 | 目標 | | | 8,100 | 9,300 | 9,500 |
| | 頭 | 実績 | 6,759 | 6,861 | 7,785 | — | — |
| | | 達成率 | | | 96.1% | — | — |
| 採卵鶏の飼養羽数 | 単位 | 目標 | | | 664,000 | 670,000 | 670,000 |
| | 羽 | 実績 | 663,852 | 665,126 | 635,543 | — | — |
| | | 達成率 | | | 95.7% | — | — |
| かさおかブランド「農林業部門」認定件数 | 単位 | 目標 | | | 1 | 1 | 1 |
| | 件/年 | 実績 | 0 | 3 | 3 | — | — |
| | | 達成率 | | | 300.0% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|-----------|----|---------|----|
| 直接事業費 | 37,502 | 千円 | 24,974 | 千円 | 1,363,597 | 千円 | 880,168 | 千円 |
| うち一般財源 | 23,586 | 千円 | 23,664 | 千円 | 26,549 | 千円 | 68,509 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|--|---|--------|---|--------|--|----|---|--------|----|--------|--------|----|
| 1 創 道の駅整備・運営事業 | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 国道2号笠岡バイパス利用者及び道の駅利用者 | | 道の駅の目的である休憩・道路情報の提供だけでなく、地元、笠岡市の新鮮な野菜・魚介類等の販売、地元食材を使った食事の提供、観光情報など、笠岡の良さを広範囲にPRできる一大情報発信基地とする。 | | | | ①地域振興施設として道の駅を運営する。 ②道の駅周囲の農地を利用して景観作物を咲かせ、また、農業体験施設等でイベントなどを開催する。 ③道の駅の利用者を二次的に笠岡市内の施設及び飲食店等へ誘客し、経済効果を図る。 | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | | <ul style="list-style-type: none"> ○道の駅整備 ○創・景観作物の作付 ・イベントの実施 ・新聞折込チラシの配布 ・施設の整備・管理 ・ツアーの実施 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅西側の圃場への展望台通路の設置 ・道の駅笠岡ベイファーム外構修繕工事 ・景観作物の栽培管理の委託 ・景観作物畑排水溝設置工事 | | <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅西側の圃場への展望台通路の整備 ・景観作物畑冠水対策工事 | | <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅臨時駐車場場内歩行者通路(北側)修繕工事 ・自走式散水機等購入 | | <ul style="list-style-type: none"> ・景観作物展望台通路設置・整備工事 ⇒ ・道の駅代替駐車場舗装工事 | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 33,847 | 千円 | 決算額 | 21,886 | 千円 | 決算額 | 41,678 | 千円 | 決算額 | 73,334 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 19,931 | 千円 | うち一般財源 | 21,176 | 千円 | うち一般財源 | 26,117 | 千円 | うち一般財源 | 68,039 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--|---|-------|--|--------|---|----|--|-----------|----|--------|---------|----|
| 2 畜産業振興事業 | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 干拓地内の畜産農家 | | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な環境巡回調査を行い、適切な糞尿処理や水質浄化を指導する。 ・干拓地臭気対策チームによる検討会を開催し、干拓地内の糞尿や堆肥による悪臭対策を検討する。 ・パーラー排水などの畜産排水について、現状把握と排水対策を検討し、浄化施設の設置に向けて検討を行う。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・環境巡回指導 ・干拓地内における悪臭対策の検討 ・干拓地内における畜産排水浄化処理施設設置の検討 ・畜産クラスター事業の実施 | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | | <ul style="list-style-type: none"> ●環境巡回指導 ・県と合同による環境巡回指導の実施。 ○創・干拓地臭気対策チームによる悪臭対策の具体化検討及び「臭気対策研究会(仮称)」の設置にかかる協議 ●粗飼料基地有効活用のための地元説明会 ・粗飼料だけでなく農作物栽培も可能とした干拓地農地の有償貸付について、地元関係者への説明会を実施。 ●排水浄化施設設置の推進施設設置のための方策を検討。 ●新造共同堆肥舎の運用開始 ・新設した堆肥舎を有効運用し、完熟した良質な堆肥の生産を促進するとともに、併せて臭気対策も図る。 ●笠岡市酪農・肉用牛近代化計画策定(H27~H37)にかかる畜産農家ヒアリング及び県との協議を進めた。 | | <ul style="list-style-type: none"> ⇒ ⇒ ○創・悪臭対策の具体化検討及び「臭気対策研究会」の設置にかかる協議。 ●笠干資源循環型農業推進事業 ・干拓地の堆肥生産実態調査及び自給飼料作付体系の検討・実証と野菜等栽培の実証。 ●粗飼料基地の貸付(新規に144haの公募貸付を実施) ●畜産クラスター(養鶏・畜産)事業組織の立ち上げ及び事業実施計画の策定 ⇒ ●新造共同堆肥舎の堆肥を有効運用し、完熟した良質な堆肥の生産を促進するとともに、併せて臭気対策も図る。 ●笠岡市酪農・肉用牛近代化計画の策定(H27~H37) | | <ul style="list-style-type: none"> ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ●臭気低減ができる堆肥に添加する資材や消臭材などの検討を行い、臭気対策も図る。 ⇒ | | <ul style="list-style-type: none"> ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ●悪臭対策に向けた環境改善検討会の設置 ⇒ ⇒ ⇒ ●畜産クラスター事業による、牛舎及び鶏舎の規模拡大。 ⇒ ⇒ ⇒ ●干拓地の各畜産農家が臭気低減資材を使用することにより、地域一体で臭気低減を図る。 ⇒ | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 3,655 | 千円 | 決算額 | 3,088 | 千円 | 決算額 | 1,321,919 | 千円 | 決算額 | 806,834 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 3,655 | 千円 | うち一般財源 | 2,488 | 千円 | うち一般財源 | 432 | 千円 | うち一般財源 | 470 | 千円 |

【達成目標2】 農業者の担い手・後継者の確保と育成

達成目標2の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|----------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 新規認定農業者数 | 単位 | 目標 | | | 98 | 99 | 100 |
| | 人 | 実績 | 96 | 94 | 96 | — | — |
| | | 達成率 | | | 98.0% | — | — |

達成目標2の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|------------|--------|----|--------|----|--------|----|---------|----|
| 直接 事業費 | 50,156 | 千円 | 99,829 | 千円 | 34,755 | 千円 | 395,782 | 千円 |
| うち 一般財源 | 5,319 | 千円 | 6,546 | 千円 | 13,418 | 千円 | 97,909 | 千円 |

3 農業振興事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
|------------|---|--|----|---|----|------------------------------------|----|---|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | |
| 農業者新規就農希望者 | 農業者の規模拡大、経営の効率化を図る。 新規就農者により農業人口を増加させる。 | 認定農業者制度を活用した農家の育成 干拓地を生かした大規模農業の推進 | | | | | | | |
| | 平成27年度 | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | |
| 取組 内容 | ○農産物のブランド化 ○認定農業者認定・支援事業 ○担い手確保・育成・支援事業 ○新規就農者支援事業 ●農道離着陸場の多面的利用 延べ回数 257回 | ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 延べ日数 250日 ・産地パワーアップ事業 ・農業のデザイン化プロジェクト | | ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 延べ日数 244日 ・「食と農村」交流推進事業 | | ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 延べ日数 224日 | | ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・「食と農村」交流推進事業 ・被災者向け経営体育成支援事業 | |
| | 直接 事業費 | 決算額 50,156 うち 一般財源 | 千円 | 決算額 99,829 うち 一般財源 | 千円 | 決算額 34,755 うち 一般財源 | 千円 | 決算額 395,782 うち 一般財源 | 千円 |

【達成目標3】 農業用地・施設の維持管理

| 達成目標3の指標 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|------------------------------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| 指標名 | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 市内耕作放棄地面積 | 単位 | 目標 | | | 1,778 | 1,768 | 1,748 |
| | ha | 実績 | 1,780 | 1,711 | 1,695 | — | — |
| | | 達成率 | | | 104.9% | — | — |
| 中山間地域等直接支払制度 協定締結面積 | 単位 | 目標 | | | 19.6 | 19.7 | 20.0 |
| | ha | 実績 | 19.1 | 19.6 | 19.5 | — | — |
| | | 達成率 | | | 99.5% | — | — |
| 多面的機能支払交付金事業を活用する 認定農用地面積 | 単位 | 目標 | | | 756.7 | 756.7 | 756.7 |
| | ha | 実績 | 678.4 | 718.9 | 770.8 | — | — |
| | | 達成率 | | | 101.9% | — | — |

達成目標3の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|------------|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|
| 直接 事業費 | 217,064 | 千円 | 322,761 | 千円 | 234,396 | 千円 | 180,268 | 千円 |
| うち 一般財源 | 94,276 | 千円 | 141,860 | 千円 | 126,177 | 千円 | 95,559 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|---|-----------------------------|--|------------|---|--------|---|---------|----|------------|---------|----|
| 4 農業用施設維持管理業務 | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 農業用施設利用者 | | 農業用施設利用者が安全・安心して利用できるようにする。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業施設管理事業 ・農林水産業施設維持事業 ・農林水産施設(単独)災害復旧事業 | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・排水機場施設の老朽箇所の修理(寺間・入江・北川第2) ・ため池ハザードマップ作成(奥山池) | | ⇒ | | ⇒ | | <ul style="list-style-type: none"> ・排水機場施設の老朽箇所の修理(寺間・入江・北川第1・北川第2・白石島) ●北川地区事業計画概要作成(北川第1) | | | | | |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・ため池ハザードマップ作成(岩神池) | | | | | | | | | |
| 直接 事業費 | 決算額 | 135,176 | 千円 | 決算額 | 161,767 | 千円 | 決算額 | 160,798 | 千円 | 決算額 | 108,251 | 千円 |
| | うち 一般財源 | 81,303 | 千円 | うち 一般財源 | 114,839 | 千円 | うち 一般財源 | 113,866 | 千円 | うち 一般財源 | 80,144 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|---|------------------------------------|---|------------|---|--------|--|--------|----|------------|-------|----|
| 5 農業振興地域整備関連業務 | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 市民 | | 農業振興地域整備計画を見直し、都市的土地需要との土地利用調整を行う。 | | | 農業振興地域の整備に関する法律(昭和44年法律第58号)に基づき、国・県及び市町村が一体となって農業振興を図るべき地域の整備や保全を図る。 | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組 内容 | ○農業振興地域整備事業 ・農業振興地域整備計画見直しのための基礎調査実施 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・農業振興地域整備計画見直しのための基礎調査を業務委託 | | <ul style="list-style-type: none"> ・農業振興地域整備計画見直し業務 | | <ul style="list-style-type: none"> ・農業振興地域整備計画見直し業務 ・農業振興地域農用地区域図面作成業務 | | | | | |
| 直接 事業費 | 決算額 | 183 | 千円 | 決算額 | 4,286 | 千円 | 決算額 | 242 | 千円 | 決算額 | 1,865 | 千円 |
| | うち 一般財源 | 183 | 千円 | うち 一般財源 | 4,286 | 千円 | うち 一般財源 | 242 | 千円 | うち 一般財源 | 1,865 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--|---|--------|-------------------|--------|------------------------|--|------------------------|--------|----|--------|--------|----|
| 6 | | 農業委員会業務 | | | | | | | | | | | |
| | | 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 市民 | | 農業生産の基盤となる優良農地の保全、有効利用するための取り組み、耕作放棄地、遊休農地の解消 | | | | | 農業委員会の開催(12回)。農地法に基づく農地の利用状況等調査等。農地法関連業務。広報紙等による啓発。農業者年金制度の普及啓発。 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | | ●農地法の厳格な運用 ●農地利用意向調査の実施 | | ⇒ ●農地利用意向調査の実施 | | ⇒ ●農地利用状況調査の実施 ⇒ | | ⇒ ●農地利用状況調査の実施 ⇒ | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 12,332 | 千円 | 決算額 | 12,504 | 千円 | 決算額 | 14,000 | 千円 | 決算額 | 12,300 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 8,570 | 千円 | うち一般財源 | 7,992 | 千円 | うち一般財源 | 6,740 | 千円 | うち一般財源 | 7,743 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--|---|-----|--------|--------|--------|--|----------------|-------|----|--------|-------|----|
| 7 | | 耕作放棄地解消事業 | | | | | | | | | | | |
| | | 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 農地所有者 | | 農業者の高齢化・後継者不足により耕作放棄地が増えつつある中、担い手への農地集積を進め、農地の荒廃化を防ぐ。 | | | | | 中間管理機構を通じた利用権の設定等により、担い手への農地の集積・集約化を促進する。ほ場整備等、集積した田を整備することにより、大型農業機械の利用促進を図る。 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | | ○耕作放棄地解消事業 ・中間管理事業 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ ●耕作条件改善事業 | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 709 | 千円 | 決算額 | 1,340 | 千円 | 決算額 | 3,062 | 千円 | 決算額 | 2,039 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 9 | 千円 | うち一般財源 | 140 | 千円 | うち一般財源 | 6 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------|--|---|--------|---|--------|--|--|--|--------|----|--------|--------|----|
| 8 | | 農業用施設新設改良事業 | | | | | | | | | | | |
| | | 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 農業従事者及び関係者 | | 農産物生産の向上と安定化及び農地の保全 | | | | | ため池、井堰、用・排水路の整備及び農道の新設改良を行うための計画、調査、設計、積算、工事監督を行う。 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | | ●農業用施設改良事業 ・非補助農道改良事業 ・非補助かんがい排水事業 ・単市土地改良事業 ・団体営かんがい排水 | | ⇒ ⇒ ・非補助農道舗装事業 ⇒ ⇒ ⇒ ・小規模かんがい排水(尾坂池導水管) | | ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・小規模かんがい排水(大河井堰改修) | | ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・小規模かんがい排水(辻南揚水機場) | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 68,407 | 千円 | 決算額 | 142,625 | 千円 | 決算額 | 56,046 | 千円 | 決算額 | 55,667 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 4,054 | 千円 | うち一般財源 | 14,364 | 千円 | うち一般財源 | 5,075 | 千円 | うち一般財源 | 5,661 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|--|-----|---|--------------------|-----|--|---------------------------|-----|--------|--------|---|----|
| 9 創 バイオマスタウン推進事業 | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | |
| 笠岡湾干拓地 営農者 市民 | | | 笠岡湾干拓地の特性を生かしたバイオマス資源の利活用を図りながら、地域農業の活性化を目指すとともに、環境にやさしい農業を推進し、持続可能な循環型社会の形成に資する。 | | | 笠岡湾干拓地域バイオマスタウン構想のもと、バイオマス資源の利活用について、産学官による協議を行い、牛ふん堆肥の利活用などに取り組む。 | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| 取組内容 | ・BDFの干拓地内の利用 ・添加物牛ふん堆肥による野菜栽培実験 ・バイオマス利活用推進協議会活動 | | | ・牛ふん堆肥の利活用の検討 ⇒ | | | ⇒ ⇒ (畜産クラスター協議会へ移管) | | | ⇒ ⇒ | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 111 | 千円 | 決算額 | 124 | 千円 | 決算額 | 146 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 |
| | うち一般財源 | 11 | 千円 | うち一般財源 | 124 | 千円 | うち一般財源 | 146 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|--|-----|---|-------------|-----|--|-------------|-----|--------|-------------|-----|----|
| 10 創 笠岡湾干拓地水質浄化対策事業 | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | |
| 笠岡湾干拓地 営農者 市民 | | | 笠岡湾干拓地の水環境を改善する取組を行うとともに、環境にやさしい農業を推進し、持続可能な循環型社会の形成に資する。 | | | 笠岡湾干拓地及び周辺地区の農業関係者、市民及び行政が連携して環境負荷の低減に努め、干拓地の水質保全対策の推進を図る。 | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| 取組内容 | ・負荷削減活動の推進 ・耕畜連携による堆肥の適正処理 ・茂平地区下水道の整備 | | | ⇒ ⇒ ⇒ | | | ⇒ ⇒ ⇒ | | | ⇒ ⇒ ⇒ | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 146 | 千円 | 決算額 | 115 | 千円 | 決算額 | 102 | 千円 | 決算額 | 146 | 千円 |
| | うち一般財源 | 146 | 千円 | うち一般財源 | 115 | 千円 | うち一般財源 | 102 | 千円 | うち一般財源 | 146 | 千円 |

【達成目標4】鳥獣被害の減少と森林整備の推進

達成目標4の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|---------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 防護柵補助件数 | 単位 | 目標 | | | 30 | 30 | 30 |
| | 件/年 | 実績 | 28 | 51 | 106 | — | — |
| | | 達成率 | | | 353.3% | — | — |
| 駆除班員数 | 単位 | 目標 | | | 26 | 26 | 26 |
| | 人 | 実績 | 26 | 23 | 23 | — | — |
| | | 達成率 | | | 88.5% | — | — |

達成目標4の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 11,158 | 千円 | 8,464 | 千円 | 10,176 | 千円 | 9,500 | 千円 |
| うち一般財源 | 6,706 | 千円 | 4,623 | 千円 | 5,475 | 千円 | 5,699 | 千円 |

| 11 森林保全事業 | | 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | |
|----------------------|--|--|--|---|---|----|---|--------|----|--------|-------|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 森林所有者及び周辺住民 農林業者等 | | 松くい虫による被害防止とともに、森林資源の保全と国土の保全を図る。 農作物の被害の防止及び生活環境の改善。 | | ・ヘリコプターによる薬剤の空中散布及び地上散布。また、空中・地上散布区域周辺の伐倒駆除及び道路沿いの危険木処理。 ・有害鳥獣の駆除。 | | | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| | ●松くい虫被害防止 ・薬剤の空中散布及び地上散布を行う。 空中散布174ha 地上散布3ha ●有害獣被害防止対策事業 ・有害獣による農作物の被害防止のための柵等の設置に補助金を支給する。 補助件数11件 合計補助金額286,668円 | | ⇒ ・薬剤の空中散布及び地上散布を行う。 空中散布174ha 地上散布3ha ⇒ ・有害獣による農作物の被害防止のための柵等の設置に補助金を支給する。 補助件数28件 合計補助金額606,213円 ●笠岡市森林整備計画 ・国の制度改正に伴い計画の一部を変更。 | | ⇒ ・薬剤の空中散布を行う。 空中散布174ha ⇒ ・有害獣による農作物の被害防止のための柵等の設置に補助金を支給する。 補助件数51件 合計補助金額707,098円 ⇒ | | ⇒ ・薬剤の空中散布を行う。 空中散布174ha ⇒ ・有害獣による農作物の被害防止のための柵等の設置に補助金を支給する。 補助件数106件 合計補助金額1,787,270円 | | | | | |
| | 決算額 | 11,158 | 千円 | 決算額 | 8,464 | 千円 | 決算額 | 10,176 | 千円 | 決算額 | 9,500 | 千円 |
| | うち一般財源 | 6,706 | 千円 | うち一般財源 | 4,623 | 千円 | うち一般財源 | 5,475 | 千円 | うち一般財源 | 5,699 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|---------|----|---------|----|-----------|----|-----------|----|
| 直接事業費 | 315,880 | 千円 | 456,028 | 千円 | 1,642,924 | 千円 | 1,465,718 | 千円 |
| うち一般財源 | 129,887 | 千円 | 176,693 | 千円 | 171,619 | 千円 | 267,676 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|--------------------------------------|--|
| ・干拓地の悪臭が近年又ひどくなっています。臭気低減一層努力してください。 | → 干拓地の悪臭の原因は、いろいろあると考えますが、その中で畜産経営の中で発生するものが大きな要因と考えています。その対策として、今年度から干拓地内にある各牧場の現状把握や臭気調査等を実施し、牧場内から発生する臭気抑制の対策を検討、実施し、臭気低減に努めます。 |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | | |
|--------|-----------------------------|---|
| 施策の進捗度 | A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 | B |
| | B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 | |
| | C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 | |
| | D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | |

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------|--|
| 未達成指標への対応策 | 認定農業者については、高齢化が進み更新しない農業者が増えつつある。集落営農の組織作りや法人化を進め、認定農業者の新規発掘を図りたい。 |
|------------|--|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|------|--|---|------------------|---|
| 総合評価 | A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。 | B | (参考) 昨年度の評価結果 | B |
| コメント | <p>・耕作放棄地に対する対策が気になりました。手放しても良い、貸しても良いという方は多いと思いますが、どうでしょうか。(道の駅のひまわりの連作障害はないようだと駅の方にお聞きしました。今年のひまわりは、とても健康な状態で育っていました。今後も大丈夫とおっしゃっておられました)</p> <p>・総合指標と達成目標1の指標が未公表が多く施策評価が難しい。農家さんの自主性に任せ、後方支援の活動も大切ですが“農福”など今の社会動向を踏まえ、積極的な笠岡の農業に関するイベントや広報活動など、今後も期待します。</p> <p>・農業を続けていくのも色々課題がありますので、農業委員と協力して行政にできることを提案してあげてください。</p> <p>・臭気問題は未だ改善が見られず、実効性のある対応による改善を進めて下さい。</p> <p>・発表されていない実績があるが、悪臭対策、鳥獣被害対策等、特に市民の関心の高いものは、達成率に満足せず、積極的に進められたい。</p> <p>・結果としてB評価となりました。これは指標が未公表になっていることがあるかと思います。また第7次総合計画の初年度としては指標の目標値が高かったのではないかとも思います。</p> <p>・大干拓地を有する笠岡市において、営農が盛んであることは非常に喜ばしいことである。大規模な自動搾乳施設等の大型投資も行われているので、干拓地だけでとれた牛乳のブランド(仮称)「おいしい! べいふぁ〜む牛乳」が店頭に並ぶようになり笠岡市の知名度アップに繋がればなあと思う。</p> <p>一方で、悪臭対策にも注力していただきたい。</p> | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|--------|--|-----|-------|-----|--|
| 施策 No. | 1-3 | 施策名 | 商工業振興 | 担当課 | 商工観光課 |
| 戦略の柱 | 経営戦略 “稼ぐ” | | | | |
| 基本方針 | 行政、市民、事業者及び笠岡商工会議所等の協働による商工業の振興を進めるとともに、既存の事業者・新規創業者の自助努力及び創意工夫を支援します。 | | | 関係課 | 公表されていない参考値として市町村民税課税対象所得(総務省統計)を入れています。 |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|--------------------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 | R7 目標 |
| 総人口1人当たりの市民所得 | 千円 | 目標 | | | 2,444 | 2,454 | 2,474 | 2,514 |
| | | 実績 | 2,699 | 2,730 | 2,708 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 110.8% | — | — | — |
| 事業所数(経済センサス統計調査) | 事業所 | 目標 | | | 2,145 | — | 2,153 | 2,145 |
| | | 実績 | 1,973 | — | — | — | — | — |
| | | 達成率 | | | #VALUE! | — | — | — |
| 従業員数(経済センサス統計調査) | 人 | 目標 | | | 21,646 | — | 21,696 | 21,796 |
| | | 実績 | 18,471 | — | — | — | — | — |
| | | 達成率 | | | #VALUE! | — | — | — |
| 従業員4人以上の製造業の事業所数(工業統計調査) | 事業所 | 目標 | | | 124 | 125 | 127 | 131 |
| | | 実績 | 116 | — | — | — | — | — |
| | | 達成率 | | | #VALUE! | — | — | — |
| 従業員4人以上の製造業の従業員数(工業統計調査) | 人 | 目標 | | | 5,258 | 5,262 | 5,270 | 5,286 |
| | | 実績 | 5,082 | — | — | — | — | — |
| | | 達成率 | | | #VALUE! | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|-----------|
| 【達成目標1】 | 生産・販売力の強化 |
|---------|-----------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|-----------------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 製造品出荷額等(工業統計調査) | 百万円 | 目標 | | | 199,149 | 201,140 | 205,183 |
| | | 実績 | 157,270 | — | — | — | — |
| | | 達成率 | | | #VALUE! | — | — |
| 粗付加価値額(工業統計調査) | 百万円 | 目標 | | | 59,745 | 60,342 | 61,554 |
| | | 実績 | 60,563 | — | — | — | — |
| | | 達成率 | | | #VALUE! | — | — |
| 年間商品販売額(商業統計調査) | 百万円 | 目標 | | | 78,978 | — | — |
| | | 実績 | 76,323 | — | — | — | — |
| | | 達成率 | | | #VALUE! | — | — |
| かさおかブランド「産業・技術部門」認定件数 | 件/年 | 目標 | | | 2 | 4 | 2 |
| | | 実績 | 1 | 0 | 3 | — | — |
| | | 達成率 | | | 150.0% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 6,904 | 千円 | 8,340 | 千円 | 8,174 | 千円 | 6,794 | 千円 |
| うち一般財源 | 6,904 | 千円 | 8,340 | 千円 | 8,174 | 千円 | 6,794 | 千円 |

| 1 商工業振興事業 | | 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
|-----------|------------------------------|--|----|-------------------------------|-------|--|--------|--------|----|--------|-------|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 市内企業・商店 | | 企業・商店が活発に活動・発展することにより、市内環境や市民生活を活性化する。 | | | | ・工業振興において、経営の近代化や情報通信技術の活用等による円滑な発展に努める。 ・中小企業の経営の安定化を図るため、小規模企業対策資金保証融資制度の充実を図る。 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ● 笠岡市小規模事業対策資金保証融資制度 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | ● 中小企業信用保険法に基づく認定 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | ● 産業活動の支援 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | ● 新たな産業づくりへの支援 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | ● 創業・小規模事業者経営改善資金利子補助金 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | <補助金交付件数: 68件, 新規36件, 継続32件> | <補助金交付件数: 96件, 新規29件, 継続67件> | | <補助金交付件数: 109件, 新規24件, 継続85件> | | <補助金交付件数: 111件, 新規35件, 継続76件> | | | | | | |
| | 中小企業支資金融資制度 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | <融資利用件数: 48件> | <融資利用件数: 52件> | | <融資利用件数: 60件> | | <融資利用件数: 50件> | | | | | | |
| | | 三菱関連中小企業特別支援対策事業 | | | | | | | | | | |
| | | <融資利用件数: 1件> | | <保証料補給金: 1件> | | <保証料補助金: 1件> | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 6,904 | 千円 | 決算額 | 8,340 | 千円 | 決算額 | 8,174 | 千円 | 決算額 | 6,794 | 千円 |
| | うち一般財源 | 6,904 | 千円 | うち一般財源 | 8,340 | 千円 | うち一般財源 | 8,174 | 千円 | うち一般財源 | 6,794 | 千円 |

【達成目標2】 創業・事業承継の支援

達成目標2の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|----------------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 起業支援事業補助金の新規交付件数 | 単位 | 目標 | | | 8 | 8 | 8 |
| | 件/年 | 実績 | 11 | 10 | 3 | — | — |
| | | 達成率 | | | 37.5% | — | — |
| 中心市街地空き店舗利用促進補助金交付件数 | 単位 | 目標 | | | 1 | 1 | 1 |
| | 件/年 | 実績 | — | 1 | 3 | — | — |
| | | 達成率 | | | 300.0% | — | — |
| 事業承継支援補助金交付件数 | 単位 | 目標 | | | 2 | 2 | 2 |
| | 件/年 | 実績 | — | 0 | 1 | — | — |
| | | 達成率 | | | 50.0% | — | — |
| 笠岡商工会議所青年部の会員数 | 単位 | 目標 | | | 71 | 72 | 74 |
| | 人 | 実績 | 68 | 74 | 66 | — | — |
| | | 達成率 | | | 93.0% | — | — |

達成目標2の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 23,503 | 千円 | 23,291 | 千円 | 25,259 | 千円 | 14,441 | 千円 |
| うち一般財源 | 8,181 | 千円 | 12,220 | 千円 | 20,075 | 千円 | 4,846 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|----------|--------|---------------------------------------|----|--------|-------|--|--------|--|----|--------|-------|----|
| 2 | | 商店街振興事業 | | | | | | | | | | |
| | | 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 市内商店・商店街 | | 市内商店・商店街の発展を支援することで、市内環境や市民生活の活性化を図る。 | | | | 市内商店・商店街の振興を図る。 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | | ●各種イベントの開催 ●空き店舗の有効利用 | | ⇒ ⇒ | | ⇒ ⇒ 中心市街地空き店舗登録件数: 6件 空き店舗補助金申請件数: 1件 | | ⇒ ⇒ 中心市街地空き店舗登録件数: 8件 空き店舗補助金申請件数: 2件 (新規) | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 8,999 | 千円 | 決算額 | 8,709 | 千円 | 決算額 | 10,008 | 千円 | 決算額 | 7,079 | 千円 |
| | うち一般財源 | 6,270 | 千円 | うち一般財源 | 6,341 | 千円 | うち一般財源 | 5,857 | 千円 | うち一般財源 | 3,414 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------|---|----|--|--------|--|--------|--|----|--------|-------|----|
| 3 | | 創 起業支援 | | | | | | | | | | |
| | | 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 新規創業者 | | 新規創業者に対して、市内産業の振興、雇用の促進及び定住を勧める。 | | | | これから市内で起業する人を対象に、起業にかかった経費の一部を事後的に補助する。新規起業者を支援することで市内産業の振興・雇用創出を図る。 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | | 創業サポートセンターかさおか創業サロンの開設 <補助金交付件数: 新規7件, 継続4件> <サロン来客数: 146人> | | 創業サポートセンターかさおか創業サロンの運営補助 <補助金交付件数: 新規11件, 継続5件> <サロン来客数: 328人> | | ⇒ <補助金交付件数: 新規10件, 継続9件> <サロン来客数: 490人> | | ⇒ <補助金交付件数: 新規3件, 継続4件> <サロン来客数: 310人> | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 14,104 | 千円 | 決算額 | 14,182 | 千円 | 決算額 | 14,851 | 千円 | 決算額 | 6,962 | 千円 |
| | うち一般財源 | 1,881 | 千円 | うち一般財源 | 5,879 | 千円 | うち一般財源 | 13,818 | 千円 | うち一般財源 | 1,032 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|--------|--|----|------------------|-----|---|--------|------------------|----|--------|-----|----|
| 4 | | 創 創業塾支援事業 | | | | | | | | | | |
| | | 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 笠岡商工会議所 | | 笠岡商工会議所が主催する創業塾を笠岡市が支援することで、より内容の充実した創業セミナーを開催することが可能となる。その結果として、起業予定者の起業の実現性を増大させ実際の起業へとつながることを目的とする。 | | | | 笠岡商工会議所が行う「かさおか創業塾」に対し、運営費の一部を補助し、内容の充実した創業塾とさせる。 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | | インターネット、チラシによる受講者募集のPRを行う。 <受講者数: 26人> | | ⇒ <受講者数: 20人> | | ⇒ <受講者数: 22人> | | ⇒ <受講者数: 20人> | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 400 | 千円 | 決算額 | 400 | 千円 | 決算額 | 400 | 千円 | 決算額 | 400 | 千円 |
| | うち一般財源 | 30 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 400 | 千円 | うち一般財源 | 400 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | | | | | | | | | |
|--------|--|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
| 直接事業費 | | 30,407 | 千円 | 31,631 | 千円 | 33,433 | 千円 | 21,235 | 千円 |
| うち一般財源 | | 15,085 | 千円 | 20,560 | 千円 | 28,249 | 千円 | 11,640 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|---|--|
| ・こんなお店をしたいと言った声を聞きます。起業支援、創業塾支援充実させ頑張っていたきたい。 | 事業開設支援に上限100万円、経営支援事業に上限50万円、雇用促進事業に25万円計175万円と他市にはない補助金制度により毎年、多くの方に利用していただいております。かさおか創業サロンをマルナカ1階に開設し、創業希望者から創業後の経営相談にもワンストップで相談に乗れるよう、金融機関の職員、商工会議所の職員、そして、岡山よろず支援拠点からも専門家に来ていただき、事業計画の作成、金融支援、販路開拓や財務のことなど幅広い相談に乗っています。起業にあたって商店街で起業したい方には空き店舗補助金も紹介するなど、ニーズに合った支援をさせていただいております。そうした各種支援制度のPRも積極的に進めていきたい。 |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | | |
|--------|--|---|
| 施策の進捗度 | A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | B |
|--------|--|---|

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------|--|
| 未達成指標への対応策 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業承継については、商工会議所と連携して事業所訪問を行い、聴き取り調査を行っており、親族間など補助対象にならないが、事業承継が行われている。今後も聴き取り調査を行い、補助金を活用した事業承継を行っていただけるよう訪問を継続して行いたい。 ・起業補助金については、景気の上向きと共に求人倍率が上昇しているため、起業意欲が停滞している中、起業相談があった場合は、創業サポートセンターにおいて、きめ細やかな指導・相談を行い、補助金申請についての支援も行っていく。また、専門的な分野での相談があった場合は、専門家につなげていき、起業がしやすい相談体制を整える。 |
|------------|--|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|------|--|---|------------------|---|
| 総合評価 | A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。 | B | (参考) 昨年度の評価結果 | B |
| コメント | <ul style="list-style-type: none"> ・総合指標と達成目標1の指標が未公開のため評価に上がらず難しい。起業支援、創業塾事業という生み出すことも大切だが継続できるかどうかも重要。自主性に任せるだけでなく丁寧なサポート体制も考慮していただけるとありがたいです。 ・笠岡駅周辺の商店街は、イベント等では市民を楽しませて頂いていますが、中心市街地の賑わいの面では、個々の事情によりまとめていくのは難しい時期にきたと思います。多方面から情報やアイデアなどの支援をお願いします。 ・市民が「笠岡市がサポートしてくれている」と実感できるような支援やアフターフォローになるように工夫して、取り込まれたい。 ・商店街活性化はなかなか進まないことが挙げられますが、今後も頑張っていたきたいと思っております。また指標が出ていないところがありますので、評価をつけることが難しかったように思います。 ・地元の商店で買い物をする事で、地域経済が潤うことは理解できるが、果たして商店街振興が本当に必要な施策であるのか疑問に思う。 また、担当課からの未達成の指標への対応策のところに、「起業補助金については、景気の上向きと共に求人倍率が上昇しているため、起業意欲が停滞している」とあるが、創業塾支援事業等の施策やフォローアップが十分に機能していないのではないかと。 | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|--------|---|-----|-------|-----|-------|
| 施策 No. | 1-4 | 施策名 | 水産業振興 | 担当課 | 農政水産課 |
| 戦略の柱 | 経営戦略 “稼ぐ” | | | | |
| 基本方針 | 海に臨む笠岡市の特色ある産業として水産業を振興するため、水産資源の増加、担い手の育成とともに、安くて新鮮な笠岡の水産物を広く提供するための取組を進めます。 | | | 関係課 | |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|----------------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 | R7 目標 |
| 漁獲量(海面漁業) | 単位 | 目標 | | | 650 | 650 | 650 | 650 |
| | t/年 | 実績 | 702 | 643 | 575 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 88.5% | — | — | — |
| 漁獲量(養殖漁業) | 単位 | 目標 | | | 650 | 650 | 650 | 650 |
| | t/年 | 実績 | 653 | — | 966 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 148.6% | — | — | — |
| 「水産業の振興」の満足度(市民意識調査) | 単位 | 目標 | | | △ 10.0 | — | △ 8.5 | △ 7.0 |
| | % | 実績 | △ 11.6 | — | △ 20.3 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 49.3% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|---------|
| 【達成目標1】 | 水産資源の回復 |
|---------|---------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|-----------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 漁獲量(海面漁業) | 単位 | 目標 | | | 650 | 650 | 650 |
| | t/年 | 実績 | 702 | 643 | 575 | — | — |
| | | 達成率 | | | 88.5% | — | — |
| 漁獲量(養殖漁業) | 単位 | 目標 | | | 650 | 650 | 650 |
| | t/年 | 実績 | 653 | — | 966 | — | — |
| | | 達成率 | | | 148.6% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 直接事業費 | 8,764 | 千円 | 7,005 | 千円 | 8,240 | 千円 | 8,840 | 千円 |
| うち一般財源 | 5,095 | 千円 | 6,055 | 千円 | 5,843 | 千円 | 6,109 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--|--|-------|----|---|-------|---|---|-------|----|--|-------|----|
| 1 水産業振興事業 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 漁業者及び市民 | | 漁家経営が安定及び維持できるよう事業実施を行い、漁業振興を図る。 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・漁業振興特別対策事業 ・海洋牧場管理運営に対する補助 ・漁業近代化資金に対する利子補給 ・漁船保険に対する補助 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | |
| 取組内容 | | <p>★○漁業振興特別対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笠岡市漁協・真鍋島支所へ鮮度保持施設(製氷機)を更新設置 ・大島人工干潟におけるアサリ増殖調査事業 ・栽培漁業及び種苗放流事業 ・漁業者の研修会(第3回)実施(テーマ:鮮魚の扱いについて考える※漁業者自ら実践できる「魚の扱い」「鮮度保持」「品質管理」) <p>・浜の活力再生プラン前年度評価,実施,及び中間報告</p> <p>・播種法を用いたアマモ場造成(市内2漁協による取組)とシンポジウムでの活動報告</p> <p>★○漁業近代化資金に対する利子補給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸付決定 1件 ・件数 延べ2件 <p>○海洋牧場管理運営に対する補助</p> <p>★○漁船保険に対する補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・件数289件(徴収保険料の95%) | | | <p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大島美の浜漁協へ鮮度保持施設(製氷機)を更新設置 ・大島人工干潟におけるアサリ増殖調査事業 ・栽培漁業及び種苗放流事業 ・漁業者の研修会実施(2回)(テーマ:①「おいしい水産物がとれる笠岡をまもる漁業者の研修会」,②「安全操業について」) <p>・浜の活力再生プラン前年度評価,実施,及び中間報告</p> <p>・広域浜プランでの取組</p> <p>・播種法を用いたアマモ場造成(市内2漁協による取組)</p> <p>・美しく豊かな海づくりに関する協定の締結(H28.5.26)</p> <p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・件数 延べ3件 <p>⇒</p> | | | <p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笠岡市漁協へ運搬施設(トラック)を設置 ・大島人工干潟におけるアサリ増殖調査事業 ・栽培漁業及び種苗放流事業 ・漁業者の研修会実施(テーマ:「漁業制度を学ぶ」) <p>・浜の活力再生プラン前年度評価,実施,及び中間報告</p> <p>・広域浜プランでの取組</p> <p>・播種法を用いたアマモ場造成(市内2漁協による取組)</p> <p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸付決定 2件 ・件数 延べ4件 <p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・件数276件(徴収保険料の25%) | | | <p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笠岡市漁協へ鮮度保持施設(冷水機)を設置 ・大島人工干潟におけるアサリ増殖調査事業 ・栽培漁業及び種苗放流事業 ・漁業者の研修会実施(テーマ:「美しく豊かな海づくり」) <p>・浜の活力再生プランの改訂,前年度評価,実施及び中間報告</p> <p>・広域浜プランでの取組</p> <p>・播種法を用いたアマモ場造成(市内2漁協による取組)</p> <p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸付決定 2件 ・件数 延べ4件 <p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・件数287件(徴収保険料の95%) | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 8,764 | 千円 | 決算額 | 7,005 | 千円 | 決算額 | 8,240 | 千円 | 決算額 | 8,840 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 5,095 | 千円 | うち一般財源 | 6,055 | 千円 | うち一般財源 | 5,843 | 千円 | うち一般財源 | 6,109 | 千円 |

【達成目標2】 漁業者の担い手・後継者の確保と育成

達成目標2の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|--------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 新規就業者数 | 単位 | 目標 | | | 2 | 2 | 2 |
| | 人/年 | 実績 | 3 | 3 | 3 | — | — |
| | | 達成率 | | | 150.0% | — | — |
| 漁業体験者数 | 単位 | 目標 | | | 150 | 150 | 150 |
| | 人/年 | 実績 | 153 | 137 | 131 | — | — |
| | | 達成率 | | | 87.3% | — | — |

達成目標2の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|------------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接 事業費 | 647 | 千円 | 340 | 千円 | 627 | 千円 | 650 | 千円 |
| うち 一般財源 | 161 | 千円 | 0 | 千円 | 0 | 千円 | 23 | 千円 |

2 漁村整備・交流事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | |
|------------------|---|--|------------|---|-----|--|-----|-----|------------|-----|-----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 漁業者及び市民(主として小学生) | 漁家経営が安定及び維持できるよう事業実施を行い、漁業振興を図る。 海辺の体験学習を通じて担い手を増やす取組を進める。 | ・海辺の体験学習 | | | | | | | | | |
| | 平成27年度 | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | ★●海辺の体験学習 ・都市漁村等交流推進事業の実施 白石島親子ふれあい地引網 参加者 61人 大島海辺の教室(大島東小, 白石小, 北木小, 真鍋小, 六島小ほか) 参加者 80人 (共催事業) 瀬戸内の島で海の恵みを体験プログラム 各150人 | ⇒ ・都市漁村等交流推進事業の実施 大島海辺の教室(大島小5年生, 井原市立出部小5年生ほか) 参加者 153人 (参考:台風により中止 白石島親子ふれあい地引網 参加予定者 74人) | | ⇒ ・都市漁村等交流推進事業の実施 白石島親子ふれあい地引網 参加者 77人 大島海辺の教室(大島東小) 参加者 60人 | | ⇒ ・都市漁村等交流推進事業の実施 白石島親子ふれあい地引網 参加者 53人 大島海辺の教室(北川小) 参加者 78人 | | | | | |
| | 決算額 | 647 | 千円 | 決算額 | 340 | 千円 | 決算額 | 627 | 千円 | 決算額 | 650 |
| うち 一般財源 | 161 | 千円 | うち 一般財源 | 0 | 千円 | うち 一般財源 | 0 | 千円 | うち 一般財源 | 23 | 千円 |

【達成目標3】新鮮な地魚の提供

達成目標3の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|------------------------|----|-----------|-----------|-----------|-------------------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 直売所の販売額(道の駅・大島朝市・神外朝市) | 単位 | 目標 | | | 60,000 | 60,000 | 61,000 |
| | 千円 | 実績 達成率 | 59,000 | 177,415 | 165,468 275.8% | — | — |

達成目標3の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 675 | 千円 | 450 | 千円 | 300 | 千円 | 300 | 千円 |
| うち一般財源 | 225 | 千円 | 150 | 千円 | 300 | 千円 | 300 | 千円 |

3 水産物流通促進事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|---------|--|---|--------|--------|-----|----|--------|-----|----|--------|-----|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 漁業者及び市民 | 漁家経営が安定及び維持できるよう、また、新鮮な魚の提供、直販体制の充実を図る。 レシピ作成を支援し、新鮮な魚による料理の普及を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 新鮮な魚の販売ルート開拓、直販体制の支援 レシピ作成への支援 | | | | | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ★●販売ルート開拓、直販体制の支援 ・2漁協による直販体制及び魚まつり(瀬戸の市魚まつり)支援 ※かさおか鮮魚市かき祭りは、かき不作のため中止 ・笠岡市漁協荷さばき施設における笠岡諸島の漁獲物の取扱量の増加と販路拡大、活魚水槽送水用ポンプ設置、「朝市」を週1回継続開設と販売促進PRの取組支援 ・備後圏域の地魚のブランド化における広域連携推進のための協議・検討 ★●レシピ作成への支援 ・生活交流グループ協議会による魚食普及及び魚利活用メニューの検討・試作 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 675 | 千円 | 決算額 | 450 | 千円 | 決算額 | 300 | 千円 | 決算額 | 300 | 千円 |
| | うち一般財源 | 225 | 千円 | うち一般財源 | 150 | 千円 | うち一般財源 | 300 | 千円 | うち一般財源 | 300 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 10,086 | 千円 | 7,795 | 千円 | 9,167 | 千円 | 9,790 | 千円 |
| うち一般財源 | 5,481 | 千円 | 6,205 | 千円 | 6,143 | 千円 | 6,432 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|--|---|
| ・天候不順や赤潮発生等で、漁獲高に影響があると思いますが「笠岡沖の魚は新鮮で美味しい」をPRし漁業者皆様への勢いをつけていただけることを期待しています。 | → ・備後圏域の沿岸4市(福山市、尾道市、福山市)で行っている備後の魚や備後の魚が食べられる店のPRなどを行い、新鮮で美味しい笠岡の魚知ってもらえるように様々なPR活動に努めます。 |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | |
|--|----------|
| 施策の進捗度 A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | B |
|--|----------|

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------|---|
| 未達成指標への対応策 | <p>鮮度保持技術の向上等によって鮮魚の付加価値を高めるとともに、幅広い世代に地魚を知ってもらえるよう、備後フィッシュの食べられる店をPRするなど、笠岡産の魚の魅力をより強く発信していきたい。</p> <p>また、「美しく豊かな海づくりに関する協定」に基づき、アマモ場の再生活動や海ごみの回収、稚魚放流等を行い、水産資源の保護にも積極的に取り組んでいきたい。</p> |
|------------|---|

<8.委員による評価結果>

| 総合評価 | A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。 | B | (参考) 昨年度の評価結果 | B |
|------|--|---|------------------|---|
| コメント | <p>・備後フィッシュの食べられるお店の登録数拡大など今後も期待しています。笠岡市でおいしいお魚が食べられることの観光客に知って貰えるチャンスですが、市民があまり知らないとロコミできないので笠岡の珍しいお土産も食べられ取り上げられますでしょうか。アマモ場再生活動の日本の聖地が岡山県(日生)にあり全国から毎年サミットで集まっていますが笠岡の状況に応じた継続的な再生活動もコラボができないか期待しています。一般財源からの事業費のためアマモ場再生活動、海ごみの回収、稚魚放流などの水産資源の保護に関心を持ってきている企業や市民や県内の若者団体に積極的なPRと連携に期待いたします。</p> <p>・一部の小学校で、アマモの種まきをしていますが、たくさんの子供たちに体験させて頂きたい</p> <p>・水産業を取り巻く環境は厳しいことと思いますが、新規就業者が目標を上回っており、非常に良い傾向にあるため、漁業者と連携し満足度が向上するよう、対策を講じられたい。</p> <p>・笠岡の魚は美味しいので、ブランドを上げていただきたいと思います。また漁業者の新規就業者数は3人で目標よりは多いのですが、全体では多くなっているのか少なくなっているのか知りたいと思います。</p> <p>・平成30年度の市民意識調査における「水産業の振興」の満足度が前回の△11.6%から△20.3%に大きく落ち込んでいる。びんご圏域での備後の魚を周知するイベントが行われているが、市民への周知が十分でないためではないかと思う。市の施策全般に言えることだが、もっと上手くPRする事が大切であると思う。</p> | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|--------|--|-----|------|------|--|
| 施策 No. | 1-5 | 施策名 | 観光振興 | 主担当課 | 商工観光課 |
| 戦略の柱 | 経営戦略 “稼ぐ” | | | | |
| 基本方針 | 観光振興は、本市の産業振興施策において重要な柱の1つです。「瀬戸内海・笠岡諸島」、「笠岡湾干拓地」といった本市の特徴・地域資源を活かして、本市の観光分野の魅力を発信し認知度を高めるとともに、国内観光客の誘致、修学旅行の誘致、インバウンド誘致等、観光客の増加を図ります。 | | | 関係課 | 企画政策課 定住促進センター 建設管理課 農政水産課 生涯学習課 |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|-------------|------|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 | R7 目標 |
| 観光客数(1~12月) | 単位 | 目標 | | | 131 | 133 | 144 | 198 |
| | 万人/年 | 実績 | 127 | 126 | 120 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 91.6% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

【達成目標1】観光素材の商品化及び販売

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|--------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| かさおかブランド認定件数 | 単位 | 目標 | | | 22 | 24 | 28 |
| | 件 | 実績 | 21 | 21 | 27 | — | — |
| | | 達成率 | | | 122.7% | — | — |
| カプトガニ博物館入場者数 | 単位 | 目標 | | | 69,000 | 69,500 | 70,500 |
| | 人/年 | 実績 | 68,013 | 64,284 | 62,846 | — | — |
| | | 達成率 | | | 91.1% | — | — |
| 竹喬美術館入場者数 | 単位 | 目標 | | | 20,000 | 20,000 | 20,000 |
| | 人/年 | 実績 | 13,303 | 11,739 | 14,676 | — | — |
| | | 達成率 | | | 73.4% | — | — |
| 修学旅行誘致件数 | 単位 | 目標 | | | 11 | 12 | 14 |
| | 校/年 | 実績 | 10 | 5 | 5 | — | — |
| | | 達成率 | | | 45.5% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 2,926 | 千円 | 3,215 | 千円 | 3,661 | 千円 | 4,145 | 千円 |
| うち一般財源 | 520 | 千円 | 3,215 | 千円 | 2,644 | 千円 | 4,145 | 千円 |

| 1 観光イベント開催事業 | | 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
|----------------|--|---|-----|--------|--------|--|----|--------|-----|----|--------|-----|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 観光客 伝統芸能関係者 | | 各イベントへの観客の増員, 地域伝統芸能の継承・発展を通じて市の活性化を図る。 | | | | ・笠岡湾干拓地内景観作物園場への「四季の花」の植栽事業及び花イベントの実施 ・道の駅笠岡ベイファームへの集客施策の実施。 ・市内で開催される伝統継承活動への助成。(ひったか・おしぐらんご, 白石踊, 大島の傘踊り) ・笠岡市観光連盟が主催するツアーへの助成。 | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | | ●観光メニューの整備 ・島と陸との連携による体験メニューの促進 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 520 | 千円 | 決算額 | 520 | 千円 | 決算額 | 540 | 千円 | 決算額 | 540 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 520 | 千円 | うち一般財源 | 520 | 千円 | うち一般財源 | 540 | 千円 | うち一般財源 | 540 | 千円 |

| 2 創 笠岡ぐるっと博 | | 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
|------------------|--|---|-------|---|--------|---|----|---|-------|----|--------|-------|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 市民・商店街 飲食業関係者 | | 地域の魅力(=地域資源)を再発見するとともに, 市全体がお客様をもてなす環境を作り出し, 経済的な部分も含めた地域活性化を図る。 | | | | 市内の飲食店を周り, スタンプを集め応募してもらう。 利用金額に関係なく, スタンプの数は1店舗1個とする。 | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | | 街グル(飲食店やサービス店などの参加店舗を周るミニツアー) 街ラリー(スタンプラリー形式にて市内飲食店を周る。) ・ぐるっとガールによる笠岡ぐるっと博加盟店のSNSを用いたレポートをしてもらい積極的な情報発信を図った。 <参加店舗 69店舗, ラリー応募数 1,157通> | | ⇒ ⇒ ⇒ 伸び悩んでいた福山市からの参加者を増やすため, 福山市への広報を積極的に行った。 <参加店舗 59店舗, ラリー応募数 1,556通> | | ⇒ ⇒ ⇒ <参加店舗 73店舗, ラリー応募数 3,118通> | | ⇒ ⇒ ⇒ <参加店舗 78店舗, ラリー応募数 3,394通> | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 2,406 | 千円 | 決算額 | 2,695 | 千円 | 決算額 | 3,121 | 千円 | 決算額 | 3,605 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 2,695 | 千円 | うち一般財源 | 2,104 | 千円 | うち一般財源 | 3,605 | 千円 |

【達成目標2】観光客受け入れ体制の整備

達成目標2の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|-----------------------------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 笠岡市地域産業魅力づくり応援事業(観光商品・観光サービス開拓事業) | 単位 | 目標 | | | 5 | 5 | 5 |
| | 件/年 | 実績 | 3 | 1 | 0 | — | — |
| | | 達成率 | | | 0.0% | — | — |
| 宿泊施設数 | 単位 | 目標 | | | 19 | 20 | 23 |
| | 軒 | 実績 | 16 | 21 | 21 | — | — |
| | | 達成率 | | | 110.5% | — | — |

達成目標2の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 17,720 | 千円 | 24,100 | 千円 | 6,543 | 千円 | 6,684 | 千円 |
| うち一般財源 | 3,124 | 千円 | 5,605 | 千円 | 5,319 | 千円 | 3,716 | 千円 |

| 3 観光施設整備事業 | | 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | |
|------------|--|---|--|---|--|--------|---|--------|----|--------|-------|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 観光客 | | <ul style="list-style-type: none"> ・快適な環境での海水浴 ・観光施設の安全性、快適性の確保 ・歩きやすい遊歩道の整備 | | <ul style="list-style-type: none"> ・白石島, 北木島海水浴場の水質検査 ・観光便所等観光施設の清掃管理 ・観光案内看板等観光資材の管理 ・神島遍路道の改修事業 | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ●受け入れ体制の整備 ・研修会の開催による人材の育成 ・案内看板, 道路, 公衆便所などの施設面の整備 ・白石島海水浴場公衆便所の改修 ・wi-fiステーション整備アンテナの設置 ・笠岡駅前デジタルサイネージの改修 ・観光案内看板の設置 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・白石島, 御嶽山観光トイレ修繕 ・白石島遊歩道展望台修繕 ・神島遍路道の改修工事 ・飛島待合所の新築移転工事 | | <ul style="list-style-type: none"> ・笠岡諸島交流センターへデジタルサイネージ設置 ・ふるさと村資料館の白蟻駆除・修繕 ・神島遍路道の改修工事 ・住吉港, 真鍋島等観光トイレ修繕 | | <ul style="list-style-type: none"> ・観光トイレ修繕 ・観光トイレブロック塀改修工事 ・神島遍路道の改修工事 ・住吉港, 真鍋島等観光トイレ修繕 | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 17,720 | 千円 | 決算額 | 24,100 | 千円 | 決算額 | 6,543 | 千円 | 決算額 | 6,684 | 千円 |
| | うち一般財源 | 3,124 | 千円 | うち一般財源 | 5,605 | 千円 | うち一般財源 | 5,319 | 千円 | うち一般財源 | 3,716 | 千円 |

【達成目標3】観光情報の積極的なPR

達成目標3の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|---------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 観光資料配布数 | 単位 | 目標 | | | 8,500 | 9,000 | 10,000 |
| | 部/年 | 実績 | 21,540 | 10,981 | 31,159 | — | — |
| | | 達成率 | | | 366.6% | — | — |
| 観光ホームページアクセス数 | 単位 | 目標 | | | 385,000 | 390,000 | 400,000 |
| | 件/年 | 実績 | 376,000 | 377,112 | 487,890 | — | — |
| | | 達成率 | | | 126.7% | — | — |

達成目標3の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 6,086 | 千円 | 3,268 | 千円 | 6,219 | 千円 | 7,338 | 千円 |
| うち一般財源 | 3,131 | 千円 | 3,090 | 千円 | 4,922 | 千円 | 4,794 | 千円 |

4 観光振興事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
|-------------|---|--|--------|--------|----|-------|----|-------|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | |
| 観光客 観光団体 | 様々な地域資源の魅力を外部に発信し、地域の活性化を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・観光情報を発信する。 ・観光関連団体と連携を図る。 ・修学旅行誘致を推進する。 | | | | | | | |
| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ●積極的な観光PR ・パンフレットの作成 各種パンフレットの改訂版の作成 ・ウェブページの改訂 ・セールス活動 修学旅行誘致活動含む ・地域ブランドによる経済活性化を図るため、地域資源の発掘・ブラッシュアップの検討等を行った。 ⇒笠岡駅から、カブトガニ博物館、竹喬美術館及び道の駅をめぐる「いいとこめぐりバス」を運行した。 ・笠岡市の観光ガイドブックの刷新を行った。 ・観光連盟ホームページの英語 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ⇒笠岡駅から、カブトガニ博物館、竹喬美術館及び道の駅をめぐる「いいとこめぐりバス」を運行した。 ・笠岡市の観光ガイドブックの刷新を行った。 ・神島八十八ヶ所めぐりパンフレットを作成した | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 6,086 | 千円 | 3,268 | 千円 | 6,219 | 千円 | 7,338 | 千円 |
| | うち一般財源 | 3,131 | 千円 | 3,090 | 千円 | 4,922 | 千円 | 4,794 | 千円 |

【達成目標4】道の駅の効果的な運営

| 達成目標4の指標 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|-------------|------|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| 指標名 | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 来場者数(1~12月) | 単位 | 目標 | | | 870 | 880 | 940 |
| | 千人/年 | 実績 | 852 | 865 | 837 | — | — |
| | | 達成率 | | | 96.2% | — | — |
| 販売額(1~12月) | 単位 | 目標 | | | 512,000 | 518,000 | 553,000 |
| | 千円 | 実績 | 501,842 | 498,555 | 487,860 | — | — |
| | | 達成率 | | | 95.3% | — | — |

達成目標4の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 33,847 | 千円 | 21,886 | 千円 | 41,678 | 千円 | 73,334 | 千円 |
| うち一般財源 | 19,931 | 千円 | 21,176 | 千円 | 26,117 | 千円 | 68,039 | 千円 |

| 5 道の駅整備・運営事業(再掲) | | 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | |
|-----------------------|--|--|--|--|---|--------|--|--------|--------|--------|--------|--------|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 国道2号笠岡バイパス利用者及び道の駅利用者 | | 道の駅の目的である休憩・道路情報の提供だけでなく、地元、笠岡市の新鮮な野菜・魚介類等の販売、地元食材を使った食事の提供、観光情報など、笠岡の良さを広範囲にPRできる一大情報発信基地とする。 | | ①地域振興施設として道の駅を運営する。 ②道の駅周囲の農地を利用して景観作物を咲かせ、また、農業体験施設等でイベントなどを開催する。 ③道の駅の利用者を二次的に笠岡市内の施設及び飲食店等へ誘客し、経済効果を図る。 | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ○道の駅整備 ○創・景観作物の作付 ・イベントの実施 ・新聞折込チラシの配布 ・施設の整備・管理 ・ツアーの実施 ・道の駅西側の圃場への展望台通路の設置 ・道の駅笠岡ベイファーム外構修繕工事 ・景観作物の栽培管理の委託 ・景観作物畑排水溝設置工事 | | ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・道の駅西側の圃場への展望台通路の整備 ⇒ ・景観作物畑冠水対策工事 | | ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・道の駅臨時駐車場場内歩行者通路(北側)修繕工事 ⇒ ・自走式散水機等購入 | | ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・景観作物展望台通路設置・整備工事 ⇒ ・道の駅代替駐車場舗装工事 | | | | | |
| | 直接事業費 | 決算額 | 33,847 | 千円 | 決算額 | 21,886 | 千円 | 決算額 | 41,678 | 千円 | 決算額 | 73,334 |
| | うち一般財源 | 19,931 | 千円 | うち一般財源 | 21,176 | 千円 | うち一般財源 | 26,117 | 千円 | うち一般財源 | 68,039 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 60,579 | 千円 | 52,469 | 千円 | 58,101 | 千円 | 91,501 | 千円 |
| うち一般財源 | 26,706 | 千円 | 33,086 | 千円 | 39,002 | 千円 | 80,694 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|---|--|
| ・笠岡市は歴史、地形、天候に大変恵まれています。積極的な発信と持成す心の雰囲気作りが必要と思います。大手旅行会社へも発信してください。 | → 岡山県観光連盟主催の大手旅行会社を対象とする観光商談会に積極的に参加し、笠岡諸島及び道の駅笠岡ベイファームを中心とする観光地を全国に情報発信します。 また、観光客の受入れ体制の充実として、観光ガイドサポーターの育成に努め、おもてなしによる雰囲気作りを醸成します。 |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | | |
|------------|-----------------------------|---|
| 施策の 進捗度 | A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 | B |
| | B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 | |
| | C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 | |
| | D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | |

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------------------|--|
| 未達成 指標 への 対応策 | <p>修学旅行誘致については、平成30年度末にアンケート調査(1,045校)を実施したので、その集計を行い、興味を示している学校に対し、今年度訪問活動を行う。また、近畿、東海地方の旅行会社にも訪問し、誘致のPRを実施する。</p> <p>カプトガニ博物館及び竹喬美術館については、いずれも今年度は周年記念の年となることから、イベント等を企画し、幅広く周知することにより、集客を図る。</p> <p>道の駅については、昨年度は7月豪雨の影響から、夏場の来場者が減少している。その原因として風評被害があったことから、今年度はSNS等を活用した情報発信を積極的にを行い、風評被害対策を行う。</p> |
|------------------------|--|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|----------|--|---|------------------|---|
| 総合 評価 | <p>A: 計画どおり進行している。</p> <p>B: おおむね計画どおり進行している。</p> <p>C: 計画より一部遅れている。</p> <p>D: 計画より遅れている。</p> | B | (参考) 昨年度の評価結果 | B |
| コメント | <p>・日本遺産に笠岡諸島が認定されました。石の島巡りツアーなどの観光が人気を呼びそうです。北木島の丁場は喜ばれそうです。石切唄も見てもらえそうです。観光振興につながると思います。石切りの杜の研修生にも見せてやってください。</p> <p>・達成目標1の指標の修学旅行誘致件数が減ったままの横ばいですが基準の数値の見直しが必要かと思いました。日本遺産に認定された経緯があるので今後に期待します。笠岡ぐるっと博は一般財源が膨らんでいますがどこまでできるのかは見直しと検討の余地はありますが、継続の価値はあると思います。市内の飲食店や販売店がリアルタイムに更新される冊子は今あまりないこと。笠岡市民、近隣市町村の市民は笠岡の知られざるお店を発掘できたり、市内の飲食店を応援でき、期間も適切にありご家庭のペースで楽しまれていることが多く、観光課や市民からのSNSの発信も年々増加しているように思います。達成目標3観光情報の積極的なPRとしてインフルエンサーを誘致することも今の社会にマッチしていますが、笠岡にも大手企業や全国雑誌に起用されているブロガーがおられますので市民からの起用もご検討頂けたらと思いました。</p> <p>・観光HPもわかりやすく、工夫されています。</p> <p>・昨年度の豪雨災害及び島しょ部の後継者不足により観光客や修学旅行が減少しているが、積極的に事業に取り組まれている。地道な活動が観光客増加につながるため引き続き取り組まれます。</p> <p>・かさおかブランドは頑張っていると思います。しかし、カプトガニ博物館入場者数と竹喬美術館入場者数が、目標より下回っていることが気になります(竹喬美術館は前年度より増加)。水害の影響があるとのことですので、今年度は多くなると期待しています。</p> <p>・また日本遺産に認定されたことは非常に良かったと思いますので、これを活かして観光客誘致に取り組んでいただきたい。</p> <p>・日本遺産認定を機に多くの人達に笠岡市に来ていただきたいと思う。ただ、日本遺産は全国の100の地域が認定を受けるので、他所とは差別化を図らないと埋没してしまう。尾道に来た人や福山市の鞆の浦に来た人にも、ついでに足を伸ばしてもらえるように連携も必要と思う。</p> | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|--------|--|-----|-----------|-----|----------------|
| 施策 No. | 1-6 | 施策名 | 干拓地農業の活性化 | 担当課 | 農政水産課 |
| 大項目 | 活気あるまちづくり | | | | |
| 基本方針 | 長い年月をかけて、先人の知恵と工夫によってつくられた干拓地を有効活用するため、農地のより効率的な利用と、干拓地農業の周知を進めるとともに、環境負荷に配慮した持続可能な循環型農業の実現を目指します。 | | | 関係課 | 建設管理課 商工観光課 |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|--------------------------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 | R7 目標 |
| 農業事業所数(経済センサス統計調査) ※笠岡湾干拓地内 | 単位 | 目標 | | | 10 | 10 | 11 | 12 |
| | 事業所 | 実績 | 8 | 公表なし | 公表なし | — | — | — |
| | | 達成率 | | | #VALUE! | — | — | — |
| 従業員数(経済センサス統計調査) ※笠岡湾干拓地内 | 単位 | 目標 | | | 130 | 350 | 380 | 400 |
| | 人 | 実績 | 111 | 公表なし | 公表なし | — | — | — |
| | | 達成率 | | | #VALUE! | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|---------|
| 【達成目標1】 | 農地の有効利用 |
|---------|---------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|-----------------------------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 耕作面積 ※干拓地の作付調査(年2回調査合計値) | 単位 | 目標 | | | 305 | 323 | 324 |
| | ha | 実績 | 329 | 340 | 338 | — | — |
| | | 達成率 | | | 110.7% | — | — |
| 農業法人数 | 単位 | 目標 | | | 26 | 26 | 27 |
| | 法人 | 実績 | 24 | 26 | 26 | — | — |
| | | 達成率 | | | 100.0% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|------------|--------|----|---------|----|--------|----|---------|----|
| 直接 事業費 | 50,239 | 千円 | 104,832 | 千円 | 64,487 | 千円 | 395,782 | 千円 |
| うち 一般財源 | 5,402 | 千円 | 7,344 | 千円 | 15,050 | 千円 | 97,900 | 千円 |

| 1 干拓地有効活用推進事業 | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|---|----|---------------------|------------|-------|---|------------|--------|--------|------------|-------|----|
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | |
| 笠岡湾干拓地 営農者 市民 | | | 笠岡湾干拓地が有効活用され活性化する。 | | | 干拓地遊休地(民地)等の有効活用を図るため、営農希望者の斡旋等を行うと共に、粗飼料基地北端エリアに参入する農業法人の基盤整備を進める。併せて干拓地情報の発信に努め、干拓地の活性化を図る。 | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| 取組内容 | ・民有農地の有効利用支援と調整 ⇒ ・粗飼料基地の貸付 ⇒ (新規に144haの公募貸付を実施) ・粗飼料基地北端エリアへの農業関連企業誘致 ⇒ ①・干拓見学会の実施 ⇒ | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 直接 事業費 | 決算額 | 83 | 千円 | 決算額 | 5,003 | 千円 | 決算額 | 29,732 | 千円 | 決算額 | 8,653 | 千円 |
| | うち 一般財源 | 83 | 千円 | うち 一般財源 | 798 | 千円 | うち 一般財源 | 1,632 | 千円 | うち 一般財源 | 921 | 千円 |

| 2 農業振興事業(再掲) | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|--------|--|------------|--------|---------------------------------------|------------|--------|--------|------------|---------|----|
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | |
| 農業者新規就農希望者 | | | 農業者の規模拡大、経営の効率化を図る。新規就農者により農業人口を増加させる。 | | | 認定農業者制度を活用した農家の育成 干拓地を生かした大規模農業の推進 | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| 取組内容 | ○農産物のブランド化 ⇒ ○認定農業者認定・支援事業 ⇒ ○担い手確保・育成・支援事業 ⇒ ○新規就農者支援事業 ⇒ ○耕作放棄地解消事業 ⇒ ●農道離着陸場の多面的利用 延べ回数 257回 ⇒ 延べ日数 250日 ・産地パワーアップ事業 ・農業のデザイン化プロジェクト | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 直接 事業費 | 決算額 | 50,156 | 千円 | 決算額 | 99,829 | 千円 | 決算額 | 34,755 | 千円 | 決算額 | 396,746 | 千円 |
| | うち 一般財源 | 5,319 | 千円 | うち 一般財源 | 6,546 | 千円 | うち 一般財源 | 13,418 | 千円 | うち 一般財源 | 299,073 | 千円 |

【達成目標2】干拓地農業と農産物の周知

達成目標2の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|----------------|------|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 道の駅来場者数(1~12月) | 単位 | 目標 | | | 870 | 880 | 940 |
| | 千人/年 | 実績 | 852 | 865 | 837 | — | — |
| | | 達成率 | | | 96.2% | — | — |
| 視察の受け入れ件数 | 単位 | 目標 | | | 15 | 25 | 25 |
| | 件/年 | 実績 | 8 | 9 | 6 | — | — |
| | | 達成率 | | | 40.0% | — | — |

達成目標2の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 33,847 | 千円 | 21,886 | 千円 | 41,678 | 千円 | 73,334 | 千円 |
| うち一般財源 | 19,931 | 千円 | 21,176 | 千円 | 26,117 | 千円 | 68,039 | 千円 |

3 **創** 道の駅整備・運営事業(再掲)

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 |
|-----------------------|--|--|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | |
| 国道2号笠岡バイパス利用者及び道の駅利用者 | 道の駅の目的である休憩・道路情報の提供だけでなく、地元、笠岡市の新鮮な野菜・魚介類等の販売、地元食材を使った食事の提供、観光情報など、笠岡の良さを広範囲にPRできる一大情報発信基地とする。 | ①地域振興施設として道の駅を運営する。 ②道の駅周囲の農地を利用して景観作物を咲かせ、また、農業体験施設等でイベントなどを開催する。 ③道の駅の利用者を二次的に笠岡市内の施設及び飲食店等へ誘客し、経済効果を図る。 |

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
|-------|---------------------|--------|---------------------|--------|--------------------------|----|-------------------|--------|----|--------|--------|----|
| 取組内容 | ○道の駅整備 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | | | |
| | 創・景観作物の作付 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | | | |
| 取組内容 | ・イベントの実施 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | | | |
| | ・新聞折込チラシの配布 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | | | |
| | ・施設の整備・管理 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | | | |
| | ・ツアーの実施 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | | | |
| | ・道の駅西側の圃場への展望台通路の設置 | ⇒ | ・道の駅西側の圃場への展望台通路の整備 | ⇒ | ・道の駅臨時駐車場場内歩行者通路(北側)修繕工事 | ⇒ | ・景観作物展望台通路設置・整備工事 | ⇒ | | | | |
| | ・道の駅笠岡ベイファーム外構修繕工事 | ⇒ | ・景観作物畑冠水対策工事 | ⇒ | ・自走式散水機等購入 | ⇒ | ・道の駅代替駐車場舗装工事 | ⇒ | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 33,847 | 千円 | 決算額 | 21,886 | 千円 | 決算額 | 41,678 | 千円 | 決算額 | 73,334 | 千円 |
| | うち一般財源 | 19,931 | 千円 | うち一般財源 | 21,176 | 千円 | うち一般財源 | 26,117 | 千円 | うち一般財源 | 68,039 | 千円 |

【達成目標3】持続可能な循環型農業の確立

達成目標3の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|---------------|------|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 共同堆肥舎の牛糞堆肥搬出量 | 単位 | 目標 | | | 11,000 | 11,000 | 11,000 |
| | t/年 | 実績 | 10,709 | 8,902 | 11,207 | — | — |
| | | 達成率 | | | 101.9% | — | — |
| 寺間遊水池のCOD | 単位 | 目標 | | | 17 | 17 | 16 |
| | mg/L | 実績 | 15 | 18 | 16 | — | — |
| | | 達成率 | | | 106.3% | — | — |

達成目標3の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 257 | 千円 | 239 | 千円 | 248 | 千円 | 146 | 千円 |
| うち一般財源 | 157 | 千円 | 239 | 千円 | 248 | 千円 | 146 | 千円 |

4 **創** バイオマスタウン推進事業(再掲)

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
|---------------------|---|---|----|--------------------|----|---------------------------|----|--------|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | |
| 笠岡湾干拓地 営農者 市民 | 笠岡湾干拓地の特性を生かしたバイオマス資源の利活用を図りながら、地域農業の活性化を目指すとともに、環境にやさしい農業を推進し、持続可能な循環型社会の形成に資する。 | 笠岡湾干拓地地域バイオマスタウン構想のもと、バイオマス資源の利活用について、産学官による協議を行い、牛ふん堆肥の利活用などに取り組む。 | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
| 取組内容 | | ・BDFの干拓地内の利用 ・添加物牛ふん堆肥による野菜栽培実験 ・バイオマス利活用推進協議会活動 | | ・牛ふん堆肥の利活用の検討 ⇒ | | ⇒ ⇒ (畜産クラスター協議会へ移管) | | ⇒ ⇒ | |
| 直接事業費 | 決算額 | 111 | 千円 | 124 | 千円 | 146 | 千円 | 0 | 千円 |
| | うち一般財源 | 11 | 千円 | 124 | 千円 | 146 | 千円 | 0 | 千円 |

5 **創** 笠岡湾干拓地水質浄化対策事業(再掲)

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
|---------------------|---|--|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | |
| 笠岡湾干拓地 営農者 市民 | 笠岡湾干拓地の水環境を改善する取組を行うとともに、環境にやさしい農業を推進し、持続可能な循環型社会の形成に資する。 | 笠岡湾干拓地及び周辺地区の農業関係者、市民及び行政が連携して環境負荷の低減に努め、干拓地の水質保全対策の推進を図る。 | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
| 取組内容 | | ・負荷削減活動の推進 ・耕畜連携による堆肥の適正処理 ・茂平地区下水道の整備 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | |
| 直接事業費 | 決算額 | 146 | 千円 | 115 | 千円 | 102 | 千円 | 146 | 千円 |
| | うち一般財源 | 146 | 千円 | 115 | 千円 | 102 | 千円 | 146 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|---------|----|---------|----|---------|----|
| 直接事業費 | 84,343 | 千円 | 126,957 | 千円 | 106,413 | 千円 | 469,262 | 千円 |
| うち一般財源 | 25,490 | 千円 | 28,759 | 千円 | 41,415 | 千円 | 166,085 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|---|--|
| ・法的に可能であるならば、観光農園の開発を検討してはいかがでしょうかと思います。 | → ・干拓地での観光農園としての取り組みは現状収穫体験や営農施設の見学等を行っています。 ・観光農園の開発については法的規制や既存の農業との関わり合いなども考慮しながら検討していきたいと思っています。 |
| ・畜産、野菜、花栽培と広いエリアでなされています。外部の皆様の見学会を増やすと農業に興味を持つ人、販路の増に役立つと思います。 | → ・見学会のほか視察等の受け入れを行う中で笠岡中央病院の方が参加され、病院食の地元産の割合が向上するといった実例も出てきています。今後も取り組みを続ける中で実例を増やしていければと思います。 |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | |
|--|----------|
| 施策の進捗度 A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | B |
|--|----------|

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------|---|
| 未達成指標への対応策 | 平成30年度については、7月豪雨の影響もあり、道の駅の利用者や干拓の視察の目標には到達しなかった。道の駅の利用者数については、ホームページなどでの周知を図る。干拓の視察については今後も希望を伺い、視察者ごとのニーズに合わせたコース設定を行う。 |
|------------|---|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|------|---|----------|------------------|----------|
| 総合評価 | A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。 | B | (参考) 昨年度の評価結果 | B |
| コメント | ・大規模農業施設「サラ」の施設ができ、本格的な栽培が始まったことは大きな成果だと思います。 ・持続可能な社会に向けて循環型農業やバイオマス推進事業は成果が見えにく根気のいることですが、広報活動で市民の意識を育んで頂き理解を勧めて頂きたいです。また地域で野菜や花栽培を広いエリアでされています。個人の農業者の支援に繋がると思うので、路地売りマップ、お花の直売所のマップを作ってみていただいたり、農業体験も積極的にされてみてはいかがでしょうか。 ・道の駅もいろいろ工夫され、来場者が増えることを願います。ドッグラン目当てに来られる方も増えているようです。 ・発表されていない実績があるが、現状を適切に分析し他の施策とも連携し、市民が快適に暮らせてさらに干拓地が笠岡の宝となるよう、より一層努力されたい。 ・今回の施策評価では、干拓地のSARAが評価に反映されなかったのですが、次回評価には反映されると思いますので、期待が持てます。 ・未利用地も無く、十分に活用されている。 | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|--------|---|-----|-----------------|------|-------|
| 施策 No. | 2-1 | 施策名 | 魅力的で快適に暮らせる都市形成 | 主担当課 | 都市計画課 |
| 戦略の柱 | 活性化戦略 “賑わう” | | | | |
| 基本方針 | 市民の豊かで快適な暮らしを守り、子育て世帯の居住を誘導するため、「住みやすい」、「楽しめる」、「発進力のある」まちづくりを目指して、中心市街地では公共施設の再編・集約と居住促進政策の推進により本市の魅力を活かした「都市機能の拠点」及び「歩いて暮らせるまち」を形成し、地域においては恵まれた自然環境や田園風景と調和させながら地域特性にあった土地利用に取り組みます。 | | | 関係課 | 全庁 |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|-------------------------------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 | R7 目標 |
| 人口集中地区の人口比率 (国勢調査基準に準ずる) | 単位 | 目標 | | | 34.5 | 35.0 | 36.0 | 38.0 |
| | % | 実績 | 33.8 | 33.9 | 34.1 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 98.8% | — | — | — |
| 「公共交通の利便性の向上」の満足度 (市民意識調査) | 単位 | 目標 | | | △ 30.0 | — | △ 26.5 | △ 19.5 |
| | % | 実績 | △ 39.1 | — | △ 44.6 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 67.3% | — | — | — |
| 「調和のとれた土地利用」の満足度 (市民意識調査) | 単位 | 目標 | | | △ 15.0 | — | △ 11.5 | △ 4.5 |
| | % | 実績 | △ 26.5 | — | △ 36.6 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 41.0% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|---------------------|
| 【達成目標1】 | 地域の特性を活かした個性あるまちづくり |
|---------|---------------------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|-------------------------------|------|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 「公共交通の利便性の向上」の満足度 (市民意識調査) | 単位 | 目標 | | | △ 30.0 | — | △ 26.5 |
| | % | 実績 | △ 39.1 | — | △ 44.6 | — | — |
| | | 達成率 | | | 67.3% | — | — |
| 地域公共交通の利用者数 | 単位 | 目標 | | | 1,962 | 1,963 | 1,965 |
| | 千人/年 | 実績 | 1,958 | 1,955 | 1,916 | — | — |
| | | 達成率 | | | 97.7% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|
| 直接事業費 | 310,488 | 千円 | 355,887 | 千円 | 314,126 | 千円 | 300,764 | 千円 |
| うち一般財源 | 277,758 | 千円 | 267,922 | 千円 | 259,403 | 千円 | 255,178 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|--|--------|-----|---------------------------------------|--------|-----|--|--------|-----|--------|--------|-----|----|
| 1 土地利用の規制業務 | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | |
| 市内の土地所有者又は土地利用者 | | | 土地の利用方法を規制することで、健全で均等のとれたまちづくりの誘導を図る。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・良好なまちづくりを推進するため、土地利用についての規制を適切に行う。 ・がけくずれ等のおそれが著しい市街地等の区域内において、宅地造成に伴う災害防止のために必要な規制を行う。 ・公共事業の用地を確保するため、また、土地を総合的・計画的に利用するために、一定面積以上の土地取引を監視する。 | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| 取組内容 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ●開発行為などの許可 ・土地造成及び建築行為の規制 ・危険度が高い地区の宅地造成の規制 ・一定面積以上の土地利用の監視 ●土地利用の見直し事業として都市計画基礎調査を行う。 | | | | | | | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 258 | 千円 | 決算額 | 298 | 千円 | 決算額 | 236 | 千円 | 決算額 | 175 | 千円 |
| | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|--|--------|--------|--|--------|--------|---|--------|--------|--------|--------|--------|----|
| 2 建築物等の設置規制に関する業務 | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | |
| 市内に建築行為を行う物および建築物を所有する者 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を保護し、公共の福祉の増進を図る。 ・災害時における被害を未然に防ぎ、被害拡大の防止を図る。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・建築確認申請の受理、許可 ・建設リサイクルに関する受理 ・岡山県福祉のまちづくり条例に関する物件の受理 ・建築物耐震診断事業に関する補助 ・木造住宅耐震改修事業に関する補助 ・住宅リフォーム助成 | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| 取組内容 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ●建築確認及び指導 ●建築物の耐震診断、耐震改修事業 ●建築物の耐震診断、耐震改修に関する普及啓発事業 創・住宅リフォーム助成 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 26,367 | 千円 | 決算額 | 52,915 | 千円 | 決算額 | 40,081 | 千円 | 決算額 | 40,742 | 千円 |
| | うち一般財源 | 23,132 | 千円 | うち一般財源 | 46,135 | 千円 | うち一般財源 | 38,460 | 千円 | うち一般財源 | 37,475 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--------|--|----|--------|--|----|--------|--------|----|--------|--------|----|
| 3 都市計画策定業務 | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 都市計画区域内に在住の市民 | | | <ul style="list-style-type: none"> 健全で均等のとれたまちづくりの誘導を図る。 効率的な道路網を形成し、便利で安全な道路の整備を促進する。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 都市計画法の主旨を遵守し、健全なまちづくりを誘導する。 地方分権時代に対応した、地域の特性に適合した健全なまちづくりを誘導する。 都市計画審議会の健全な運営に努力し、都市計画への反映に努める。 見直しを行った一部の都市計画道路について、今後の整備手法について検討する | | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | | | 取組内容 | | | 取組内容 | | | 取組内容 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ●用途地域などの変更 ●線引き廃止の効果把握 ●法に基づく都市計画の変更手続き ●過年度業務で実施したデータにより最新の都市計画図に修正を行う。 ●JR笠岡駅南改札口設置に伴う基本構想を策定する。 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ●JR笠岡駅周辺整備基本構想の検討を行う。 ●駅だけでなく周辺エリア全体の基本構想について検討を行う。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ●JR笠岡駅周辺整備基本構想を策定。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ●JR笠岡駅周辺にぎわい創生に係る調査検討業務の実施 ●JR笠岡駅南北連絡施設等整備検討業務の実施 ●立地適正化計画策定業務の実施 | | | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 3,276 | 千円 | 決算額 | 2,368 | 千円 | 決算額 | 13,890 | 千円 | 決算額 | 19,281 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 4,923 | 千円 | うち一般財源 | 9,581 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--------|--|----|--------|---|----|--------|--------|----|--------|--------|----|
| 4 公営住宅管理業務 | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 市営住宅居住者 | | | 建物や設備等の周辺環境を良好な状態にし、入居者のより良い居住環境を維持する。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅の維持・管理・家賃の決定・家賃の徴収 ・入居者の異動管理 ・入居者の募集 | | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | | | 取組内容 | | | 取組内容 | | | 取組内容 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ●笠岡市公営住宅等長寿命化計画事業 ・一番町団地耐震診断 ・小黒崎団地(C-1)外部改修工事 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・一番町・小黒崎団地耐震診断 ・小黒崎団地(C-2)外部改修工事 ・中央ビルエレベーター改修工事 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・小黒崎団地(C-3)外部改修工事 ・本町ビルインターホン更新工事 ・一番町団地A1, A2棟外壁等工事 ・小黒崎団地B1, B2棟防水等工事 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・一番町団地C-3棟外部改修工事 | | | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 91,844 | 千円 | 決算額 | 106,249 | 千円 | 決算額 | 71,775 | 千円 | 決算額 | 50,544 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 72,781 | 千円 | うち一般財源 | 36,079 | 千円 | うち一般財源 | 35,888 | 千円 | うち一般財源 | 29,000 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--------|-----------------------|----|--------|---|----|--------|--------|----|--------|-----|----|
| 5 景観の規制業務 | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 市民 | | | 健全で均整のとれたまちづくりの誘導を図る。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・景観法の主旨を遵守し、健全なまちづくりを誘導する。 ・地方分権時代に対応した、地域の特性に適合した健全なまちづくりを誘導する。 | | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | | | 取組内容 | | | 取組内容 | | | 取組内容 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ●屋外広告物の許可 ・屋外広告物の規制・誘導 ・違反広告物のパトロール | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 255 | 千円 | 決算額 | 297 | 千円 | 決算額 | 236 | 千円 | 決算額 | 158 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 |

| 6 公園管理業務 | | 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
|-----------|------------|--|----|------------|---------|--|------------|---------|----|------------|---------|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 公園・緑地利用者 | | 公園・緑地利用者の施設利用に関する利便性や満足度の向上を図る。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 公園・緑地施設の充実や適切な維持管理に努め、安心して快適な施設利用を推進する。 関係法手続の高度化処理により、利用者の利便性向上を図る。 関係情報の開示などにより、利用者の満足度の向上を図る。 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | | <ul style="list-style-type: none"> ●小規模公園整備 ●公園の指定管理者 ●公園の里親制度 ●公園施設の改修及び機能の充実 ●公園施設の老朽化に伴う安全対策 ●緑と水の回廊づくり ●緑化の推進 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| 直接 事業費 | 決算額 | 175,238 | 千円 | 決算額 | 180,526 | 千円 | 決算額 | 174,674 | 千円 | 決算額 | 176,602 | 千円 |
| | うち 一般財源 | 168,595 | 千円 | うち 一般財源 | 172,474 | 千円 | うち 一般財源 | 166,898 | 千円 | うち 一般財源 | 165,860 | 千円 |

| 7 街路樹管理業務 | | 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
|-----------------|------------|----------------------------|----|------------|--------|--|------------|--------|----|------------|--------|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 道路利用者と周辺に居住する市民 | | 道路利用者及び周辺住民の利便性や満足度の向上を図る。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 街路樹の適切な維持管理に努め、安心して快適なみどりのあるまちを推進するとともに、道路周辺の生活環境の向上を図る。 街路樹に関する苦情、要望に迅速に対応し、利用者のニーズを満たすことで満足度の向上を図る。 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | | 街路樹の適切な維持管理 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| 直接 事業費 | 決算額 | 13,250 | 千円 | 決算額 | 13,234 | 千円 | 決算額 | 13,234 | 千円 | 決算額 | 13,262 | 千円 |
| | うち 一般財源 | 13,250 | 千円 | うち 一般財源 | 13,234 | 千円 | うち 一般財源 | 13,234 | 千円 | うち 一般財源 | 13,262 | 千円 |

【達成目標2】産業振興に向けた調和ある土地利用

達成目標2の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|----------------------|------|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 笠岡港工業用地以外での新規創業開始企業数 | 単位 | 目標 | | | 2 | 2 | 2 |
| | 企業/年 | 実績 | 1 | 0 | 0 | — | — |
| | | 達成率 | | | 0.0% | — | — |
| 事業用地造成促進奨励金支給件数 | 単位 | 目標 | | | 1 | 1 | 1 |
| | 件 | 実績 | 0 | 1 | 1 | — | — |
| | | 達成率 | | | 100.0% | — | — |

達成目標2の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 14,900 | 千円 | 0 | 千円 | 930 | 千円 | 13,744 | 千円 |
| うち一般財源 | 14,900 | 千円 | 0 | 千円 | 930 | 千円 | 13,744 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------------|--|-------------------------------|-------------------|---|------------------------|----|-------------------|-----|----|--------|---|----|
| 8 | 新設土地造成促進奨励事業 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 開発面積1,000㎡以上の住宅用地又は3,000㎡以上事業用地を開発する者 | | 民間の資本による開発を奨励し、公共用施設の整備推進を図る。 | | 市内の土地の開発許可を受けて、公共用施設として建設した道路、公園、緑地、配水施設、排水施設及び下水道施設を市に寄付した者に対して奨励金を交付する。 | | | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| | ●民間活力を活用した工業団地の造成 新設土地造成奨励金のPR <補助金交付件数 1件、住宅用地19区画> ●優遇制度のPR 笠岡市のホームページに掲載によるPR活動 | | ⇒ <補助金交付件数 0件> | | ⇒ <補助金交付件数 1件 工業用地> | | ⇒ <補助金交付件数 0件> | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 14,900 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 930 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 |
| | うち一般財源 | 14,900 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 930 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|
| 直接事業費 | 325,388 | 千円 | 355,887 | 千円 | 315,056 | 千円 | 314,508 | 千円 |
| うち一般財源 | 292,658 | 千円 | 267,922 | 千円 | 260,333 | 千円 | 268,922 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|--|--|
| ・JR笠岡駅周辺整備を構想に沿って、着実に取り組んでください。その際、他の大型事業とのバランスをとって、将来負担が過大にならないよう、十分に検討を加えていただきたいと思います。 | → 本年度、「笠岡駅周辺賑わい創生調査・検討業務」及び「笠岡駅南北連絡施設等整備検討業務」を実施しています。「笠岡駅南北連絡施設等整備検討業務」では、整備手法及びコスト等の分析も行ってまいりますので、将来負担については慎重に検討してまいります。 |
| ・JR笠岡駅周辺整備は是非とも進めていただきたいと思います。 ・JR笠岡南口の新設、南口一帯の整備は活気ある町づくりに不可欠。早期の取組みを願う。 | → 本年度、「笠岡駅周辺賑わい創生調査・検討業務」及び「笠岡駅南北連絡施設等整備検討業務」を実施しています。JR笠岡駅南口の新設については、「笠岡駅南北連絡施設等整備検討業務」の中で、現在整備手法及びコスト等を含めて検討を行っております。また、南口一帯の整備は、官民連携による整備等も視野に入れて検討してまいります。 |
| ・古い市営住宅がまだ市内各地に点在している。安全・運営の面からも集約を進められたい。 | → 長寿化計画により、順次廃止・集約を図っていく予定としています。 |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | | |
|--------|-----------------------------|---|
| 施策の進捗度 | A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 | B |
| | B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 | |
| | C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 | |
| | D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | |

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------|--|
| 未達成指標への対応策 | 公共交通については、平成30年度に福山市と共同で総合時刻表を作成した。バス路線等を知らない人にも分かりやすい時刻表になっているので、積極的に活用を呼びかけることで、「公共交通の利便性向上」に努めていきたい。 土地利用については、現在策定に向けて作業を進めている立地適正化計画等により、適正で調和の取れた土地利用の実現に努めていきたい。 |
|------------|--|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|------|---|---|------------------|---|
| 総合評価 | A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。 | C | (参考) 昨年度の評価結果 | C |
| コメント | <ul style="list-style-type: none"> ・2総合指標から人口集中地区の人口比率は上がっていますが調和のとれた土地利用としては満足度が下回っていることが気になります。笠岡駅周辺を活性化することも大切かも知れませんが市街地以外の調和も並行して市民に理解できるように勤めて頂けたらとおもいます。公共交通の利便性についてとてもわかりやすくあるが、最近時刻表はスマホで検索される場合が多く、どのような対象者のための時刻表か気になりました。 ・様々な計画が進んでいるようですが、多くの方の意見を参考に、身の丈に合った都市形成をして下さい ・事業に取り組み、即実績へ反映されるものばかりではないが、着実に取り組まれている。引き続き、関係部署と連携し魅力的で快適に暮らせる都市、笠岡市を目指されたい。 ・「公共交通の利便性の向上」の満足度向上は非常に良いことだと思いますが、JR笠岡駅前の活性化がまだ目に見えてこないため、評価が下がったように感じます。 ・また頑張っていることが説明で分かったのですが、指標があまり変わっていなかったことも影響していると思います。 ・美の浜グランド売却による住宅団地の整備が周辺の宅地売却に繋がったり、国道2号バイパス建設の進捗により新笠岡港の工業用地の完売に繋がったように投資が投資を生むと聞いたが、JR笠岡駅南北連絡施設の整備については、駅南の面積が狭小で費用対効果が低いのではないかと感じる。商店街で買い物をする人も少ない中で、駅周辺整備が本当に必要な施策なのか疑問である。 | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|-------|--|-----|---------|------|----------|
| 施策No. | 2-2 | 施策名 | 定住・住宅対策 | 主担当課 | 定住促進センター |
| 戦略の柱 | 活性化戦略 “賑わう” | | | | |
| 基本方針 | 市民と協働しながら、市政のあらゆる分野で定住促進事業を展開することによって、市民一人一人が笠岡に住んでいて良かったと幸せを実感できるような、「住みたい住み続けたいまち 笠岡」を目指します。 | | | 関係課 | 全庁 |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|------------------------------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 | R7 目標 |
| 社会動態人口年間増減数 | 単位 | 目標 | | | △ 50 | 0 | 4 | 12 |
| | 人/年 | 実績 | △ 400 | △ 221 | △ 305 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 16.4% | — | — | — |
| 20～39歳の女性婚姻率 | 単位 | 目標 | | | 2.88 | 2.88 | 2.88 | 2.88 |
| | ‰ | 実績 | 2.48 | 2.44 | 2.11 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 73% | — | — | — |
| これからも笠岡市に住み続けたいと感じている市民の割合(市民意識調査) | 単位 | 目標 | | | 55.0 | — | 60.0 | 67.0 |
| | % | 実績 | 53.1 | — | 59.1 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 107% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

【達成目標1】若者を中心とした地元定着・移住促進

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|-------------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 若者会議参加登録者数 | 単位 | 目標 | | | 120 | 120 | 120 |
| | 人 | 実績 | 96 | 126 | 73 | — | — |
| | | 達成率 | | | 60.8% | — | — |
| 若者会議延べ参加者数 | 単位 | 目標 | | | 500 | 500 | 500 |
| | 人 | 実績 | 440 | 323 | 161 | — | — |
| | | 達成率 | | | 32% | — | — |
| 地域おこし協力隊隊員数 | 単位 | 目標 | | | 10 | 10 | 10 |
| | 人 | 実績 | 5 | 8 | 10 | — | — |
| | | 達成率 | | | 100% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 3,321 | 千円 | 27,961 | 千円 | 34,554 | 千円 | 34,691 | 千円 |
| うち一般財源 | 653 | 千円 | 20,222 | 千円 | 31,315 | 千円 | 31,921 | 千円 |

| 1 創 若者会議開催事業 | | | | | | | | | | | | |
|---|------------|-------|---|------------|-------|---|------------|-------|--|------------|-------|----|
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | |
| 市内在住の若者 | | | 18歳から39歳までの人を対象に若者会議を開催し、若者が意見を出し合い、若者が住みやすいまちづくりを進め、地元定着を促進するとともに、笠岡の未来を担う人材を育成する。 | | | 若者会議を開催し、コーディネーターの指導の下、若者が考え、若者が企画し、若者が実行するプロジェクトの実現に向けた支援を行う。 | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| 取組内容 | | | 取組内容 | | | 取組内容 | | | 取組内容 | | | |
| ・若者会議開催事業 <登録者数:136人> <開催回数:3回> <出席者:延274人, 91.3人/回> | | | ⇒ <登録者数:96人> <開催回数:12回> <出席者:延440人, 36.7人/回> <プロジェクト数:9> | | | ⇒ <登録者数:126人> <開催回数:11回> <出席者:延323人, 29.4人/回> <プロジェクト数:6> | | | ⇒ <登録者数:73人> <開催回数:10回> <出席者:延161人, 16.1人/回> <プロジェクト数:5> | | | |
| 直接 事業費 | 決算額 | 2,691 | 千円 | 決算額 | 6,743 | 千円 | 決算額 | 3,560 | 千円 | 決算額 | 2,405 | 千円 |
| | うち 一般財源 | 23 | 千円 | うち 一般財源 | 4 | 千円 | うち 一般財源 | 1,360 | 千円 | うち 一般財源 | 853 | 千円 |

| 2 創 地域おこし協力隊事業 | | | | | | | | | | | | |
|---|------------|-----|---|------------|--------|---|------------|--------|--|------------|--------|----|
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | |
| 市内各地域 | | | 都市部から隊員を受け入れ、地域協力活動に従事してもらうことで、新たな担い手として地域を活性化し、移住・定住を推進する。 | | | 「時代に合った特色ある地域をつくる。」「笠岡への新しいひとの流れをつくる。」という創生総合戦略の目標達成に向け、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの地域協力活動に興味を持っている都市部の若者を地域おこし協力隊に委嘱した。 | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| 取組内容 | | | 取組内容 | | | 取組内容 | | | 取組内容 | | | |
| ・地域おこし協力隊事業 <H27年度採用 5名> ※H28.4.1付け委嘱 | | | ⇒ <H28年度活動 5名> 金浦1, 六島1, 新山2, 全域1 <H28年度採用 3名> ※H29.4.1付け委嘱 2人 ※H29.5.1付け委嘱 1人 | | | ⇒ <H29年度活動 8人> 金浦1, 六島1, 新山2, 全域2, 白石1, 大島1 <H29年度採用 2名> ※H30.5.1付け委嘱 1人 ※H30.10.1付け委嘱 1人 | | | ⇒ <H30年度活動 9人> 金浦1, 六島1, 新山2, 全域2, 大島1, 白石1, 飛島1 <H30年度採用 2名> ※H31.5.1付け委嘱 1人 | | | |
| 直接 事業費 | 決算額 | 630 | 千円 | 決算額 | 21,218 | 千円 | 決算額 | 30,994 | 千円 | 決算額 | 32,286 | 千円 |
| | うち 一般財源 | 630 | 千円 | うち 一般財源 | 20,218 | 千円 | うち 一般財源 | 29,955 | 千円 | うち 一般財源 | 31,068 | 千円 |

【達成目標2】結婚応援・子育て支援

達成目標2の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|----------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 結婚応援イベント参加人数 | 単位 | 目標 | | | 120 | 120 | 120 |
| | 人/年 | 実績 | 190 | 103 | 49 | — | — |
| | | 達成率 | | | 40.8% | — | — |
| 新婚世帯家賃助成新規交付件数 | 単位 | 目標 | | | 30 | 30 | 30 |
| | 件/年 | 実績 | 21 | 15 | 4 | — | — |
| | | 達成率 | | | 13% | — | — |

達成目標2の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 6,698 | 千円 | 9,083 | 千円 | 9,404 | 千円 | 5,307 | 千円 |
| うち一般財源 | 2,441 | 千円 | 6,442 | 千円 | 8,181 | 千円 | 5,304 | 千円 |

3 創 結婚応援事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|---------|---|---|----|---|-------|--|--------|----------------------|----|--------|-----|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 独身の男女 | 結婚成立を促進することにより、未婚・晩婚化対策を図る。中期的な視野として少子化・人口減対策を図る。 | 結婚相談所を設置し、まじめに結婚を考えている独身の男女を対象に、希望する相手を紹介する。 H27年度から市主催、H28年度から社会福祉協議会主催のカップリングイベントを実施。 | | | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ・結婚相談 ・カップリングイベント | ⇒ ⇒ | | ⇒ ⇒ ・カジュアルパーティ | | ⇒ ⇒ ・カジュアルパーティ | | ⇒ ⇒ ・カジュアルパーティ | | | | |
| | 【結婚相談】 ＜登録者数：158人＞ ＜成婚数：1組＞ 【カップリングイベント】 ＜開催回数：3回＞ ＜参加者数：88人＞ ＜カップリング数：12組＞ | 【結婚相談】 ＜登録者数：89人＞ ＜成婚数：2組＞ 【カップリングイベント】 ＜開催回数：9回＞ ＜参加者数：190人＞ ＜カップリング数：37組＞ | | 【結婚相談】 ＜登録者数：103人＞ ＜成婚数：1組＞ 【イベント】 ＜開催回数：6回＞ 内カップリング3回 ＜参加者数：103人＞ ＜カップリング数：11組＞ | | 【結婚相談】 ＜登録者数：72人＞ ＜成婚数：0組＞ 【イベント】 ＜開催回数：4回＞ 内カップリング4回 ＜参加者数：49人＞ ＜カップリング数：8組＞ | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 1,087 | 千円 | 決算額 | 2,709 | 千円 | 決算額 | 2,662 | 千円 | 決算額 | 262 | 千円 |
| | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 68 | 千円 | うち一般財源 | 1,439 | 千円 | うち一般財源 | 262 | 千円 |

4 創 井笠圏域結婚推進事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|---------|---|---|----|--|-----|--|--------|--------|----|--------|-----|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 独身の男女 | 結婚を考えている人に、出会いの場を提供したり婚活研修会を開催することにより、交際発展への一助となるようにしたい。 | カップリングパーティーをはじめとした出会いの場の提供や婚活研修会等の結婚推進事業について、井笠圏域3市2町が共同で事業を実施する。 | | | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ・カップリングイベント ・カジュアルパーティ ・広報強化事業 | ⇒ ⇒ | | ⇒ ⇒ | | ⇒ ⇒ | | ⇒ ⇒ | | | | |
| | 【カップリングイベント】 ＜開催回数：3回＞ ＜参加者数：111人＞ ＜カップリング数：19組＞ | 【カップリングイベント】 ＜開催回数：3回＞ ＜参加者数：129人＞ ＜カップリング数：20組＞ | | 【カップリングイベント】 ＜開催回数：2回＞ ＜参加者数：71人＞ ＜カップリング数：11組＞ | | 【カップリングイベント】 ＜開催回数：2回＞ ＜参加者数：55人＞ ＜カップリング数：13組＞ | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 253 | 千円 | 決算額 | 271 | 千円 | 決算額 | 167 | 千円 | 決算額 | 177 | 千円 |
| | うち一般財源 | 253 | 千円 | うち一般財源 | 271 | 千円 | うち一般財源 | 167 | 千円 | うち一般財源 | 177 | 千円 |

| 5 | | 創 多世代同居等支援事業 | | 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | |
|--------------------|---|--|---|--|---|---------|--|--------|----|--------|-------|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 新たに多世代同居等のために転居する人 | | 親等と直系の子や孫が多世代で同居又は近隣に居住するための住宅の取得や転居等の費用に対して助成を行うことにより、多世代家族の形成と子育て支援を促進し、家族の絆の再生と定住促進を図る。 | | 親等と直系の子や孫が多世代で同居、又は1km以内に近居するための住宅の取得や転居等の費用に対して助成を行う。 H28年度から交付要件を、三世代から多世代(二世代も可)に緩和した。 | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ・三世代同居等支援事業助成金交付事業 | | ・多世代同居等支援事業助成金交付事業 | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | <助成金交付件数:36件> <異動人数:129人> <うち転入者数:97人>75.2% | | <助成金交付件数:31件> <異動人数:108人> <うち転入者数:75人>69.4% | | <助成金交付件数:37件> <異動人数:126人> <うち転入者数:84人>66.7% | | <助成金交付件数:26件> <異動人数:83人> <うち転入者数:70人>84.3% | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 3,099 | 千円 | 決算額 | 3,045 | 千円 | 決算額 | 3,584 | 千円 | 決算額 | 2,570 | 千円 |
| | うち一般財源 | 1,299 | 千円 | うち一般財源 | 3,045 | 千円 | うち一般財源 | 3,584 | 千円 | うち一般財源 | 2,570 | 千円 |

| 6 | | 創 新婚世帯家賃助成事業 | | 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | |
|------------------|--|--|--|---|--|---------|--|--------|----|--------|-------|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 市内の賃貸住宅に同居する新婚世帯 | | 若者世代の市外流出に歯止めを掛けるとともに、市内外の新婚世帯の本市への居住の契機とし、定住につなげることにより、定住人口の確保と世代間の人口構成のバランスを図り、まちのにぎわいと市内経済の活性化に資する。 | | 実質家賃負担額3万円を超える部分について、月額1万円を上限に最長24カ月分、市内共通商品券により助成する。 | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ・新婚世帯家賃助成金交付事業 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | <助成金交付件数:25件> <うち新規認定:16件> <異動人数:36人> <うち転入者数:17人>47.2% | | <助成金交付件数:39件> <うち新規認定:20件> <異動人数:46人> <うち転入者数:20人>43.5% | | <助成金交付件数:40件> <うち新規認定:14件> <異動人数:28人> <うち転入者数:20人>71.4% | | <助成金交付件数:32件> <うち新規認定:4件> <異動人数:10人> <うち転入者数:3人>30% | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 2,259 | 千円 | 決算額 | 3,058 | 千円 | 決算額 | 2,991 | 千円 | 決算額 | 2,298 | 千円 |
| | うち一般財源 | 889 | 千円 | うち一般財源 | 3,058 | 千円 | うち一般財源 | 2,991 | 千円 | うち一般財源 | 2,295 | 千円 |

【達成目標3】多様な住宅供給と住宅取得支援

達成目標3の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|--------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 住宅新築助成金交付件数 | 単位 | 目標 | | | 90 | 95 | 90 |
| | 件/年 | 実績 | 73 | 80 | 59 | — | — |
| | | 達成率 | | | 65.6% | — | — |
| 空き家バンク物件契約件数 | 単位 | 目標 | | | 20 | 20 | 20 |
| | 件/年 | 実績 | 14 | 21 | 53 | — | — |
| | | 達成率 | | | 265% | — | — |
| 定住化土地造成促進奨励金 | 単位 | 目標 | | | 1 | 1 | 1 |
| | 件/年 | 実績 | 0 | 0 | 0 | — | — |
| | | 達成率 | | | 0 | — | — |

達成目標3の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|------------|---------|----|--------|----|---------|----|--------|----|
| 直接 事業費 | 101,189 | 千円 | 85,754 | 千円 | 101,754 | 千円 | 82,038 | 千円 |
| うち 一般財源 | 101,069 | 千円 | 85,576 | 千円 | 101,604 | 千円 | 81,880 | 千円 |

7 創 住宅新築助成金交付事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|----------------|--|---|---|------------|---|--------|--|--------|----|------------|--------|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 40歳以下の住宅を新築した者 | 子育て世代の定住促進と人口増を図る。また、近隣自治体への転出防止を図る。 | 市内へ住宅を新築する40歳以下の人を対象に、最大100万円の住宅新築助成金を交付する。さらにH28.4以降の契約分から中学生以下の子ども一人につき10万円(最大30万円)加算する。終期をH33.5.31までに延長した。 | | | | | | | | | | |
| 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | | |
| 取組 内容 | ・住宅新築助成金交付事業 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | <助成金交付件数:88件> <異動人数:331人> <うち転入者数:146人>44.1% | | <助成金交付件数:73件> <異動人数:283人> <うち転入者数:69人>24.4% <加算した子の人数:35人> | | <助成金交付件数:80件> <異動人数:285人> <うち転入者数:100人>35.1% <加算した子の人数:116人> | | <助成金交付件数:59件> <異動人数:221人> <うち転入者数:75人>33.9% <加算した子の人数:103人> | | | | | |
| 直接 事業費 | 決算額 | 88,000 | 千円 | 決算額 | 76,500 | 千円 | 決算額 | 91,600 | 千円 | 決算額 | 69,300 | 千円 |
| | うち 一般財源 | 88,000 | 千円 | うち 一般財源 | 76,500 | 千円 | うち 一般財源 | 91,600 | 千円 | うち 一般財源 | 69,300 | 千円 |

8 創 定住促進に係る固定資産税相当額一部助成金交付事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|-----------|--|---|--|------------|--|--------|--|-------|----|------------|-------|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 市民及び市外居住者 | 市内に住宅を取得する際に優遇措置(固定資産税の一部助成)を行うことにより他都市との差別化を図り、定住への機運を高め、社会動態人口の減少に歯止めをかける。 | H26.1.1～H32.1.1に新たに固定資産税が賦課される新築住宅(住宅新築助成金交付対象者を除く)、中古住宅、分譲マンション等を取得した所有者・購入者に対して、固定資産税額の1/2に相当する額を3年間助成する。 | | | | | | | | | | |
| 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | | |
| 取組 内容 | ・固定資産税相当額一部助成事業 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | <助成金交付件数:130件> <うち新規認定:41件,129人> <うち転入者数:44人>34.1% | | <助成金交付件数:132件> <うち新規認定:52件,151人> <うち転入者数:28人>18.5% | | <助成金交付件数:152件> <うち新規認定:63件,208人> <うち転入者数:58人>27.9% | | <助成金交付件数:158件> <うち新規認定:51件,168人> <うち転入者数:36人>21.4% | | | | | |
| 直接 事業費 | 決算額 | 4,653 | 千円 | 決算額 | 4,794 | 千円 | 決算額 | 5,811 | 千円 | 決算額 | 5,613 | 千円 |
| | うち 一般財源 | 4,653 | 千円 | うち 一般財源 | 4,794 | 千円 | うち 一般財源 | 5,811 | 千円 | うち 一般財源 | 5,613 | 千円 |

9 創 定住促進情報集約提供事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | |
|-------------------|---|--|--|--|--|--------|--|--|--|--|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | |
| 市内に住居及び就職先を探している人 | 移住・定住を希望する利用者の利便性が向上し、定着人口の増につながる。 | 専用HPにおいて、空き家・不動産・就職等の情報を一元化して発信してきたが、笠岡市HPリニューアルに伴い、専用HPを閉鎖し笠岡市HPの特設ページとして開設した。また、移住希望者へ笠岡暮らしを体験できる施設(お試し住宅)を貸出する。 | | | | | | | | |
| 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・空き家有効利用対策事業 ・オール不動産情報集約提供事業 ・Uターン就職情報提供事業 ・お試し住宅事業 【空き家バンク】 <新規登録件数:16件> <契約件数:10件> <異動人数:22人> <うち転入者数:9人>40.9% | ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 【空き家バンク】 <新規登録件数:31件> <契約件数:14件> <異動人数:37人> <うち転入者数:6人>16.2% 【お試し住宅】 <利用件数:14件, 53泊> <利用者数:30人> <うち転入者数:1人> | ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 【空き家バンク】 <新規登録件数:57件> <契約件数:21件> <異動人数:42人> <うち転入者数:22人>52.4% 【お試し住宅】 <利用件数:10件, 75泊> <利用者数:19人> <うち転入者数:1世帯2人> | ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 【空き家バンク】 <新規登録件数:66件> <契約件数:53件> <異動人数:113人> <うち転入者数:55人>48.7% 【お試し住宅】 <利用件数:27件, 79泊> <利用者数:53人> <うち転入者数:6世帯12人> | | | | | | |
| | 決算額 8,536 千円 うち一般財源 8,416 千円 | 決算額 4,460 千円 うち一般財源 4,282 千円 | 決算額 4,343 千円 うち一般財源 4,193 千円 | 決算額 7,125 千円 うち一般財源 6,967 千円 | | | | | | |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|
| 直接事業費 | 111,208 | 千円 | 122,798 | 千円 | 145,712 | 千円 | 122,036 | 千円 |
| うち一般財源 | 104,163 | 千円 | 112,240 | 千円 | 141,100 | 千円 | 119,105 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|--|--|
| ・笠岡には住みやすさがあるにも関わらず、近隣への転出が多いことについて、原因をできるだけ特定し、それへの対策を講じるというスキームの中で、効果ある事業に取り組んでください。 ・今後も人口増はなかなか難しいと思いますが、是非とも良い施策をしていただき、人口増になるようにお願いします。 | 市民課窓口での転出者に対するアンケートでは、転出の理由で最も多いのは「結婚」となっており、新婚世帯用、子育て世代用アパートが不足していること、平成28年度以降の新たな住宅団地の開発がなく住宅用地が不足していることが課題となっています。 住宅団地については、市有地売却により来年度新たな住宅団地が美の浜に75区画完成する予定となっており、今後も積極的に市有地を売却するなど、民間活力による有効活用を図ってまいります。 また、アパートについては、不動産業者等との連携を図るとともに、アパート建設に対する経済的な支援を検討し、土地所有者に対して働き掛けていきたいと考えております。 |
| ・人口減少は致方がない。が、減少巾が大き過ぎる。近隣市町と同じ事業だけでは心は引かれない。笠岡市トップは無論市民皆が笠岡市の良いところを上手に発信していくことが必要。 | 笠岡市を住む場所として選んでもらうためには、住宅新築助成金、保育料減免などの経済的支援、保育所の待機児童ゼロ、買い物が便利などの生活環境、子育て環境の整備に加えて、笠岡市のイメージアップが重要であると考えています。 しかし、これまで笠岡市では、経済的支援や暮らし環境の向上に力を入れて様々な施策を実施してきましたが、その内容を伝えること、笠岡市のイメージを向上させるための情報発信が課題となっています。 笠岡市の魅力や価値を市内外へ効果的に発信し、「定住するまち」としての知名度や認知度を上げるためシティプロモーションを平成30年度から実施しており、来年度以降も継続して実施していきたいと考えております。 |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | |
|--|---|
| 施策の進捗度 A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | C |
|--|---|

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------------------|---|
| 未達成 指標 への 対応策 | <p>社会動態については、空き家バンクの登録数増に向け情報収集を積極的に行うことや、効果的なシティープロモーションによる知名度・イメージアップを図ることで、都市部住民や近隣住民の移住先の選択肢上位となるよう努める。</p> <p>20～39歳の女性の婚姻率は、結婚応援イベント参加者数と関連付け、結婚へのイメージを膨らませるようなパンフレットやHPの作成と合わせ、イベントへの参加者を増やし、その後のフォローを適宜実施することで成婚へつなげられるようにしたい。</p> <p>若者会議については、参加者の主体性を損なわないよう配慮しながら、より地域や地域住民とかかわるようなプロジェクトをコーディネーターと参加者とコミュニケーションをとりながら取り組んでいきたい。</p> <p>新築助成金交付件数と定住化土地造成促進奨励金は民間の団地造成が完成・予定されており、目標達成に向けてPRを重ねていく。</p> |
|------------------------|---|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|----------|--|----------|------------------|----------|
| 総合 評価 | <p>A:計画どおり進行している。</p> <p>B:おおむね計画どおり進行している。</p> <p>C:計画より一部遅れている。</p> <p>D:計画より遅れている。</p> | C | (参考) 昨年度の評価結果 | C |
| コメント | <p>・空き家バンクの取り組みは、とても大きな可能性を秘めています。我が家もそうですが、古い家の扱いに苦慮している家庭は多いと思います。</p> <p>アパートや住宅団地の新たな増設以外に空き家を購入してリフォーム、更地にして新築という選択肢が笠岡市にあるということはとても良いと思いました。</p> <p>・社会動態人口年間増減数が減少していることから指標を評価しなくてはいけません。若者の目を引くポスターであったり広報活動は昨年度盛んに行われ、福山市や子育て世代に向けていいアプローチをされておりよくされていると思いました。地道で根気のいることですが引き続きPRをお願いしたいです。広報誌などを使われるなど素晴らしいですが、子育て世代の女性の居住を目指すならその世代の発信を依頼してみたり、観光課が今後進められる予定のSNSでの発信も増やしてみたいかでしょうか。若者会議に關しましては初期の報償費を払って集めている目標指標は厳しいように思いました。見直しの時期にご検討ください。家賃補助事業に関しては転入は見込まれるかも知れませんが転出抑制に関して促進されるように思います。何か笠岡市にお住まいの方にメリットがあればぜひお知らせをお願いします。</p> <p>・様々な事業を積極的にされています。民間住宅団地の売却状況次第で好転する項目もありますので注視していきたいと思ひます。</p> <p>・社会動態の数値が悪いため、どうしても評価は良くなりづらいとは思ひます。さらに部署の評価がCとあるため、取り組みは頑張っていると思ひますが、評価にマイナスに影響してくるのではないかと考へます。もっと頑張っていると思ひを持って仕事に励んでください。そうしないといつまでもCになるのではないかと考へます。</p> <p>・空き家バンク事業の盛況には目を見張るものがある。住宅新築助成金交付事業については、財政が厳しい中で縮小はやむを得ないと思ひますが、定住とは移住してくる人を増やすだけでなく、今居る市民を出ていかないようにすることも重要であることから、助成金対象者から市内居住者を除くことには反対であり、事業そのものを廃止したほうが良いと思ひます。</p> | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|--------|--|-----|--------------------|------|----------------|
| 施策 No. | 2-3 | 施策名 | 道路ネットワーク及び港湾・漁港の整備 | 主担当課 | 建設管理課 建設事業課 |
| 戦略の柱 | 活性化戦略 “賑わう” | | | 関係課 | 都市計画課 農政水産課 |
| 基本方針 | ☆利用者が円滑に移動できる効率的な道路網を形成するとともに、安心して利用できるように道路や橋梁の安全性を高めます。 ☆防波堤等の港湾・漁港施設を整備することによって、港を利用する船の出入りや人の乗降を容易にし、乗客や漁船員の安全を確保するとともに、港の利便性を高めます。 | | | | |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|------------------------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 | R7 目標 |
| 「道路の整備」の満足度(市民意識調査) | 単位 | 目標 | | | △ 10.0 | — | △ 8.0 | △ 4.0 |
| | % | 実績 | △ 13.0 | — | △ 10.0 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 100.0% | — | — | — |
| 「港湾・漁港の整備」の満足度(市民意識調査) | 単位 | 目標 | | | 3.0 | — | 3.5 | 4.5 |
| | % | 実績 | 2.5 | — | 0.1 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 3.3% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|------------|
| 【達成目標1】 | 道路の整備と維持管理 |
|---------|------------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|---------------------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 「道路の整備」の満足度(市民意識調査) | 単位 | 目標 | | | △ 10.0 | — | △ 8.0 |
| | % | 実績 | △ 13.0 | — | △ 10.0 | — | — |
| | | 達成率 | | | 100.0% | — | — |
| 修繕橋梁数(累計) | 単位 | 目標 | | | 21 | 26 | 35 |
| | 橋 | 実績 | 9 | 20 | 32 | — | — |
| | | 達成率 | | | 152.4% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|-----------|----|-----------|----|-----------|----|---------|----|
| 直接事業費 | 1,010,140 | 千円 | 1,117,293 | 千円 | 1,076,333 | 千円 | 975,005 | 千円 |
| うち一般財源 | 412,917 | 千円 | 458,241 | 千円 | 502,744 | 千円 | 424,416 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|-------------|-------------|--|---------|------------------------|-----|--------|--------|--------|----|--------|-----|----|
| 1 | バイパス等整備促進事業 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | 事務事業の内容 | | | | | | | | |
| 市民及び国道2号利用者 | | 国道2号の渋滞の解消、利便性の向上、地域発展のためにバイパスの早期完成を目指す。 | | ・国道2号玉島笠岡間整備促進協議会事務局事務 | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | | ●国道2号玉島笠岡間整備促進協議会要望活動等 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 414 | 千円 | 決算額 | 415 | 千円 | 決算額 | 413 | 千円 | 決算額 | 260 | 千円 |
| | うち一般財源 | 414 | 千円 | うち一般財源 | 415 | 千円 | うち一般財源 | 413 | 千円 | うち一般財源 | 260 | 千円 |

| 2 道路新設改良事業 | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|--------------------------------|---|----|--------|--|--------|--------|---------|----|--------|---------|----|
| 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 道路を利用する利用者と付近に在住の市民 | | 道路を整備することにより、道路の利便性及び安全性・経済性の向上と付近に在住する市民の生活環境の改善を図る。 | | | 計画の策定、要望書の受理、測量・調査・設計業務の発注、地元説明会の開催、用地の取得、物件の補償、工事の発注、工事の監督監理、検査確認 | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ●道路整備事業 ・要望受理・現地調査・道路改良工事着手 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | 決算額 | 464,639 | 千円 | 決算額 | 553,580 | 千円 | 決算額 | 362,688 | 千円 | 決算額 | 300,351 | 千円 |
| 直接事業費 | うち一般財源 | 81,944 | 千円 | うち一般財源 | 50,044 | 千円 | うち一般財源 | 41,552 | 千円 | うち一般財源 | 30,354 | 千円 |

| 3 橋梁新設改良事業 | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|-------------------------------|---|--|--------|--|--------|--------|---------|----|--------|---------|----|
| 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 橋梁を利用する利用者と付近に在住の市民 | | 橋梁を整備することにより、橋梁の利便性及び安全性・経済性の向上と付近に在住する市民の生活環境の改善を図る。 | | | 計画の策定、要望書の受理、測量・調査・設計業務の発注、地元説明会の開催、用地の取得、物件の補償、工事の発注、工事の監督監理、検査確認 | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ●橋梁整備事業 ・要望受理・現地調査 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | ●橋梁長寿命化事業 ・定期点検 ・補修調査設計 | | ●橋梁長寿命化事業 ・定期点検 ・補修(補強)設計 ・補修(補強)工事 | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 108,832 | 千円 | 決算額 | 87,117 | 千円 | 決算額 | 149,270 | 千円 | 決算額 | 199,306 | 千円 |
| | うち一般財源 | 10,057 | 千円 | うち一般財源 | 20,604 | 千円 | うち一般財源 | 14,497 | 千円 | うち一般財源 | 12,007 | 千円 |

| 4 土木施設維持管理業務 | | | | | | | | | | | | |
|--------------|----------------------------------|----------------------------|----|--------|---|--------|--|---------|----|--------|---------|----|
| 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 土木施設利用者 | | 土木施設利用者が安全・安心して利用できるようにする。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 生活道路の維持修繕管理(市道認定、廃止、変更など)事業 橋梁の維持修繕、管理事業 河川・排水路の維持修繕、管理事業 交通安全施設修繕、整備事業 土木施設(単独)小災害復旧事業 | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ・アダプト団体の募集 ●排水ポンプ設置工事(神島・美の浜) | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | | | | | | | ●鳥ノ江水門2号ポンプ改修工事(西大島) ●笠岡駅前広場駐車場設備改修工事 | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 436,255 | 千円 | 決算額 | 476,181 | 千円 | 決算額 | 563,962 | 千円 | 決算額 | 475,088 | 千円 |
| | うち一般財源 | 320,502 | 千円 | うち一般財源 | 387,178 | 千円 | うち一般財源 | 446,282 | 千円 | うち一般財源 | 381,795 | 千円 |

【達成目標2】 港湾・漁港の整備と維持管理

達成目標2の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|-------------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 港湾施設長寿命化実施率 | 単位 | 目標 | | | 38 | 41 | 69 |
| | % | 実績 | 17 | 24 | 31 | — | — |
| | | 達成率 | | | 81.6% | — | — |
| 漁港施設長寿命化実施率 | 単位 | 目標 | | | 38 | 46 | 58 |
| | % | 実績 | 25 | 29 | 38 | — | — |
| | | 達成率 | | | 100.0% | — | — |

達成目標2の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|------------|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|
| 直接 事業費 | 334,006 | 千円 | 349,090 | 千円 | 160,251 | 千円 | 155,163 | 千円 |
| うち 一般財源 | 75,783 | 千円 | 50,355 | 千円 | 30,490 | 千円 | 16,454 | 千円 |

5 創 漁港施設新設改良事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|--------------------|-------------------------------|------------------------------------|----|---|---------|----------------------------------|------------|-----------------------|----|------------|--------|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 漁業従事者及び漁港 利用関係者 | 漁業活動における利便性の向上と労力の省 力化を図る。 | 漁港施設の改良工事に伴う工事、調査、設計、積算、監督、検査を行う。 | | | | | | | | | | |
| 取組内容 | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| | | ★●湛江漁港改修事業 ・物揚場、船揚場、護岸、埋立 工事 | | ⇒ ・浮棧橋、連絡橋、護岸工事 ・物揚場舗装、道路舗装工事 ★●高島漁港改修事業 ・防波堤計画 | | ⇒ ・浮棧橋整備工事 ⇒ ・防波堤設計 | | ⇒ ・防波堤設計 ・防波堤工事 | | | | |
| 直接 事業費 | 決算額 | 214,460 | 千円 | 決算額 | 297,421 | 千円 | 決算額 | 100,726 | 千円 | 決算額 | 91,364 | 千円 |
| | うち 一般財源 | 26,176 | 千円 | うち 一般財源 | 23,437 | 千円 | うち 一般財源 | 6,941 | 千円 | うち 一般財源 | 2,172 | 千円 |

6 港湾施設新設改良事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|---------------------|---|--|----|-----------------|--------|--------|------------|----------------------------|----|------------|--------|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 港湾利用者及び付近 に在住の市民 | 港湾施設の整備により船舶の安全な係留、 運航を確保するとともに、地域住民の安全と 財産を守る。 | 外郭施設(防波堤、護岸等)、係留施設(物揚げ場、浮棧橋等)、水域施設 (航路、泊地)の新設改良を施工するための設計・積算・工事監督を行う。 | | | | | | | | | | |
| 取組内容 | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| | | ●大浦港改修(統合補助)事業 ・物揚場整備工事 | | ⇒ ・臨港道路、埋立工事 | | — | | ●大浦港浮棧橋改修事業 ・浮棧橋連絡橋改修工事 | | | | |
| 直接 事業費 | 決算額 | 63,457 | 千円 | 決算額 | 12,488 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 30,800 | 千円 |
| | うち 一般財源 | 5,403 | 千円 | うち 一般財源 | 88 | 千円 | うち 一般財源 | 0 | 千円 | うち 一般財源 | 0 | 千円 |

| 7 漁港・港湾施設修繕事業 | | 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
|-------------------------|---|--|---|--------|--|---|--|--------|----|--------|--------|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 漁協組合員及び地区住民、海岸背後地に在住の市民 | | 漁業活動の軽労化と利便性の向上を図るとともに、船舶の安全な運行と係留を確保する。 | | | | 各漁港と港湾施設の機能保全と機能回復を図るため工事、計画、設計、積算、工事監督 | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| | ○漁港6港、修繕工事 ・設計積算及び工事監督 ○港湾6港、修繕工事 ・設計積算及び工事監督 ●漁港施設維持管理計画策定 | | ⇒ ⇒ ●水産基盤ストックマネジメント事業 ・浮棧橋(アンカーチェーン取替) ・物揚場修繕 | | ⇒ ⇒ ⇒ ・物揚場修繕 ●港湾施設長寿命化事業 ・物揚場、係船岸、防波堤修繕 | | ⇒ ⇒ ⇒ ・物揚場修繕 ・浮棧橋修繕(塗装) ●港湾施設長寿命化事業 ・防波堤修繕 | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 41,175 | 千円 | 決算額 | 29,886 | 千円 | 決算額 | 44,430 | 千円 | 決算額 | 29,390 | 千円 |
| | うち一般財源 | 30,706 | 千円 | うち一般財源 | 18,753 | 千円 | うち一般財源 | 19,742 | 千円 | うち一般財源 | 12,276 | 千円 |

| 8 漁港・港湾施設維持管理業務 | | 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
|-----------------|--------------------|---|--------|--------|----------------------|--|--------|--------|----|--------|-------|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 漁港・港湾施設利用者 | | 漁港・港湾施設を適正に管理することにより、利用者が安全・安心して利用できるようにする。 | | | | ・漁港施設、港湾施設、海岸保全施設の管理事業・台帳整理 ・漁港、港湾の港勢調査 | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| | ・港湾、漁港、海岸保全施設の維持管理 | | ⇒ | | ⇒ 伏越フェリー乗り場トイレ水洗化 | | ⇒ | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 14,914 | 千円 | 決算額 | 9,295 | 千円 | 決算額 | 15,095 | 千円 | 決算額 | 3,609 | 千円 |
| | うち一般財源 | 13,498 | 千円 | うち一般財源 | 8,077 | 千円 | うち一般財源 | 3,807 | 千円 | うち一般財源 | 2,006 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|-----------|----|-----------|----|-----------|----|-----------|----|
| 直接事業費 | 1,344,146 | 千円 | 1,466,383 | 千円 | 1,236,584 | 千円 | 1,130,168 | 千円 |
| うち一般財源 | 488,700 | 千円 | 508,596 | 千円 | 533,234 | 千円 | 440,870 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|---|---|
| ・橋梁を始め、土木施設の老朽化対策が今後ますます必要になってきます。計画的な修繕・更新により、安全な施設の維持をお願いします。 | → 橋梁長寿命化事業及び道路長寿命化事業により、計画的に維持管理及び施設の修繕や改修を行って参ります。 |
| ・国道2号線のバイパスが早期完成できるようにお願いします。 | → 国道2号線のバイパス整備は国が事業主体で整備を行っております。早期完成に向け、国に対して要望して参ります。 |
| ・東本町通東口から踏切間は交通量が多く自転車・歩行者の危険を感じます。早期の解決を要望します。 | → 家屋等があり拡幅改良することは困難であるため、自転車・歩行者に注意を促すような路面標示の設置を検討して参ります。 |
| ・港湾・漁港の施設整備は多額の経費を要し、将来世代の負担になります。計画の長期化によって、計画当初と状況が変わった場合などにおいて、無駄とならないような柔軟な対応をお願いします。 | → 現在整備中の事業につきましては、港としての機能を保持するための事業となっています。将来的に社会情勢等が変化した場合につきましては、その都度検討を行い適正に対応します。 |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | |
|--|----------|
| 施策の進捗度 A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | B |
|--|----------|

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------|--|
| 未達成指標への対応策 | 港湾及び漁港の整備に対し市民意識調査の満足度が低いことから、各施設を整備する中で、利用者の意見を十分に聞き、満足度を上げるべく事業を進めていく。 また、港湾施設長寿命化事業については、平成30年度に予定していた事業は予定通り着工を行っているが、7月豪雨災害により工事に遅れが生じたため未達成となっている。今後についても着実に事業を行っていく。 |
|------------|--|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|------|---|----------|------------------|----------|
| 総合評価 | A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。 | B | (参考) 昨年度の評価結果 | B |
| コメント | ・都市化計画に伴い幼保再編整備計画もあることから教育施設周辺道路の混雑や事故が多発する可能性があります。子供達が事故に遭わないための整備をより一層勧めて頂けることに期待をしています。 ・2号線の慢性的な渋滞対策が必要。 ・漁港や港湾の整備には莫大な費用がかかるが、適正な計画の基、順次進めていかれたい。 ・指標もほぼ目標通りで、着実に業務を行っていると思います。さらに頑張ってくださいようお願いします。 ・人口集中地区(DID)の人口を維持する方針を出す一方で、島しょ部の人口が減る中で港湾・漁港の整備を進めるのは矛盾していると思う。人口推移を見ながら、整備の在り方を検討する必要があるのではないかと。 | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|--------|--|-----|-------------------|------|----------------|
| 施策 No. | 2-4 | 施策名 | 利用しやすい公共交通システムの構築 | 主担当課 | 企画政策課 |
| 戦略の柱 | 活性化戦略 “賑わう” | | | | |
| 基本方針 | 鉄道、路線バス、タクシー、旅客船、フェリー等の多様な交通モードを連携し、市民の利用ニーズはもちろん交流人口の増加に資するため、観光客等のニーズにも適した、利用しやすい公共交通システムを構築します。 | | | 関係課 | 都市計画課 商工観光課 |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|-------------|------|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 | R7 目標 |
| 地域公共交通の利用者数 | 単位 | 目標 | | | 1,962 | 1,963 | 1,965 | 1,970 |
| | 千人/年 | 実績 | 1,958 | 1,955 | 1,916 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 97.7% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|-------------------------|
| 【達成目標1】 | 市民が利用しやすい公共交通システムの維持・構築 |
|---------|-------------------------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|---------------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 路線バス等の利用人数 | 単位 | 目標 | | | 440,000 | 440,000 | 440,000 |
| | 人/年 | 実績 | 438,525 | 459,837 | 454,134 | — | — |
| | | 達成率 | | | 103.2% | — | — |
| 路線バス運行に係る市の負担額の水準維持 | 単位 | 目標 | | | 32,000 | 32,000 | 32,000 |
| | 千円 | 実績 | 26,655 | 42,125 | 38,432 | — | — |
| | | 達成率 | | | 83.3% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 54,305 | 千円 | 48,530 | 千円 | 53,707 | 千円 | 54,366 | 千円 |
| うち一般財源 | 25,491 | 千円 | 28,032 | 千円 | 41,927 | 千円 | 40,714 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|--------|--------------------------------------|--------|--|--------|------------------|--------|-----------|----|--------|--------|----|
| 1 | 陸上交通事業 | 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| マイカーなどによる移動手段を持たない人など市民 | | バスや鉄道などの公共交通を必要としている人など市民の移動手段を確保する。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス、デマンド型乗合タクシー、過疎地有償運送の運行に要する経費への補助金を支出する。 ・井原鉄道の基盤設備の維持に要する経費への補助金を支出する。 ・公共交通に関する意識啓発、利用促進を図るとともに、必要に応じて運行ルート・ダイヤの見直しを行う。 | | | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| | 創 | ●補助金交付 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | 創 | ●ダイヤの見直し | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | 創 | ●デマンド型乗合タクシーの運行 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| | 創 | ●公共交通総合マップの作製 | ⇒ | ●公共交通総合マップの更新 | ⇒ | | ⇒ | ○総合時刻表の作成 | | | | |
| | 創 | ●公共交通に関する意識啓 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | 創 | ★○交通空白地有償運送の維持 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| | 創 | ○高齢者タクシー料金助成事業の検討 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | 創 | | ⇒ | ○高齢者タクシー料金助成事業の検討 | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | 創 | | ⇒ | | ⇒ | ○高齢者タクシー料金助成事業開始 | ⇒ | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 54,305 | 千円 | 決算額 | 48,530 | 千円 | 決算額 | 53,707 | 千円 | 決算額 | 54,366 | 千円 |
| | うち一般財源 | 25,491 | 千円 | うち一般財源 | 28,032 | 千円 | うち一般財源 | 41,927 | 千円 | うち一般財源 | 40,714 | 千円 |

【達成目標2】 交流人口の増加等に向けた公共交通システムの構築

| 達成目標2の指標 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|----------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 旅客船の利用人数 | 単位 | 目標 | | | 180,000 | 180,000 | 180,000 |
| | 人/年 | 実績 | 172,611 | 168,231 | 159,692 | — | — |
| | | 達成率 | | | 88.7% | — | — |

達成目標2の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|---------|----|---------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 92,730 | 千円 | 241,029 | 千円 | 103,966 | 千円 | 47,107 | 千円 |
| うち一般財源 | 12,626 | 千円 | 53,188 | 千円 | 30,550 | 千円 | 33,585 | 千円 |

2 離島航路事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|---|---|---|--------|---------|--|--------|---------|----|--------|--------|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| ・旅客船を利用する人 ・旅客船で運搬される生活必需品 | 島しょ部と本土を結ぶ唯一の生活航路を維持し、島民の生活の安定と利用者の利便を確保する。 | ・国庫補助対象航路へ補助金を支出する。 ・運行事業者と連携して利用促進を図るとともに、必要に応じて運行ルート・ダイヤの見直しを行う。 | | | | | | | | | | |
| 取組内容 | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | | | | | | |
| | | 創 ★●補助金交付 創 ★●港の乗り場環境改善 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ○離島航路の国庫補助航路化 ●住吉港待合所の維持管理 ○白石島の棧橋整備 | | | | | | |
| | | | 創 ★●離島航路の国庫補助化の検討 創 ★●笠岡港(住吉港)の待合所整備 | ⇒ | ⇒ | ○白石島の棧橋・待合所整備 | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 92,730 | 千円 | 決算額 | 241,029 | 千円 | 決算額 | 103,966 | 千円 | 決算額 | 47,107 | 千円 |
| | うち一般財源 | 12,626 | 千円 | うち一般財源 | 53,188 | 千円 | うち一般財源 | 30,550 | 千円 | うち一般財源 | 33,585 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|
| 直接事業費 | 147,035 | 千円 | 289,559 | 千円 | 157,673 | 千円 | 101,473 | 千円 |
| うち一般財源 | 38,117 | 千円 | 81,220 | 千円 | 72,477 | 千円 | 74,299 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|--|--|
| ・笠岡駅と道の駅を結ぶバスのルートイベント時だけでなく常時設定し、運行ができるようにできないでしょうか。コスト面等もあり難しいと思いますが、今後に向けて検討をお願いいたします。 | → 現在、道の駅には春～秋の週末には笠岡駅からバスを運行しているが、平日や冬季は運行していないため、平成31年度から笠岡～神島～笠岡線に「ベイファーム南」のバス停を設置することにより、道の駅へのアクセスの向上を図る。 |
| ・笠岡市の宝と言える島しょ部、海上交通は維持していただきたい。 | → 平成30年10月から笠岡～佐柳本浦航路が国庫補助航路に認定されたことに伴い、これまで国庫補助航路であった笠岡～飛島～六島航路とともに航路事業者と利便性の向上や適正な運営管理を行うことにより、航路の維持を図る。 |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | | |
|------------|-----------------------------|---|
| 施策の 進捗度 | A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 | B |
| | B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 | |
| | C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 | |
| | D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | |

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------------------|--|
| 未達成 指標 への 対応策 | 陸上交通については、人口減等の影響で利用者が減少している。平成30年度に福山市と共同で総合時刻表を作成した。バス路線等を知らない人にも分かりやすい時刻表になっているので、多くの人に見てもらい、利用啓発に利用したい。 海上交通については、急激な人口減少や、平成30年7月豪雨の影響による観光客の減少のため、利用者が大幅に減少したが、日本遺産認定を契機に観光客を呼び込み、利用客を増やしていきたい。 |
|------------------------|--|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|----------|---|---|------------------|---|
| 総合 評価 | A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。 | B | (参考) 昨年度の評価結果 | B |
| コメント | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者タクシー料金助成事業は素晴らしいと思います。免許返納者が増えてくる今後、新たな可能性をもつ交通手段について、情報収集だけは探り続けてほしいと思います。 ・高齢化に伴い高齢者が免許返納しても住みやすい市になるためにバスのニーズを掘り進められているところが素晴らしいと思います。船に関してもバスのように夏休みの定期券を発売したり、なにか期間限定や年に1回でもよいので割引サービスを設けるなどして市民、県民、近隣の方々に利用を促して頂きたいです。 ・免許返納高齢者の手厚い支援をお願いします。 ・人口減少が進む中で、利用者をのばすことは容易ではないが、担当部署も試行錯誤し努力されている。引き続き、力を入れて取り組んでほしい。 ・指標では、バスの利用が現状通りとなっていますが、船の利用が若干下がっているように感じます。今後もさらに頑張ってくださいと思います。 ・高齢者に路線バスの利用は厳しいと思う。タクシー券の助成制度は喜ばれる施策と思うが助成金が嵩むので財政的には厳しいであろう。高齢者にとって利便性が高く、費用が抑えられる施策がないものだろうか？ | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|--------|---|-----|------|------|-------|
| 施策 No. | 2-5 | 施策名 | 離島振興 | 主担当課 | 企画政策課 |
| 戦略の柱 | 活性化戦略“賑わう” | | | | |
| 基本方針 | 島民、民間団体、行政との協働を通じて地域コミュニティの継続的な維持や公共サービスの提供、道路や港等の整備を図ることで、いつまでも安心して離島で住み続けることができる環境を実現します。また、島の魅力を発信し、観光客を増やします。 | | | 関係課 | 関係各課 |

<2.総合指標>

| 指標名 | 単位 | 目標 | 目標・実績の推移 | | | | | |
|------------------|----|-----|----------|-------|--------|-------|-------|-------|
| | | | H28実績 | H29実績 | H30実績 | R1目標 | R3目標 | R7目標 |
| 離島の人口減少の割合(対前年比) | % | 目標 | | | △ 5.5 | △ 5.5 | △ 5.5 | △ 5.5 |
| | | 実績 | △ 5.2 | △ 3.8 | △ 5.2 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 105.8% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|---------------|
| 【達成目標1】 | 計画的な離島振興の取組推進 |
|---------|---------------|

達成目標1の指標

| 指標名 | 単位 | 目標 | 目標・実績の推移 | | | | |
|---------------------|----|-----|----------|-------|--------|------|-------|
| | | | H28実績 | H29実績 | H30実績 | R1目標 | R3目標 |
| 「離島の振興」の満足度(市民意識調査) | % | 目標 | | | △ 10.0 | — | △ 9.5 |
| | | 実績 | △ 10.6 | — | △ 5.1 | — | — |
| | | 達成率 | | | 196.1% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 1,762 | 千円 | 1,997 | 千円 | 1,940 | 千円 | 1,774 | 千円 |
| うち一般財源 | 1,142 | 千円 | 1,191 | 千円 | 1,307 | 千円 | 1,086 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|--|--|--|--------|-------|----|--------|-------|----|--------|-------|----|
| 1 | 離島振興事業 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 島で暮らす人 島で暮らしたい人 | 永続的に島で暮らせるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・笠岡諸島振興計画の策定及び進行管理 ・離島振興を目的に組織された団体(全国離島振興協議会、岡山県離島振興協議会、財団法人日本離島センター)との連携 ・辺地総合計画の策定及び進行管理 ・離島振興に関する庁内調整 | | | | | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ★●全国離島振興協議会(全離島) 情報収集及び、国への要望活動 ★●岡山県離島振興協議会 県内離島の状況把握や要望活動 ★●笠岡諸島振興計画 施策実施の庁内調整 ●辺地総合計画の活用 創 ○離島高校生修学支援補助金の交付 | <ul style="list-style-type: none"> 創 ○離島に暮らす小中学生の交通費助成の検討 | <ul style="list-style-type: none"> 創 ○離島に暮らす小中学生の交通費助成の交付 | | | | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 1,762 | 千円 | 決算額 | 1,997 | 千円 | 決算額 | 1,940 | 千円 | 決算額 | 1,774 | 千円 |
| | うち一般財源 | 1,142 | 千円 | うち一般財源 | 1,191 | 千円 | うち一般財源 | 1,307 | 千円 | うち一般財源 | 1,086 | 千円 |

【達成目標2】 必要な公共サービスの提供と航路の維持確保

達成目標2の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|-----------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 健康長寿愛らんど事業への参加者 | 単位 | 目標 | | | 3,230 | 3,230 | 3,230 |
| | 人/年 | 実績 | 3,184 | 2,940 | 2,843 | — | — |
| | | 達成率 | | | 88.0% | — | — |
| 旅客船の利用人数 | 単位 | 目標 | | | 180,000 | 180,000 | 180,000 |
| | 人/年 | 実績 | 172,611 | 168,231 | 159,692 | — | — |
| | | 達成率 | | | 88.7% | — | — |

達成目標2の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|---------|----|---------|----|---------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 126,549 | 千円 | 271,198 | 千円 | 135,532 | 千円 | 77,662 | 千円 |
| うち一般財源 | 30,066 | 千円 | 70,617 | 千円 | 49,457 | 千円 | 52,682 | 千円 |

| 2 島しょ部介護・福祉推進事業(再掲) | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|--------|---|--------|---|--------|----|--------|--------|----|--------|--------|----|
| 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 島しょ部の高齢者 | | できる限り在宅で安心して暮らせるようにする。 | | 島しょ部における介護・福祉サービスの確保と事業所への支援を行う。高齢者の健康維持と介護予防に取り組む。 | | | | | | | | |
| 取組内容 | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | | | | | | |
| | | ●陸地部への通院の帰りの船で利用できる無料乗船券の支給 ●北木島高齢者共同生活住居の運営 ●緊急通報装置設置事業 ●陸地部から専門職等を確保するための交通費補助 ●島しょ部の介護サービス事業所への家賃及び改修費補助 ●専門職による総合相談及び運動器機能低下の予防・向上のための支援(健康長寿愛らんど事業) | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 33,819 | 千円 | 決算額 | 30,169 | 千円 | 決算額 | 31,566 | 千円 | 決算額 | 30,555 | 千円 |
| | うち一般財源 | 17,440 | 千円 | うち一般財源 | 17,429 | 千円 | うち一般財源 | 18,907 | 千円 | うち一般財源 | 19,097 | 千円 |

| 3 離島航路事業(再掲) | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|--------|---|--|---|---|----|--------|---------|----|--------|--------|----|
| 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| ・旅客船を利用する人 ・旅客船で運搬される生活必需品 | | 島しょ部と本土を結ぶ唯一の生活航路を維持し、島民の生活の安定と利用者の利便を確保する。 | | ・国庫補助対象航路へ補助金を支出する。 ・運行事業者と連携して利用促進を図るとともに、必要に応じて運行ルート・ダイヤの見直しを行う。 | | | | | | | | |
| 取組内容 | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | | | | | | |
| | | 創 ●●補助金交付 創 ●●港の乗り場環境改善 | ⇒ 創 ●●離島航路の国庫補助化の検討 創 ●●笠岡港(住吉港)の待合所整備 | ⇒ ⇒ ⇒ ○白石島の棧橋・待合所整備 | ⇒ ○離島航路の国庫補助航路化 ●住吉港待合所の維持管理 ○白石島の棧橋整備 | | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 92,730 | 千円 | 決算額 | 241,029 | 千円 | 決算額 | 103,966 | 千円 | 決算額 | 47,107 | 千円 |
| | うち一般財源 | 12,626 | 千円 | うち一般財源 | 53,188 | 千円 | うち一般財源 | 30,550 | 千円 | うち一般財源 | 33,585 | 千円 |

【達成目標3】協働による地域づくりの推進

達成目標3の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|---------------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 北木島宿泊研修所「石切りの杜」利用者数 | 単位 | 目標 | | | 700 | 700 | 700 |
| | 件/年 | 実績 | 635 | 612 | 602 | — | — |
| | | 達成率 | | | 86.0% | — | — |
| 交通空白地有償運送の利用者数 | 単位 | 目標 | | | 650 | 650 | 650 |
| | 件/年 | 実績 | 650 | 677 | 515 | — | — |
| | | 達成率 | | | 79.2% | — | — |

達成目標3の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 11,029 | 千円 | 16,558 | 千円 | 11,996 | 千円 | 12,120 | 千円 |
| うち一般財源 | 10,249 | 千円 | 8,769 | 千円 | 8,496 | 千円 | 7,620 | 千円 |

4 海援隊事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|---------|---|---|----|--------|--------|--------|--------|--------|----|--------|--------|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 島しょ部住民 | 島しょ部に不足する公共的サービスの提供などの取組みを市民・民間団体と協働で行うことで、地域コミュニティの維持及び活性化を図る。 | 協働による公益的事業の企画及び運営、行政課題の広聴及び解決のための支援、地域の再生に寄与する取り組み。 | | | | | | | | | | |
| | 平成27年度 | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | | |
| 取組内容 | ●まちづくり協議会の機能活用 ●かさおか島づくり海社の側面及び後方支援 ●各島の地域担当職員と連携した事業推進 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| | ●豊浦地区交流拠点施設の整備 | | | | | | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 9,800 | 千円 | 決算額 | 15,330 | 千円 | 決算額 | 10,550 | 千円 | 決算額 | 10,850 | 千円 |
| | うち一般財源 | 9,800 | 千円 | うち一般財源 | 8,541 | 千円 | うち一般財源 | 8,350 | 千円 | うち一般財源 | 7,350 | 千円 |

5 陸上交通事業(再掲)

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|---------------------|----------------------------------|------------------------------|----|--------|-------|--------|--------|-------|----|--------|-------|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| マイカーなどによる移動手段を持たない人 | バスや鉄道などの公共交通を必要としている人の移動手段を確保する。 | ・過疎地有償運送の運行に要する経費への補助金を支出する。 | | | | | | | | | | |
| | 平成27年度 | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | | |
| 取組内容 | 創 持 ●交通空白地有償運送の維持 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 1,229 | 千円 | 決算額 | 1,228 | 千円 | 決算額 | 1,446 | 千円 | 決算額 | 1,270 | 千円 |
| | うち一般財源 | 449 | 千円 | うち一般財源 | 228 | 千円 | うち一般財源 | 146 | 千円 | うち一般財源 | 270 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|---------|----|---------|----|---------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 139,340 | 千円 | 289,753 | 千円 | 149,468 | 千円 | 91,556 | 千円 |
| うち一般財源 | 41,457 | 千円 | 80,577 | 千円 | 59,260 | 千円 | 61,388 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|--------|-------|
| なし | |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | | |
|--------|--|---|
| 施策の進捗度 | A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | B |
|--------|--|---|

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------|--|
| 未達成指標への対応策 | 愛らんど事業及び交通空白地有償運送については、島しょ部の人口減少の影響を受けていると考えられますが、できる限り島嶼部で安心して暮らせることを目的として、継続して取り組み、利用客を増やしていきたいと思えます。 旅客船の利用人数及び北木島宿泊研修所については、平成30年7月豪雨の影響により、観光客や利用者が減少したと考えられますが、日本遺産認定を契機に観光客や利用者呼び込み、利用者を増やしていきたいと思えます。 |
|------------|--|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|------|--|---|------------------|---|
| 総合評価 | A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。 | B | (参考) 昨年度の評価結果 | B |
| コメント | <ul style="list-style-type: none"> ・国の施策により島民の交流が少ないことも問題かも知れませんが、島民の生活を最優先に丁寧なサポートが必要に感じています。引き続き必要なライフラインを維持して頂きながら、高校生や大学生も島に関心が高いようなので身近な離島の研修場所として誘致や観光客の増加を期待しています。 ・日本遺産認定により、観光客が増えた場合のマイナスの事案(環境悪化、歳出増加)が起きないか注視願います。 ・笠岡市として離島振興に非常に力を入れていることが感じられる。しかし、人口減少や昨年の豪雨災害で実績が伸びなかったが、引き続き離島振興に努力されたい。 ・「離島の振興」の満足度が上がっています。今後もさらに頑張ってくださいと思います。 ・離島航路の国庫補助航路化等に尽力している担当課に敬意を表します。しかしながら、利便性・経済性を考えたときに、今後島しょ部が以前のように活性化することは期待薄だと思う。島しょ部で暮らす高齢者ができる限り在宅で安心して暮らせるようにしてあげたいと思うが、離島振興は難しいと思えます。 | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|-------|---|-----|------------|------|-----------|
| 施策No. | 2-6 | 施策名 | 市民参画・協働の推進 | 主担当課 | 協働のまちづくり課 |
| 戦略の柱 | 活性化戦略 “賑わう” | | | | |
| 基本方針 | ☆市民協働を更に進め、より笠岡らしい個性あるまちづくりを確立し、市民がいきいきと活躍する持続可能なまちを目指します。 ☆潜在的な住民自治力を引き出し、様々なセクターや市役所内の複数の部署が地域や社会的な課題に関わることができるようなコーディネート機能を確立します。 | | | 関係課 | |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|----------------------|----------|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 | R7 目標 |
| まちづくり協議会の認知率(市民意識調査) | 単位 % | 目標 | | | 65.0 | — | 70.0 | 75.0 |
| | | 実績 | 60.7 | — | 61.2 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 94.2% | — | — | — |
| 市民活動支援センター登録志縁型組織数 | 単位 団体 | 目標 | | | 73 | 74 | 75 | 80 |
| | | 実績 | 74 | 72 | 77 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 105.5% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|-------------------------|
| 【達成目標1】 | 地域コミュニティであるまちづくり協議会への支援 |
|---------|-------------------------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|-------------------------|----------|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| まちづくり協議会活動への参加率(市民意識調査) | 単位 % | 目標 | | | 33.0 | — | 35.0 |
| | | 実績 | 32.3 | — | 34.7 | — | — |
| | | 達成率 | | | 105.2% | — | — |
| 地域のまちづくり計画を策定した協議会数 | 単位 地区 | 目標 | | | 4 | 6 | 20 |
| | | 実績 | 0 | 2 | 2 | — | — |
| | | 達成率 | | | 50.0% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| | 金額 | 千円 | 金額 | 千円 | 金額 | 千円 | 金額 | 千円 |
| 直接事業費 | 46,019 | 千円 | 43,976 | 千円 | 44,134 | 千円 | 45,348 | 千円 |
| うち一般財源 | 34,056 | 千円 | 16,395 | 千円 | 19,264 | 千円 | 24,108 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|---|--------|---|-------------------------------|--------|---|-------------------------------|--------|--------|-------------------------------|--------|----|
| 1 市民活動(地縁組織)との協働推進事業 | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | |
| 笠岡市民 | | | 地縁組織であるまちづくり協議会と市役所との協働による市政の推進を図る。 志縁組織である市民活動団体や地域住民と市役所との協働による市政の推進を図る。 | | | まちづくり協議会の運営及び活動の支援とともに、市民の認知率の向上のため周知啓発を、また地域担当職員の意識・能力向上のため連絡会や研修等を実施する。 市民活動の活性化を推進するため、地域住民や住民自治組織に対し、各種補助等を実施する。 | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| 取組内容 | ●まちづくり協議会との協働による地域づくり事業の実施 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | |
| | ●協議会の活動を事例発表するまちづくり活動報告会の開催 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | |
| | ●まちづくり協議会の周知と活動や運営への参加促進のための啓発冊子「かさおか地域を元気にするまちづくり人」の作成 | | | ⇒ | | | ●ふるさと思民大学開催(2回) | | | ふるさと思民大学開催(1回) | | |
| | 【まちづくり協議会が活動交付金を使った活動数: 47活動】 | | | 【まちづくり協議会が活動交付金を使った活動数: 33活動】 | | | 【まちづくり協議会が活動交付金を使った活動数: 45活動】 | | | 【まちづくり協議会が活動交付金を使った活動数: 38活動】 | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 46,019 | 千円 | 決算額 | 43,976 | 千円 | 決算額 | 44,134 | 千円 | 決算額 | 45,348 | 千円 |
| | うち一般財源 | 34,056 | 千円 | うち一般財源 | 16,395 | 千円 | うち一般財源 | 19,264 | 千円 | うち一般財源 | 24,108 | 千円 |

【達成目標2】多様な市民活動の推進

| 達成目標2の指標 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|-----------------------------|-----|-----|----------|--------|--------|--------|--------|
| 指標名 | | | H28実績 | H29実績 | H30実績 | R1目標 | R3目標 |
| NPO法人数 | 単位 | 目標 | | | 19 | 19 | 20 |
| | 団体 | 実績 | 18 | 18 | 18 | — | — |
| | | 達成率 | | | 94.7% | — | — |
| 志縁型団体協働のまちづくり事業補助金の交付件数 | 単位 | 目標 | | | 9 | 10 | 10 |
| | 件/年 | 実績 | 8 | 6 | 8 | — | — |
| | | 達成率 | | | 88.9% | — | — |
| 市民活動支援センター利用者数 | 単位 | 目標 | | | 17,300 | 17,300 | 17,400 |
| | 人/年 | 実績 | 17,208 | 20,292 | 19,617 | — | — |
| | | 達成率 | | | 113.4% | — | — |
| 市民活動支援センターが実施する研修会や講座への参加者数 | 単位 | 目標 | | | 70 | 75 | 80 |
| | 人/年 | 実績 | 70 | 119 | 129 | — | — |
| | | 達成率 | | | 184.3% | — | — |
| 市民活動総合保障保険の利用件数 | 単位 | 目標 | | | 19 | 19 | 21 |
| | 件/年 | 実績 | 12 | 19 | 10 | — | — |
| | | 達成率 | | | 52.6% | — | — |

達成目標2の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 13,047 | 千円 | 12,468 | 千円 | 12,513 | 千円 | 12,857 | 千円 |
| うち一般財源 | 10,303 | 千円 | 9,846 | 千円 | 9,881 | 千円 | 10,153 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------|--|----|-------------------------|--------|-----------------|--|-----------------|----|--------|--------|----|
| 2 | | 市民活動(志縁組織)との協働推進事業 | | | | | | | | | | |
| | | 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 笠岡市民 | | 志縁組織である市民活動団体や地域住民と市役所との協働による市政の推進を図る。 | | | | | 市民活動支援センターを拠点として、各市民活動団体の活動支援や市役所との連携等を推進する。 市民活動の活性化を推進するため、地域住民や住民自治組織に対し、各種補助等を実施する。 | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | 創 | ●志縁型団体と行政との協働事業の実施 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | | ●市民活動支援センターについて広く市民に周知し、笠岡市の未来を考え、登録団体の活動紹介の場として「ゆびとまフェスティバル～まちづくりフォーラム2015～」の開催 (ワードチラシ作成講座、助成金獲得講座) | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | | 【志縁型団体(市民提案型)協働事業数：5事業】 | | 【志縁型団体(市民提案型)協働事業数：8事業】 | | ●ふるさと思民大学開催(2回) | | ●ふるさと思民大学開催(1回) | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 13,047 | 千円 | 決算額 | 12,468 | 千円 | 決算額 | 12,513 | 千円 | 決算額 | 12,857 | 千円 |
| | うち一般財源 | 10,303 | 千円 | うち一般財源 | 9,846 | 千円 | うち一般財源 | 9,881 | 千円 | うち一般財源 | 10,153 | 千円 |

【達成目標3】市民と共に考え、力を合わせて取り組む市役所づくり

| | | | | | | |
|--------------|-----|----------|-------|--------|------|------|
| 達成目標3の指標 | | 目標・実績の推移 | | | | |
| 指標名 | | H28実績 | H29実績 | H30実績 | R1目標 | R3目標 |
| 地域担当職員延べ経験者数 | 単位 | | | 246 | 270 | 318 |
| | 人 | 実績 | 197 | 223 | 251 | — |
| | 達成率 | | | 102.0% | — | — |

| | | | | | | | | | |
|-----------|--|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 達成目標3の事業費 | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
| 直接事業費 | | 0 | 千円 | 0 | 千円 | 215 | 千円 | 58 | 千円 |
| うち一般財源 | | 0 | 千円 | 0 | 千円 | 215 | 千円 | 29 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------|--------------------------------|----|--------|---|-----------------|---|-----------------|----|--------|----|----|
| 3 | | 協働推進のための職員研修 | | | | | | | | | | |
| | | 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 市職員 | | 積極的に市職員の地域まちづくり活動への参加・参画を促進する。 | | | | | 協働のまちづくりを推進するため、市職員研修等の機会を設け、地域におけるまちづくりの市や職員の役割などについて意識啓発を行う。また、地域の自立と住民の主体性を活かしながら、積極的に市職員の地域まちづくり活動への参加・参画を促進する。 | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | | ●地域担当職員制度 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | | ●地域担当職員を対象とした「協働に関する講演会」の開催 | | | | ●ふるさと思民大学開催(2回) | | ●ふるさと思民大学開催(1回) | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 215 | 千円 | 決算額 | 58 | 千円 |
| | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 215 | 千円 | うち一般財源 | 29 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 59,066 | 千円 | 56,444 | 千円 | 56,862 | 千円 | 58,263 | 千円 |
| うち一般財源 | 44,359 | 千円 | 26,241 | 千円 | 29,360 | 千円 | 34,290 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|--------|-------|
| なし | |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | |
|--|----------|
| 施策の進捗度 A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | C |
|--|----------|

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------|--|
| 未達成指標への対応策 | 各協議会の現状にあわせてまちづくり計画に関する出前講座や個別相談等適切な支援を実施し、策定着手協議会数を増やす。加えて、既に着手済の協議会については、協議会毎の担当を決めて進捗状況を確認しつつ令和元年度中の策定を目指す。 |
|------------|--|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|------|---|----------|------------------|----------|
| 総合評価 | A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。 | C | (参考) 昨年度の評価結果 | B |
| コメント | <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会の認知度が高く、市民活動支援センター登録支援型組織数が増加され総合指標が概ね達成されていて素晴らしいと思いました。まちづくり協議会の参加率も高いですが、実際に地域のまちづくり計画を策定した協議会数はH30年度は2つで2年後に20と10倍の数値を目指されていますが、今後どのようにアプローチされるのでしょうか。参加されている団体の平均年齢はどのようになっていますでしょうか。若い世代にも続くような取り組みはどんなことがありますか。今後市民活動センターが実施する研修や講演会の参加数はふるさと思民大学を2年前から開催されており笠岡市民に必要な講演会をしてくださってる人数が直結しているのかとおもいました。今後も期待しています。 ・まちづくり協議会の認知率を上げることが第一であると思われる。着実に段階を踏んで、取り組まれない。 ・部署の評価がCとあり、指標も平均的でした。さらに今回はヒアリングでの説明がなかったため、取り組み内容がよく分かりませんでした。そのため取り組みは頑張っていると思いますが、評価が難しかったです。 ・まちづくり協議会の認知度が約6割とのことだが、認知していることと参加していることは違って、広がりをみせていないと感じる。 | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|-------|--|-----|----------|-----|-----------|
| 施策No. | 2-7 | 施策名 | 多様な交流の促進 | 担当課 | 協働のまちづくり課 |
| 戦略の柱 | 活性化戦略 “賑わう” | | | | |
| 基本方針 | ☆協働の取組によって国際交流に参加する市民を増やし、国際化に対応する人材を育成するとともに、笠岡に住んでいる外国人が生活しやすい環境をつくり、多文化共生のまちづくりを目指します。 ☆友好都市等との交流を市民の積極的な参加により促進します。 | | | 関係課 | 学校教育課 |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|---------------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 | R7 目標 |
| 語学事業及び国際交流事業の年間参加者数 | 単位 | 目標 | | | 1,990 | 2,105 | 2,320 | 2,500 |
| | 人/年 | 実績 | 1,381 | 2,536 | 2,624 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 131.9% | — | — | — |
| 大田市交流事業の年間参加者数 | 単位 | 目標 | | | 60 | 62 | 70 | 80 |
| | 人/年 | 実績 | 35 | 46 | 39 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 65.0% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|---------|
| 【達成目標1】 | 国際交流の促進 |
|---------|---------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|---|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 語学事業及び国際交流事業の年間参加者数 (日本語講座・日本語指導ボランティア養成講座を除く) | 単位 | 目標 | | | 1,735 | 1,835 | 2,035 |
| | 人/年 | 実績 | 1,149 | 2,137 | 2,307 | — | — |
| | | 達成率 | | | 133.0% | — | — |
| 白石島国際交流ヴィラ年間宿泊者数 | 単位 | 目標 | | | 800 | 850 | 950 |
| | 人/年 | 実績 | 683 | 591 | 534 | — | — |
| | | 達成率 | | | 66.8% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| | 金額 | 千円 | 金額 | 千円 | 金額 | 千円 | 金額 | 千円 |
| 直接事業費 | 4,408 | 千円 | 3,915 | 千円 | 4,831 | 千円 | 5,643 | 千円 |
| うち一般財源 | 4,022 | 千円 | 3,738 | 千円 | 4,731 | 千円 | 5,428 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|--|--|-------|--------|--------|--------|---------------------------------------|--------|-------|----|--------|-------|----|
| 1 国際交流・地域間交流事業 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 市民 在住外国人 | | 外国人との交流の機会を提供するなど市民の多文化共生の理解を深め、また、外国人が生活しやすい環境をつくる。 | | | | | ・国際交流事業(青少年海外交流事業含む) ・国際交流ヴィラの運営支援 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | | ○笠岡国際交流協会の運営支援 ＜笠岡国際交流協会の 主な活動内容＞ ・各種交流事業 ・在住外国人日本語講座 ・外国人の市民向け講座 ・情報提供、相談窓口 ○友好握手都市との交流 ・マレーシアコタバル市 訪問団の受入 ○中学生の海外派遣 ○英語スピーチコンテスト ○白石島国際交流ヴィラ 運営支援 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 4,408 | 千円 | 決算額 | 3,915 | 千円 | 決算額 | 4,831 | 千円 | 決算額 | 5,643 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 4,022 | 千円 | うち一般財源 | 3,738 | 千円 | うち一般財源 | 4,731 | 千円 | うち一般財源 | 5,428 | 千円 |

【達成目標2】外国人が生活しやすいまちづくり

| 達成目標2の指標 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|---------------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| 指標名 | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 日本語講座受講者数 | 単位 | 目標 | | | 180 | 190 | 200 |
| | 人/年 | 実績 | 164 | 317 | 222 | — | — |
| | | 達成率 | | | 123.3% | — | — |
| 日本語指導ボランティア養成講座受講者数 | 単位 | 目標 | | | 75 | 80 | 85 |
| | 人/年 | 実績 | 68 | 82 | 95 | — | — |
| | | 達成率 | | | 126.7% | — | — |

| 達成目標2の事業費 | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|-----------|--|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | | 862 | 千円 | 862 | 千円 | 1,019 | 千円 | 1,047 | 千円 |
| うち一般財源 | | 862 | 千円 | 862 | 千円 | 1,019 | 千円 | 1,047 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|--|-----|--------|--------|--------|--------------------------------------|--------|-------|----|--------|-------|----|
| 2 在住外国人生活支援事業 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 在住外国人 市民 | | 笠岡国際交流協会と協働し、在住外国人の日本語の習得を支援するための日本語講座や、日本語指導ボランティア養成講座の実施を通じて、在住外国人生活支援を行う。 | | | | | ・日本語講座の実施支援 ・日本語指導ボランティア養成講座の実施支援 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | | ○笠岡国際交流協会の事業支援 ・日本語講座の実施支援 ・日本語指導ボランティア養成講座の実施支援 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 862 | 千円 | 決算額 | 862 | 千円 | 決算額 | 1,019 | 千円 | 決算額 | 1,047 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 862 | 千円 | うち一般財源 | 862 | 千円 | うち一般財源 | 1,019 | 千円 | うち一般財源 | 1,047 | 千円 |

【達成目標3】地域間交流の促進

達成目標3の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|----------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 大田市交流事業の年間参加者数 | 単位 | 目標 | | | 60 | 62 | 70 |
| | 人/年 | 実績 | 35 | 46 | 39 | — | — |
| | | 達成率 | | | 65.0% | — | — |

達成目標3の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|------------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接 事業費 | 187 | 千円 | 196 | 千円 | 183 | 千円 | 180 | 千円 |
| うち 一般財源 | 187 | 千円 | 196 | 千円 | 183 | 千円 | 180 | 千円 |

3 友好都市交流促進事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
|-----------|---|--|---|---|---|-----|----|-----|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | |
| 市民 | 友好都市等との交流を市民の積極的な参加により促進し、相互の発展につなげていく。 | ・友好都市大田市との交流支援(交流事業推進助成金) | | | | | | | |
| 取組内容 | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | | | |
| | | ○友好都市大田市との交流支援 ＜交流事業推進助成金＞ ・交付件数：2件 ・交流した市民人数：37人 | ⇒ ＜交流事業推進助成金＞ ・交付件数：2件 ・交流した市民人数：35人 | ⇒ ＜交流事業推進助成金＞ ・交付件数：2件 ・交流した市民人数：46人 | ⇒ ＜交流事業推進助成金＞ ・交付件数：2件 ・交流した市民人数：39人 | | | | |
| 直接 事業費 | 決算額 | 187 | 千円 | 196 | 千円 | 183 | 千円 | 180 | 千円 |
| | うち 一般財源 | 187 | 千円 | 196 | 千円 | 183 | 千円 | 180 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|------------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接 事業費 | 5,457 | 千円 | 4,973 | 千円 | 6,033 | 千円 | 6,870 | 千円 |
| うち 一般財源 | 5,071 | 千円 | 4,796 | 千円 | 5,933 | 千円 | 6,655 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|---|--|
| ・白石交流ヴィラの宿泊者減はどこに原因があるのでしょうか。今一度考えてみる必要を感じます。 | ヴィラのPR不足(国内のゲストハウスが増えてきていることも一因)、施設老朽化に伴う利用者満足度の低下が挙げられます。これについては、管理者である白石・島づくり委員会及び白石島を担当する地域おこし協力隊と密に連携・協議をしながら、ソフト(特に人員体制)・ハード両面から適切な補助・支援を行っていくことが必要であると考えております。 |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | | |
|------------|--|---|
| 施策の 進捗度 | A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | C |
|------------|--|---|

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------------------|--|
| 未達成 指標 への 対応策 | 管理者である白石・島づくり委員会及び白石島を担当する地域おこし協力隊と密に連携をとるとともに、農泊推進事業の中でも宿泊者数が増加するよう支援していきます。 大田市との交流事業は、令和2年度の友好都市締結30周年に向け、大田市や市内の他部所とも連携をとりながら増となるよう調整をしていく予定です。 |
|------------------------|--|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|----------|---|---|------------------|---|
| 総合 評価 | A:計画どおり進行している。 B:おおむね計画どおり進行している。 C:計画より一部遅れている。 D:計画より遅れている。 | C | (参考) 昨年度の評価結果 | C |
| コメント | <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の課題でPR不足とありましたが白石島国際交流ヴィラの活動やイベントの広報の工夫はどのようなことをされていますか。また今後どのようにPRされますか。今までされているかも知れませんが期間限定で船代が安くなるお試しイベントや親子イベント市内や近隣市町村の語学事業社とのコラボレーションなど気軽に魅力を体感して頂ける企画で市民や近隣市町村にアピールしていただきどんどん利用をしていただきたい。 ・若い世代での交流が広がる事を願います。 ・大田市交流事業や白石島国際交流ヴィラは、取り組む人員と相当の費用が必要だと思われる。また、広報活動も工夫をされ、今以上に認知されるよう努力されたい。 ・今回から評価対象となりましたが、指標も平均的でヒアリングでの説明もなかったため、評価が難しかったです。 ・今後ますます国際化は進むと思われるので交流の促進は重要なことだと思う。しかし、市内に居住する外国人と積極的に交流があるとは感じない。地域コミュニティに受け入れができているのだろうか？ | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|--------|---|-----|---------|------|-------|
| 施策 No. | 2-8 | 施策名 | 広域連携の推進 | 主担当課 | 企画政策課 |
| 戦略の柱 | 活性化戦略“賑わう” | | | | |
| 基本方針 | 限られた行政資源を有効活用するため、近隣の市町との広域的な連携や多様な主体との連携を推進し、行政運営の効率化を図るとともに地域の活性化を図ります。 | | | 関係課 | |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|--------------------------------|----|-----|----------|-------|--------|------|------|------|
| | | | H28実績 | H29実績 | H30実績 | R1目標 | R3目標 | R7目標 |
| 3圏域(高梁川流域圏, 備後圏域, 井笠圏域)での連携事業数 | 単位 | 目標 | | | 116 | 116 | 117 | 117 |
| | 事業 | 実績 | 116 | 108 | 119 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 102.6% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|-------------|
| 【達成目標1】 | 近隣市町との連携の推進 |
|---------|-------------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|--------------|----|-----|----------|-------|--------|------|------|
| | | | H28実績 | H29実績 | H30実績 | R1目標 | R3目標 |
| 高梁川流域での連携事業数 | 単位 | 目標 | | | 59 | 59 | 60 |
| | 事業 | 実績 | 57 | 58 | 59 | — | — |
| | | 達成率 | | | 100.0% | — | — |
| 備後圏域での連携事業数 | 単位 | 目標 | | | 55 | 55 | 55 |
| | 事業 | 実績 | 57 | 48 | 58 | — | — |
| | | 達成率 | | | 105.5% | — | — |
| 井笠圏域での連携事業数 | 単位 | 目標 | | | 2 | 2 | 2 |
| | 事業 | 実績 | 2 | 2 | 2 | — | — |
| | | 達成率 | | | 100.0% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 253 | 千円 | 297 | 千円 | 193 | 千円 | 177 | 千円 |
| うち一般財源 | 253 | 千円 | 297 | 千円 | 193 | 千円 | 177 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|--------|--|----|------------------------------------|-----|----|--------|-----|----|
| 1 | 広域連携事業 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 市民・職員 | | 近隣市町と連携することで、地域の活性化や行政運営の効率化に繋げる | | | 高梁川流域・備後圏域・井笠圏域において、各市町単独で行っていた事業の連携推進や圏域で行うことでのスケールメリットを活かした事業を推進する | | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| | ・高梁川流域圏及び備後圏における連携 ・井笠圏域振興協議会事務 | | ・高梁川流域圏及び備後圏における連携 ・井笠圏域振興協議会事務 | | ・高梁川流域圏及び備後圏における連携 ・井笠圏域振興協議会事務 | | ・高梁川流域圏及び備後圏における連携 ・井笠圏域振興協議会事務 | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 253 | 千円 | 決算額 | 297 | 千円 | 決算額 | 193 | 千円 | 決算額 | 177 | 千円 |
| | うち一般財源 | 253 | 千円 | うち一般財源 | 297 | 千円 | うち一般財源 | 193 | 千円 | うち一般財源 | 177 | 千円 |

| | |
|----------------|----------------|
| 【達成目標2】 | 域学連携の推進 |
|----------------|----------------|

達成目標2の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|-----------------------------|-----|-----------|-----------|-----------|--------------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 地域創生コモンズかさおかを拠点とした域学連携事業参加者 | 単位 | 目標 | | | 230 | 250 | 300 |
| | 人/年 | 実績 達成率 | — | 242 | 166 72.2% | — | — |

達成目標2の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 0 | 千円 | 0 | 千円 | 0 | 千円 | 86 | 千円 |
| うち一般財源 | 0 | 千円 | 0 | 千円 | 0 | 千円 | 43 | 千円 |

2 域学連携事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 |
|---------|--|--|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | |
| 学生, 市民 | 高い地域志向をもった人材育成を支援し, 学生, 地域住民, 各種団体等が協働して地域課題解決のための活動に取り組む。 | 地(知)の拠点大学である岡山県立大学等を支援し, 地域住民, 各種団体等との域学連携を推進する。 |

| 取組内容 | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
|-------|--------|--|--|---|--|----|--------|---|----|--------|----|----|
| | | 【岡山県立大学】 ・おかやまCOC+推進協議会(仮称)設立総会参加(11/27:1名) ・COC+事業実施に関する協定締結(H28.2月) ・笠岡諸島での疾病予防・健康増進に向けた高齢者健康増進支援活動協力(アンケート調査:11~3月) ・県立大フォーラムに資料展示(5/29) ・笠岡港(住吉地区)待合所建築設計協議(県立大デザイン工学科教授) | 【岡山県立大学】 ・おかやまCOC+推進協議会総会出席(5/20:1名) ⇒ ⇒ (5/27) ・県立大「おかやまを学ぶ」講師派遣(11/14:1名) ・笠岡諸島交流センター「みなとこばなし」設置(地域創生コモンズ開所)(H29.3月) | 【岡山県立大学】 ⇒ (6/2:1名) ⇒ ⇒ ・県立大「地域協働演習」をまちづくり協議会(2団体)が受入 ⇒ (10/18:1名) ・島の大運動会会場にて県立大が健康測定実施 ・定住促進センターHP改修等へのデザイン学部協力 【その他】 ・笠岡高校総合学習「地域学」への協力(7課7テーマ) | 【岡山県立大学】 ⇒ (6/1:1名) ・COC+事業実施に関する改正協定締結(H30.9月) ・「健康まつりin笠岡」等に県立大人間情報工学科が参画 ・県立大看護学科「総合学習」の事前実習に講師派遣(1名2回) ⇒ (5/29) ⇒ (11/14:1名) ⇒ ⇒長期インターンシップ受入(18日間:2名) 【その他】 ⇒ (7課7テーマ) ・地元高校生を中心とした笠岡駅前イルミネーション設置支援 | | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 86 | 千円 |
| | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 43 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 253 | 千円 | 297 | 千円 | 193 | 千円 | 263 | 千円 |
| うち一般財源 | 253 | 千円 | 297 | 千円 | 193 | 千円 | 220 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|--------|-------|
| | → |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | |
|--|---|
| 施策の進捗度 A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | B |
|--|---|

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------|---|
| 未達成指標への対応策 | 庁内各部署と調整を図り、「おかやまCOC+推進協議会」の活動が広がるよう学生受入を支援する。受入れに際しては「地域創生コモンズかさおか」を可能な限り活用してもらうよう岡山県立大学に要請する。 |
|------------|---|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|------|---|---|------------------|--|
| 総合評価 | A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。 | B | (参考) 昨年度の評価結果 | |
| コメント | ・広域連携は順調で域学では大学生と連携できていて素晴らしいと思いました。コモンズを拠点とした域学連携事業者はどのように増やされますか。県内の他の市町村は頑張っていることは知っていましたが、地元高校生を中心とした笠岡駅前イルミネーション設置笠岡市の学生と共に勧められ良い企画のように思いました。今後も地域学に関心のある方の育成や促進を期待しています。 ・笠岡市が行っている事業で、県立大学と協議(協力)をしながら進めた方がより良いものとなる得るものを、今一度洗い出しをされ、県立大学の知識等を有効に活用し、今後の笠岡市の事業が充実したものとなるよう役立てられたい。 ・今回から評価対象となりましたが、指標も平均的でヒアリングでの説明もなかったため、評価が難しかったです。 ・建築基準法の12条点検で市営住宅や学校施設の点検を倉敷市にお世話になり、安価に実施できた部分は評価できるが、“連携”が掛け声倒れになっているのではないかと？ | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|--------|--|-----|--------------|------|---------------------------------|
| 施策 No. | 3-1 | 施策名 | 子ども・子育て環境の整備 | 主担当課 | 子育て支援課 |
| 大項目 | 安心して暮らせるまちづくり | | | | |
| 基本方針 | 将来の笠岡市を担う子どもたちの成長は、家庭や地域にとって大きな喜びです。子どもが健やかに育つことができるよう、子育て家庭が安心して子どもを生き育てられる環境づくりを進め、子育てを地域や社会全体で支えるまちの実現を目指します。 | | | 関係課 | こども育成課 市民課 学校教育課 生涯学習課 |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|------------------------------------|---------|-----|----------|-------|-------|------|------|------|
| | | | H28実績 | H29実績 | H30実績 | R1目標 | R3目標 | R7目標 |
| 安心して子どもを産み育てられると感じている市民の割合(市民意識調査) | 単位 % | 目標 | | | 46.3 | — | 48.5 | 52.9 |
| | | 実績 | 44.1 | — | 41.4 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 89.4% | — | — | — |
| 年度末における5歳児の人口と5年前の0歳児の人口を比較した増減割合 | 単位 % | 目標 | | | 12.0 | 12.3 | 13.0 | 14.0 |
| | | 実績 | 11.1 | 12.8 | 10.0 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 83.3% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|-------------------|
| 【達成目標1】 | 安心して子どもを産み育てられる環境 |
|---------|-------------------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|---------------------|-----------|-----|----------|-------|-------|------|------|
| | | | H28実績 | H29実績 | H30実績 | R1目標 | R3目標 |
| 妊娠11週以下で妊娠届出をする妊婦 | 単位 % | 目標 | | | 91.0 | 91.3 | 92.0 |
| | | 実績 | 91.6 | 87.4 | 87.8 | — | — |
| | | 達成率 | | | 96.5% | — | — |
| 子育て意識啓発のための講座を受講した人 | 単位 人/年 | 目標 | | | 310 | 320 | 330 |
| | | 実績 | 292 | 518 | 199 | — | — |
| | | 達成率 | | | 64.2% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|
| 直接事業費 | 107,149 | 千円 | 105,273 | 千円 | 105,582 | 千円 | 106,544 | 千円 |
| うち一般財源 | 105,386 | 千円 | 102,239 | 千円 | 103,568 | 千円 | 99,325 | 千円 |

1 母子健診事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 |
|------------|--|--|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | |
| 妊産婦 乳幼児 | 妊産婦及び乳幼児の健康診査を直接又は医療機関へ委託して実施し、乳幼児及び家族の健康の維持増進を図る。 | 医療機関による妊産婦健康診査、乳幼児健康診査の一部を公費負担することで実施。乳児の健やかな成長と母体の健康の増進を図る。また、乳児健康診査、1歳6箇月健康診査、3歳児健康診査及び2歳児歯科検診を実施することで乳幼児の健康状態を把握し、適切な指導助言を行う。 |

| 取組内容 | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
|-------|---|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|--------|--------|----|
| | ●母子保健事業 ・健康診査の実施 <妊婦一般健康診査延件数:3,253件> <乳児一般健康診査延件数:451件> <3~4か月健康診査延件数:279件> <1歳6か月健康診査延件数:317件> <3歳児健康診査延件数:326件> <2歳児歯科検診延件数:113件> | ⇒ ⇒ | ⇒ ⇒ | ⇒ ⇒ | ⇒ ⇒ | ⇒ ⇒ | ⇒ ⇒ | ⇒ ⇒ | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 31,417 | 千円 | 決算額 | 28,516 | 千円 | 決算額 | 31,480 | 千円 | 決算額 | 26,044 | 千円 |
| | うち一般財源 | 31,417 | 千円 | うち一般財源 | 28,516 | 千円 | うち一般財源 | 31,480 | 千円 | うち一般財源 | 26,044 | 千円 |

【達成目標2】子どもを健やかに育てるための家庭支援の充実

| 達成目標2の指標 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|----------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| 指標名 | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 子育てコンシェルジュ利用件数 | 単位 | 目標 | | | 250 | 290 | 350 |
| | 件/年 | 実績 | 169 | 478 | 645 | — | — |
| | | 達成率 | | | 258% | — | — |

達成目標2の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|
| 直接事業費 | 236,283 | 千円 | 241,332 | 千円 | 245,367 | 千円 | 247,402 | 千円 |
| うち一般財源 | 150,472 | 千円 | 150,364 | 千円 | 155,586 | 千円 | 161,994 | 千円 |

5 地域子育て支援拠点事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|---------------------|---|---|----|--------|--------|--------|--------|--------|----|--------|--------|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 家庭で子育てをしている保護者及び乳幼児 | 安心して子育てができるよう、保護者の育児不安・ストレスを解消する。保護者同士のネットワーク作りの支援をする。地域の子育て情報を提供する。 | 乳幼児及びその保護者が交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言その他の援助活動を行う。また子育て支援に関する講習等を実施する。 | | | | | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●地域子育て支援拠点事業 ・つどいの広場事業の実施 ・大井児童館の運営 ・地域子育て支援センターの運営 ★・六島しまっこクラブの運営 <つどいの広場延利用者数:7,101人> <大井児童館延利用者数:15,679人> <地域子育て支援センター延利用者数:4,834人> <六島しまっこクラブ在籍児童数:1人> | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 47,109 | 千円 | 決算額 | 50,443 | 千円 | 決算額 | 49,980 | 千円 | 決算額 | 50,878 | 千円 |
| | うち一般財源 | 22,424 | 千円 | うち一般財源 | 23,991 | 千円 | うち一般財源 | 23,472 | 千円 | うち一般財源 | 33,400 | 千円 |

6 ひとり親家庭支援事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|--------------|---|--|----|--------|---------|--------|--------|---------|----|--------|---------|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| ひとり親家庭の親及び児童 | 生活の安定と自立の促進を図る。 | 保護者が死亡した児童に対しては遺児年金・激励金を、保護者が離別等した児童の保護者に対しては児童扶養手当を支給する。また、母子・父子家庭等に対し、その自立に必要な情報を提供するとともに、相談指導等の支援を行う。DV等で支援が必要な母子家庭については、母子生活支援施設に入所措置する。 | | | | | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●母子自立相談 ・児童扶養手当の支給 ・市遺児年金の支給 ・市遺児激励金の支給 ・母子生活支援施設入所事務 ・ひとり親家庭に対する相談 <児童扶養手当支給者数:417人> <母子生活支援施設措置件数:0件> | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 186,653 | 千円 | 決算額 | 188,648 | 千円 | 決算額 | 193,061 | 千円 | 決算額 | 194,336 | 千円 |
| | うち一般財源 | 125,740 | 千円 | うち一般財源 | 124,514 | 千円 | うち一般財源 | 130,118 | 千円 | うち一般財源 | 126,690 | 千円 |

| 7 要保護児童対策事業 | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|--|---|-------------------------|--|-------------------------|--------|---|-------|----|--------|-------|----|
| 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 被虐待児童及び支援を必要とする児童とその保護者 | | 被虐待児及び困り感を持った児童が一人の人間として人権の尊重される生活を送ることができるようにする。 | | 各関係機関が連携し、情報の共有化を図ることで、それぞれの機関が同一の認識のもとで責任を持って支援を行なう。子育て不安やストレス、親子関係等の問題等に対し、保護者が安心感をもてる環境を提供しながら、専門職による対応・支援等の児童家庭相談を行う。児童虐待防止月間に合わせて啓発を行う。4歳児の発達に関する相談及び支援を行う。 | | | | | | | | |
| 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | | |
| 取組内容 | ●要保護対策事業 ・被虐待児の早期発見と安全を確保 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | ●4歳児発達支援事業 ・特性に応じた成長、発達の支援、 教育機関等へのコーディネート ●要保護児童管理システム構築 <児童虐待(新規登録)件数:43件> | | ⇒ <児童虐待(新規登録)件数:38件> | | ⇒ <児童虐待(新規登録)件数:38件> | | ⇒ <生活実態調査の実施 回収数1,529> <児童虐待(新規登録)件数:38件> | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 2,521 | 千円 | 決算額 | 2,241 | 千円 | 決算額 | 2,326 | 千円 | 決算額 | 2,188 | 千円 |
| | うち一般財源 | 2,308 | 千円 | うち一般財源 | 1,859 | 千円 | うち一般財源 | 1,996 | 千円 | うち一般財源 | 1,904 | 千円 |

【達成目標3】安心・安全な子育て環境の充実

| 達成目標3の指標 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|------------------------------------|----|-----|----------|-------|-------|-------|-------|
| 指標名 | | | H28実績 | H29実績 | H30実績 | R1目標 | R3目標 |
| 保育所(園)・認定こども園(保育所部分)・事業所内保育(地域枠)定員 | 単位 | 目標 | | | 1,349 | 1,351 | 1,360 |
| | 人 | 実績 | 1,293 | 1,264 | 1,339 | — | — |
| | | 達成率 | | | 99% | — | — |

| 達成目標3の事業費 | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|-----------|--|-----------|----|-----------|----|-----------|----|-----------|----|
| 直接事業費 | | 1,752,118 | 千円 | 1,729,799 | 千円 | 1,789,463 | 千円 | 1,958,652 | 千円 |
| うち一般財源 | | 526,257 | 千円 | 493,406 | 千円 | 479,370 | 千円 | 424,659 | 千円 |

| 8 ファミリーサポートセンター事業 | | | | | | | | | | | |
|-------------------|--|----------------------------|---|--|---|--------|--|-----|--------|-----|-----|
| 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | |
| 育児を応援して欲しい方(親子) | | 育児を応援したい方に紹介し、子育てを相互に援助する。 | | 依頼会員(子どもを預けたい人)と提供会員(子どもを預かる人)が会員登録し、センターにて依頼会員と提供会員を結びつけ、子育てを相互に援助する活動を支援する。また、会員の交流会や研修会を実施する。 | | | | | | | |
| 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | ●ファミリーサポートセンター事業 ・会員の増加を目指して啓発の強化 ・提供会員の資質向上を図るため研修の実施 <依頼会員数:458人> <提供会員数:456人> <延活動件数:803件> | | ⇒ <依頼会員数:445人> <提供会員数:468人> <延活動件数:722件> | | ⇒ <依頼会員数:433人> <提供会員数:465人> <延活動件数:876件> | | ⇒ <依頼会員数:435人> <提供会員数:479人> <両方会員数:19人> <延活動件数:805件> | | | | |
| | 決算額 | 616 | 千円 | 決算額 | 569 | 千円 | 決算額 | 704 | 千円 | 決算額 | 703 |
| うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|---|---------|---|---|--------|--|---|--------|--------|--|--------|--------|
| 9 公立保育所管理運営事業 | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | |
| 市内公立保育所への入所を必要とする児童 | | | 保育を必要とする児童を保育する施設として、健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより、健全な心身の発達を図る。 | | | 限られた事業費の中で、国の施設最低基準及び保育所保育指針に基づき、安定した保育業務を実施するとともに、安全な施設管理を行う。 | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| 取組内容 | ●保育サービスの向上 ・障害児保育に対応するために職員の資質向上 ・老朽化した施設の整備の推進 ・公立保育所の民営化の推進 ・地域における子育て支援拠点としての機能強化 ・保育料収納率の向上 <年間延入所児童数:4,502人> <施設数:8か所> <3月初日入所率:89.8%> <保育料収納率:98.7%> | | | ⇒ ・笠岡保育所の民営化 <年間延入所児童数:3534人> <施設数:6か所> <3月初日入所率:84.4%> <保育料収納率:99.4%> | | | ⇒ <年間延入所児童数:3392人> <施設数:6か所> <3月初日入所率:82.8%> <保育料収納率:99.8%> | | | ⇒ <年間延入所児童数:3,449人> <施設数:6か所> <3月初日入所率:82.2%> <保育料収納率:99.3%> | | |
| | 直接事業費 | 決算額 | 139,742 | 千円 | 決算額 | 52,858 | 千円 | 決算額 | 48,595 | 千円 | 決算額 | 52,479 |
| | うち一般財源 | 124,000 | 千円 | うち一般財源 | 48,163 | 千円 | うち一般財源 | 43,726 | 千円 | うち一般財源 | 47,649 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|--|---------|---|--|---------|---|--|---------|---------|--|---------|---------|
| 10 私立保育所運営委託事業 | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | |
| 市内私立保育所への入所を必要とする児童 | | | 保育を必要とする児童を保育する施設として、健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより、健全な心身の発達を図る。 | | | 運営費を支弁することにより、国の運営費枠の中で、国の施設最低基準及び保育所保育指針に基づき安定した保育園の管理運営を行う。 | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| 取組内容 | ●保育サービスの充実 ・保育所職員の研修への参加促進 ・保育の満足度調査の実施 <年間延入所児童数:10,482人> <施設数:7か所> <3月初日入所率:104.6%> <保育料収納率:97.9%> | | | ⇒ <年間延入所児童数:11,019人> <施設数:8か所> <3月初日入所率:101.5%> <保育料収納率:99.3%> | | | ⇒ <年間延入所児童数:11,053人> <施設数:8か所> <3月初日入所率:102.9%> <保育料収納率:99.1%> | | | ⇒ <年間延入所児童数:8,751人> <施設数:7か所> <3月初日入所率:95.3%> <保育料収納率:99.5%> | | |
| | 直接事業費 | 決算額 | 785,205 | 千円 | 決算額 | 861,098 | 千円 | 決算額 | 903,024 | 千円 | 決算額 | 720,020 |
| | うち一般財源 | 245,581 | 千円 | うち一般財源 | 286,240 | 千円 | うち一般財源 | 290,541 | 千円 | うち一般財源 | 127,731 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|--------|-----|---|--------|-----|--|--------|-----|--------|--|--------|---------|
| 11 認定こども園施設型給付事業 | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | |
| 市内私立認定こども園への入園を必要とする児童 | | | 幼児教育・保育を必要とする児童を受け入れる施設として、健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより、健全な心身の発達を図る。 | | | 施設型給付費を支弁することにより、安定した園運営に寄与し、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、全ての子どもに質の高い幼児期の学校教育及び保育の総合的な提供を行う。 | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| 取組内容 | | | | | | | | | | ●幼児教育・保育サービスの充実 <年間延入所児童数:2,376人> <施設数:2か所> <3月初日入所率:97.6%> | | |
| | 直接事業費 | 決算額 | | 千円 | 決算額 | | 千円 | 決算額 | | 千円 | 決算額 | 194,453 |
| | うち一般財源 | | 千円 | うち一般財源 | | 千円 | うち一般財源 | | 千円 | うち一般財源 | 70,320 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|----------------|--------|--|--------|--|--------|----|--|--|----|--------|-------|----|
| 12 幼稚園運営業務 | | 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 保護者・幼稚園・認定こども園 | | 公平性を保つため、確実な保育料の徴収を行う。施設に対して補助を行うことにより、充実した幼児教育環境の向上に寄与する。 | | 幼稚園保育料に関すること。世帯の所得等に応じた就園奨励費補助に関すること。在園児に対する一時預かり事業に関すること。 | | | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園保育料の賦課、徴収 幼稚園就園奨励費補助事業 幼稚園一時預かり事業 | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | | 千円 | 決算額 | | 千円 | 決算額 | | 千円 | 決算額 | 2,786 | 千円 |
| | うち一般財源 | | 千円 | うち一般財源 | | 千円 | うち一般財源 | | 千円 | うち一般財源 | 1,328 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|--|--------|--|--------|----|--------|--------|----|--------|--------|----|
| 13 保育ニーズ支援事業 | | 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 児童及び保護者 | | 必要に応じて多様な保育サービス等の提供や、自宅以外の居場所をつくることにより、子育てを支援する。 | | 子育て家庭のニーズに対応するため、多様な保育サービス等の提供や、児童が安心して過ごせる自宅以外の居場所をつくる。また、子育て支援コンシェルジュを配置して、妊婦及び子育て中の保護者を対象に利用者支援を行う。 | | | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●保育サービスの充実 ・延長保育促進事業の実施 ・一時・特定保育事業の実施 ・病児・病後児保育事業の実施 ・休日保育事業の実施 ・保育所地域活動事業の実施 ・障害児保育事業の実施 <延長保育実施保育所数:8か所> <一時預かり延利用児童数:1,079人> <病児・病後児延利用児童数:286人> <地域活動実施保育所数:14か所> <障害児保育実施保育所数:2か所> | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 32,282 | 千円 | 決算額 | 35,747 | 千円 | 決算額 | 34,892 | 千円 | 決算額 | 23,056 | 千円 |
| | うち一般財源 | 17,921 | 千円 | うち一般財源 | 17,870 | 千円 | うち一般財源 | 12,989 | 千円 | うち一般財源 | 11,287 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|---|--|--------|---|--------|----|--------|---------|----|--------|---------|----|
| 14 放課後児童クラブ事業 | | 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 保護者が昼間家庭にいない小学生 | | 小学校の授業終了後及び長期休暇時に、放課後児童クラブにより、児童の健全な育成を図る。 | | 核家族化の進展と、女性の就労が増える中で、市内の小中学校区単位に放課後児童クラブを設置し、運営を各地域の運営委員会に委託し、放課後等の児童が安心して過ごせる居場所を提供する。 | | | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●放課後児童クラブ事業 ・指導員への研修の実施 ・クラブからの気になる児童等についての相談への対応 ・適切な事業運営に向けたクラブへの指導 <実施クラブ数:16か所> <登録児童数:486人> | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 81,370 | 千円 | 決算額 | 93,197 | 千円 | 決算額 | 123,967 | 千円 | 決算額 | 100,942 | 千円 |
| | うち一般財源 | 28,077 | 千円 | うち一般財源 | 32,151 | 千円 | うち一般財源 | 29,073 | 千円 | うち一般財源 | 34,726 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-------------|---|----|------------|--------------------|----|------------|---|----|---|---------|----|
| 15 | 神島保育所移転改築事業 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 神島保育所入所児童 | | 老朽化した施設を建替えを行い、児童が安心・安全に過ごせる施設環境の充実を図る。 | | | 神島保育所の移転・建替えを行う。 | | | | | | | |
| 取組内容 | | 平成27年度 ・地元協議 | | | 平成28年度 ⇒(移転先決定) | | | 平成29年度 ・土地の地質調査 ・測量・造成設計委託 ・実施設計委託 (H30年度へ繰越) | | 平成30年度 ・測量・造成設計委託 ・実施設計委託 ・園舎建設工事等(H31年度へ繰越) | | |
| 直接 事業費 | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 13,326 | 千円 | 決算額 | 216,504 | 千円 |
| | うち 一般財源 | 0 | 千円 | うち 一般財源 | 0 | 千円 | うち 一般財源 | 1,426 | 千円 | うち 一般財源 | 32,701 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|------------|---|----|------------|---|----|------------|---|----|---|-------|----|
| 16 | 児童福祉施策事業 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 18歳未満の子ども及び保護者、市民、事業者 | | 児童福祉施策の企画及び調整を行い、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進する。 | | | 笠岡市次世代育成支援後期行動計画の後継計画として、笠岡市子ども条例の理念及び地域の実情を反映し、平成26年度に策定した笠岡市子ども・子育て支援事業計画の普及・啓発につとめるとともに、子育てしやすい環境づくりを推進する。 | | | | | | | |
| 取組内容 | | 平成27年度 <安心して子どもを産み育てられると感じている市民の割合：－％> | | | 平成28年度 <安心して子どもを産み育てられると感じている市民の割合：44.1％> 削・「かさおか子育て応援企業」認定事業 | | | 平成29年度 ・笠岡市子ども・子育て支援事業計画の推進 <安心して子どもを産み育てられると感じている市民の割合：－％> ⇒ <かさおか子育て応援企業認定団体：4団体> | | 平成30年度 ・笠岡市子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査 <安心して子どもを産み育てられると感じている市民の割合：41.4％> ⇒ <かさおか子育て応援企業認定団体：6団体> | | |
| 直接 事業費 | 決算額 | 125 | 千円 | 決算額 | 257 | 千円 | 決算額 | 231 | 千円 | 決算額 | 3,647 | 千円 |
| | うち 一般財源 | 125 | 千円 | うち 一般財源 | 189 | 千円 | うち 一般財源 | 231 | 千円 | うち 一般財源 | 179 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|------------|--|----|------------|--|----|------------|----------------------------------|----|----------------------------------|---------|----|
| 17 | 児童手当業務 | | | | + | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 中学校修了前までの児童を養育している者 | | 次代の社会を担う児童の健やかな育ちを社会全体で応援する。 | | | 中学校修了前までの児童の養育者に児童手当を支給する。0歳～3歳未満までは月額15,000円。3歳～小学校修了前までの第1子・第2子は月額10,000円で、第3子以降は月額15,000円。中学生は月額10,000円。所得制限該当者は月額5,000円。 | | | | | | | |
| 取組内容 | | 平成27年度 ・児童手当の支給 ・受給者台帳の管理 <児童手当支給者数：5,380人> | | | 平成28年度 ⇒ <児童手当支給者数：5,152人> | | | 平成29年度 ⇒ <児童手当支給者数：5,017人> | | 平成30年度 ⇒ <児童手当支給者数：4,866人> | | |
| 直接 事業費 | 決算額 | 712,778 | 千円 | 決算額 | 686,073 | 千円 | 決算額 | 664,724 | 千円 | 決算額 | 644,062 | 千円 |
| | うち 一般財源 | 110,553 | 千円 | うち 一般財源 | 108,793 | 千円 | うち 一般財源 | 101,384 | 千円 | うち 一般財源 | 98,738 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | | | | | | | | | |
|------------|--|-----------|----|-----------|----|-----------|----|-----------|----|
| 直接 事業費 | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
| | | 2,095,550 | 千円 | 2,076,404 | 千円 | 2,140,412 | 千円 | 2,312,598 | 千円 |
| うち 一般財源 | | 782,115 | 千円 | 746,009 | 千円 | 738,524 | 千円 | 685,978 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|---|--|
| <p>・受診人数が少ないに関わらず、母子の健康診査の待ち時間がとても長いと感じます。待ち時間を短くする良い方法はないでしょうか。</p> | <p>→ 健診では、子どもの心身の発達を保護者と共有しておりますが、発達に課題のあるお子様も増えており、さらに社会情勢の変化の中、子育てに支援を得にくい保護者が増えている状況などから、虐待の予防を含めて養育の不安等を伺い、支援するよう努めています。待ち時間については、課題であり、受診予定人数が多い月には、前後の少ない月への受診を勧奨し、早めのご案内をしています。また、現在一人ずつの来所時間と終了時間を測定し、健診の受付時間を区切るなどの方法について検討しており、待ち時間を軽減するよう改善に努めてまいりたいと思います。</p> |
| <p>・児童虐待新規登録件数38件は深刻な数値である。親に問題がある場合がほとんどと思う。早期に相談、通報できる体制と共に子育ての教養を進めることが大切。</p> | <p>→ 深刻な児童虐待事件は後を絶たず、社会全体で取り組むべき重要な課題となっています。笠岡市においても、妊娠期から生活基盤に課題を抱える家庭も増えており、経済的に不安を抱え、さらに出産後養育支援を受けられない状況にある方も増えております。このたび12月に「子育て世代包括支援センター」を開設し、妊娠期からの支援に重点を置き、虐待の予防にも繋げていく予定です。 また、笠岡市では、児童虐待対応のため「要保護児童相談員」を配置して児童相談所、警察、保健、医療、福祉、教育の各機関と緊密に連携しております。更に児童虐待専用ダイヤルを子育て支援課に設けて、早期に相談に対応しています。 さらに、保護者への育児力を高めるための支援も重要であると考え、アメリカで開発された育児方法の実践プログラムCSP(コモンセンスペアレンティング)を導入しています。子どもを育てるスキルを普及させることで、児童虐待防止や市全体の子育て力の向上に努めているところでございます。</p> |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | | |
|---------------|--|-----------------|
| <p>施策の進捗度</p> | <p>A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。</p> | <p>B</p> |
|---------------|--|-----------------|

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|-------------------|--|
| <p>未達成指標への対応策</p> | <p>総合指標については、引き続き各種子育て支援施策の充実に努めるとともに、子育て世代包括支援センターや子育て支援コンシェルジュによる子育て総合相談を積極的に展開し、切れ目のない、きめ細やかな支援を進め、「安心して子どもを産み育てられるまち笠岡」を様々な機会を捉えて積極的にPRすることにより、市民へ「子育てしやすいまち」のイメージ浸透を図り、もって動態人口の増加を目指す。 安心して妊娠期を迎えるための妊娠届出週数については、産科等の関係機関と連携を深め、早期の届け出となるよう働きかけを行う。また、子育て意識の啓発については、子どもを育む意識が高まるよう、若い世代へのアプローチとして高校生に向けての啓発事業を継続するとともに、子育て家庭を対象とした新たな講座を企画・実施し、受講者の増加を図る。</p> |
|-------------------|--|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|-------------|---|-----------------|--------------------------|-----------------|
| <p>総合評価</p> | <p>A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。</p> | <p>B</p> | <p>(参考) 昨年度の評価結果</p> | <p>B</p> |
| <p>コメント</p> | <p>・若い世代が置かれている現実はとても厳しいと感じています。子育てが少しでも楽になるように、たくさんの施策がなされていることに感謝しました。それを必要とする保護者の皆さんが、もれなく恩恵をこうむれるように、予算の確保と施策の周知ができるといいと思います。 ・虐待から子どもを守るには大変なエネルギーが必要です。支援を必要としている家庭が増えてきています。私がかかわった子ども達も、子育て支援課、学校教育課等、関係諸機関の支えによって随分助けられたと思っています。地域の方にも助けられました。社会のきずなが弱くなっていると言われるこの時代において、とても大切な役割を担っていると思います。保幼小中とも連携をとりながら、子ども達の成長をずっと見守る体制ができていますと考えています。より一層の連携強化をお願いします。 ・子供の命や健康に係わる重要な部署です。気になる情報は皆で共有できるようにお願いします。 ・子育て支援の環境を整えて下さいましていつもありがとうございます。笠岡市は近隣市町村よりも対応がよいと近隣の子育て世代から聞いています。時代に合ったアプリを使用するなど柔軟に取り入れられて素晴らしいと思います。昨年はこのほかに幼保再編整備計画素案が発表され、混乱が起き時間が費やされたと思いますが、その時や今後の対応などが触れられてないので、アンケートの部分と連動性がないですが一年の中で何か関連されることはありますでしょうか。また母親クラブにつきましても多大なご尽力をいただいておりますが、母親の主体性を奪うような難しい運営規制をできるだけ生まないように創意工夫を期待しています。 ・多くの施策に取り組まれており、非常に努力されている。しかし、なかなか実績に反映されにくいところである。安心して子供を産み育てられる笠岡市を実感できるように、引き続き努力されたい。 ・委員の関心も非常に高く、説明時間もかなり取っていただきました。このまま頑張ってくださいと思います。 ・多岐に亘る施策を展開しているにも拘わらず、市民意識調査における「安心して子どもを育てられると感じている市民の割合」が41.4%と前回調査から2.7ポイント低下している。もっとPRが必要と思う。</p> | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|-------|--|-----|---------|------|----------------|
| 施策No. | 3-2 | 施策名 | 学校教育の充実 | 主担当課 | 学校教育課 教育総務課 |
| 戦略の柱 | 未来戦略 “輝く” | | | | |
| 基本方針 | 新しい時代に必要となる資質・能力を備え、笠岡を愛し、共に生きていこうとする子どもたちの育成を目指し、「自立して、共に生きる子どもを育てる学校教育」を推進します。 | | | 関係課 | こども育成課 |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|----------------------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 | R7 目標 |
| 自分にはよいところがあると思う児童の割合 | 単位 | 目標 | | | 75.0 | 76.0 | 78.0 | 81.0 |
| | % | 実績 | 71.9 | 72.5 | 87.0 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 116.0% | — | — | — |
| 自分にはよいところがあると思う生徒の割合 | 単位 | 目標 | | | 72.0 | 73.0 | 75.0 | 78.0 |
| | % | 実績 | 68.5 | 73.9 | 84.5 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 117.4% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|--------|
| 【達成目標1】 | 郷土愛の育成 |
|---------|--------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|------------------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 児童の地域行事への参加率 | 単位 | 目標 | | | 83.0 | 83.7 | 85.0 |
| | % | 実績 | 78.3 | 68.9 | 71.1 | — | — |
| | | 達成率 | | | 85.7% | — | — |
| 生徒の地域行事への参加率 | 単位 | 目標 | | | 56.5 | 58.0 | 61.0 |
| | % | 実績 | 52.5 | 55.4 | 62.1 | — | — |
| | | 達成率 | | | 109.9% | — | — |
| コミュニティ・スクール実施学校数 | 単位 | 目標 | | | 6 | 8 | 11 |
| | 校 | 実績 | 3 | 4 | 5 | — | — |
| | | 達成率 | | | 83.3% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 直接事業費 | 3,341 | 千円 | 6,451 | 千円 | 4,942 | 千円 | 4,972 | 千円 |
| うち一般財源 | 3,274 | 千円 | 5,407 | 千円 | 3,245 | 千円 | 3,472 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|-------|--|-------|----|--|-------|----|---|-------|----|--------|-------|----|
| 1 | 郷土愛育成 | | | | | | | | | | | |
| | 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | |
| | 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | |
| | 幼児・児童・生徒 | | | 笠岡の自然、歴史、文化、人物等と関わる学習を通して、強度への愛着を持った豊かな心を育成する。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・地域自慢のCMを作成し、コンテストや、Web上を通じて発信する。(H28～H30までの3年間) ・中学2年生において、地域の事務所での職場体験を実施する。 ・体験的な学習や環境整備を通じて、児童生徒の豊かな心を育成する。 | | | | | |
| | 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | |
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・いきいきチャレンジ体験事業 ・豊かな心を育む総合推進事業 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | |
| | | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | |
| | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・CMで伝える地域自慢コンテスト開催事業 | | | ⇒ | | | ⇒ | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 3,341 | 千円 | 決算額 | 6,451 | 千円 | 決算額 | 4,942 | 千円 | 決算額 | 4,972 | 千円 |
| | うち一般財源 | 3,274 | 千円 | うち一般財源 | 5,407 | 千円 | うち一般財源 | 3,245 | 千円 | うち一般財源 | 3,472 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------|--|---|--------|--|--------|---|--|---|--------|----|--------|--------|----|
| 3 | | 確かな学力・豊かな心育成事業(再掲) | | | | | | | | | | | |
| | | 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 幼児・児童・生徒 | | それぞれの発達段階に応じた教育活動を意図的、計画的に実践することにより、確かな学力と豊かな心の育成を図る。 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・笠岡市「確かな学力」育成プロジェクトを核として、学校と家庭、地域が一体となった取組を推進する。 ・「学力・学習状況改善プラン」に基づいて、段階的・具体的な取組を行う。 ・放課後や休日に地域人材を活用した補充学習の機会を設けたり、理科支援員を配置したりして、児童の基礎学力の定着・授業の充実を図る。 ・外国語指導助手を増員し、外国語教育(外国語活動)の充実を図る。 ・総合的な学習の時間等の充実を図り、体験的な活動をとおして豊かな心を育成する。 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | | <ul style="list-style-type: none"> ●「確かな学力」改善プランの推進と検証 ⇒ ・取組の重点:「ICT活用による指導方法の工夫改善」 ⇒ ① ☆・外国語指導助手を活用した授業の充実 ⇒ ① ・観察・実験等を重視した指導の充実 ⇒ ① ・デジタル教科書の導入(小学校) ⇒ ○豊かな心を育成するための施策の体系化 ⇒ ・道徳実践研究事業 ⇒ ・英語教育推進モデル事業 ⇒ ① ●休日・放課後の学習会開催 ⇒ ・学校規模適正化計画の柔軟な対応の説明会の実施 協議により平成31年度まで一時保留 ⇒ | | <ul style="list-style-type: none"> ① ・デジタル教科書の導入(中学校) ⇒ ・不登校対策実践研究事業 ⇒ | | <ul style="list-style-type: none"> ① ・デジタル教科書の活用(小・中学校) ⇒ ・中学校学力向上に向けた検定チャレンジのための支援 ⇒ | | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校道徳の指導 ⇒ | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 73,023 | 千円 | 決算額 | 65,875 | 千円 | 決算額 | 59,609 | 千円 | 決算額 | 68,597 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 68,619 | 千円 | うち一般財源 | 59,914 | 千円 | うち一般財源 | 34,274 | 千円 | うち一般財源 | 63,634 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--|--|-----|--------|--------|--------|---|--------|-----|----|--------|-----|----|
| 4 | | 教職員研修事業 | | | | | | | | | | | |
| | | 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 教職員 | | 子どもたちの人間形成の指導と援助のため、教育課程を把握し、教師の力量を高め、よりよい指導の在り方を求める。 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・市内全教職員で自主的な研修組織「教育研修所」を組織し、それぞれで部会を組織し、授業研究を中心とした研究に努める。 ・学校を指定して、今日的な教育課題に2か年ないし3か年かけて研究を進める。 ・県教育委員会及び近隣市町教育委員会と連携し、教員の経験年数に応じた研修の企画を提供する。 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | | <ul style="list-style-type: none"> ・研究指定校における研究の推進 ⇒ ・教育研修所の各部会における研修 ⇒ ・教育課題に応じた研修 ⇒ ・ICT活用授業の充実に資する研修 ⇒ ・パワーアップ研修会(35歳以下悉皆) ⇒ ・パワーアップミニ研修会 ⇒ | | | | | | | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 920 | 千円 | 決算額 | 920 | 千円 | 決算額 | 745 | 千円 | 決算額 | 980 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 920 | 千円 | うち一般財源 | 920 | 千円 | うち一般財源 | 745 | 千円 | うち一般財源 | 980 | 千円 |

【達成目標3】 共生の心の育成

達成目標3の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|-------------------------------------|----|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 西備支援学校・笠岡学園・社会福祉施設との 交流学习を実施する学校 | 単位 | 目標 | | | 43.0 | 48.0 | 64.0 |
| | % | 実績 達成率 | 29.0 | 41.0 | 62.0 | — | — |
| | | | | | 144.2% | — | — |

達成目標3の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|------------|-----------|----|-----------|----|---------|----|-----------|----|
| 直接 事業費 | 1,073,198 | 千円 | 1,105,759 | 千円 | 842,841 | 千円 | 1,039,740 | 千円 |
| うち 一般財源 | 724,334 | 千円 | 781,067 | 千円 | 620,468 | 千円 | 812,233 | 千円 |

5 生徒指導・進路指導総合推進事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|------------|--|---|----|------------|--------|----|------------|--------|----|------------|--------|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 幼児・児童・生徒 | <p>生徒指導上の諸問題に対して、専門家や関係機関と連携しながら対応するとともに、未然防止の観点から早期支援を充実させる。</p> <p>キャリア教育の視点でオープンスクールを位置づけ、長期的・総合的な進路指導を充実させる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・スクールサポートチームを編成し、関係機関と連携しながら対応する。 ・スクールカウンセラーや不登校対策支援員等の校内リソースを活用した支援を行う。 ・子育て支援課と連携しながら、就学前からの支援を行う。 ・教育相談室・教育支援センターへのカウンセラーの配置を充実をさせる。 ・オープンスクールへの参加等をキャリア教育に位置づける。 | | | | | | | | | | |
| 取組 内容 | ●いじめ対策専門指導員の配置 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| | ●いじめのない集団づくりの実践 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| | ●関係機関と連携したチーム対応 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| | ●教育相談室等相談体制の充実 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| | ●スクールカウンセラー等や関係機関の積極的な活用 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| | ●早期からの個に応じた支援体制組織の確立と活動 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| | ●巡回カウンセラー等の活用と連携 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| ●教育相談事業の推進 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | | |
| 直接 事業費 | 決算額 | 16,716 | 千円 | 決算額 | 16,172 | 千円 | 決算額 | 17,797 | 千円 | 決算額 | 18,755 | 千円 |
| | うち 一般財源 | 14,132 | 千円 | うち 一般財源 | 13,152 | 千円 | うち 一般財源 | 13,629 | 千円 | うち 一般財源 | 14,705 | 千円 |

| | | | | | |
|------------|--|---|--|---|--|
| 6 | | 幼児教育推進事業 | | | |
| | | 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | |
| 幼児・保護者・教職員 | | 幼児の健やかな心身の成長を助長するために、教職員や保護者、幼児教育関係機関等が一体となって、子育て支援を行っていく。 | | ・教育審議会の答申に基づき、保護者の要望や地域の状況に応じて、平成24年度から全園で3歳児保育を実施することとした。 ・子育て支援課と連携した「4歳児発達支援事業」の充実を図り、その充実を図る。 ・園が保護者や地域に意図的・計画的に学びの場や相談の場を設定して、子育て力の向上を図る。 ・幼と小の教職員の交流や子どもたちの交流活動を推進し、幼と小との円滑な接続を図る。 | |
| | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 取組内容 | | ●幼稚園教育・施設の充実 ・3年保育の実施と充実 ・子育て支援アンケート調査 ●家庭教育の充実 ●幼稚園や保育所(園)と小学校との連携 ●子育て支援課と連携した「4歳児発達支援事業」の実施 ●就学前教育研修会の実施 | ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ | ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ | ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ |
| 直接事業費 | | 決算額 3,324 千円 | 決算額 4,020 千円 | 決算額 3,854 千円 | 決算額 3,957 千円 |
| | | うち一般財源 3,275 千円 | うち一般財源 2,806 千円 | うち一般財源 2,308 千円 | うち一般財源 2,642 千円 |

| | | | | | |
|--------------|--|---|---|--|-------------|
| 7 | | 学校施設耐震化事業 | | | |
| | | 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | |
| 児童・生徒及び各地域住民 | | 教育環境の安全確保及び地域住民の安全拠点の整備を行う。(学校施設耐震化率100%が最終目標) | | <木造校舎耐震化の検討>真鍋小, 真鍋中 | |
| | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 取組内容 | | ・耐震補強工事の実施設計 ・耐震補強工事 <耐震補強工事実施棟数:5棟> <非構造部材の耐震化実施棟数:11棟> | ⇒ ⇒ <耐震補強工事実施棟数:2棟> <耐震補強工事ができない施設の解体棟数:1棟> <耐震診断実施棟数:3棟> | ⇒ <木造校舎耐震化の検討>真鍋小, 真鍋中 <耐震補強工事ができない施設の解体に伴う整備工事>笠岡小学校飼育舎新築工事, 外構整備工事 | ⇒ |
| 直接事業費 | | 決算額 242,847 千円 | 決算額 199,336 千円 | 決算額 10,044 千円 | 決算額 0 千円 |
| | | うち一般財源 15,191 千円 | うち一般財源 58,250 千円 | うち一般財源 10,044 千円 | うち一般財源 0 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------|--|--|---------|---|--------|---|----|--|---------|----|--------|---------|----|
| 8 | | 学校維持管理業務 | | | | | | | | | | | |
| | | 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 園児, 児童, 生徒 | | 学校施設での安全で, 安心な学習・生活環境を確保する。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・教育財産の管理及び取得処分 ・学校施設管理の業務委託 ・学校施設台帳整備 ・学校施設等の建築整備及び国庫補助事務 | | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | | <ul style="list-style-type: none"> ・教育財産の管理及び取得処分 ・学校施設管理の業務委託 ・学校施設台帳整備 ●学校施設等の建築整備及び国庫補助事務 <トイレ洋式化工事:5校> <パソコン教室エアコン設置工事:1校> <防犯カメラ設置工事:1校> <金浦小プール改修工事> | | <ul style="list-style-type: none"> ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ <トイレ洋式化工事:6校> <教育施設法定点検:9校・4園> <大井小教室棟トイレ改修工事> > <笠岡東中学校太陽光発電設備設置工事> | | <ul style="list-style-type: none"> ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ <トイレ洋式化工事:6校> <教育施設法定点検:9校・4園> > <六島小トイレ改修工事> <大島小学校整備事業> <真鍋中トイレ改修工事> <大島中学校屋根改修工事> ★<島しょ部給食室エアコン設置工事> | | <ul style="list-style-type: none"> ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ <トイレ洋式化工事:5校> <教育施設法定点検:8校・3園> > <大島中学校屋根改修工事> <北川小学校ブロック塀改修工事> | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 251,954 | 千円 | 決算額 | 329,903 | 千円 | 決算額 | 210,812 | 千円 | 決算額 | 208,146 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 246,193 | 千円 | うち一般財源 | 270,550 | 千円 | うち一般財源 | 167,098 | 千円 | うち一般財源 | 188,261 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------|--|--|--------|---|--------|---|----|---|--------|----|--------|--------|----|
| 9 | | 特別支援教育推進事業 | | | | | | | | | | | |
| | | 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 幼児・児童・生徒 | | 「特別支援教育推進計画」に基づいて, 発達障害等, 障害のある幼児・児童・生徒の教育的ニーズを早期に把握するとともに, 関係機関と連携しながら, 幼児期からの一貫した継続的・総合的な支援体制の充実を図る。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や保育所の集団生活において困り感のある幼児を把握し, 支援を行う。 ・就学時等に連絡会を実施し, 関係者が情報を共有しながら継続的な支援を行う。 ・教育相談室に巡回カウンセラーを配置し, ケースに対する専門的なアドバイスを行う。 ・幼稚園と小・中学校における組織的な支援を充実させるため, 教育支援員を配置する。 ・笠岡学園等の協力を得て, 幼稚園教諭, 保育士等の研修会の充実を図る。 ・長期的・継続的な支援を充実させるため, 相談支援ファイル等を活用する。 | | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | | <ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援課と連携した「4歳児発達支援事業」の実施 ・個別支援シートに基づく, 具体的な支援 ●発達障害に関する巡回相談 ・巡回カウンセラー, 教育支援員の拡充 ●非常勤支援員の配置 ・コーディネーター, 教育支援員の研修 ・教育支援研修会の実施 ●相談支援ファイルの見直しと青年期・成人期の作成 | | <ul style="list-style-type: none"> ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ | | <ul style="list-style-type: none"> ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ | | <ul style="list-style-type: none"> ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 27,655 | 千円 | 決算額 | 28,020 | 千円 | 決算額 | 30,498 | 千円 | 決算額 | 31,333 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 27,655 | 千円 | うち一般財源 | 28,020 | 千円 | うち一般財源 | 30,498 | 千円 | うち一般財源 | 24,328 | 千円 |

| 10 保健体育・安全教育推進事業 | | | | | | | | | | | | |
|--|--------|---|--------|--------|---|---|--------|--------|--------|--------|--------|----|
| 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 園児・児童・生徒・保護者 | | 危機管理体制の確立、保健体育・安全教育及び食育と学校給食の充実を図り、健康・安全で安心して生活できる学校づくりを推進する。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・学校・保護者への緊急情報配信システムを運用し、不審者情報を共有する。 ・子どもの望ましい食習慣の形成のため、食育の推進を図る。 ・食物アレルギーをもつ子どもの給食についてできるかぎりの対応をする。 | | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| 取組内容 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・緊急情報通信システムの入れ替えと活用の促進 | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急配信メールの活用 ・栄養教諭による食に関する授業の実施 ・学校給食における食物アレルギーへの対応 | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 29,801 | 千円 | 決算額 | 28,331 | 千円 | 決算額 | 27,917 | 千円 | 決算額 | 27,514 | 千円 |
| | うち一般財源 | 28,476 | 千円 | うち一般財源 | 27,055 | 千円 | うち一般財源 | 26,679 | 千円 | うち一般財源 | 26,269 | 千円 |

| 11 就学援助事業 | | | | | | | | | | | | |
|---|--------|--|--------|--------|---|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|
| 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 児童・生徒 | | 家庭の経済的理由に左右されることなく学習活動に積極的に取り組める環境を整える | | | <ul style="list-style-type: none"> ・経済的に困窮している家庭の負担を軽減し、児童生徒の就学を支援する ・へき地に居住する子どもたちへの経済的な支援 ・特別支援教育を必要とする子どもたちへの経済的な支援 | | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| 取組内容 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・支給水準及び支給対象者の認定基準の見直し | | | | | | | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 42,329 | 千円 | 決算額 | 42,268 | 千円 | 決算額 | 49,354 | 千円 | 決算額 | 43,535 | 千円 |
| | うち一般財源 | 40,710 | 千円 | うち一般財源 | 40,728 | 千円 | うち一般財源 | 47,873 | 千円 | うち一般財源 | 42,008 | 千円 |

| 12 学校運営支援事業 | | | | | | | | | | | | |
|--|--------|------------------------------------|--------|--------|--|--------|--------|---------|--|--------|---------|----|
| 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 児童・生徒及び各地域住民 | | 学校(園)の環境整えることで、児童や生徒が授業を受けやすいようにする | | | 学校(園)配当予算の令達・会計事務 教材備品の購入・管理等効率的配置 円滑な学校(園)運営の支援 スクールポート・スクールバスに関すること | | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| 取組内容 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・配当予算の適正化を行った上での予算確保 ・学校(園)のコスト意識の向上 ・事務の効率化、情報化 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| | | | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・教室不足解消事業:大島小学校仮設教室賃貸借事業 | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 109,822 | 千円 | 決算額 | 80,308 | 千円 | 決算額 | 100,708 | 千円 | 決算額 | 103,089 | 千円 |
| | うち一般財源 | 109,182 | 千円 | うち一般財源 | 80,308 | 千円 | うち一般財源 | 100,708 | 千円 | うち一般財源 | 103,089 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|-------------------------|----|--------|---|----|--------|-------|----|--------|-------|----|
| 13 | 教育委員会業務 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 教育委員会 | | 教育行政の充実と教育委員会の適正な運営を図る。 | | | 教育委員会の会議に関する事、教育委員に関する事、都道府県教育委員会・市町村教育委員会との連絡調整に関する事 | | | | | | | |
| 平成27年度 | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | 教育委員会の開催 教育委員の教育施設訪問 教育委員の先進地視察 総合教育会議の開催 | | | ⇒ | | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 3,912 | 千円 | 決算額 | 3,916 | 千円 | 決算額 | 3,779 | 千円 | 決算額 | 3,803 | 千円 |
| | うち一般財源 | 3,912 | 千円 | うち一般財源 | 3,916 | 千円 | うち一般財源 | 3,779 | 千円 | うち一般財源 | 3,803 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|--|----|--------|------------------------------------|----|--------|---------|----|--------|---------|----|
| 14 | 教育総務管理業務 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 教育委員会 | | 学校教育・生涯教育・スポーツの各分野にわたり、総合的に教育行政を推進する組織にする。 | | | ・事務局の調整・庶務、教育情報の共有 ・事務局の基本計画の作成 | | | | | | | |
| 平成27年度 | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | ・事務局の調整・庶務、教育情報の共有 ・事務局の基本計画の作成 ・幼稚園保育料の賦課、徴収 ・幼稚園就園奨励費補助事業 ・施設型給付事業 | | | ⇒ | | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 145,460 | 千円 | 決算額 | 153,924 | 千円 | 決算額 | 155,527 | 千円 | 決算額 | 161,195 | 千円 |
| | うち一般財源 | 144,962 | 千円 | うち一般財源 | 153,062 | 千円 | うち一般財源 | 155,527 | 千円 | うち一般財源 | 161,195 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|---|----|--|---|----|--|---------|--|--------|---------|----|
| 15 | ① 学校施設空調設備設置事業 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 児童・生徒 | | 幼稚園保育室・遊戯室、小・中学校普通教室・特別教室(理科室・音楽室)へ空調設備を設置する。 | | | ・空調設備設置工事 金浦小学校、城見小学校、大井小学校、大島小学校、今井幼稚園、尾坂幼稚園、北木西幼稚園 ・空調設備設置工事実施設計 今井小学校、陶山小学校、吉田小学校、新山小学校、北川小学校、神内小学校 | | | | | | | |
| 平成27年度 | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | 空調設備設置工事数:中学校2校、幼稚園2園 空調設備設置工事実施設計数:中学校3校、幼稚園2園 | | | 空調設備設置工事数:中学校4校、幼稚園2園 空調設備設置工事実施設計数:小学校3校、幼稚園2園 | | | 空調設備設置工事数:小学校3校、中学校3校、幼稚園2園 空調設備設置工事実施設計数:小学校4校、幼稚園2園 | | 空調設備設置工事数:小学校4校、幼稚園3園 空調設備設置工事実施設計数:小学校6校 | | | |
| | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 135,690 | 千円 | 決算額 | 134,641 | 千円 | 決算額 | 168,314 | 千円 | 決算額 | 188,931 | 千円 |
| | うち一般財源 | 32,390 | 千円 | うち一般財源 | 25,503 | 千円 | うち一般財源 | 4,750 | 千円 | うち一般財源 | 3,215 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------|---|-------------------------------|--|--------|---|------------------|--------|--------|--|--------|---------|----|
| 16 | 学校給食業務 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 児童・生徒・教職員 | | 心身の健全な発達に資するため安全でおいしい給食を提供する。 | | | 学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に役立ち、市民の食生活の改善につながることを十分認識し、より安全でおいしい給食を提供するよう、学校給食の充実を図っていく。また学校給食についての理解を深めてもらえるように、概ね月2回の学校訪問、試食会等を実施する。 | | | | | | | |
| 平成27年度 | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ・ホームページの充実 ・職員に対する研修会の実施 ・納入業者や関係各課との情報交換 ・退職者不補充による業務実施 | | ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ※蒸煮冷却機更新(22,086千円) | | | ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ | | | ・PFI事業を用いた安価で質の良い学校給食事業の実施 ・ホームページ、学校訪問、給食センターの見学等を利用し、食育啓発 ・関係各課、関係業者との情報交換 | | | |
| | 決算額 | 63,688 | 千円 | 決算額 | 84,920 | 千円 | 決算額 | 64,237 | 千円 | 決算額 | 249,482 | 千円 |
| 直接事業費 | うち一般財源 | 58,256 | 千円 | うち一般財源 | 77,717 | 千円 | うち一般財源 | 57,575 | 千円 | うち一般財源 | 242,718 | 千円 |

【達成目標4】小中一貫教育及び学校規模適正化の実施

達成目標4の指標

| 指標名 | 目標・実績の推移 | | | | |
|-----------|----------|-------|-------|------|------|
| | H28実績 | H29実績 | H30実績 | R1目標 | R3目標 |
| 小中一貫教育の実施 | 単位 | 目標 | — | — | 1 |
| | 校 | 実績 | — | — | — |
| | | 達成率 | — | — | — |

達成目標4の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 0 | 千円 | 0 | 千円 | 0 | 千円 | 0 | 千円 |
| うち一般財源 | 0 | 千円 | 0 | 千円 | 0 | 千円 | 0 | 千円 |

17 小中一貫教育・学校規模適正化事業

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--------|--|---------|--------|---|--------|--------|--|--------------|--------|---|----|--|
| 事務事業の目的 | | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 学校 | | 学力向上や生徒指導の充実の観点から、全ての学校において義務教育9年間を見通した教育システムづくりを行う。 | | | ・笠岡市における小中一貫教育の教育内容・カリキュラムの作成 ・小中一貫教育を推進する教育システム・学校の在り方の構築 | | | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | | | | | | | | | 笠岡市教育審議会での検討 | | | | |
| | 決算額 | | 千円 | 決算額 | | 千円 | 決算額 | | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 | |
| 直接事業費 | うち一般財源 | | 千円 | うち一般財源 | | 千円 | うち一般財源 | | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|-----------|----|-----------|----|---------|----|-----------|----|
| 直接事業費 | 1,190,684 | 千円 | 1,247,137 | 千円 | 997,562 | 千円 | 1,196,517 | 千円 |
| うち一般財源 | 837,239 | 千円 | 913,698 | 千円 | 720,515 | 千円 | 944,847 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|---|--|
| <p>・近年、子どもの貧困が言われています。以前テレビで取り上げられていたのですが「みんな持っているパソコンが買えないから貧困、スマートフォンを持つゆとりがない」というのは、感覚が違う気がします。就学支援の見極め等、しっかり精査していただける様お願いいたします。</p> | <p>→ 就学援助につきましては、現在認定基準(市民税非課税世帯等)でもって審査し認定しているところです。今後も引き続き、認定基準に基づきしっかり審査していきます。</p> |
| <p>・異常気象が続いています。中学校では100%空調設備がなされていますが、小学校未設置教室の早期設置をされますようお願いいたします。</p> | <p>→ 学校施設への空調設置につきましては、設置計画に基づき順次実施しており、平成31年度中には全ての小学校で設置済みとなるよう進めてまいります。</p> |
| <p>・「自分にはよいところがある」割合が年々下がってきています。自信を持って伸びやかな感性を育む指導を期待します。</p> | <p>→ 平成30年度の全国学力・学習状況調査では、小学校6年生、中学校3年生ともに、「自分にはよいところがある」と回答した児童・生徒の割合が、全国平均より高くなり、改善傾向にあります。引き続き、自己有用感が高まるように、心の教育の充実に取り組んでまいります。</p> |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | | |
|---------------|--|-----------------|
| <p>施策の進捗度</p> | <p>A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。</p> | <p>B</p> |
|---------------|--|-----------------|

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|-------------------|--|
| <p>未達成指標への対応策</p> | <p>中学校の検定チャレンジは、平成30年度より補助対象を増やすため教育委員会以外の会場(塾や学校等)での受験者も対象とした。そのため、教育委員会以外で受験した生徒の合否が把握できず達成率が下がっている。また、児童の地域への参加率は、笠岡市の目標設定率が高いため未達成となっているが、県では65.2%、全国では62.7%と笠岡市の実績を下回っている。しかし、引き続き学力向上や地域への参加を促すよう取り組んでいきたいと思います。</p> |
|-------------------|--|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|-------------|---|-----------------|--------------------------|-----------------|
| <p>総合評価</p> | <p>A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。</p> | <p>B</p> | <p>(参考) 昨年度の評価結果</p> | <p>B</p> |
| <p>学校は特</p> | <p>・子ども達の学力は、調査開始当時から比較すると改善傾向が見られると思っています。(小学校は特に)。授業改善の取り組みが効果を生んでいるのではないのでしょうか。中学生は今年良好だったようです。今の時代にあった指導のあり方を現場の先生方が身につけることが一番大切です。漢字、計算などの基礎的な学力の定着と心技体のバランスのとれた子どもを育成できるような教育を目指してほしいと思います。道徳教育の目標の中に「よりよく生きようとする心の育成」という言葉があったように記憶しています。社会の荒波を乗り越えていくためにはこの力の育成がとても大切です。</p> <p>・笠岡市の自立して共に生きていこうとする取り組みが自己肯定感と結ばれ、日本では自己肯定感が少ない子どもが問題視される中、学年の個人差はあると思いますがぜひ継続教育をお願いしたいと思います。</p> <p>・小中一貫教育の導入目的を市民に理解していただき、子供たちの為により良い教育をお願いします。</p> <p>・未来ある子供たちのために、多くの施策に取り込まれており、努力されている。教育現場は、日々、様々な課題が持ち上がると思うが、引き続き、子供たちのために尽力されたい。</p> <p>・学力の向上の指標がよく分からなかったのですが、上位と下位の差が縮まっているとの説明を聞き、安心しました。今後も頑張ってくださいと思います。</p> <p>・表向きには全国学力学習状況調査における成績の向上が必要だと思うが、肝心なのは子どもたちが知的好奇心を持って主体的に学ぼうとすることだと思う。学校規模の適正化については、多様な意見に触れることが大切ですので進めていただきたい。その上で、単なる統合でなく、新しい一体型の小中一貫校の建設を行っていただきたい。</p> | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|--------|---|-----|---------|-----|---------------------|
| 施策 No. | 3-3 | 施策名 | 生涯学習の推進 | 担当課 | 生涯学習課 |
| 戦略の柱 | 活性化戦略 “輝く” | | | | |
| 基本方針 | ☆市民が、いつでも、どこでも、自由に学ぶことができ、その成果が適切に活かされる生涯学習社会を構築するため、市民の生涯学習を推進するとともに、環境の整備推進を図ります。 ☆市民一人一人の豊かな学びにより地域力を高め、自立した地域社会の形成を目指します。 ☆行政・家庭・地域・関係機関等の連携を強化し、地域ぐるみで活動の拡大を目指します。 | | | 関係課 | 協働のまちづくり課 子育て支援課 |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|-------------------------|-----|-----|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | H28実績 | H29実績 | H30実績 | R1目標 | R3目標 | R7目標 |
| まちづくり出前講座受講者数 | 単位 | 目標 | | | 16,500 | 16,500 | 16,500 | 17,000 |
| | 人/年 | 実績 | 16,791 | 13,187 | 13,175 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 79.8% | — | — | — |
| 「生涯にわたって学習できる環境づくり」の満足度 | 単位 | 目標 | | | 21.0 | — | 22.0 | 23.0 |
| | % | 実績 | 20.3 | — | 26.0 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 123.8% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|--------------------------------|
| 【達成目標1】 | いつでも、どこでも、学びたいときに学ぶことができる機会の提供 |
|---------|--------------------------------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|-----------|-----|-----|----------|--------|--------|--------|---------|
| | | | H28実績 | H29実績 | H30実績 | R1目標 | R3目標 |
| 公民館で行う講座数 | 単位 | 目標 | | | 400 | 400 | 400 |
| | 講座 | 実績 | 395 | 392 | 397 | — | — |
| | | 達成率 | | | 99.3% | — | — |
| 図書館への来館者数 | 単位 | 目標 | | | 93,000 | 96,000 | 100,000 |
| | 人/年 | 実績 | 66,000 | 86,168 | 99,441 | — | — |
| | | 達成率 | | | 106.9% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|
| 直接事業費 | 124,818 | 千円 | 136,925 | 千円 | 165,568 | 千円 | 181,050 | 千円 |
| うち一般財源 | 118,657 | 千円 | 118,995 | 千円 | 141,845 | 千円 | 158,423 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|--------------|---|--|--|--|--|----|--|---------|----|--------|--------|----|
| 1 | 公民館管理運営事業 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 市内公民館利用者(団体) | | 地域住民の社会教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、市民の教養の向上・健康の増進を図り、生活文化の振興・社会福祉の増進を図る。 | | 中央公民館並びに20地区公民館において、地域の最も身近な学習の場として、主催講座、自主講座を行うとともに、文化祭や体育祭等、地域住民が交流を図り、地域がつながる事業を行う。 | | | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| | ●公民館講座 ・中央公民館 主催講座 7 自主講座 49 ・地区公民館 20館 324講座 ●公民館活動助成事業 108事業 ●公民館施設整備事業 | | ⇒ ・中央公民館 主催講座 7 自主講座 51 ・地区公民館 20館 337講座 ⇒ 109事業 ⇒ | | ⇒ ・中央公民館 主催講座 6 自主講座 52 ・地区公民館 20館 334講座 ⇒ 108事業 ⇒ | | ⇒ ・中央公民館 主催講座 5 自主講座 49 ・地区公民館 20館 343講座 ⇒ 108事業 ⇒ | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 92,324 | 千円 | 決算額 | 103,146 | 千円 | 決算額 | 102,053 | 千円 | 決算額 | 92,893 | 千円 |
| | うち一般財源 | 87,305 | 千円 | うち一般財源 | 86,327 | 千円 | うち一般財源 | 80,402 | 千円 | うち一般財源 | 78,246 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------|---------------|--|----|--------|--------|---|--------|--------|----|--------|--------|----|--|
| 2 | | 図書館事業 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 図書館利用者(市民及び市内在学・在勤者並びに福山市民) | | 地域住民のニーズに対応した資料・情報を提供し、安心して学べる場として充実した図書館サービスを行い、子どもの読書活動の推進と市民の自己発見や自己実現の支援を行う。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・安心して学べる施設整備を行い、利用者に求められる資料の収集と情報の提供を行う。 ・ブックスタート事業、保育所・幼稚園への配本事業等を通して、子ども読書推進事業を行う。 ・郷土出身の森田思軒・木山捷平の顕彰を行う。 ・視聴覚ライブラリー資料の管理・提供を行う。 | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | |
| 取組内容 | ●図書館管理運営事業 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | |
| | ・自主事業 | | | | | | | | | | ⇒ | | |
| | ・図書館改修工事 | | | | | | | | | | ⇒ | | |
| | ・視覚障がい者サービス事業 | | | | | | | | | | ⇒ | | |
| | ●子ども読書活動推進事業 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | |
| ・ブックスタート事業 | | | | | | | | | | ⇒ | | | |
| ・市内公立保育所・幼稚園配本事業 | | | | | | | | | | ⇒ | | | |
| ・子ども司書養成講座 | | ⇒ | | | | | | | | ⇒ | | | |
| ●文学資料管理事業 | | ⇒ | | | | | | | | ⇒ | | | |
| ●高梁川流域連盟での相互利用 | | ⇒ | | | | | | | | ⇒ | | | |
| ●視聴覚ライブラリーの運営 | | | | | | | | | | ⇒ | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 32,494 | 千円 | 決算額 | 33,779 | 千円 | 決算額 | 63,515 | 千円 | 決算額 | 88,157 | 千円 | |
| | うち一般財源 | 31,352 | 千円 | うち一般財源 | 32,668 | 千円 | うち一般財源 | 61,443 | 千円 | うち一般財源 | 80,177 | 千円 | |

【達成目標2】 学習成果を活かしたまちづくり

達成目標2の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|-----------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 生涯学習フェスティバル参加者数 | 単位 | 目標 | | | 3,300 | 3,400 | 3,600 |
| | 人/年 | 実績 | 3,600 | 3,900 | 4,250 | — | — |
| | | 達成率 | | | 128.8% | — | — |
| まちづくり出前講座開催数 | 単位 | 目標 | | | 360 | 360 | 360 |
| | 回/年 | 実績 | 417 | 344 | 360 | — | — |
| | | 達成率 | | | 100.0% | — | — |

達成目標2の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|------------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接 事業費 | 2,401 | 千円 | 2,126 | 千円 | 2,068 | 千円 | 2,038 | 千円 |
| うち 一般財源 | 2,401 | 千円 | 2,126 | 千円 | 2,068 | 千円 | 2,038 | 千円 |

3 生涯学習推進事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|-----------|---|---|----|------------|------------------------------------|----|------------|-----------------------|----|------------|-------|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 市民 | 生涯のいつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価され、生かされる生涯学習社会の実現を図ります。 | 事業を通じて知識・技能を習得し、生涯学習活動を推進します。習得した知識・技能を活かし、活力あるまちづくりを実践します。 | | | | | | | | | | |
| | 平成27年度 | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | | |
| 取組 内容 | ●市民大学教養講座 ●市町村広域連携講座「県西部の文化」 ●生涯学習諸学級 ●若いいちよの木の集い ●各種社会教育団体の育成 ●笠岡市生涯学習フェスティバル ●まちづくり出前講座 | ●市民大学教養講座 開催せず ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ | | | ●市民大学教養講座 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ | | | ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ | | | | |
| | 決算額 | 2,401 | 千円 | 決算額 | 2,126 | 千円 | 決算額 | 2,068 | 千円 | 決算額 | 2,038 | 千円 |
| 直接 事業費 | うち 一般財源 | 2,401 | 千円 | うち 一般財源 | 2,126 | 千円 | うち 一般財源 | 2,068 | 千円 | うち 一般財源 | 2,038 | 千円 |

【達成目標3】 家庭・地域・学校と一体となった地域ぐるみの教育支援

達成目標3の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|-----------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 放課後子ども教室等の実施団体数 | 単位 | 目標 | | | 11 | 11 | 11 |
| | 団体 | 実績 | 9 | 9 | 10 | — | — |
| | | 達成率 | | | 90.9% | — | — |
| 街頭補導活動中の声かけ件数 | 単位 | 目標 | | | 650 | 650 | 650 |
| | 人/年 | 実績 | 623 | 1,004 | 1,167 | — | — |
| | | 達成率 | | | 179.5% | — | — |

達成目標3の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 12,110 | 千円 | 19,655 | 千円 | 21,178 | 千円 | 13,357 | 千円 |
| うち一般財源 | 9,230 | 千円 | 5,736 | 千円 | 3,731 | 千円 | 5,735 | 千円 |

4 青少年健全育成事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|---------------|---|--|----|--------|-----------------------|--------|--------|--------|----|--------|-------|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 就学前幼児～20歳の青少年 | 青少年が自律性を発揮し、自己選択、自己責任、相互支援を担いながら、自己実現を図り、社会的に自立した個人として成長するよう支援します。 | 各種事業を通して、知識・技能を学ぶとともに、相互の親睦を深め、ボランティア精神の醸成を行います。 | | | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ●たくましい笠岡っ子 ●スピーチコンテスト ●高校VYS事業 ●明るい家庭づくり作文 ●放課後子ども教室 ●学校支援地域本部 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| | | | | | ●地域学校協働本部 ●土曜日教育支援 | | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 7,722 | 千円 | 決算額 | 4,382 | 千円 | 決算額 | 4,488 | 千円 | 決算額 | 5,009 | 千円 |
| | うち一般財源 | 4,842 | 千円 | うち一般財源 | 1,704 | 千円 | うち一般財源 | 1,765 | 千円 | うち一般財源 | 1,987 | 千円 |

5 青少年育成センター運営業務

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|--|--|----|--------|-----|--------|--------|--------|----|--------|-----|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 笠岡市、里庄町の児童・生徒及び20歳未満の有職・無職の少年 | 青少年の非行や問題行動の未然防止と健全な育成を図ります。 | 補導活動、相談活動、環境浄化活動及び啓発活動を行うとともに、関係機関・団体と連携し、連絡会議、情報交換会、研修会等を実施します。 | | | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ●育成センター事業 ・補導活動 ・相談活動 ・環境浄化活動 ・啓発活動 ・関係機関団体との連携 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 602 | 千円 | 決算額 | 632 | 千円 | 決算額 | 623 | 千円 | 決算額 | 625 | 千円 |
| | うち一般財源 | 602 | 千円 | うち一般財源 | 632 | 千円 | うち一般財源 | 623 | 千円 | うち一般財源 | 625 | 千円 |

| 6 生涯学習等管理業務 | | 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
|--|---|--|----|--------|-----|---|--------|--------|----|--------|-----|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 生涯学習本部会委員, 企画委員, 懇話会委員, 青少年問題協議会委員, 青少年健全育成連絡協議会委員 | | 生涯学習並びに青少年の健全育成を推進するための体制づくりと環境づくりを行います。 | | | | 生涯学習の推進方法及び青少年の健全育成に関する基本的な方針や計画を決定し, 関係機関と総合調整を行います。 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ・社会教育委員会事務 ・生涯学習推進本部事務 ・青少年問題協議会に関する事務 ・青少年健全育成連絡協議会に関する事務 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 373 | 千円 | 決算額 | 352 | 千円 | 決算額 | 351 | 千円 | 決算額 | 291 | 千円 |
| | うち一般財源 | 373 | 千円 | うち一般財源 | 352 | 千円 | うち一般財源 | 351 | 千円 | うち一般財源 | 291 | 千円 |

| 7 北木島宿泊研修事業 | | 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
|-------------|-------------|--|-------------|--------|-----------|---|-------------|--------|----|--------|-------|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 児童, 生徒, 一般 | | 島の特性を活かした海や北木石といった自然の資源による学習や交流を通して, 青少年の健全な発達をを促し, 島の活性化に資する。 | | | | 北木島宿泊研修所の管理運営を指定管理によって運営し, 島ならではの宿泊体験学習を提供する。 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ●宿泊研修所の管理運営 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | | | ●宿泊研修所の施設整備 | | ●屋外炊事棟の新設 | | ●3階研修室空調の新設 | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 3,413 | 千円 | 決算額 | 14,289 | 千円 | 決算額 | 15,716 | 千円 | 決算額 | 7,432 | 千円 |
| | うち一般財源 | 3,413 | 千円 | うち一般財源 | 3,048 | 千円 | うち一般財源 | 992 | 千円 | うち一般財源 | 2,832 | 千円 |

【達成目標4】 社会教育に取り組む市民や団体との協働と支援

| 達成目標4の指標 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|----------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| 指標名 | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 子どもフェスティバル参加者数 | 単位 | 目標 | | | 3,000 | 3,000 | 3,000 |
| | 人/年 | 実績 | 2,300 | 2,200 | 4,900 | — | — |
| | | 達成率 | | | 163.3% | — | — |
| 学校支援活動への参加者数 | 単位 | 目標 | | | 20,000 | 20,000 | 20,000 |
| | 人/年 | 実績 | 20,500 | 19,460 | 33,534 | — | — |
| | | 達成率 | | | 167.7% | — | — |

達成目標4の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 1,200 | 千円 | 1,200 | 千円 | 1,184 | 千円 | 2,003 | 千円 |
| うち一般財源 | 1,200 | 千円 | 1,200 | 千円 | 1,184 | 千円 | 1,003 | 千円 |

7 社会教育関係団体等との協働及び支援

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|----------------|---|--|----|--------|-------|--------|--------|-------|----|--------|-------|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 社会教育関係団体 市民 | ・各社会教育関係団体や市民との協働を進めることで、市民の知恵や力がまちづくりに発揮する。 | ・社会教育、生涯学習に寄与する団体の活動等を支援する。また、各団体の指導者、リーダー等の育成を支援する。 ・社会教育関係団体との協働で青少年の健全育成に資する事業の企画・運営を行う。 | | | | | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●子どもフェスティバル ⇒ ●笠岡市PTA連合会への支援 ⇒ ●笠岡市子ども育成連絡協議会への支援 ⇒ ●笠岡市婦人協議会への支援 ⇒ ●託児ボランティア「たんぼぼ」への支援 ⇒ | | | | | | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 1,200 | 千円 | 決算額 | 1,200 | 千円 | 決算額 | 1,184 | 千円 | 決算額 | 2,003 | 千円 |
| | うち一般財源 | 1,200 | 千円 | うち一般財源 | 1,200 | 千円 | うち一般財源 | 1,184 | 千円 | うち一般財源 | 1,003 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|
| 直接事業費 | 140,529 | 千円 | 159,906 | 千円 | 189,998 | 千円 | 198,448 | 千円 |
| うち一般財源 | 131,488 | 千円 | 128,057 | 千円 | 148,828 | 千円 | 167,199 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|---|---|
| ・宿泊研修所の利用についてですが、市内の学校以外からの利用は何パーセントくらいでしょうか。 | → 平成29年度実績では、延べ利用者数1,626人のうち市外利用者は1,045人であり、約64%となります。 |
| ・子供フェスティバルの見直しで来場者の反応が良かったようです。期待しています。 | → 平成30年度子どもフェスティバルでは、各コーナー、周知方法の見直しを図ったとともに、特定財源を活用することで子ども達に人気の高いキャラクターショーを実施することができました。それらの結果、参加者数が約4,900人(前年度 約2,200人)となり、近年減少傾向にあった参加者数を大幅に増やすことができました。 |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | | |
|--------|--|----------|
| 施策の進捗度 | A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | B |
|--------|--|----------|

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------|--|
| 未達成指標への対応策 | <ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室の実施団体数 本事業は、地域ボランティアによって子ども達の放課後、休日等の居場所づくり、安全安心を確保することが目的であるため、公民館関係者や地域コーディネーター等地域住民の理解や協力なしでは推進を図ることは困難であります。本事業に係る説明会の開催や情報発信、子ども達の学習ニーズの把握等により、地域住民の理解を深め、新設へのきっかけづくりに努めてまいります。 ・まちづくり出前講座受講者数 平成30年度実施実績では、防災教室や普通救命講習会等の防災分野が約56%、交通安全教室や消費者被害防止等の市民生活分野が約15%、廃棄物の減量化・資源化等の環境分野が約13%と全体の約84%を占めており、その時の市民ニーズに合ったメニューを提供することが本事業の促進につながるものと考えております。市の各部署や外郭団体とともに市民ニーズの把握に努め、それに見合ったメニューを検討してまいります。なお、メニュー数は平成28年度の66講座から今年度は11講座増え、77講座を準備しております。 ・公民館で行う講座数 30年度に行った「講座アンケート」の結果を基に、市民が求める講座を把握し、魅力的な講座の開拓に努めていきます。 |
|------------|--|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|------|--|----------|------------------|----------|
| 総合評価 | A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。 | A | (参考) 昨年度の評価結果 | B |
| コメント | <ul style="list-style-type: none"> ・図書館は、話題の本、郷土の関連を集めて展示したりして住民が利用しやすいように展示されています。また、多目的室、休憩室があったりして、利用しやすくなっています。係の人も丁寧な対応をさせていただきます。 ・公民館の運営は地元の方々を巻き込み行われ素晴らしいと思いました。継続的に行って欲しいと同時に若い世代の介入が難しく世代交代をどのように勧められているのか伺いたいです。岡山県内でも図書館の充実が進められている中、笠岡市も出来事や関心に応じた市民のニーズをつかまれ、より使いやすい図書館になっているように思います。生涯学習フェスティバル地域活動に積極的に参加され、子どもフェスティバルも市街からも大変人気で継続を希望します。 ・まちづくり出前講座の受講者数が減少してはいるが、その他の指標は非常に良い結果となっている。引き続き、実績の改善へむけて努力されたい。 ・図書館活動が活発で好評です。休憩室も増築せず工夫して整備できて良かった。各イベントも市民が楽しめるよう工夫され、来場者も増加しています、これからも頑張ってください。 ・ヒアリングでの説明がなかったのですが、図書館の方々が頑張っているということを知り、非常に感銘を受けました。今後も引き続き頑張ってくださいと思います。 ・図書館の利用者数、貸出件数が堅調に伸びている。このまま続けていただきたい。 | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|--------|--|-----|---------|------|-------------------------|
| 施策 No. | 3-4 | 施策名 | スポーツの振興 | 主担当課 | スポーツ推進課 |
| 戦略の柱 | 未来戦略 “輝く” | | | | |
| 基本方針 | ☆子どもから高齢者まで、誰もが生涯を通して健康で活気に満ちた生活を送るため、いつでも、どこでも、誰でもスポーツが楽しめるまちを目指します。 ☆優れた選手を育成するため、競技団体等との連携を深め、競技力強化を行います。 ☆施設の整備や有効利用を進めるとともに、スポーツ・レクリエーション活動に取り組める場を提供します。 | | | 関係課 | 健康推進課 都市計画課 学校教育課 |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|---------------------------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 | R7 目標 |
| 各種スポーツ大会・教室の参加者数 (市民体育大会・教室) | 単位 | 目標 | | | 2,400 | 2,450 | 2,550 | 2,750 |
| | 人/年 | 実績 | 2,311 | 1,464 | 2,025 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 84.4% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|--------------|
| 【達成目標1】 | 生涯スポーツ活動の活発化 |
|---------|--------------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|--------------------------------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 週1回以上スポーツをしている人の割合 (市民意識調査) | 単位 | 目標 | | | 37.0 | — | 43.0 |
| | % | 実績 | 35.2 | — | 42.2 | — | — |
| | | 達成率 | | | 114.1% | — | — |
| 小・中学生の体力テスト(国・市比較) | 単位 | 目標 | | | 75.0 | 80.0 | 84.0 |
| | % | 実績 | 68.8 | 65.6 | 71.9 | — | — |
| | | 達成率 | | | 95.9% | — | — |
| 総合型スポーツクラブ会員数 | 単位 | 目標 | | | 65 | 70 | 80 |
| | 人 | 実績 | 52 | 68 | 127 | — | — |
| | | 達成率 | | | 195.4% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 8,458 | 千円 | 15,343 | 千円 | 7,571 | 千円 | 7,904 | 千円 |
| うち一般財源 | 8,293 | 千円 | 14,956 | 千円 | 7,377 | 千円 | 6,902 | 千円 |

| 1 | | スポーツ行事開催事業 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|---|-------|--|--------|--|----|---|-------|----|--------|-------|----|--|--|--|--|
| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 市民 | | 気軽にスポーツを楽しめるようきっかけづくりをし、健康づくり、体力づくりを支援する。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室の開催 ・スポーツ大会の開催 ・スポーツ行事の支援 | | | | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | | | | | |
| 取組内容 | | <ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ教室を実施し、市民の健康づくりに努めた。(参加者:1,073人) ●市民体育大会・ロードレース大会等を開催し、健康の増進、ニュースポーツの普及活動を推進した。(参加者:4,776人) ●ファミリーウォーキング大会実施に対して助成した。 ●インターハイに向け諸準備をした。 | | ⇒ (参加者:1,015人) ⇒ (参加者:4,618人) ⇒ ●インターハイを開催した。 | | ⇒ (参加者:1,092人) ⇒ (参加者:4,653人) ⇒ | | ⇒ (参加者:1,323人) ⇒ (参加者:4,728人) ⇒ | | | | | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 6,795 | 千円 | 決算額 | 13,652 | 千円 | 決算額 | 5,816 | 千円 | 決算額 | 6,296 | 千円 | | | | |
| | | うち一般財源 | 6,630 | 千円 | うち一般財源 | 13,265 | 千円 | うち一般財源 | 5,622 | 千円 | うち一般財源 | 5,294 | 千円 | | | | |

| 2 | | スポーツ振興業務 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|--|-------|---|--------|---|----|--|-------|----|--------|-------|----|--|--|--|--|
| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 市民 | | 気軽にスポーツを楽しめるようきっかけづくりをし、健康づくり、体力づくりを支援する。また、年度ごとに施策の検討を行い、ニーズに対応する。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツの普及 ・子どもの体力向上 ・スポーツ推進審議会の開催 | | | | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | | | | | |
| 取組内容 | | <ul style="list-style-type: none"> ●市内の保・幼稚園児を対象に幼児スポーツ教室を実施し、プレゴールデンエイジ期の運動能力の基礎習得に努めた。(吉田保育所・若竹保育園 4/28から2/24まで毎週2回 延べ数598名) ●スポーツ推進委員を市内に派遣し、ニュースポーツを通じて生涯スポーツの推進に努めた。(派遣回数:53回)(派遣人数:208人) ●スポーツカレンダーの発行(回数:年間4回) | | ⇒ (北川保育所・神島保育園 5/11から10/5まで各10回 延べ数480名) ⇒ (派遣回数:50回)(派遣人数:183人) ⇒ (回数:年間4回) | | ⇒ (北川保育所・神島保育園 6/2から11/27まで各10回 延べ数430名) ⇒ (派遣回数:47回)(派遣人数:156人) ⇒ (回数:年間4回) | | ⇒ (新山保育所・金浦保育園 6/13から11/22まで各10回 延べ数340名) ⇒ (派遣回数:48回)(派遣人数:189人) ⇒ (回数:年間4回) ●スポーツ推進審議会を開催し、第2次スポーツ推進基本計画を策定した。 | | | | | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 1,663 | 千円 | 決算額 | 1,691 | 千円 | 決算額 | 1,755 | 千円 | 決算額 | 1,608 | 千円 | | | | |
| | | うち一般財源 | 1,663 | 千円 | うち一般財源 | 1,691 | 千円 | うち一般財源 | 1,755 | 千円 | うち一般財源 | 1,608 | 千円 | | | | |

【達成目標2】 競技スポーツの強化・アスリートの育成

達成目標2の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|---------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 全国・世界大会延べ出場者数 | 単位 | 目標 | | | 122 | 124 | 128 |
| | 人/年 | 実績 | 118 | 96 | 104 | — | — |
| | | 達成率 | | | 85.2% | — | — |

達成目標2の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|------------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接 事業費 | 2,652 | 千円 | 1,852 | 千円 | 2,652 | 千円 | 2,652 | 千円 |
| うち 一般財源 | 2,652 | 千円 | 1,852 | 千円 | 2,652 | 千円 | 2,652 | 千円 |

3 競技スポーツ強化事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 |
|---------|------------------------------------|-------------------------------|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | |
| 市民 | スポーツ人口を増やし、競技スポーツを志向する人の競技力の向上を図る。 | ・スポーツ関係団体の支援 ・指導者の育成、資質の向上 |

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | |
|----------|--|-------|--|------------|---|-------|---|-------|-------|
| 取組 内容 | ●選手への支援 スポーツ関係団体及び選手の活動支援 (賞揚:世界大会5人, 全国大会102人, 中国大会81人) ●大会・強化練習等の開催, 誘致 岡山シーガルズと全国女子高校生の合同合宿を実施し, 競技力の向上を図った。 <シーガルズファン感謝祭 (9/12)> > 地元高校生の競技力の向上と指導者の育成を図った。 (参加者:1,000人) <シーガルズ合宿 (12/26~28)> 岡山シーガルズと全国女子高校生の合同合宿を実施し, 競技力の向上を図った。 (参加校:全国13校) | | ⇒ (賞揚:世界大会2人, 全国大会117人, 中国大会83人) ⇒ <シーガルズファン感謝祭 (9/3)> <読売巨人軍3軍岡山遠征試合 (9/19)> > トップチームの試合に触れる機会を提供し, 競技力の向上を図った。 <シーガルズ合宿 (12/26~29)> 岡山シーガルズと全国女子高校生の合同合宿を実施し, 競技力の向上を図った。 (参加校:全国17校) | | ⇒ (賞揚:世界大会7人, 全国大会96人, 中国大会95人) ⇒ <シーガルズファン感謝祭 (10/22)> <読売巨人軍3軍岡山遠征試合 (9/18)> > トップチームの試合に触れる機会を提供し, 競技力の向上を図った。 <シーガルズ合宿 (12/26~29)> 岡山シーガルズと全国女子高校生の合同合宿を実施し, 競技力の向上を図った。 (参加校:全国18校) | | ⇒ (賞揚:世界大会6人, 全国大会98人, 中国大会87人) ⇒ <シーガルズ山陽ダービー (9/23)> トップチームの試合に触れる機会を提供し, 競技力の向上を図った。 <シーガルズ合宿 (12/26~30)> 岡山シーガルズと全国女子高校生の合同合宿を実施し, 競技力の向上を図った。 (参加校:全国15校) | | |
| | 直接 事業費 | 決算額 | 2,652 | 千円 | 決算額 | 1,852 | 千円 | 決算額 | 2,652 |
| | うち 一般財源 | 2,652 | 千円 | うち 一般財源 | 1,852 | 千円 | うち 一般財源 | 2,652 | 千円 |

【達成目標3】誰もが利用しやすいスポーツ施設の整備

達成目標3の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|-------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 市内体育施設の利用人数 | 単位 | 目標 | | | 320,000 | 323,000 | 330,000 |
| | 人/年 | 実績 | 310,000 | 314,541 | 328,087 | — | — |
| | | 達成率 | | | 102.5% | — | — |

達成目標3の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|---------|----|---------|----|---------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 372,726 | 千円 | 142,496 | 千円 | 130,736 | 千円 | 31,830 | 千円 |
| うち一般財源 | 119,426 | 千円 | 113,652 | 千円 | 110,236 | 千円 | 11,530 | 千円 |

4 ④ 体育施設整備事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|---------|---|--|--|---|---------|----|--------|---------|----|--------|--------|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 市民 | 気軽にスポーツを楽しめるようきっかけづくりをし、健康づくり、体力づくりを支援する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・体育施設の管理運営 ・指定管理者との調整業務 ・公園管理者との調整業務 | | | | | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●テニスコートを整備することにより、利用者の利便性を高めた。 ●総合体育館等の市内体育施設の予約状況について、笠岡市ホームページで閲覧可能とし、施設利用について、利便性の向上を図った。 | <ul style="list-style-type: none"> ●利用者の安全確保と、地域住民の避難施設としての整備を図るため市民体育センター耐震工事の実施設計を行った。 ●市営球場外野芝張替、どんぐり球場防球ネット設置等を行い、利用者利便性向上と安全確保を図った。 | <ul style="list-style-type: none"> ●利用者の安全確保と、地域住民の避難施設としての整備を図るため、総合体育館エレベーターの耐震補強工事を行った。また市民体育センターは耐震補強工事及び屋上防水改修工事を行った。 ●老朽化した市民体育センターの防災カーテンを更新した。 ●市民体育センターの男子トイレの洋式化及び配管工事を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ●総合体育館メインアリーナの照明をLEDに更新し、照度の確保及び利用者の利便性を高めた。 ●総合体育館メインアリーナ及びサブアリーナの床を改修し、利用者の利便性の向上を図った。 | | | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 372,726 | 千円 | 決算額 | 142,496 | 千円 | 決算額 | 130,736 | 千円 | 決算額 | 31,830 | 千円 |
| | うち一般財源 | 119,426 | 千円 | うち一般財源 | 113,652 | 千円 | うち一般財源 | 110,236 | 千円 | うち一般財源 | 11,530 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|---------|----|---------|----|---------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 383,836 | 千円 | 159,691 | 千円 | 140,959 | 千円 | 42,386 | 千円 |
| うち一般財源 | 130,371 | 千円 | 130,460 | 千円 | 120,265 | 千円 | 21,084 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|--|---|
| <p>・普段スポーツをしない人がゲーム感覚で日々気軽に取り組める運動が出来るような仕組みがあればもっと良いと思います。</p> | <p>→ 笠岡市スポーツ推進委員が学校のPTA行事や地域のサロン等に出向き、様々なニュースポーツの普及に取り組んでいます。ニュースポーツは生涯スポーツであり、老若男女誰でも楽しんで体を動かすことができます。今後も広く市民のみなさんがスポーツに触れる機会を持てるよう、普及活動を行ってまいります。</p> |
| <p>・笠岡市内は環境に恵まれている。市民皆様のやる気を起こさせることに力を入れていただけたらスポーツ人口は増えると思います。そして健康寿命増進に繋がると思います。</p> | <p>→ 様々な種目のスポーツ教室を行っています。教室は全5回程度の開催で、経験を問わず気軽に参加できる内容となっています。楽しく教室に参加してもらうことで、スポーツをするきっかけづくりの場を提供しています。</p> <p>・定期的にニュースポーツの大会を開催しています。大会への出場を目標に、継続して練習を行うことで、生きがいつくりや健康増進に寄与します。</p> <p>・スポーツサークル紹介冊子やスポーツカレンダーを配布し、市内のスポーツに関する情報をお知らせしています。</p> |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | | |
|------------|-----------------------------|---|
| 施策の 進捗度 | A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 | B |
| | B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 | |
| | C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 | |
| | D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | |

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------------------|--|
| 未達成 指標 への 対応策 | <p>「運動・スポーツに関する調査」結果から、15歳以上の「週1回以上のスポーツ実施率」は前回アンケート結果より増えているものの、小・中学生については減少しています。施設の整備について、既存施設のほとんどが老朽化しており、計画的な修繕や更新が必要である。スポーツ教室についても、高齢者や障害者、子育て中の親など、普段スポーツに関わる人が少ない人を対象とした教室を開催する必要がある。</p> <p>こうした現状をふまえ、市民一人ひとりの多様なライフスタイルやライフステージに応じた運動・スポーツの機会や場の充実、きっかけづくりを通じて多くの市民が参加できるスポーツの環境づくりを進めていく。</p> <p>また、継続的なスポーツ行事を推進していくうえで、老朽化した既存スポーツ施設の改修を計画的に進めていく。</p> |
|------------------------|--|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|----------|---|---|------------------|---|
| 総合 評価 | A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。 | B | (参考) 昨年度の評価結果 | B |
| コメント | <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツなどPTAでさせていただき好評です。今後も継続されることを期待しています。体育館は意外と大人の予約でいっぱい、スポーツ推進課の企画されたスポーツ教室がお試して子どもに声をかけやすく助かっています。今の子どもは近所でも遊びにくい地域もあるようです。ぜひ体を動かす場を引き続きお願いします。 ・笠岡市はスポーツに関する行事や大会が多く市民に喜ばれています。今後もニーズに合った競技の選択や新設をお願いします。 ・小中学生が、ゲームなどで屋内で遊ぶことが多いことが要因ではないか。早いうちから、楽しくスポーツをする習慣をつけるために、より一層の工夫をされたい。 ・指標もほぼ目標通りで、着実に業務を行っていると思います。さらに頑張ってくださいようお願いします。 ・美の浜グラウンドを売却したことで、子ども達が思いっきりボールを投げたり蹴ったりする場所が減ってしまったと思う。身近なところでボール遊びができる場所の確保をお願いしたい。 | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|-------|--|-----|-------------------------|------|-------|
| 施策No. | 3-5 | 施策名 | 歴史の継承・文化の振興・カブトガニの保護と活用 | 主担当課 | 生涯学習課 |
| 戦略の柱 | 未来戦略 “輝く” | | | | |
| 基本方針 | ☆豊かな歴史・伝統を持つ笠岡市にとってかけがえない文化財を保護・活用します。 ☆市民が文化に親しみ文化活動に参加できる環境をつくり、文化・芸術の担い手を育成します。 ☆国の天然記念物に指定されているカブトガニ繁殖地の保全に努め、繁殖地内でのカブトガニの増加を目指すとともに、「カブトガニのまち笠岡」の知名度を高めていきます。 | | | 関係課 | 商工観光課 |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|---------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 | R7 目標 |
| 博物館等総入館者数 | 単位 | 目標 | | | 93,600 | 94,400 | 95,700 | 97,700 |
| | 人/年 | 実績 | 85,595 | 80,423 | 81,046 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 86.6% | — | — | — |
| 館事業・文化事業総参加者数 | 単位 | 目標 | | | 14,100 | 14,100 | 14,100 | 14,100 |
| | 人/年 | 実績 | 14,155 | 14,735 | 16,311 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 115.7% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| |
|------------------|
| 【達成目標1】文化財の保護・活用 |
|------------------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 文化財保護・調査件数 | 単位 | 目標 | | | 40 | 40 | 40 |
| | 件/年 | 実績 | 45 | 49 | 44 | — | — |
| | | 達成率 | | | 110.0% | — | — |
| 文化財普及・活用件数 | 単位 | 目標 | | | 40 | 40 | 40 |
| | 件/年 | 実績 | 42 | 58 | 50 | — | — |
| | | 達成率 | | | 125.0% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 8,878 | 千円 | 12,885 | 千円 | 13,887 | 千円 | 16,270 | 千円 |
| うち一般財源 | 6,778 | 千円 | 9,502 | 千円 | 6,418 | 千円 | 5,196 | 千円 |

| | | | | | | | | |
|--------------------|--|--|--|--|--------|-----------|--------|-----------|
| 1 文化財の保護・活用事業 | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | |
| 全市民、場合によっては全県民・全国民 | 貴重な文化財を後世に伝え、その重要性を啓発することによって、保護活動を促進します。また、文化財の公開活用をすすめることで市民文化を向上させます。 | 文化財を調査・指定し、保護、顕彰、記録などを行います。指定文化財や埋蔵文化財に係る開発行為については、法令に基づき、協議、調査など所定の手続きをとりまします。笠岡の歴史を後世に伝えるために、歴史資料の収集・整理を行います。市有の文化財や文化財関連施設などの不動産、収集した歴史資料などの動産の管理と公開活用を行います。その拠点のひとつとして、郷土館の整備・活用を行います。 | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | | | |
| | ●文化財保護事業・文化財活用事業を継続 ・津雲貝塚調査事業 ・津雲貝塚発掘100周年記念事業 シンポジウム来場者約150人 ○創・笠岡ふるさと再発見事業 「笠岡へ愛着を持ち隊結成だ！」レポート提出数162点 ・郷土館企画展「津雲貝塚と縄文文化」入館者数571人 | ⇒ ・津雲貝塚調査事業 ・歴史文化基本構想策定 文化財調査、策定委員会等 ・日本遺産研究事業 ○創・笠岡ふるさと再発見事業 「笠岡をもっと知り隊出動だ！」レポート提出数211点 | ⇒ ・津雲貝塚調査事業 ・歴史文化基本構想策定 文化財調査、策定委員会等 ・日本遺産研究事業 ○創・笠岡ふるさと再発見事業 「笠岡へもっと愛着を持ち隊出動だ！」レポート提出数96点 ・郷土館企画展「津雲貝塚の骨角器 里帰り展」入館者数247人 | ⇒ ・津雲貝塚調査事業 ・歴史文化基本構想策定 策定委員会、策定作業等 ・日本遺産研究事業 ○創・笠岡ふるさと再発見事業 「笠岡へもっと愛着を持ち隊レッツゴー！」レポート提出数89点 ・木山捷平没後50周年記念事業 ・文学資料の管理 | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 8,878 千円 | 決算額 | 12,885 千円 | 決算額 | 13,887 千円 | 決算額 | 16,270 千円 |
| | うち一般財源 | 6,778 千円 | うち一般財源 | 9,502 千円 | うち一般財源 | 6,418 千円 | うち一般財源 | 5,196 千円 |

【達成目標2】竹喬美術館の活性化と館蔵品の充実

達成目標2の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|-----------|-----|-----|----------|--------|--------|--------|--------|
| | | | H28実績 | H29実績 | H30実績 | R1目標 | R3目標 |
| 竹喬美術館入館者数 | 単位 | 目標 | | | 20,000 | 20,000 | 20,000 |
| | 人/年 | 実績 | 13,303 | 11,739 | 14,676 | — | — |
| | | 達成率 | | | 73.4% | — | — |
| 竹喬美術館館蔵品数 | 単位 | 目標 | | | 2,900 | 2,950 | 3,050 |
| | 点 | 実績 | 2,812 | 3,536 | 3,857 | — | — |
| | | 達成率 | | | 133.0% | — | — |

達成目標2の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 45,079 | 千円 | 43,290 | 千円 | 48,478 | 千円 | 46,000 | 千円 |
| うち一般財源 | 32,367 | 千円 | 27,401 | 千円 | 30,476 | 千円 | 45,330 | 千円 |

| | | | | | | | | |
|---------------|--|---|---|---|--------|-----------|--------|-----------|
| 2 竹喬美術館管理運営事業 | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | |
| 入館者(利用者) | 入館者を増やします。収蔵竹喬作品の充実を図ります。美術創作体験の機会を増やします。美術に対する関心の喚起を図ります。美術館情報の周知を行います。 | 魅力的な展覧会を開催します。作品の購入、寄贈、寄託の促進を行います。気楽なワークショップを開催します。魅力的な講座、講演会、ギャラリートークを開催します。電子媒体の活用を推進します。 | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | | | |
| | 竹喬美術館展覧会の実施 ・特別展2回、特別陳列5回の開催 耐震工事の実施 ・年間収蔵品 51点(うち7点が竹喬作品)を追加 | ⇒ ・特別展3回、特別陳列3回の開催 ・年間収蔵品 13点を追加 | ⇒ ・特別展4回、特別陳列3回の開催 ・年間収蔵品 724点を追加 | ⇒ ・特別展3回、特別陳列4回の開催 ・年間収蔵品 321点を追加 | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 45,079 千円 | 決算額 | 43,290 千円 | 決算額 | 48,478 千円 | 決算額 | 46,000 千円 |
| | うち一般財源 | 32,367 千円 | うち一般財源 | 27,401 千円 | うち一般財源 | 30,476 千円 | うち一般財源 | 45,330 千円 |

【達成目標3】 芸術文化活動の振興・交流と担い手の育成

| 達成目標3の指標 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|-------------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| 指標名 | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 文化事業参加者数 | 単位 | 目標 | | | 9,300 | 9,300 | 9,300 |
| | 人/年 | 実績 | 9,306 | 9,850 | 10,340 | — | — |
| | | 達成率 | | | 111.2% | — | — |
| 笠岡市木山捷平文学選奨への応募者数 | 単位 | 目標 | | | 3,700 | 3,700 | 3,700 |
| | 人/年 | 実績 | 3,632 | 3,305 | 3,400 | — | — |
| | | 達成率 | | | 91.9% | — | — |

達成目標3の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 3,135 | 千円 | 3,351 | 千円 | 3,111 | 千円 | 3,270 | 千円 |
| うち一般財源 | 3,135 | 千円 | 3,351 | 千円 | 3,111 | 千円 | 3,270 | 千円 |

3 芸術・文化活動推進事業

| 事務事業の目的 | | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | |
|--------------|--------------|------------------------|---------|---|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 芸術・文化活動をする市民 | | 芸術・文化活動の活性化、知性と文化意識の高揚 | | 各事業を通して芸術・文化活動への表現者としての参加を働きかけるとともに、優れた芸術・文化活動の鑑賞機会を市民に提供します。 | | | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| 取組内容 | ・笠岡市さつき・新緑展 | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| | ・名月観賞の夕べ | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| 取組内容 | ・笠岡市文化祭 | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| | ・笠岡市芸能祭 | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| 取組内容 | ・笠岡市菊花展 | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| | ・笠岡市児童・生徒美術展 | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| 取組内容 | ・笠岡市写真展 | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| | ・笠岡市美術展 | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 1,120 | 千円 | 決算額 | 1,336 | 千円 | 決算額 | 1,096 | 千円 | 決算額 | 1,092 | 千円 |
| | うち一般財源 | 1,120 | 千円 | うち一般財源 | 1,336 | 千円 | うち一般財源 | 1,096 | 千円 | うち一般財源 | 1,092 | 千円 |

4 笠岡市木山捷平文学選奨事業

| 事務事業の目的 | | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | |
|-------------|----------------------------|-------------------------------|----------|---|-------|----------|--------|-------|----------|--------|-------|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 文芸創作活動をする市民 | | 文芸創作活動の活発化と文芸創作活動をする市民を増やします。 | | 短編小説、随筆、詩、短歌、俳句、川柳の各部門で作品を募集します(短編小説は全国公募)。優れた作品を表彰するとともに、入賞作品集を作成して取り組みをPRします。木山捷平文学選奨短編小説賞を通して、笠岡市を全国発信します。 | | | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| 取組内容 | ・短編小説賞の応募者数(全国) 234人 | | ⇒ 286人 | | | ⇒ 195人 | | | ⇒ 276人 | | | |
| | ・随筆・詩・短歌・俳句・川柳の応募者数 2,496人 | | ⇒ 3,346人 | | | ⇒ 3,110人 | | | ⇒ 3,124人 | | | |
| 取組内容 | ・入賞作品の選考、表彰式、作品集発刊 | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 2,015 | 千円 | 決算額 | 2,015 | 千円 | 決算額 | 2,015 | 千円 | 決算額 | 2,178 | 千円 |
| | うち一般財源 | 2,015 | 千円 | うち一般財源 | 2,015 | 千円 | うち一般財源 | 2,015 | 千円 | うち一般財源 | 2,178 | 千円 |

【達成目標4】カブトガニの保護とカブトガニ博物館の運営

達成目標4の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|----------------|------|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| カブトガニ自然産卵確認箇所数 | 単位 | 目標 | | | 65 | 70 | 80 |
| | 箇所/年 | 実績 | 56 | 33 | 16 | — | — |
| | | 達成率 | | | 24.6% | — | — |
| カブトガニ博物館入館者数 | 単位 | 目標 | | | 69,000 | 69,500 | 70,500 |
| | 人/年 | 実績 | 68,013 | 64,284 | 62,846 | — | — |
| | | 達成率 | | | 91.1% | — | — |

達成目標4の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|---------|----|--------|----|--------|----|---------|----|
| 直接事業費 | 103,670 | 千円 | 65,308 | 千円 | 64,178 | 千円 | 451,309 | 千円 |
| うち一般財源 | 79,453 | 千円 | 41,781 | 千円 | 29,404 | 千円 | 410,123 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|-------------|--|---------|---|--------|--------|----|--------|-------|----|--------|-------|----|
| 5 | カブトガニ保護啓発事業 | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| カブトガニ、カブトガニ博物館に興味を持っている人 | | 国の天然記念物に指定されているカブトガニ繁殖地を守り、カブトガニが自然増殖できる環境の保全と生体の保護に取り組み、カブトガニを通じた自然保護の意識を高めます。 | | カブトガニの大量飼育と幼生放流を年次的に行い、保護・増殖につなげていきます。カブトガニの現状や生態を市民に広く知ってもらい、保護啓発運動を盛り上げていきます。 | | | | | | | | | |
| 取組内容 | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・幼生の大量飼育・放流事業 ・繁殖地内の幼生調査 ・繁殖地以外での飼育実験 ・海岸清掃活動 ・カブトガニ保護啓発運動 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 4,082 | 千円 | 決算額 | 4,094 | 千円 | 決算額 | 7,009 | 千円 | 決算額 | 5,911 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 3,633 | 千円 | うち一般財源 | 3,780 | 千円 | うち一般財源 | 6,074 | 千円 | うち一般財源 | 5,549 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|----------------|---|---------|---|--------|--------|----|--------|--------|----|--------|---------|----|
| 6 | カブトガニ博物館管理運営事業 | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| カブトガニ、カブトガニ博物館に興味を持っている人 | | 国の天然記念物に指定されているカブトガニ繁殖地を守り、カブトガニが自然増殖できる環境の保全と生体の保護に取り組み、カブトガニを通じた自然保護の意識を高めます。 | | より多くの人たちに自然保護の大切さを知ってもらい、地球やカブトガニの歴史を見据えた人間と自然の共生の在り方を発信できる博物館としていきます。 環境問題に関する展示や特別展の開催など、より一層自然環境保護意識の醸成を図り、環境教育を行う場として、より多くの人たちに親しんでもらえる魅力ある生涯学習施設の運営を行います。 | | | | | | | | | |
| 取組内容 | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・博物館リニューアル事業 ・特別展示、特別陳列展の開催 ・環境保護講座の開催 ・野外体験学習の開催 ・カブトガニ関連商品の販売 ・博物館のウェブページの充実 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 99,588 | 千円 | 決算額 | 61,214 | 千円 | 決算額 | 57,169 | 千円 | 決算額 | 445,398 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 75,820 | 千円 | うち一般財源 | 38,001 | 千円 | うち一般財源 | 23,330 | 千円 | うち一般財源 | 404,574 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|
| 直接事業費 | 160,762 | 千円 | 124,834 | 千円 | 129,654 | 千円 | 516,849 | 千円 |
| うち一般財源 | 121,733 | 千円 | 82,035 | 千円 | 69,409 | 千円 | 463,919 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|--|---|
| ・竹喬美術館でのワークショップですが、誰でも気軽に参加出来るものも行っていただきたいと思います。 | → 平成31年度に予定している特別展「生誕130年記念 小野竹喬のすべて」のワークショップのなかで、竹喬作品を模写して彩色する。幼稚園・小学校を対象とする企画を考えたい。 |
| ・竹喬美術館の収蔵追加数が増加している。収蔵庫の増設を考えられたい。 | → 基本構想を検討中であるが、現状建造物の津波対策と併せて、草案の作成に取り組む。 |
| ・産卵確認箇所数、幼生飼育数、放流数、確認数等、カブトガニ保護の取組は順調に推移しています。引き続き飼育や放流を通して保護の徹底をお願いします。 | → 産卵や幼生の生育数、成体の捕獲数などの記録・取組を実施します。また近年、成体放流なども行なわれるようになりましたので、引き続き実施していきたいと思います。 |
| ・海岸清掃参加者については、啓発のためにも、参加者を増やす努力をお願いします。 | → 海岸清掃については、約1000名の方が参加していただいておりますが、さらに保護の輪を広げて、これまでに参加いただけていない団体等があれば依頼をし、参加者を増やしていきたいと思います。 |
| ・カブトガニ博物館の入館数は着実に増えていきますので、このまま増えるように頑張ってくださいと思います。 | → 現在、カブトガニ博物館の入館者は年々向上しています。今後は新たなイベントや館内の展示コーナーの修繕及び恐竜の塗り替え等を行い入館者増に繋げていきます。 |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | |
|--|----------|
| 施策の進捗度 A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | B |
|--|----------|

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------|---|
| 未達成指標への対応策 | ・笠岡市木山捷平文学選奨への応募者数につきましては、H28実績に基づき指標を大きく上方修正したため翌年度から目標を達成できていませんが、H27からは微増ですが増加傾向にあります。今後も引き続き応募者数が増加するよう広報活動等に努めてまいります。 ・竹喬美術館入館者数につきましては、H30年度は7月豪雨などの影響により達成できませんでした。今後も魅力的な展覧会の開催はもちろんのこと、入館料割引による再来館の促進、市民の興味を引く展覧会関連行事の企画、市内外に向けた新しい広報手段等を活用し、達成に向けて努めてまいります。 ・カブトガニ自然産卵確認箇所数につきましては、平成30年度は7月豪雨により、産卵箇所が被害を受け、卵が流されてしまいました。今後は繁殖地の保護を市民に啓発しつつ、産卵調査の強化に努めます。 ・カブトガニ博物館入館者数につきましては、ワークショップや各種イベントを増やし、魅力ある博物館運営に努めます。 |
|------------|---|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|------|---|----------|------------------|----------|
| 総合評価 | A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。 | B | (参考) 昨年度の評価結果 | B |
| コメント | ・現在テレビでは、たくさんの美術関連の番組があります。美術に感心をもつ人たちが増えているのだと思います。竹喬美術館の入館者数も増えているようです。特別展などの充実も効果的だったのだと思います。(ワコミュージアムの常設展示がとてもよいにもかかわらず、いつ行っても人はいません。市の施設ではないので協力はできにくいのだと思いますが、竹喬美術館に行ったついでに寄ってもらえば、立派な観光資源になるとおもいます。小野竹喬、梅原龍三郎、平櫛田中、池田清明など、有名な作者の作品があるのもったいないと思います) ・カブトガニ博物館の活動が最近活発にされているように感じます。引き続き子ども達の関心を引くイベントを行って頂きながら楽しさを伝えていただきたいです。 ・竹喬美術館の展示について、竹喬ファンだけでなく、美術ファンが楽しめる新たな企画を希望します。 ・カブトガニの産卵は昨年の豪雨の関係があるため、今年に期待します。また、博物館の入館者数も災害の影響があったと思われるが、より一層広報活動に力を入れられたい。 ・災害でカブトガニ事前産卵確認箇所数が減っているのが気になります。今後は増加に転じていただくよう頑張ってください。 ・平成30年度には笠岡市歴史文化基本構想の策定も終わり、着実に歴史の継承・文化の振興は行われていると思う。カブトガニの保護についても一定の成果が見られていると感じている。 | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|--------|---|-----|--------------|---------|---|
| 施策 No. | 3-6 | 施策名 | 人権・男女共同参画・平和 | 担当 課 | 人権推進課 |
| 戦略の柱 | 未来戦略 “輝く” | | | | |
| 基本方針 | 全ての市民が様々な分野で、個性と能力を十分に発揮するとともに、互いにその人権を尊重しつつ、いきいきと心豊かに共生できる社会の実現を目指します。また、人権侵害につながる戦争を二度と繰り返さないために、平和の大切さに気づき、平和な社会を築いていこうとする意識を高めます。 | | | 関係 課 | 人事課 地域福祉課 商工観光課 学校教育課 生涯学習課 |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|----------------------------------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 | R7 目標 |
| 「人権尊重・男女共同参画の推進」の満足度 (市民意識調査) | 単位 | 目標 | | | 8.5 | — | 9.0 | 10.0 |
| | % | 実績 | 8.1 | — | 9.4 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 110.6% | — | — | — |
| 審議会等委員に占める女性の割合 | 単位 | 目標 | | | 40.0以上 | 40.0以上 | 40.0以上 | 40.0以上 |
| | % | 実績 | 40.1 | 40.2 | 40.6 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 101.5% | — | — | — |
| 「平和の取組」の満足度(市民意識調査) | 単位 | 目標 | | | 17.0 | — | 18.0 | 20.0 |
| | % | 実績 | 15.7 | — | 13.1 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 77.1% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|---------------------|
| 【達成目標1】 | 人権に対する正しい理解と人権意識の高揚 |
|---------|---------------------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|--|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 人権週間のつどいのアンケートで人権問題について関心や理解が「とても深まった」「深まった」という回答の割合 | 単位 | 目標 | | | 90.0以上 | 90.0以上 | 90.0以上 |
| | % | 実績 | 87.0 | | 85.3% | — | — |
| | | 達成率 | | | 94.8% | — | — |
| 吉田文化会館利用者数 | 単位 | 目標 | | | 6,200 | 6,300 | 6,500 |
| | 人/年 | 実績 | 5,970 | | 6,078 | — | — |
| | | 達成率 | | | 98.0% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 直接事業費 | 23,150 | 千円 | 26,797 | 千円 | 21,252 | 千円 | 26,699 | 千円 |
| うち一般財源 | 13,873 | 千円 | 14,276 | 千円 | 11,837 | 千円 | 11,224 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|--|--|--|--|--|--------|--|--|--|
| 1 | | 人権啓発事業 | | | | | | | | | |
| | | 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | |
| | | 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | |
| | | 全市民 | | 地域、家庭、職域その他様々な場において人権尊重に対する市民の理解を深め、日常生活において態度や行動に現れるような人権感覚を身につけてもらう。 | | 女性、子ども、高齢者、障がいのある人、同和問題、患者など様々な人権に関わる課題について、著名な講師による講演会の開催、啓発のための人権パネル展示、人権をテーマにした公募写真コンテストの実施、さらには啓発の講師となるリーダーの研修を行う。 | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会(7月・12月) ●人権・部落解放文化祭 ●人権啓発講座 ・人権啓発バンクによる活動 ・人権フォトコンテスト ・人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・人権講演会参加者:(7月)約530人、(12月)約220人 ・人権・部落解放文化祭参加者:(2日間延べ)約1,700人 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・人権講演会参加者:(7月)約480人、(12月)約280人 ・人権・部落解放文化祭参加者:(2日間延べ)約1,800人 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・人権講演会参加者:(7月)約480人、(12月)約240人 ・人権文化祭参加者:(2日間延べ)約1,700人 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・人権講演会参加者:(7月)約510人、(12月)約300人 ・人権文化祭参加者:(2日間延べ)約1,700人 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権のうた | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権・部落解放文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権・部落解放文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権・部落解放文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権・部落解放文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権・部落解放文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権・部落解放文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権・部落解放文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権・部落解放文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権・部落解放文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権・部落解放文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権・部落解放文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権・部落解放文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権・部落解放文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権・部落解放文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権・部落解放文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権・部落解放文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権・部落解放文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権・部落解放文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権・部落解放文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権・部落解放文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権・部落解放文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権・部落解放文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権・部落解放文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権・部落解放文化祭 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発講座 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発バンク | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権フォトコンテスト | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権スポーツふれあい教室 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●人権講演会 | | ⇒ | | | | | | | |

| 3 人権推進事業 | | 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
|----------|--------|---|----|--------|-------|--|--------|--------|----|--------|-------|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 市民 | | 国民に保障されている基本的人権を擁護し、自由人権思想の普及、高揚を図るため、市は人権尊重の視点に立った市制と施策を推進し、市民は自らが人権尊重の都市づくりの担い手としてその実現に努めていく。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・人権施策基本方針その他人権施策について調査・審議及び推進する、人権施策推進委員会・チーム会議の庶務(各1回/年度) ・人権擁護委員の推薦(任期:3年)、なやみごと相談の実施(6回/年)や啓発イベントについての人権擁護委員協議会との連絡・調整 ・人権運動団体に対して交付する補助金の事業費補助への転換を指導推進するほか、人権・同和問題に関する諸事務を実施。 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | | ●人権施策推進チーム会議の開催 ・人権施策推進委員会の開催 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 9,828 | 千円 | 決算額 | 8,882 | 千円 | 決算額 | 8,076 | 千円 | 決算額 | 7,427 | 千円 |
| | うち一般財源 | 9,778 | 千円 | うち一般財源 | 8,855 | 千円 | うち一般財源 | 8,049 | 千円 | うち一般財源 | 7,400 | 千円 |

| 4 人権推進事業(商工業者) | | 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
|----------------|--------|--|----|--------|-------|--|--------|--------|----|--------|----|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 市内企業・商店 | | 企業内における、人権問題についての理解を深め、問題の解決に努める。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・企業等人権問題連絡協議会に所属する企業の事業者を対象に、企業内で考えうる人権問題について研修などを通じ理解を深める。 ・市HPなどを用い、人権問題・雇用問題に係る各種情報を外部に対し発信する。 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | | <ul style="list-style-type: none"> ●会員企業を対象に年2回の人権研修会を実施 ●人権啓発標語コンクールの実施 笠岡市人権部落解放文化祭で掲示 <2月研修会参加人数:16人> <人権啓発標語応募点数:410点> | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 90 | 千円 | 決算額 | 3,610 | 千円 | 決算額 | 90 | 千円 | 決算額 | 90 | 千円 |
| | うち一般財源 | 90 | 千円 | うち一般財源 | 1,263 | 千円 | うち一般財源 | 90 | 千円 | うち一般財源 | 90 | 千円 |

| | | | | | |
|--------|--|--|----------|---|-----------|
| 5 | | 吉田文化会館運營業務 | | | |
| | | 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | |
| 市民 | | 地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業や人権啓発の各種事業を総合的に行い、人権意識を醸成する。 | | 同和問題をはじめとするさまざまな人権課題の早期解決を基本とし、地域住民の理解と信頼を得つつ、地域社会に密着し、地域住民の生活課題に応じた事業を関係機関と連携を図りながら行う。 ・地域課題に応じた相談事業の充実 ・吉田文化会館だよりの発行など、人権啓発・広報活動の推進 ・各種クラブ活動、教養・文化活動等参加交流の促進 | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | |
| 取組内容 | | <ul style="list-style-type: none"> ・相談事業 ⇒ ・人権啓発及び広報活動事業 ⇒ ・地域交流事業 ⇒ ・地域福祉事業 ⇒ ・隣保館ミニデイサービス ⇒ ・貸館事業 ⇒ ・証明書等交付事業 ⇒ 〈利用者数:5933人〉 〈証明書発行件数:372件〉 〈図書貸出数:456件〉 (相談件数:177件) | | <ul style="list-style-type: none"> ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 〈利用者数:5970人〉 〈証明書発行件数:375件〉 〈図書貸出数:424件〉 (相談件数:229件) | |
| | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 〈利用者数:5560人〉 〈証明書発行件数:398件〉 〈図書貸出数:524件〉 (相談件数:186件) | | <ul style="list-style-type: none"> ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 〈利用者数:5873人〉 〈証明書発行件数:622件〉 〈図書貸出数:799件〉 (相談件数:231件) | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 8,243 千円 | 決算額 | 8,862 千円 |
| | | うち一般財源 | 0 千円 | うち一般財源 | 33 千円 |
| | | 決算額 | 8,694 千円 | 決算額 | 14,374 千円 |
| | | うち一般財源 | 0 千円 | うち一般財源 | 0 千円 |

| | | | | | |
|--------------------|--|--|--------|---|--------|
| 6 | | 給付・貸付事業 | | | |
| | | 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | |
| 同和問題にかかる課題のある地域の市民 | | ①給付事業⇒結婚差別の克服と高校・大学への就学を促進する。 ②償還事務⇒生活環境等の安定向上と整備改善のため実施した資金貸付金の円滑な償還を促進する。 | | ・給付事務⇒結婚差別を克服して生活を始めるための資金給付と、高校・大学在学者への奨学資金給付、及び制度の見直し ・償還事務⇒生活改善資金・住宅資金貸付償還金の現年度分の請求・徴収と過年度分の滞納整理、及び県への補助金交付申請手続 | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | |
| 取組内容 | | 償還金滞納者のさらなる実態把握 償還金滞納者への臨戸訪問の継続 〈償還件数:32件〉 | | ⇒ ⇒ 〈償還件数:30件〉 | |
| | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
| | | ⇒ ⇒ 〈償還件数:28件〉 | | ⇒ ⇒ 〈償還件数:28件〉 | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 759 千円 | 決算額 | 668 千円 |
| | | うち一般財源 | 0 千円 | うち一般財源 | 0 千円 |
| | | 決算額 | 444 千円 | 決算額 | 795 千円 |
| | | うち一般財源 | 0 千円 | うち一般財源 | 0 千円 |

【達成目標2】男女共同参画の推進・啓発

達成目標2の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|-----------------|----|-----------|-----------|-----------|----------------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 審議会等委員に占める女性の割合 | 単位 | 目標 | | | 40.0以上 | 40.0以上 | 40.0以上 |
| | % | 実績 達成率 | 40.1 | 40.2 | 40.6 101.5% | — | — |

達成目標2の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|------------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接 事業費 | 2,914 | 千円 | 2,654 | 千円 | 3,192 | 千円 | 2,991 | 千円 |
| うち 一般財源 | 2,914 | 千円 | 2,654 | 千円 | 3,192 | 千円 | 2,991 | 千円 |

7 男女共同参画推進事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|-------------|---|--|--------|------------|-------|----|------------|-------|----|------------|-------|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 行政, 市民, 事業者 | 男女共同参画の意識高揚を図り, 男女が共に助け合い, 互いの生き方を認め合い, 住みやすい社会づくりを推進する。 | 男女及び様々な立場の人を対象に, 男女共同参画に関する意識を高めるため, 各分野の講座の開催や, 啓発紙等による広報を実施する。また, 市の施策に関する男女共同参画の視点による事業の推進状況の管理, 性別による差別的扱いや人権侵害に関する相談等(主に女性)の相談事業を行っている。 | | | | | | | | | | |
| 取組 内容 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●ウイズプランの推進 ・ウイズプラン推進状況の管理 ・女性団体等への支援 ●市民啓発事業 ・啓発講座の実施 ●審議会等の委員への女性の積極的登用 ・審査会の開催 ●女性相談事業(DV相談など) ・相談窓口の周知と体制の整備 <啓発講座の参加者数:129人> <女性相談件数:283件> | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | | | | | |
| 直接 事業費 | 決算額 | 2,914 | 千円 | 決算額 | 2,654 | 千円 | 決算額 | 3,192 | 千円 | 決算額 | 2,991 | 千円 |
| | うち 一般財源 | 2,914 | 千円 | うち 一般財源 | 2,654 | 千円 | うち 一般財源 | 3,192 | 千円 | うち 一般財源 | 2,991 | 千円 |

【達成目標3】平和について考え, 平和な社会を築こうとする意識の高揚

達成目標3の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|--------------------------------------|----|-----------|-----------|-----------|----------------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 平和祭参加者のアンケートで「とてもよかった」「よかった」という回答の割合 | 単位 | 目標 | | | 90.0以上 | 90.0以上 | 90.0以上 |
| | % | 実績 達成率 | 91.1 | | 98.0 108.9% | — | — |

達成目標3の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|------------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接 事業費 | 1,586 | 千円 | 1,713 | 千円 | 1,333 | 千円 | 1,449 | 千円 |
| うち 一般財源 | 1,516 | 千円 | 1,652 | 千円 | 1,306 | 千円 | 1,449 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|------------------|--|--|---|--|-------|----|--------|-------|----|--------|-------|----|
| 8 戦没者遺族等援護等事業 | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 戦没者の遺族、戦傷病者等及び市民 | 先の戦争による戦没者遺族等が心やすらかに生活できるよう支援するとともに、平和の大切さを広く市民に伝える。 | 市主催の戦没者追悼式を開催し、戦争犠牲者を追悼するとともに、平和の大切さを広く市民に伝え、訴える。戦没者の遺族、戦傷病者等に対する特別弔慰金等の給付業務を円滑に実施する。 | | | | | | | | | | |
| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | | | | | | | |
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・戦没者追悼式事業(参加者400人) ・第10回特別弔慰金(570人) ・戦没者等の妻に対する特別給付金事業(1人) | <ul style="list-style-type: none"> ⇒(参加者400人) ⇒(116人) ⇒(2人) ・戦傷病者等の妻に対する特別給付金事業(4人) ・戦傷病者乗車券類交付事業(1人) | <ul style="list-style-type: none"> ⇒(参加者400人) ⇒(57人) ⇒(1人) | <ul style="list-style-type: none"> ⇒(参加者350人) ⇒(2人) ・戦傷病者等の妻に対する特別給付金事業(1人) | | | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 1,224 | 千円 | 決算額 | 1,213 | 千円 | 決算額 | 1,033 | 千円 | 決算額 | 1,049 | 千円 |
| | うち一般財源 | 1,154 | 千円 | うち一般財源 | 1,152 | 千円 | うち一般財源 | 1,006 | 千円 | うち一般財源 | 1,049 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|------------|---|---|---|---|-----|----|--------|-----|----|--------|-----|----|
| 9 平和事業 | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 市民(特に若い世代) | 非核平和の考えを子どもを含め、市民に広く啓発し、平和の尊さ、生命の大切さを考える機会を提供し、語り継いでいく。 | ・平和祭では、原爆被爆者会による被爆体験の語り部、市内中学校の平和学習発表、平和関連映画上映や講演会等行う。・平和学習バスは、広島市の平和記念公園等の戦争の悲惨さや平和の尊さを学べる施設へのバスの運行を行う。・原爆死没者の鎮魂式及び平和祈念のつどいの実施や平和行進を支援するなど平和活動を行う。・平和関連のパネルを平和祭等で掲示し啓発を行う。 | | | | | | | | | | |
| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | | | | | | | |
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ●平和祭 ●非核平和都市宣言の啓発 ・鎮魂式 ・戦争体験等平和の継承事業 ・被爆体験記録DVDの作成 ●平和の日の行事 ・かさおか平和の広場での祈念(毎月6日) ●平和学習バス事業 ・平和学習施設への平和学習バスの運行 | <ul style="list-style-type: none"> ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ | <ul style="list-style-type: none"> ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ | <ul style="list-style-type: none"> ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ | | | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 362 | 千円 | 決算額 | 500 | 千円 | 決算額 | 300 | 千円 | 決算額 | 400 | 千円 |
| | うち一般財源 | 362 | 千円 | うち一般財源 | 500 | 千円 | うち一般財源 | 300 | 千円 | うち一般財源 | 400 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|--------|----|
| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | | | |
| 直接事業費 | 27,650 | 千円 | 31,164 | 千円 | 25,777 | 千円 | 31,139 | 千円 |
| うち一般財源 | 18,303 | 千円 | 18,582 | 千円 | 16,335 | 千円 | 15,664 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|--------|-------|
| なし | → なし |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | |
|--|----------|
| 施策の 進捗度 A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | B |
|--|----------|

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------------------|--|
| 未達成 指標 への 対応策 | <p>【人権啓発事業】予算と講演会講師の費用対効果を考慮しながら、インターネット等で講師の評判に今以上に注視した上で人選し、参加者の人権に対する関心や理解度を高める。</p> <p>【吉田文化会館運営業務】地域住民交流の場として、大人から子どもまで親しみを持ってもらえる場所となるよう、相談、図書貸出、館内利用における各事業の充実を図り、来館者の増加につなげていく。また、交流事業や隣保館デイサービス事業を通して、地域住民が利用しやすい学習の機会を提供できるよう、実施内容や講座の充実に努める。</p> <p>【平和事業】7月開催予定の平和祭において、バーチャルリアリティを活用した原爆投下前後の広島を体験できるコーナーを設置することで、「平和の取組」の満足度の向上に努める。</p> |
|------------------------|--|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|----------|--|----------|------------------|----------|
| 総合 評価 | A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。 | B | (参考) 昨年度の評価結果 | B |
| コメント | <p>・学校教育、社会教育、ともががんばっておられると思います。子どものいじめや高齢者の虐待など、まだまだ課題は多いです。</p> <p>・平和や人権は根気よく続けていただきたいです。子どもの頃にぜひ触れさせておきたいです。平和宣言都市とうとう笠岡市を誇りに思います。</p> <p>・子供達も身近なテーマから取り組まれ大変良いことだと思います。すべての世代で関心を持っていただけるよう働きかけて下さい。</p> <p>・吉田文化会館の利用は、平日の利用については若い世代は難しいと思われるため、子供と高齢者への広報に重点をおかれてはどうか。</p> <p>また、人権への感じ方は昔と現在は全く異なるため、皆が興味を持つような研修をされるよう工夫されたい。</p> <p>・指標もほぼ目標通りで、着実に業務を行っていると思います。さらに頑張ってくださいようお願いいたします。</p> <p>・人権意識の高揚・男女共同参画社会の構築は、意識改革が伴うものなので一朝一夕には進まないと思うが、少しずつでも推進していければ良いと思う。</p> <p>また、国会においては憲法9条を改正しようとする動きが見られる。74年前に大きな犠牲を払って手に入れたこの平和な世の中を維持するためにも、もっと平和について考え、平和な社会を築こうとする意識の高揚を図っていただきたい。</p> | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|-------|--|-----|---------|-----|----------------|
| 施策No. | 4-1 | 施策名 | 地域福祉の推進 | 担当課 | 地域包括ケア推進室 |
| 戦略の柱 | 安定戦略 “安らぐ” | | | | |
| 基本方針 | 子どもから高齢者まで、年齢や傷害の有無、性別等の違いに関係なく、住み慣れた地域で、共に支え合い、助け合いながら、その人らしく暮らし続けることができるまちづくりを目指します。 | | | 関係課 | 地域福祉課 長寿支援課 |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|-------------------------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 | R7 目標 |
| 地域見守り活動に関する協定の締結団体数 | 単位 | 目標 | | | 12 | 13 | 15 | 15 |
| | 団体 | 実績 | 10 | 10 | 11 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 91.7% | — | — | — |
| 「地域福祉活動の推進」の満足度(市民意識調査) | 単位 | 目標 | | | 16.0 | — | 18.0 | 20.0 |
| | % | 実績 | 13.6 | — | 10.0 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 62.5% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|---------------|
| 【達成目標1】 | 地域包括ケアシステムの構築 |
|---------|---------------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|---------------------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 生活支援サービス団体数 | 単位 | 目標 | | | 96 | 98 | 102 |
| | 団体 | 実績 | 92 | 94 | 90 | — | — |
| | | 達成率 | | | 93.8% | — | — |
| 在宅での看取りに対応する病院・診療所数 | 単位 | 目標 | | | 8 | 8 | 10 |
| | 箇所 | 実績 | 5 | 5 | 4 | — | — |
| | | 達成率 | | | 50.0% | — | — |
| 在宅での看取りの割合 | 単位 | 目標 | | | 10.0 | 10.0 | 10.5 |
| | % | 実績 | 8.7 | 8.7 | 8.1 | — | — |
| | | 達成率 | | | 81.0% | — | — |
| 施設入所の割合 | 単位 | 目標 | | | 50.0 | 50.0 | 48.0 |
| | % | 実績 | 50.6 | 51.2 | 47.7 | — | — |
| | | 達成率 | | | 104.8% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 73,850 | 千円 | 72,940 | 千円 | 78,366 | 千円 | 71,214 | 千円 |
| うち一般財源 | 48,836 | 千円 | 51,083 | 千円 | 56,683 | 千円 | 51,537 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|--|-----|---|--------|-------------|--|-------------|-------|-------------|--------|-------|----|
| 1 地域包括ケアシステム構築事業 | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | |
| 市民(子どもから高齢者まで、年齢や傷害の有無、性別等の違いに関係なく) | | | 地域の住民が心身の状態が悪化した場合でも、住み慣れた地域において生活を継続できるように仕組みづくりを行う。 | | | 地域の実態把握・課題分析を通じて、地域の共通の目標を設定し、関係者間で共有するとともに、その達成に向けた具体的な対策を検討する。 | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| 取組内容 | ●地域ケア会議の開催 ●地域の実態把握体制の構築 ●地域でのネットワークの構築と拡大整備 | | ⇒ ⇒ ⇒ | | ⇒ ⇒ ⇒ | | ⇒ ⇒ ⇒ | | ⇒ ⇒ ⇒ | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 438 | 千円 | 決算額 | 810 | 千円 | 決算額 | 1,108 | 千円 | 決算額 | 1,751 | 千円 |
| | うち一般財源 | 181 | 千円 | うち一般財源 | 336 | 千円 | うち一般財源 | 459 | 千円 | うち一般財源 | 726 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|-------|--|--------|--|--|--|-------|--|--------|-------|----|
| 2 認知症対策推進業務 | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | |
| 施設職員 市民 | | | 認知症の正しい理解と、介護のノウハウの熟知 | | | 認知症介護研修センターでの研修会や出前講座など委託事業や各団体等からの要請に基づき研修会を開催し、認知症に対する理解と啓発を行なうとともに、介護の知識向上を目指す。 ハートフルセミナーを開催し、地域福祉計画策定に向けて福祉団体、一般市民を対象に講演、実践発表を行う。 | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| 取組内容 | ●認知症介護研修市民講座事業 ●認知症介護実務者研修事業 ○認知症研修センター委託 ●ハートフルセミナー事業 〈ハートフルセミナー参加者400人〉 | | ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 〈ハートフルセミナー参加者700人〉 | | ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 〈ハートフルセミナー参加者400人〉 | | ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 〈ハートフルセミナー参加者400人〉 | | ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 〈ハートフルセミナー参加者400人〉 | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 5,560 | 千円 | 決算額 | 5,121 | 千円 | 決算額 | 5,121 | 千円 | 決算額 | 5,121 | 千円 |
| | うち一般財源 | 5,271 | 千円 | うち一般財源 | 5,121 | 千円 | うち一般財源 | 5,121 | 千円 | うち一般財源 | 5,121 | 千円 |

| | | | | | |
|----------------------------------|--|--|---|---|--|
| 3 障がい福祉制度事務(再掲) | | | | | |
| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | |
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | |
| 障がい者等 (障がい者, 障がい児, 難病患者, 保護者) | 障がい者等が必要な障がい福祉制度を利用することにより, 自立した日常生活を営み福祉の増進を図る。 | <p>◆就労奨励補助金→障がい者1人につき, 地域活動支援センター事業を行う事業所等において生産活動を行った日数に200円を乗じた額を補助 ◆心身障害者扶養共済制度→知的障がい者(児)を保護している者の万ーの場合を考えての保険制度で, 一定の掛け金を納めて年金を受け取る制度 ◆障がい者相談員等設置事務→障がいの当事者や関係者に相談業務を相談者として委託し, 相談者への必要な助言・指導・心のケアを図る。◆成年後見制度市長申し立て事務→事情により親族申し立てができない障がい者等の権利擁護を図るため, 市長が成年後見申し立てを行う。◆障がい福祉サービス事業所への交通費事業費補助事業→鳥しょ部の利用者に障がい福祉サービスを提供する事業所への交通費・事業費の補助を行う。◆訪問入浴サービス事業→市内に住所を有する在宅で入浴が困難な者に対して, 事業者が自宅を訪問して入浴サービスを提供する。◆重症心身障害児者レスパイトサービス促進事業補助金→岡山県が平成26年度新規事業として「重症心身障害児者と家族の安心生活サポート事業」を創設したことに伴い, 笠岡市としても医療型短期入所事業所の整備・拡充を促進した。◆障がい者集いの場施設整備事業→福祉的就労利用後の集いの場を整備し, 障がい者の就労後の居場所確保, 保護者の就労支援に寄与した。◆避難行動要支援者管理システム運用事業→情報を登録するとともに同意のもと自主防災組織等に情報提供し避難支援に役立てる。◆緊急通報システムNET119→音声言語のコミュニケーションが困難な方が, 携帯電話やスマートフォンで火災や救急等の緊急通報を行うシステムを導入。◆各種受付事務</p> | | | |
| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> 関係機関とのネットワークの強化 障害者支援制度の改善, 拡充の要望 窓口業務の効率化 情報提供の強化 就労奨励補助金 支給実人数 165人 訪問入浴サービス事業 支給実人数 1人 重症心身障害児者レスパイトサービス拡大促進事業補助金 対象事業所数 3事業所 | <ul style="list-style-type: none"> 就労奨励補助金 支給実人数154人 訪問入浴サービス事業 実人数1人 重症心身障害児者レスパイトサービス拡大促進事業補助金 事業所 3 障がい者集いの場 登録者4 避難行動要支援者 同意者数369 緊急通報システム 登録者数10 | <ul style="list-style-type: none"> 就労奨励補助金 支給実人数 189人 訪問入浴サービス事業 実人数 1人 重症心身障害児者レスパイトサービス拡大促進事業補助金 事業所 3 障がい者集いの場 登録者8 避難行動要支援者 同意者数500 緊急通報システム 登録者数10 | <ul style="list-style-type: none"> 支給実人数 180人 事業所 3 障がい者集いの場 登録者10 避難行動要支援者 同意者数624 緊急通報システムNET119 登録者数9 | |
| 直接事業費 | 決算額 29,967 千円 | 決算額 31,929 千円 | 決算額 34,778 千円 | 決算額 26,937 千円 | |
| | うち一般財源 17,981 千円 | うち一般財源 20,199 千円 | うち一般財源 23,392 千円 | うち一般財源 17,901 千円 | |

| | | | | | |
|---------------------|--|---|---------------|---------------|--|
| 4 民生委員・児童委員活動支援事業業務 | | | | | |
| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | |
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | |
| 民生委員 児童委員 | 地域福祉活動の充実・向上のため, 委員の資質を高めるとともに, 円滑な活動ができるように支援する。 | 情報交流を図るための理事会を開催する。 各種研修会を実施する。 個人情報提供のための取組を行う。 | | | |
| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> 個人情報提供の継続 研修機会の充実 市協議会理事会及び地区協議会定例会の開催による情報共有を進める。 | <ul style="list-style-type: none"> 民生委員の一斉改選 | | | |
| 直接事業費 | 決算額 9,587 千円 | 決算額 10,450 千円 | 決算額 9,912 千円 | 決算額 9,791 千円 | |
| | うち一般財源 85 千円 | うち一般財源 797 千円 | うち一般財源 264 千円 | うち一般財源 175 千円 | |

| | | | | | | | | | | | | |
|----------|--|--|-------------------------------------|--------|--------|----|--------|--------|----|--------|--------|----|
| 5 社会福祉事業 | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 市民 | ノーマライゼーションの理念で支えられた地域社会で安全で快適に生きがいを持って生活ができるようにする。 | 地域福祉に寄与する団体に補助金を交付する。 団体の活動拠点であるボランティアハウス、高齢者福祉の拠点である老人福祉センターの管理事務を委託。 平成27年度に笠岡市地域福祉計画(改訂版)を策定する。 | | | | | | | | | | |
| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | | | | | | | | | |
| 取組内容 | ・老人福祉センター管理委託 ・各種団体・協議会補助 ・ふれあいハウス管理委託 <老人福祉センター利用者22,601人> ・笠岡市地域福祉計画(改訂版)を策定 | ⇒ ⇒ ⇒ <老人福祉センター利用者21,067人> | ⇒ ⇒ ⇒ <老人福祉センター利用者23,868人> | | | | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 28,298 | 千円 | 決算額 | 24,630 | 千円 | 決算額 | 27,447 | 千円 | 決算額 | 27,614 | 千円 |
| | うち一般財源 | 25,318 | 千円 | うち一般財源 | 24,630 | 千円 | うち一般財源 | 27,447 | 千円 | うち一般財源 | 27,614 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|--------|----|
| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | | | |
| 直接事業費 | 73,850 | 千円 | 72,940 | 千円 | 78,366 | 千円 | 71,214 | 千円 |
| うち一般財源 | 48,836 | 千円 | 51,083 | 千円 | 56,683 | 千円 | 51,537 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| | |
|---|--|
| 委員コメント | 対応・回答 |
| ・認知症介護研修センターの利用状況と多目的利用の状況について教えてください。 | → H29(2017)年度 利用人数 1726人(のべ)、宿泊利用人数 515人、研修日数 65日 多目的利用については、シーガルスや、高校生等の合宿に利用する場合等ありますが、条例に沿うよう、必ず認知症の講座を受けて、ご利用いただいております。 |
| ・笠岡市の人口実体からみて今後は一人暮らし、高齢化が増々進むと思います。基本理念である「みんなでささえる福祉のまちづくり」をしっかりと推進実行を望みます。 | → H30(2018)年度から始まる第7次総合計画とともに、笠岡市高齢者福祉推進計画・笠岡市介護保険事業計画(ゲンキプラン21-VII)を推進し、高齢者が住み慣れた地域で安心していつまでも自分らしく自立した生活が送れるように各種事業に取り組みます。 |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | |
|--|----------|
| 施策の進捗度 A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | B |
|--|----------|

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------|---|
| 未達成指標への対応策 | 「地域福祉活動の推進」の満足度に対しては、住み慣れた場所で安心して生活できるための対応策として、認知症の相談場所の開設や地域の集まりの場の充実に取り組んでいます。 「在宅での看取りの割合の増加」に対しては、医療と介護の連携シートの運用やタブレットの活用等の推進等ICTを活用した医療と介護の連携強化を進めています。さらに、緊急時の受け入れができる医療機関や介護施設の確保等安心して在宅で療養ができる体制の構築を進めています。 |
|------------|---|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|----------|---|---|------------------|---|
| 総合 評価 | A:計画どおり進行している。 B:おおむね計画どおり進行している。 C:計画より一部遅れている。 D:計画より遅れている。 | C | (参考) 昨年度の評価結果 | B |
| コメント | <p>・過ごされている認知症の方と認知症の家族などをつなぐ役割をされているところが多い中、笠岡市は他県からの有名な方をお呼びして終わるケースが多いように思います。華やかさはあるかも知れませんが、笠岡市民の生の声に耳を傾けていただき笠岡市民ための研修を行われることを望みます。</p> <p>・近頃、民生委員のなり手が見つからず、困っているようです。男性の方にも活動していただけるようお願いいたします。(男性もOKならば)</p> <p>・家族が在宅で介護するには人手も費用も必要ですが、なかなか難しいのではないのでしょうか。笠岡市としてサポートできる体制をより一層充実させてほしい。それが、「地域福祉活動の推進」の満足度にもつながると思われる</p> <p>・指標が若干下がっているようですが、着実に業務を行っていると思います。さらに頑張ってくださいようお願いします。</p> <p>・概ね順調に進んでいると思います。</p> | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|--------|---|-----|-------|---------|---------------------|
| 施策 No. | 4-2 | 施策名 | 健康づくり | 担当 課 | 健康推進課 |
| 戦略の柱 | 安定戦略 “安らぐ” | | | | |
| 基本方針 | 市民の健康寿命の延伸に向けて、生涯を通じて健康づくりに励むことのできる環境をつくるとともに、生活習慣病や要介護状態を早期発見、早期対応できる体制を整え、安心して暮らせるまちを目指します。 | | | 関係 課 | 市民課 長寿支援課 環境課 |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|----------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 | R7 目標 |
| 健康寿命(男性) | 単位 | 目標 | | | 79.77 | 79.90 | 80.17 | 80.63 |
| | 年 | 実績 | 79.50 | 79.52 | 79.73 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 99.9% | — | — | — |
| 健康寿命(女性) | 単位 | 目標 | | | 84.25 | 84.38 | 84.65 | 85.10 |
| | 年 | 実績 | 83.99 | 84.17 | 84.37 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 100.1% | — | — | — |
| 平均寿命(男性) | 単位 | 目標 | | | 81.13 | 81.26 | 81.52 | 81.95 |
| | 年 | 実績 | 80.87 | 80.87 | 80.98 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 99.8% | — | — | — |
| 平均寿命(女性) | 単位 | 目標 | | | 87.46 | 87.59 | 87.84 | 88.28 |
| | 年 | 実績 | 87.21 | 87.35 | 87.41 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 99.9% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|----------------|--------------|
| 【達成目標1】 | 自主的な健康づくりの促進 |
|----------------|--------------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|---------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 運動習慣者の増加 | 単位 | 目標 | | | 42.0 | 43.0 | 45.0 |
| | % | 実績 | 40.0 | 46.0 | 43.5 | — | — |
| | | 達成率 | | | 103.6% | — | — |
| 健康ポイント事業への参加者 | 単位 | 目標 | | | 800 | 1,000 | 1,400 |
| | 人/年 | 実績 | — | 686 | 1,158 | — | — |
| | | 達成率 | | | 144.8% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|------------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接 事業費 | 562 | 千円 | 4,479 | 千円 | 2,434 | 千円 | 4,870 | 千円 |
| うち 一般財源 | 562 | 千円 | 850 | 千円 | 2,434 | 千円 | 4,778 | 千円 |

| 1 | | 健康増進計画の進行管理業務 | | | | | | | | | | |
|--------|--|---|--|--------|--|---|---|--------|----|--------|-------|----|
| 対象(誰を) | | 事務事業の目的 意図(どのようにしたいのか) | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 市民 | | 健康づくりを地域に広める団体を育成し、市民と協働して「地域でのふれあいを通して、いきいきと心豊かに暮らせるまち」づくりを推進する。 | | | | 「いきいき笠岡21」健康づくり計画の実施 ・「いきいき笠岡21」評価推進委員会の活動支援 「いきいき笠岡21」健康かぶとがにウォーキング大会の実施 「いきいき笠岡21」評価項目と今後の目標値設定 ・「いきいき笠岡21」庁内プロジェクトチームの稼働 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ●健康づくり計画(第2期計画)の推進 ・ぐるりんウォーク2015の実施 ・60日間6,000歩チャレンジの実施 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | ●食育の推進 ・食育のホームページを普及啓発 ・栄養成分を表示する店舗の募集 ●保健団体の育成 ・保健団体の活動支援 | | ⇒ ・食育ソフト、食育のホームページを普及啓発 ・栄養成分を表示する店舗の募集 ⇒ | | ⇒ ・かさおか健康ポイントの実施 参加者数:686名 ⇒ ⇒ | | ⇒ ・かさおか健康ポイントの実施 参加者数:1,158名 ⇒ | | ⇒ | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 562 | 千円 | 決算額 | 4,479 | 千円 | 決算額 | 2,434 | 千円 | 決算額 | 4,870 | 千円 |
| | うち一般財源 | 562 | 千円 | うち一般財源 | 850 | 千円 | うち一般財源 | 2,434 | 千円 | うち一般財源 | 4,778 | 千円 |

【達成目標2】 病気の発症予防・重症化予防の推進

達成目標2の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|-------------------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 特定健康診査の受診率 | 単位 | 目標 | | | 27.5 | 28.0 | 29.0 |
| | % | 実績 | 26.6 | 26.7 | 26.4 | — | — |
| | | 達成率 | | | 96.0% | — | — |
| メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の割合 | 単位 | 目標 | | | 27.3 | 27.0 | 26.4 |
| | % | 実績 | 27.9 | 27.5 | 26.6 | — | — |
| | | 達成率 | | | 97.4% | — | — |
| 糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者の数 | 単位 | 目標 | | | 10 | 10 | 9 |
| | 人/年 | 実績 | 11 | 3 | 9 | — | — |
| | | 達成率 | | | 111.1% | — | — |

達成目標2の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|
| 直接事業費 | 136,602 | 千円 | 136,421 | 千円 | 140,943 | 千円 | 142,553 | 千円 |
| うち一般財源 | 121,354 | 千円 | 114,723 | 千円 | 121,248 | 千円 | 118,071 | 千円 |

2 生活習慣病及び介護予防事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|-----------------|---|--|--------|--------|--------|----|--------|--------|----|--------|--------|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 市民(健診種類によって異なる) | 生活習慣病予備軍の早期発見に努めるとともに、糖尿病など重点対策疾患を予防し、医療費の適正化を図る。 65歳以上虚弱高齢者に介護予防事業を実施して、高齢者の要介護(支援)状態を予防する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・制度改正に伴う新たな効率的・効果的な健康診査・保健指導体制の充実 ・壮年期の生活習慣病予防のための意識の向上を目指したポピュレーションアプローチの強化 ・高齢者の健康診査と介護予防事業の連携強化 | | | | | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●特定健診・特定保健指導の実施 ●保健指導の強化 ●健康相談・教育、訪問の実施 ●健康管理手帳の作成、交付 ●肝炎検査の実施 ●後期高齢者健診の実施 ●歯科保健事業の実施 ●高齢者の見守り訪問 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 41,884 | 千円 | 決算額 | 41,103 | 千円 | 決算額 | 46,176 | 千円 | 決算額 | 46,047 | 千円 |
| | うち一般財源 | 32,124 | 千円 | うち一般財源 | 24,875 | 千円 | うち一般財源 | 32,040 | 千円 | うち一般財源 | 28,365 | 千円 |

| 3 | | がん検診事業 | | 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | |
|------------------------------------|--|---|----|--|--------|---------|--------|--------|----|--------|--------|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | 事務事業の内容 | | | | | | | | |
| ・会社、医療機関等でがん検診を受診しない市民ほか(検診により異なる) | | 各種がんの早期発見、早期治療により、がん死亡率の減少を図る。 また、早期がんの治療により医療費の削減が図れるため、市民の医療保険料の負担軽減につながる。 | | ・「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針(平成10年3月老人保健課長通知)」に基づき、6種類のがん検診を医師会等と協議しながら実施する。 ・がん死亡率の低減に向けて、がん検診の受診率向上を図るため、集団検診・市内医療機関による個別検診を実施する。 | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ●各種がん検診の実施 ・女性のがんの節目検診(無料クーポン券発行)、償還払いの実施 ・働く世代の大腸がん検診(節目年齢に無料クーポン券発行) ・受診しやすい環境づくり(医療機関による個別検診受診期間の拡大、検診料金の見直し、レディース健診の実施) | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 57,045 | 千円 | 決算額 | 57,045 | 千円 | 決算額 | 57,622 | 千円 | 決算額 | 59,221 | 千円 |
| | うち一般財源 | 52,064 | 千円 | うち一般財源 | 52,064 | 千円 | うち一般財源 | 52,572 | 千円 | うち一般財源 | 52,938 | 千円 |

| 4 | | 健康危機管理対策(感染症予防)事業 | | 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | |
|--------|-------------------------------|---|----|---|--------|---------|--------|--------|----|--------|--------|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | 事務事業の内容 | | | | | | | | |
| 市民 | | 高齢者のインフルエンザ・肺炎球菌予防接種を実施して、感染症の発症を予防する。また、新型インフルエンザなど新たな感染症に対応するための体制を整える。 | | ・高齢者へのインフルエンザ予防接種の実施 ・高齢者への肺炎球菌予防接種の実施 | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | インフルエンザ予防接種の実施 肺炎球菌予防接種の実施 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 37,166 | 千円 | 決算額 | 37,784 | 千円 | 決算額 | 36,636 | 千円 | 決算額 | 36,768 | 千円 |
| | うち一般財源 | 37,166 | 千円 | うち一般財源 | 37,784 | 千円 | うち一般財源 | 36,636 | 千円 | うち一般財源 | 36,768 | 千円 |

| 5 | | 公衆衛生対策業務 | | 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | |
|---------|--|-----------------------------------|----|-------------|-----|---------|--------|--------|----|--------|-----|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | 事務事業の内容 | | | | | | | | |
| 飼い犬と飼い主 | | 狂犬病の発生を予防すると同時に蔓延を防ぎ、人間への感染を防止する。 | | 狂犬病予防及び犬の登録 | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ・畜犬の登録管理 ・集合注射の案内及び実施 ・飼い主のマナー啓発 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| | | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 507 | 千円 | 決算額 | 489 | 千円 | 決算額 | 509 | 千円 | 決算額 | 517 | 千円 |
| | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|
| 直接事業費 | 137,164 | 千円 | 140,900 | 千円 | 143,377 | 千円 | 147,423 | 千円 |
| うち一般財源 | 121,916 | 千円 | 115,573 | 千円 | 123,682 | 千円 | 122,849 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|--|--|
| ・近年、40代男性が風疹に対する免疫がないことが問題になっています。これから生まれてくる子の為にも予防接種を受けるように助成等の取り組みをお願いします。 | → 現在、笠岡市では風疹の蔓延防止を図り、生まれてくる赤ちゃんの先天性風疹症候群の発症を予防するため、大人の風疹予防接種費用の助成に取り組んでいます。今年度、全国的な風疹の流行が起こっているため、今後も予防対策として予防接種助成制度について市民への周知を図ります。 |
| ・症状が出て始めて健康の重要性に気づくことが多い。早期発見・早期治療の市民啓発に努めてください。 | → 早期発見・早期治療のためには、まずは健康診断を受けていただくことが最も大切なことだと考えております。市民一人一人の将来の健康の維持増進のために、今後も各種健(検)診の受診の必要性を周知し受診勧奨に努めます。 |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | |
|--|----------|
| 施策の進捗度 A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | B |
|--|----------|

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------|--|
| 未達成指標への対応策 | 健康寿命の延伸を図るためには、生活習慣病の予備軍を増やさない取り組みが重要です。そのためにも、健康を保持・増進するための健康づくり(1次予防)に重点おいて取り組んでいきます。そのために愛育委員協議会や栄養改善協議会、ヘルスアップ推進会等の保健団体と協働して、食の見直しや運動の推進を図ります。また、病気の早期発見・早期治療(二次予防)に向けた取り組みを実施します。また、悪化を防ぐ取組みも同様に重要であるため、病気の重症化予防(三次予防)に向けた取り組みも実施します。 |
|------------|--|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|------|---|----------|------------------|----------|
| 総合評価 | A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。 | B | (参考) 昨年度の評価結果 | B |
| コメント | <ul style="list-style-type: none"> ・図書館でかさおか健康ポイントについての掲示と資料を見ました。見やすいところにあること。また中高年の方が元気であることへの推進活動が素晴らしいと思いました。今、老化や認知症予防を国が大きく謳っていますが、認知症になること、歳を重ねることへの恐怖と勘違いされないように理解を深めていただきたい。 ・健康ポイント事業が好評のようです。引き続きお願いします。 ・健康寿命についての市民の認識を向上させるよう各団体と連携をとりながらすすめてほしい。笠岡市の平均寿命が徐々に延びることを期待します。 ・指標もほぼ目標通りで、着実に業務を行っていると思います。さらに頑張ってくださいようお願いいたします。 ・施策が概ね順調に進んでいると思います。特定健診の受診率の向上に何か秘策は無いでしょうか？例えば、健康ポイントの施策で特定健診・がん検診は必須にするとか | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|-------|--|-----|------------|------|--------------|
| 施策No. | 4-3 | 施策名 | 医療・救急体制の整備 | 主担当課 | 健康推進課 警防課 |
| 戦略の柱 | 安定戦略 “安らく” | | | 関係課 | 市民病院 |
| 基本方針 | 医療関係機関等と連携しながら、地域医療体制、救急医療体制の整備に努め、住む場所や時間に限らず、必要な医療を市民が安心して受けることができるまちを目指します。 | | | | |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|---------------------------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 | R7 目標 |
| 救急出動件数(人口1万人当たり) | 単位 | 目標 | | | 502 | 519 | 528 | 501 |
| | 件/年 | 実績 | 468 | 474 | 512 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 102.0% | — | — | — |
| 救命講習会を受講したことがある人の割合(管内人口に対する割合) | 単位 | 目標 | | | 19.2 | 21.0 | 23.5 | 30.0 |
| | % | 実績 | 16.0 | 17.2 | 19.2 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 100.0% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|---------|
| 【達成目標1】 | 医療体制の整備 |
|---------|---------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|----------------------------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 休日当番医(医科)の診療科目数 | 単位 | 目標 | | | 1 | 1 | 1 |
| | 科目 | 実績 | 1 | 1 | 1 | 1 | — |
| | | 達成率 | | | 100.0% | — | — |
| 二次救急医療の診療科目数 | 単位 | 目標 | | | 2 | 2 | 2 |
| | 科目 | 実績 | 2 | 2 | 2 | — | — |
| | | 達成率 | | | 100.0% | — | — |
| 管内医療機関への収容率 | 単位 | 目標 | | | 47.7 | 48.4 | 50.0 |
| | % | 実績 | 46.2 | 47.6 | 47.5 | — | — |
| | | 達成率 | | | 99.6% | — | — |
| 救急活動症例検討会等への救急隊員1人当たりの参加時間 | 単位 | 目標 | | | 8.0 | 9.0 | 11.0 |
| | 時間 | 実績 | 6.0 | 6.0 | 6.0 | — | — |
| | | 達成率 | | | 75.0% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 15,091 | 千円 | 14,866 | 千円 | 10,629 | 千円 | 10,157 | 千円 |
| うち一般財源 | 14,351 | 千円 | 14,125 | 千円 | 9,886 | 千円 | 9,402 | 千円 |

| 1 救急医療体制整備事業 | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|-------|---|--------|-------|---|--------|-------|--------|--------|-------|----|
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | |
| 休日に受診を望む市民 | | | 日曜・祝祭日・年末年始の医療機関が休みの日でも、市内に内科と外科系それぞれ1医療機関が当番で開院し、急な受診を希望する市民の受診機会を確保する。歯科については、年末年始の受診機会を確保する。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・笠岡医師会と委託契約を締結し、休日当番医制度を実施する。 ・岡山県南西部圏域における二次救急医療体制の整備を図る。 | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| 取組内容 | ●医師会・歯科医師会補助金 ・研究研修費用の助成 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | |
| | ●在宅当番医制事業 ・休日の内科・外科系の診療体制の確保 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | |
| ●二次救急医療体制事業 ・県南西部圏域における二次救急体制の整備 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 7,095 | 千円 | 決算額 | 7,409 | 千円 | 決算額 | 7,371 | 千円 | 決算額 | 7,392 | 千円 |
| | うち一般財源 | 6,355 | 千円 | うち一般財源 | 6,668 | 千円 | うち一般財源 | 6,628 | 千円 | うち一般財源 | 6,637 | 千円 |

| 2 救急業務推進事業 | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|---|----|---|--------|----|--|--------|----|--------|--------|----|----|
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | |
| 救急救命士及び救急隊 | | | 救急現場から医療機関へ患者を搬送するまでの間に救急救命士や救急隊員が行なう応急処置の質を向上させる | | | <ul style="list-style-type: none"> ・救急業務推進協議会 ・症例検討会 | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| 取組内容 | ●救急業務推進協議会 ・備中地区MC協議会 (備中地区6消防本部と医療機関の情報共有) | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | |
| | ●笠岡症例検討会 ・救急活動の事後検証会 (周辺地域の二次・三次医療機関) | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | |
| ●笠岡地区救急連絡協議会 (管内二次医療機関との情報共有) | | | ⇒ | | | ●笠岡地区救急告示医療機関連絡会 | | | ⇒ | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 44 | 千円 | 決算額 | 44 | 千円 | 決算額 | 44 | 千円 | 決算額 | 44 | 千円 |
| | うち一般財源 | 44 | 千円 | うち一般財源 | 44 | 千円 | うち一般財源 | 44 | 千円 | うち一般財源 | 44 | 千円 |

| 3 救急救命士等養成事業 | | | | | | | | | | | | |
|--|------------|-------|--|------------|-------|--|------------|-------|--------|------------|-------|----|
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | |
| 消防職員 | | | 救急現場や救急車内での医師の指示の下、救命処置を施すことができる国家資格である救命救急士を養成し、救命率を向上させる | | | <ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の資格取得 救急救命士の確保 高度かつ専門的な教育訓練を実施する。 | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ●各種研修会への参加 ・救急救命研修所へ1名派遣(救急救命九州研修所) ●病院実習(救急救命士研修) ・気管挿管実習(30症例)3名(倉敷中央病院・岡山榊原病院) ・ビデオ硬性挿管用喉頭鏡(5症例)1名(岡山医療センター) ・救急救命士再教育病院実習(笠岡市民病院18名・川崎医科大学附属病院7名・倉敷中央病院5名・金光病院6名) | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| 取組内容 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・気管挿管実習(30症例)2名(松田病院・岡山大学病院) ・指導救命士病院実習1名(川崎医科大学附属病院・倉敷中央病院) ・救急救命士再教育病院実習(川崎医科大学附属病院9名・倉敷中央病院7名・金光病院2名) | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・気管挿管実習(30症例2名)(岡山榊原病院・倉敷中央病院) ・ビデオ硬性挿管用喉頭鏡(5症例1名) ・救命士就業前実習(笠岡市民病院3名) ・救急救命士再教育病院実習(笠岡市民病院15名・川崎医科大学附属病院8名・倉敷中央病院5名・金光病院6名) | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・気管挿管実習(30症例1名)(倉敷市松田病院) ・救命士就業前実習(笠岡市民病院2名) ・救急救命士再教育病院実習(笠岡市民病院18名・川崎医科大学附属病院10名・倉敷中央病院6名・金光病院2名) | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| 直接 事業費 | 決算額 | 3,561 | 千円 | 決算額 | 3,036 | 千円 | 決算額 | 2,956 | 千円 | 決算額 | 2,721 | 千円 |
| | うち 一般財源 | 3,561 | 千円 | うち 一般財源 | 3,036 | 千円 | うち 一般財源 | 2,956 | 千円 | うち 一般財源 | 2,721 | 千円 |

| 4 救急資機材等整備事業 | | | | | | | | | | | | |
|--|------------|-------|---------------------|------------|-------|---------------|------------|-----|--------|------------|---|----|
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | |
| 地域住民 | | | 救急資機材を整備し、救命率を向上させる | | | 救命処置用資機材の更新整備 | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ●救急資機材の更新整備 ・ミニアン×2セット(1セット10体入り) ・レサシアン1体 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| 取組内容 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・リトルアン(8体入り2セット) ・AEDトレーナー ・感染防護衣 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・感染防護衣 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| 救急車の更新整備事業で整備したため計上無し。 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| 直接 事業費 | 決算額 | 4,391 | 千円 | 決算額 | 4,377 | 千円 | 決算額 | 258 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 |
| | うち 一般財源 | 4,391 | 千円 | うち 一般財源 | 4,377 | 千円 | うち 一般財源 | 258 | 千円 | うち 一般財源 | 0 | 千円 |

【達成目標2】 島しょ部における医療体制の整備

達成目標2の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|--------------------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 島しょ部診療所(内科・歯科)数 | 単位 | 目標 | | | 9 | 9 | 9 |
| | 箇所 | 実績 | 9 | 9 | 9 | — | — |
| | | 達成率 | | | 100.0% | — | — |
| 救急隊が救急患者へ接触するまでの時間 | 単位 | 目標 | | | 45 | 45 | 45 |
| | 分 | 実績 | 45 | 46 | 49 | — | — |
| | | 達成率 | | | 91.8% | — | — |

達成目標2の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|------------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接 事業費 | 43,618 | 千円 | 45,930 | 千円 | 50,114 | 千円 | 49,631 | 千円 |
| うち 一般財源 | 43,618 | 千円 | 45,930 | 千円 | 50,114 | 千円 | 49,631 | 千円 |

| 5 | | へき地診療所事業 | | 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
|-----------|--|--|--------|-----------------------------------|------------|---------|----|------------|--------|----|------------|--------|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 島しょ部住民 | | ・島しょ部住民等の診療を行い、医療業務を円滑に実施する。 | | ・六島、白石島、高島住民等の診療を行う。 ・患者輸送艇の運航 | | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | | ★●患者輸送艇運航 ★○へき地診療所運営 ・H27.8 白石島診療所開所 | | ⇒ ⇒ | | ⇒ ⇒ | | ⇒ ⇒ | | | | | |
| 直接 事業費 | | 決算額 | 11,967 | 千円 | 決算額 | 15,567 | 千円 | 決算額 | 17,406 | 千円 | 決算額 | 19,629 | 千円 |
| | | うち 一般財源 | 11,967 | 千円 | うち 一般財源 | 15,567 | 千円 | うち 一般財源 | 17,406 | 千円 | うち 一般財源 | 19,629 | 千円 |

| 6 | | 真鍋島直営診療所施設運営事業 | | 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
|-----------|--|------------------------------|--------|----------------|------------|---------|----|------------|--------|----|------------|--------|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 島しょ部住民 | | ・島しょ部住民等の診療を行い、医療業務を円滑に実施する。 | | ・真鍋島住民等の診療を行う。 | | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | | ★○直営診療所運営 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| 直接 事業費 | | 決算額 | 28,185 | 千円 | 決算額 | 26,828 | 千円 | 決算額 | 28,968 | 千円 | 決算額 | 27,197 | 千円 |
| | | うち 一般財源 | 28,185 | 千円 | うち 一般財源 | 26,828 | 千円 | うち 一般財源 | 28,968 | 千円 | うち 一般財源 | 27,197 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|----------------------|-------------------------------|----|-----------|---|----|-----------|-------|----|-----------|-------|----|
| 7 | 離島救急患者輸送委託事業 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 島嶼部住民 | | 救急患者が発生した際、住民の負担を軽減し、保健を向上させる | | | 離島において救急患者が発生した際、救急患者輸送委託をした船舶で、患者を輸送し、輸送後救急隊が引継ぎ医療機関へ搬送する。 | | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | |
| | ★●離島救急患者輸送委託 165件 | | | ⇒ 167件 | | | ⇒ 175件 | | | ⇒ 159件 | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 3,466 | 千円 | 決算額 | 3,535 | 千円 | 決算額 | 3,740 | 千円 | 決算額 | 2,805 | 千円 |
| | うち一般財源 | 3,466 | 千円 | うち一般財源 | 3,535 | 千円 | うち一般財源 | 3,740 | 千円 | うち一般財源 | 2,805 | 千円 |

【達成目標3】 市民病院の経営改善

達成目標3の指標

| 指標名 | 目標・実績の推移 | | | | |
|--------|----------|-------|-------|-------|-------|
| | H28実績 | H29実績 | H30実績 | R1目標 | R3目標 |
| 医業収支比率 | 単位 | 目標 | | | |
| | % | 実績 | 73.5 | 73.9 | 75.2 |
| 経常収支比率 | 単位 | 目標 | | | |
| | % | 実績 | 83.8 | 86.0 | 89.2 |
| | | 達成率 | | | |
| | | | | 86.6% | — |
| | | | | 100.3 | 100.9 |
| | | | | 88.9% | — |

達成目標3の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|-----------|----|-----------|----|-----------|----|-----------|----|
| 直接事業費 | 2,262,234 | 千円 | 2,068,475 | 千円 | 2,207,522 | 千円 | 2,028,814 | 千円 |
| うち一般財源 | 457,180 | 千円 | 397,220 | 千円 | 448,240 | 千円 | 442,890 | 千円 |

8 市民病院運営事業

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|-------------------------------|----|-----------|--|----|-----------|-----------|----|-----------|-----------|----|
| 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 地域住民 | | 笠岡地区を中心に地域医療を担い、安心して暮らせるようにする | | | <ul style="list-style-type: none"> 内科、循環器内科、呼吸器内科、外科、消化器内科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、小児科、リハビリテーション科、放射線科による診療 各種健診事業 島しょ部診療所への医師の派遣 | | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●病院事業 <ul style="list-style-type: none"> 安全で良質な医療の提供 救急医療の実施 ●市民病院改革プランの実施 <ul style="list-style-type: none"> 経営の効率化 患者サービスの向上(新規事業) 障害児者短期入所事業を開始 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | |
| 直接事業費 | 決算額(人件費含) | 2,262,234 | 千円 | 決算額(人件費含) | 2,068,475 | 千円 | 決算額(人件費含) | 2,207,522 | 千円 | 決算額(人件費含) | 2,028,814 | 千円 |
| | うち笠岡市負担分 | 457,180 | 千円 | うち笠岡市負担分 | 397,220 | 千円 | うち笠岡市負担分 | 448,240 | 千円 | うち笠岡市負担分 | 442,890 | 千円 |

【達成目標4】 市民への医療に関わる普及啓発の推進

達成目標4の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|--------------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 救命講習会の参加者数 | 単位 | 目標 | | | 1,200 | 1,200 | 1,200 |
| | 人/年 | 実績 | 1,080 | 941 | 1,138 | — | — |
| | | 達成率 | | | 94.8% | — | — |
| 心肺蘇生法, AED取扱指導受講者数 | 単位 | 目標 | | | 2,200 | 2,200 | 2,200 |
| | 人/年 | 実績 | 2,120 | 1,508 | 1,798 | — | — |
| | | 達成率 | | | 81.7% | — | — |
| 救マーク認定事業所数 | 単位 | 目標 | | | 25 | 27 | 30 |
| | 事業所 | 実績 | 18 | 22 | 29 | — | — |
| | | 達成率 | | | 116.0% | — | — |
| 救急搬送人員に占める軽症者の割合 | 単位 | 目標 | | | 43.0 | 42.5 | 41.0 |
| | % | 実績 | 43.9 | 42.7 | 42.7 | — | — |
| | | 達成率 | | | 100.7% | — | — |

達成目標4の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 400 | 千円 | 349 | 千円 | 442 | 千円 | 479 | 千円 |
| うち一般財源 | 400 | 千円 | 349 | 千円 | 442 | 千円 | 479 | 千円 |

9 応急手当等普及・啓発事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|---------|---|---|----|--------|-----|--------|--------|---|----|--------|-----|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 地域住民 | 市民による初期の応急処置によって救命率の向上を図る | <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民対象の講習会実施 ・事業所への応急手当普及啓発 ・コンビニエンスストアへAEDを設置 | | | | | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ● 応急手当普及員の養成 ● 応急手当指導員の養成 ● 各事業所に対する応急手当の普及啓発活動の推進 ● 普通救命講習会(上級・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)の開催 ● 市内のコンビニエンスストアへのAED設置(10→12か所) | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | ● 市内のコンビニエンスストアへのAED設置(10→12か所) | ● 市内の24時間営業店舗へのAED設置・管理(12か所) | | ⇒ | | ⇒ | | ● 市内の24時間営業店舗へのAED設置・管理(10か所)2店舗が閉店したため | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 400 | 千円 | 決算額 | 349 | 千円 | 決算額 | 442 | 千円 | 決算額 | 479 | 千円 |
| | うち一般財源 | 400 | 千円 | うち一般財源 | 349 | 千円 | うち一般財源 | 442 | 千円 | うち一般財源 | 479 | 千円 |

10 救急車適正利用促進事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|---------|---|---------------|----|--------|---|--------|--------|---|----|--------|---|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 市民 | 緊急性が低い軽症の病気の人に対する出動回数を減らし、限られた救急車を有効に活用し、適切な行政サービスが行えるようにする。 | 救急車適正利用の広報・啓発 | | | | | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ● 広報紙掲載 ・広報紙及びホームページでの適正利用啓発 ● ケーブルテレビによる啓発 ・ケーブルテレビによる適正利用啓発 ● 各種講習会での啓発 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 |
| | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|-----------|----|-----------|----|-----------|----|-----------|----|
| 直接事業費 | 2,321,343 | 千円 | 2,129,620 | 千円 | 2,268,707 | 千円 | 2,089,081 | 千円 |
| うち一般財源 | 515,549 | 千円 | 457,624 | 千円 | 508,682 | 千円 | 502,402 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|--|--|
| ・引き続き市民病院の診療科目の充実をお願いします。 | → 岡山大学、他の病院などに働きかけをしていく。 |
| ・日本のどこでも災害が発生する時代、安心して医療が受けられる市民病院が老朽した建物では役に立ちません。〇〇委員会、〇〇会等々議論ばかりで前進がみられません。多くの市民が市民病院を頼りにしています。先づ安全な建物を考え建替えしてください。 | → 現在経営改善に取り組んでいる状況である。建て替えるかどうかできるだけ早期に決定したい。 |
| ・万が一に備えるためにも、救急車適正利用の促進をしっかりと行っていただきたいと思えます。 | → 現在、構成市町の広報紙への掲載、ケーブルテレビ、救急法競技大会、普通救命講習会等の各種講習会及び消防組合ホームページで啓発しているところですが、更にQ助(全国版救急受診アプリ)へのリンクをはる等、今後もしっかりと促進してまいります。 |

<6.平成30年度の振返り>(担当部署自己評価)

| | | |
|--------|--|---|
| 施策の進捗度 | A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | C |
|--------|--|---|

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------|---|
| 未達成指標への対応策 | 島しょ部の診療所においては、医師、看護師等の医療従事者の確保には苦慮しており、笠岡医師会や岡山県等関係機関と連携し、運営に当たってまいります。 医師確保のためには、医学生への奨学金制度の周知や、岡山大学への陳情を今後も継続的に行ってまいります。 赤字額の減少については、支出に関しては、経費や委託料の見直しなどを引き続き検討し支出の削減を行います。収入に関しては平成30年12月から地域包括ケア病床を増床したことによる収入増を見込むと共に施設基準等の見直しを継続し診療報酬の更なる確保に努めます。加えて委託業者による営業活動も含め、入院患者増に努めます。 |
|------------|---|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|------|---|---|------------------|---|
| 総合評価 | A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。 | C | (参考) 昨年度の評価結果 | C |
| コメント | <ul style="list-style-type: none"> ・市民病院が新しく建てられると聞き安心しました。 ・過去の介護療養病棟の廃止により、地域包括ケア病棟は、笠岡市民病院にとっても、手術や入院からの在宅復帰しなければならないご家族にとってもニーズが少なくない病床だと思います。在宅復帰を目標にある上で増床されることは素晴らしいと思いました。今後も引き続き経営回復のためお願いいたします。 ・赤字減少は、今後の市民病院の方針に期待します。 ・病院の収支比率の改善は、医師不足の問題があるので難しいと思われる。しかし、担当部署は施策の実現にむけて精一杯努力されている。実績が改善するよう、引き続き、尽力されたい。 ・やはり市民病院の赤字体質が評価を下げていると思います。ヒアリングでの説明を聞くと非常に頑張っていることが分かりますので、今後も妙案を出して赤字体質からの脱却を目指してください。 ・医療・救急体制の整備と市民病院の経営改善が施策として本当にリンクするのでしょうか？ | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|-------|--|-----|----------------|------|-----------------|
| 施策No. | 4-4 | 施策名 | 障がい者・障がい児福祉の充実 | 主担当課 | 地域福祉課 子育て支援課 |
| 戦略の柱 | 安定戦略 “安らぐ” | | | | |
| 基本方針 | ノーマライゼーションの理念の下、障がい者・障がい児が、必要とする障がい福祉サービス・障がい児通所支援サービス等の支援を受けつつ、住み慣れた地域社会で自立して生活し、全ての市民と共に参加できるまちを目指します。 | | | 関係課 | 建設管理課 都市計画課 |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|-------------------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 | R7 目標 |
| 年間相談支援件数 | 単位 | 目標 | | | 3,160 | 3,175 | 3,205 | 3,250 |
| | 件/年 | 実績 | 3,130 | 3,263 | 2,831 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 89.6% | — | — | — |
| 「障がい者福祉の充実」の満足度(市民意識調査) | 単位 | 目標 | | | 2.0 | — | 2.2 | 2.6 |
| | % | 実績 | 1.8 | — | 1.6 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 80.0% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|----------|
| 【達成目標1】 | 理解と交流の促進 |
|---------|----------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|--------------------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 理解を深める研修、支援者の事例検討等への参加者数 | 単位 | 目標 | | | 300 | 300 | 300 |
| | 人/年 | 実績 | 305 | 154 | 514 | — | — |
| | | 達成率 | | | 171.3% | — | — |
| 障害関連イベント参加者数 | 単位 | 目標 | | | 300 | 300 | 300 |
| | 人/年 | 実績 | 298 | 306 | 677 | — | — |
| | | 達成率 | | | 225.7% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 直接事業費 | 29,967 | 千円 | 31,929 | 千円 | 34,778 | 千円 | 26,937 | 千円 |
| うち一般財源 | 17,981 | 千円 | 20,199 | 千円 | 23,392 | 千円 | 17,901 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|--|--|--------|--|--------|---|----|---|--------|----|--------|--------|----|
| 1 障がい福祉制度事務 | | 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 障がい者等 (障がい者, 障がい児, 難病患者, 保護者) | | 障がい者等が必要な障がい福祉制度を利用することにより, 自立した日常生活を営み福祉の増進を図る。 | | <p>◆就労奨励補助金→障がい者1人につき, 地域活動支援センター事業を行う事業所等において生産活動を行った日数に200円を乗じた額を補助 ◆心身障害者扶養共済制度→知的障がい者(児)を保護している者の万一の場合を考えての保険制度で, 一定の掛け金を納めて年金を受け取る制度 ◆障がい者相談員等設置事務→障がいの当事者や関係者に相談業務を相談者として委託し, 相談者への必要な助言・指導・心のケアを図る。 ◆成年後見制度市長申し立て事務→事情により親族申し立てができない障がい者等の権利擁護を図るため, 市長が成年後見申し立てを行う。 ◆障がい福祉サービス事業所への交通費・事業費補助事業→島しょ部の利用者に障がい福祉サービスを提供する事業所への交通費・事業費の補助を行う。 ◆訪問入浴サービス事業→市内に住所を有する在宅で入浴が困難な者に対して, 事業者が自宅を訪問して入浴サービスを提供する。 ◆重症心身障害児者レスパイトサービス促進事業補助金→岡山県が平成26年度新規事業として「重症心身障害児者と家族の安心生活サポート事業」を創設したことに伴い, 笠岡市としても医療型短期入所事業所の整備・拡充を促進した。◆障がい者集いの場施設整備事業→福祉的就労利用後の集いの場を整備し, 障がい者の就労後の居場所確保, 保護者の就労支援に寄与した。◆避難行動要支援者管理システム運用事業→情報を登録するとともに同意のもと自主防災組織等に情報提供し避難支援に役立てる。◆緊急通報システムNET119→音声言語のコミュニケーションが困難な方が, 携帯電話やスマートフォンで火災や救急等の緊急通報を行うシステムを導入。 ◆各種受付事務</p> | | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | | <ul style="list-style-type: none"> 関係機関とのネットワークの強化 ⇒ 障害者支援制度の改善, 拡充の要望 ⇒ 窓口業務の効率化 ⇒ 情報提供の強化 ⇒ 就労奨励補助金 支給実人数 165人 ⇒ 訪問入浴サービス事業 支給実人数 1人 ⇒ 重症心身障害児者レスパイトサービス拡大促進事業補助金 対象事業所数 3事業所 ⇒ | | <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 支給実人数154人 ⇒ 実人数1人 ⇒ 事業所 3 ⇒ 障がい者集いの場 登録者4 ⇒ 避難行動要支援者 同意者数369 ⇒ 緊急通報システム 登録者数10 | | <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 支給実人数 189人 ⇒ 実人数 1人 ⇒ 事業所 3 ⇒ 障がい者集いの場 登録者8 ⇒ 避難行動要支援者 同意者数500 ⇒ 緊急通報システム 登録者数10 | | <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 支給実人数 180人 ⇒ 実人数 1人 ⇒ 事業所 3 ⇒ 障がい者集いの場 登録者10 ⇒ 避難行動要支援者 同意者数624 ⇒ 緊急通報システムNET119 登録者数9 | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 29,967 | 千円 | 決算額 | 31,929 | 千円 | 決算額 | 34,778 | 千円 | 決算額 | 26,937 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 17,981 | 千円 | うち一般財源 | 20,199 | 千円 | うち一般財源 | 23,392 | 千円 | うち一般財源 | 17,901 | 千円 |

【達成目標2】障がい者・障がい児への支援の充実

| 達成目標2の指標 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|--------------------------|-----|-----|----------|-------|--------|------|------|
| 指標名 | | | H28実績 | H29実績 | H30実績 | R1目標 | R3目標 |
| 訪問系サービスの月間実利用者数 | 単位 | 目標 | | | 93 | 95 | 95 |
| | 人/月 | 実績 | 89 | 79 | 85 | — | — |
| | | 達成率 | | | 91.4% | — | — |
| 日中活動系サービスの月間実利用者数 | 単位 | 目標 | | | 379 | 390 | 405 |
| | 人/月 | 実績 | 331 | 368 | 360 | — | — |
| | | 達成率 | | | 95.0% | — | — |
| 障がい児通所支援の月間実利用者数 | 単位 | 目標 | | | 128 | 128 | 128 |
| | 人/月 | 実績 | 117 | 131 | 166 | — | — |
| | | 達成率 | | | 129.7% | — | — |
| 就労支援を利用して, 一般就労に移行した延べ人数 | 単位 | 目標 | | | 70 | 77 | 91 |
| | 人 | 実績 | 45 | 62 | 78 | — | — |
| | | 達成率 | | | 111.4% | — | — |

達成目標2の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|-----------|----|-----------|----|-----------|----|-----------|----|
| 直接事業費 | 1,079,767 | 千円 | 1,132,580 | 千円 | 1,214,283 | 千円 | 1,261,612 | 千円 |
| うち一般財源 | 293,470 | 千円 | 301,530 | 千円 | 317,882 | 千円 | 336,896 | 千円 |

| 2 障がい福祉サービス事業 | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
|--|-----------------------|--|-----------------------|--|-----------------------|--|-----------------------|--|-----------------------|--------|-----------|----|
| 事務事業の目的 | | 事務事業の目的 | | 事務事業の目的 | | 事務事業の目的 | | 事務事業の目的 | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | 意図(どのようにしたいのか) | | 意図(どのようにしたいのか) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | |
| 障がい者(児) | | 障がい者等がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障がい福祉サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者及び障がい児の福祉の増進を図る。 | | 障がい者等がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障がい福祉サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者及び障がい児の福祉の増進を図る。 | | 障がい者等がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障がい福祉サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者及び障がい児の福祉の増進を図る。 | | 障がい者等がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障がい福祉サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者及び障がい児の福祉の増進を図る。 | | | | |
| 事務事業の内容 | | 事務事業の内容 | | 事務事業の内容 | | 事務事業の内容 | | 事務事業の内容 | | | | |
| 障がい福祉サービス費給付→障害者総合支援法による障がい福祉サービス費の給付◆障がい児サービス費給付→児童福祉法による障がい児通所サービス費の給付◆補装具費給付→義肢、装具、車いす等の給付◆自立支援医療→精神通院医療、更生医療、育成医療の医療給付◆地域生活支援事業→市が創意工夫により、利用者の状況に応じて柔軟に実施する事業◆障がい者虐待防止事業→障がい者虐待防止センターの設置、事例対応を行う。◆障がい者就労促進事業→障がい者の一般就労を支援するため、民間企業を含め関係機関と連携を図る。 | | 障がい福祉サービス費給付→障害者総合支援法による障がい福祉サービス費の給付◆障がい児サービス費給付→児童福祉法による障がい児通所サービス費の給付◆補装具費給付→義肢、装具、車いす等の給付◆自立支援医療→精神通院医療、更生医療、育成医療の医療給付◆地域生活支援事業→市が創意工夫により、利用者の状況に応じて柔軟に実施する事業◆障がい者虐待防止事業→障がい者虐待防止センターの設置、事例対応を行う。◆障がい者就労促進事業→障がい者の一般就労を支援するため、民間企業を含め関係機関と連携を図る。 | | 障がい福祉サービス費給付→障害者総合支援法による障がい福祉サービス費の給付◆障がい児サービス費給付→児童福祉法による障がい児通所サービス費の給付◆補装具費給付→義肢、装具、車いす等の給付◆自立支援医療→精神通院医療、更生医療、育成医療の医療給付◆地域生活支援事業→市が創意工夫により、利用者の状況に応じて柔軟に実施する事業◆障がい者虐待防止事業→障がい者虐待防止センターの設置、事例対応を行う。◆障がい者就労促進事業→障がい者の一般就労を支援するため、民間企業を含め関係機関と連携を図る。 | | 障がい福祉サービス費給付→障害者総合支援法による障がい福祉サービス費の給付◆障がい児サービス費給付→児童福祉法による障がい児通所サービス費の給付◆補装具費給付→義肢、装具、車いす等の給付◆自立支援医療→精神通院医療、更生医療、育成医療の医療給付◆地域生活支援事業→市が創意工夫により、利用者の状況に応じて柔軟に実施する事業◆障がい者虐待防止事業→障がい者虐待防止センターの設置、事例対応を行う。◆障がい者就労促進事業→障がい者の一般就労を支援するため、民間企業を含め関係機関と連携を図る。 | | 障がい福祉サービス費給付→障害者総合支援法による障がい福祉サービス費の給付◆障がい児サービス費給付→児童福祉法による障がい児通所サービス費の給付◆補装具費給付→義肢、装具、車いす等の給付◆自立支援医療→精神通院医療、更生医療、育成医療の医療給付◆地域生活支援事業→市が創意工夫により、利用者の状況に応じて柔軟に実施する事業◆障がい者虐待防止事業→障がい者虐待防止センターの設置、事例対応を行う。◆障がい者就労促進事業→障がい者の一般就労を支援するため、民間企業を含め関係機関と連携を図る。 | | | | |
| 取組内容 | ●訪問系、居宅系、日中活動系サービス事業 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| | ●相談支援事業 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| 取組内容 | ●意思疎通支援事業 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| | ●社会参加促進事業 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| 取組内容 | ●日常生活用具給付事業 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| | ●日中一時支援事業 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| 取組内容 | ●移動支援事業・生活支援事業 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| | ●地域活動支援センター事業 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| 取組内容 | ●障がい者虐待防止事業 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| | 創)障がい者就労促進事業 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| 取組内容 | 日常生活用具給付件数 1,704件 | 日常生活用具給付件数 1,616件 | 日常生活用具給付件数 1,531件 | 日常生活用具給付件数 1,561件 | 日常生活用具給付件数 1,531件 | 日常生活用具給付件数 1,531件 | 日常生活用具給付件数 1,561件 | 日常生活用具給付件数 1,561件 | 日常生活用具給付件数 1,561件 | | | |
| | 日中一時支援事業 実利用人数 51人 | 日中一時支援事業 実利用人数 52人 | 日中一時支援事業 実利用人数 49人 | 日中一時支援事業 実利用人数 53人 | 日中一時支援事業 実利用人数 49人 | 日中一時支援事業 実利用人数 53人 | 日中一時支援事業 実利用人数 53人 | 日中一時支援事業 実利用人数 53人 | 日中一時支援事業 実利用人数 53人 | | | |
| 取組内容 | 移動支援事業 実利用人数 46人 | 移動支援事業 実利用人数 47人 | 移動支援事業 実利用人数 44人 | 移動支援事業 実利用人数 27人 | 移動支援事業 実利用人数 44人 | 移動支援事業 実利用人数 44人 | 移動支援事業 実利用人数 27人 | 移動支援事業 実利用人数 27人 | 移動支援事業 実利用人数 27人 | | | |
| | 決算額 | 1,077,246 | 千円 | 決算額 | 1,130,339 | 千円 | 決算額 | 1,211,957 | 千円 | 決算額 | 1,259,424 | 千円 |
| 直接事業費 | うち一般財源 | 291,162 | 千円 | うち一般財源 | 299,671 | 千円 | うち一般財源 | 315,886 | 千円 | うち一般財源 | 334,992 | 千円 |

| 3 要保護児童対策事業 | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
|--|--------------------|---|--------------------|---|--------------------|---|--------------------|---|--------------------|--------|-------|----|
| 事務事業の目的 | | 事務事業の目的 | | 事務事業の目的 | | 事務事業の目的 | | 事務事業の目的 | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | 意図(どのようにしたいのか) | | 意図(どのようにしたいのか) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | |
| 被虐待児童及び支援を必要とする児童とその保護者 | | 被虐待児及び困り感を持った児童が一人の人間として人権の尊重される生活を送ることができるようにする。 | | 被虐待児及び困り感を持った児童が一人の人間として人権の尊重される生活を送ることができるようにする。 | | 被虐待児及び困り感を持った児童が一人の人間として人権の尊重される生活を送ることができるようにする。 | | 被虐待児及び困り感を持った児童が一人の人間として人権の尊重される生活を送ることができるようにする。 | | | | |
| 事務事業の内容 | | 事務事業の内容 | | 事務事業の内容 | | 事務事業の内容 | | 事務事業の内容 | | | | |
| 要保護対策事業 ・被虐待児の早期発見と安全を確保 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| ●4歳児発達支援事業 ・特性に応じた成長、発達の支援、教育機関等へのコーディネート | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| ●要保護児童管理システム構築 <児童虐待(新規登録)件数:43件> | | <児童虐待(新規登録)件数:38件> | | <児童虐待(新規登録)件数:38件> | | <児童虐待(新規登録)件数:38件> | | <児童虐待(新規登録)件数:38件> | | | | |
| 取組内容 | ●要保護対策事業 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| | ●4歳児発達支援事業 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| 取組内容 | ●要保護児童管理システム構築 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | |
| | <児童虐待(新規登録)件数:43件> | <児童虐待(新規登録)件数:38件> | <児童虐待(新規登録)件数:38件> | <児童虐待(新規登録)件数:38件> | <児童虐待(新規登録)件数:38件> | <児童虐待(新規登録)件数:38件> | <児童虐待(新規登録)件数:38件> | <児童虐待(新規登録)件数:38件> | <児童虐待(新規登録)件数:38件> | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 2,521 | 千円 | 決算額 | 2,241 | 千円 | 決算額 | 2,326 | 千円 | 決算額 | 2,188 | 千円 |
| | うち一般財源 | 2,308 | 千円 | うち一般財源 | 1,859 | 千円 | うち一般財源 | 1,996 | 千円 | うち一般財源 | 1,904 | 千円 |

【達成目標3】 地域で暮らすための環境整備

達成目標3の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|------------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 公共施設の新規バリアフリー化件数 | 単位 | 目標 | | | 3 | 3 | 3 |
| | 件/年 | 実績 | 4 | 6 | 2 | — | — |
| | | 達成率 | | | 66.7% | — | — |

達成目標3の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 0 | 千円 | 0 | 千円 | 0 | 千円 | 0 | 千円 |
| うち一般財源 | 0 | 千円 | 0 | 千円 | 0 | 千円 | 0 | 千円 |

4 住みよいまち環境整備事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 |
|-----------------|---|---|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | |
| ・市民 ・障がいのある人 | ・障がいについての理解の促進を図る。 ・障がいのある人が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう環境整備をする。 | ・障がいについての理解の促進のため、市民への啓発・広報事業を行う。 ・公共施設や建築物のバリアフリー化を推進し、ユニバーサルデザインのまちづくりをする。 ・福祉制度等の音訳や情報支援機器の活用促進等により、効果的に情報が得られる環境づくりをする。 |

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | |
|-------|---|---|----------------------------------|--------|----------------------------------|----|--|---|----|
| 取組内容 | ●市民への啓発・広報事業 ●声の広報等発行事業(広報かさおか、議会だより、社協だより) ●朗読奉仕員養成事業 (初級講座受講者:9人) ●駅前視覚障がい者用信号機事業 | | ⇒ ⇒ ⇒ 〈初級講座受講者:3人〉 ⇒ | | ⇒ ⇒ ⇒ 〈初級講座受講者:3人〉 ⇒ | | ⇒ ⇒ ⇒ 〈初級講座受講者:2人〉 ⇒ 〈大井公民館トイレ、神外公民館トイレバリアフリー化〉 | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 |
| | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|-----------|----|-----------|----|-----------|----|-----------|----|
| 直接事業費 | 1,109,734 | 千円 | 1,164,509 | 千円 | 1,249,061 | 千円 | 1,288,549 | 千円 |
| うち一般財源 | 311,451 | 千円 | 321,729 | 千円 | 341,274 | 千円 | 354,797 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|------------|-------|
| ・よくされています。 | → |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | |
|--|----------|
| 施策の進捗度 A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | B |
|--|----------|

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------------------|---|
| 未達成 指標 への 対応策 | <p>1. 障がい福祉制度事務・給付費は増加傾向である。なお、避難行動要支援者については、今後もより多くの支援者をカバーできるよう同意者を増やす必要がある。</p> <p>2. 障がい福祉サービス・制度の周知や相談支援専門員による利用計画策定の義務付け等をはかってきた。給付費は増加している。今後、29年度で策定した障がい福祉計画に沿ってサービスの質の向上や、障がい児の家族等への支援を行っていく。</p> |
|------------------------|---|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|----------|--|---|------------------|---|
| 総合 評価 | A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。 | B | (参考) 昨年度の評価結果 | B |
| コメント | <ul style="list-style-type: none"> ・障がいをもつ人が頑張っている姿をよく見かけるようになりました。充実してきていると思います ・重症心身障害児レスパイトサービスが笠岡市も取り組んでいただいで安心してました。どんな障害でも家庭が壊れないように本人や支えるご家族がバランスをとって安心して住める笠岡市を願います。 ・今後も見守りをお願いします。 ・障害者福祉の充実のために何が必要とされているのか、実態を把握されたい。実情にあった施策の実現に取り組まれない。 ・指標もほぼ目標通りで、着実に業務を行っていると思います。さらに頑張ってくださいようお願いします。 ・給付費は増大しているようなので、障害者にとっては良い傾向だと思ひます。全国的には悲しい事故が報告されています。要保護児童対策事業には引き続き傾注願ひます。 | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|-------|---|-----|-------------|-----|--------------------|
| 施策No. | 4-5 | 施策名 | 高齢者福祉・介護の充実 | 担当課 | 長寿支援課 |
| 戦略の柱 | 安定戦略 “安らぐ” | | | | |
| 基本方針 | 団塊の世代が後期高齢者となる2025年を目処とし、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアの推進に取り組みます。 | | | 関係課 | 地域包括ケア推進室 健康推進課 |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|--------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 | R7 目標 |
| 要介護認定率 | 単位 | 目標 | | | 20.9 | 21.0 | 21.4 | 22.3 |
| | % | 実績 | 20.5 | 20.7 | 20.8 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 100.5% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|-----------|
| 【達成目標1】 | 地域包括ケアの推進 |
|---------|-----------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|----------------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 75歳以上世帯の実態把握件数 | 単位 | 目標 | | | 700 | 720 | 750 |
| | 件 | 実績 | 629 | 675 | 723 | — | — |
| | | 達成率 | | | 103.3% | — | — |
| 認知症サポーター延べ養成数 | 単位 | 目標 | | | 4,550 | 4,900 | 5,500 |
| | 人 | 実績 | 3,240 | 3,950 | 4,919 | — | — |
| | | 達成率 | | | 108.1% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 78,056 | 千円 | 86,713 | 千円 | 78,222 | 千円 | 85,179 | 千円 |
| うち一般財源 | 35,197 | 千円 | 38,786 | 千円 | 35,213 | 千円 | 38,304 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|--|--|--|--------|---|----|--|--------|----|--------|--------|----|
| 1 | 地域包括ケアの推進 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 医療や介護、生活支援が必要な住民及びその家族 | | 在宅での安全・安心な生活を継続するために、医療や介護のみならず福祉サービスを含めた様々な支援が日常生活の場で適切に提供できる体制を整備する。 | | | 医療や介護、生活支援が必要な住民に、必要とされる量のサービスが適切なタイミングで提供できる介護保険サービス及び介護保険外のサービスを連携させたしくみづくりを行う。 認知症への理解を深めるとともに、当事者が早期発見、早期治療ができる体制づくりを行います。 | | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| | ●地域包括支援センター事業 ●認知症施策推進事業 ●在宅医療・介護連携推進事業 ●生活支援サービス体制整備事業 ＜高齢者の総合相談件数 3,737件＞ ＜高齢者虐待への相談・対応件数 165件＞ | | ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜高齢者の総合相談件数 4,324件＞ ＜高齢者虐待への相談・対応件数 148件＞ | | ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜高齢者の総合相談件数 3,631件＞ ＜高齢者虐待への相談・対応件数 171件＞ | | ⇒ ⇒ ●認知症初期集中支援推進事業 ●認知症地域支援・ケア向上事業 ⇒ ⇒ ＜高齢者の総合相談件数 3,839件＞ ＜高齢者虐待への相談・対応件数 95件＞ | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 78,056 | 千円 | 決算額 | 86,713 | 千円 | 決算額 | 78,222 | 千円 | 決算額 | 85,179 | 千円 |
| | うち一般財源 | 35,197 | 千円 | うち一般財源 | 38,786 | 千円 | うち一般財源 | 35,213 | 千円 | うち一般財源 | 38,304 | 千円 |

【達成目標2】 在宅生活継続に向けた支援強化

| 達成目標2の指標 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|------------------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| 指標名 | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| いきいき百歳体操の実施箇所数 | 単位 | 目標 | | | 70 | 74 | 80 |
| | 箇所 | 実績 | 62 | 67 | 70 | — | — |
| | | 達成率 | | | 100.0% | — | — |
| 自立支援ヘルパー派遣延べ利用人数 | 単位 | 目標 | | | 50 | 50 | 50 |
| | 人 | 実績 | 49 | 227 | 117 | — | — |
| | | 達成率 | | | 234.0% | — | — |
| 緊急通報装置設置台数 | 単位 | 目標 | | | 230 | 240 | 250 |
| | 台 | 実績 | 200 | 202 | 156 | — | — |
| | | 達成率 | | | 67.8% | — | — |

達成目標2の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|---------|----|---------|----|
| 直接事業費 | 57,045 | 千円 | 57,093 | 千円 | 203,156 | 千円 | 312,384 | 千円 |
| うち一般財源 | 25,566 | 千円 | 25,891 | 千円 | 79,424 | 千円 | 119,006 | 千円 |

| 2 在宅生活継続に向けた支援強化 | | 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | |
|------------------|--|--|--------|---|--------|--|----|--------|---------|----|--------|---------|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 高齢者 | | 高齢者の心身の状態が悪化した場合でも、在宅での生活を継続できるよう医療・介護・生活支援等の体制整備を行う | | 介護予防の必要性の高い高齢者や要支援認定者ができる限り自立した生活を維持できるよう、医療・介護・生活支援等の多種多様なサービスを提供する。 | | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | | <ul style="list-style-type: none"> ●一般介護予防事業 ●訪問型サービス及び通所型サービスの提供 ●自立支援ヘルパー派遣事業 | | ⇒ | | <ul style="list-style-type: none"> ●介護予防・生活支援サービス事業 | | ⇒ | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 44,569 | 千円 | 決算額 | 44,433 | 千円 | 決算額 | 189,751 | 千円 | 決算額 | 298,706 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 15,765 | 千円 | うち一般財源 | 15,924 | 千円 | うち一般財源 | 68,809 | 千円 | うち一般財源 | 108,426 | 千円 |

| 3 高齢者生活支援事業 | | 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | |
|-------------|--|--|--------|---|--------|--------|----|--------|--------|----|--------|--------|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 高齢者 | | できる限り在宅で、安心していきいきと暮らすことができるよう支援を行う。 | | 高齢者が健康で生きがいをもった生活ができるよう、健康づくり事業等の委託や補助を行う。 在宅で支援を要する高齢者に、生活支援のための助成や給付を行う。 | | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | | <ul style="list-style-type: none"> ●ことぶき大学の開催 ●生きがい対応型デイサービス事業 ●配食の費用補助と安否確認 ●緊急通報装置の貸与または給付 ●寝たきりの高齢者等を在宅で介護している家族への慰労金の支給 <ことぶき大学受講者延べ数 3,655人> | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 12,476 | 千円 | 決算額 | 12,660 | 千円 | 決算額 | 13,405 | 千円 | 決算額 | 13,678 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 9,801 | 千円 | うち一般財源 | 9,967 | 千円 | うち一般財源 | 10,615 | 千円 | うち一般財源 | 10,580 | 千円 |

【達成目標3】 島しょ部での生活や介護サービスの充実

達成目標3の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|--------------------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 島しょ部にある介護事業者数+島しょ部訪問事業者数 | 単位 | 目標 | | | 10 | 10 | 10 |
| | 事業者 | 実績 | 9 | 9 | 9 | — | — |
| | | 達成率 | | | 90.0% | — | — |
| 健康長寿愛らんど事業への参加者 | 単位 | 目標 | | | 3,230 | 3,230 | 3,230 |
| | 人/年 | 実績 | 3,184 | 2,940 | 2,843 | — | — |
| | | 達成率 | | | 88.0% | — | — |

達成目標3の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 33,819 | 千円 | 30,169 | 千円 | 31,566 | 千円 | 30,555 | 千円 |
| うち一般財源 | 17,440 | 千円 | 17,429 | 千円 | 18,907 | 千円 | 19,097 | 千円 |

4 島しょ部介護・福祉推進事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|----------|--|---|----|--------|--------|--------|--------|--------|----|--------|--------|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 島しょ部の高齢者 | できる限り在宅で安心して暮らせるようにする。 | 島しょ部における介護・福祉サービスの確保と事業所への支援を行う。高齢者の健康維持と介護予防に取り組む。 | | | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ●陸地部への通院の帰りの船で利用できる無料乗船券の支給 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | ●北木島高齢者共同生活住居の運営 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | ●緊急通報装置設置事業 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | ●陸地部から専門職等を確保するための交通費補助 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | ●島しょ部の介護サービス事業所への家賃及び改修費補助 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | ●専門職による総合相談及び運動器機能低下の予防・向上のための支援(健康長寿愛らんど事業) | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 33,819 | 千円 | 決算額 | 30,169 | 千円 | 決算額 | 31,566 | 千円 | 決算額 | 30,555 | 千円 |
| | うち一般財源 | 17,440 | 千円 | うち一般財源 | 17,429 | 千円 | うち一般財源 | 18,907 | 千円 | うち一般財源 | 19,097 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|
| 直接事業費 | 168,920 | 千円 | 173,975 | 千円 | 312,944 | 千円 | 428,118 | 千円 |
| うち一般財源 | 78,203 | 千円 | 82,106 | 千円 | 133,544 | 千円 | 176,407 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|---|---|
| ・老人クラブの加入が年々減っているが、地区によっては全くさそいがない所もあり、加入しにくい現実があります。 | 高齢者が生きがいをもった生活ができるよう健康づくり、及び生きがいづくり事業等に取組まれている各種団体等に宣伝等、参加を呼びかけていきます。 |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | | |
|--------|--|---|
| 施策の進捗度 | A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | B |
|--------|--|---|

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------|---|
| 未達成指標への対応策 | <p>緊急通報装置設置台数については、設置から年数が経過したものが多いため、30年度には機器の点検や更新、緊急時の連絡先等について再確認しています。長期入院または施設への入所、家族との同居等、設置を必要としなくなったものを精査したため、台数は減少しています。</p> <p>島しょ部の高齢者に対する取り組みでは、現状維持を数値目標として掲げており、人口減少の影響を受けながらも、できる限り在宅で安心して暮らせることを目的としているもので、継続して取り組むこととしております。</p> |
|------------|---|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|------|---|---|------------------|---|
| 総合評価 | A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。 | B | (参考) 昨年度の評価結果 | B |
| コメント | <ul style="list-style-type: none"> ・よくがんばっておられると思います。 ・国は高齢者の在宅介護を進めています。家族等が疲弊して不幸な事故・事件の報道もなされています。市民にとって何が福祉の向上に繋がるのか一考の余地があると思います。 ・高齢者の実態把握に努められ安心いたしました。認知症サポーター講座を学校や企業に足を伸ばしていただき認知症の理解が地域に広がり、住みやすい笠岡市への取り組みありがとうございます。 ・高齢者福祉に非常に尽力されている。「緊急通報装置設置台数」の指標は見直した方が良いと思われる。引き続き、実績の向上をめざして努力されたい。 ・今後は中高年の引きこもり対策が重要になってくると思います。指標にはないのですが、取り組んでいただきたいと考えます。 | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|-------|--|-----|------|-----|---|
| 施策No. | 4-6 | 施策名 | 社会保障 | 担当課 | 市民課 地域福祉課 長寿支援課 |
| 戦略の柱 | 安定戦略 “安らぐ” | | | | |
| 基本方針 | 社会全体で負担を分かち合い、全員で支え合う社会保険制度は、誰もが安心して生活を営むための裏付けとなるものであり、適切な運営と周知徹底に努めます。 | | | 関係課 | 税務課 収納対策課 地域包括ケア推進室 健康推進課 恵風荘 |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|-----------------------|------------|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 | R7 目標 |
| 人口1,000人当たりの生活保護者数 | 単位 人 | 目標 | | | 9.0 | 9.0 | 9.0 | 9.0 |
| | | 実績 | 8.8 | 8.9 | 8.4 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 107.1% | — | — | — |
| 自立支援により状況が改善した生活保護世帯数 | 単位 世帯/年 | 目標 | | | 15 | 15 | 15 | 15 |
| | | 実績 | 4 | 6 | 4 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 26.7% | — | — | — |
| 国民健康保険年間保険給付費 | 単位 億円 | 目標 | | | 42.8 | 43.2 | 44.0 | 45.6 |
| | | 実績 | 42.0 | 41.0 | 39.2 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 109.2% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|----------------|
| 【達成目標1】 | 生活保護者・生活困窮者の支援 |
|---------|----------------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|-----------------------|------------|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 人口1,000人当たりの生活保護者数 | 単位 人 | 目標 | | | 9.0 | 9.0 | 9.0 |
| | | 実績 | 8.8 | 8.9 | 8.4 | — | — |
| | | 達成率 | | | 107.1% | — | — |
| 自立支援により状況が改善した生活保護世帯数 | 単位 世帯/年 | 目標 | | | 15 | 15 | 15 |
| | | 実績 | 4 | 6 | 4 | — | — |
| | | 達成率 | | | 26.7% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|
| 直接事業費 | 798,438 | 千円 | 814,755 | 千円 | 736,066 | 千円 | 690,122 | 千円 |
| うち一般財源 | 190,188 | 千円 | 234,235 | 千円 | 74,628 | 千円 | 173,030 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------|--|--|---------|--|---------------------------------|--|----|--|---------|----|--------|---------|----|
| 1 生活保護事業業務 | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 生活保護受給者 | | 経済的・社会的に自立した生活ができるようにする。 | | | 生活保護受給者が自立できるよう、関係機関と連携して援助を行う。 | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | | ・生活保護事業 ・就労支援事業 ・生活相談事業 生活保護世帯数 362世帯 (3月末現在) 就労支援等による自立世帯数 8世帯 | | ⇒ ⇒ ⇒ 生活保護世帯数 361世帯 (3月末現在) 就労支援等による自立世帯数 4世帯 | | ⇒ ⇒ ⇒ 生活保護世帯数 358世帯 (3月末現在) 就労支援等による自立世帯数 2世帯 | | ⇒ ⇒ ⇒ 生活保護世帯数 339世帯 (3月末現在) 就労支援等による自立世帯数 6世帯 | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 748,135 | 千円 | 決算額 | 759,300 | 千円 | 決算額 | 679,842 | 千円 | 決算額 | 690,122 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 189,961 | 千円 | うち一般財源 | 232,395 | 千円 | うち一般財源 | 74,545 | 千円 | うち一般財源 | 173,030 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|---|--------|---|--|---|----|--|--------|----|--------|--------|----|
| 2 恵風荘管理運営事業 | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 入所者 | | 施設の安全管理と衛生管理を徹底し、入所者の基本的人権と健康で文化的な生活を保障し、その人らしい豊かな生活の実現に最大限努力する。 | | | ・安全管理・衛生管理・健康管理の徹底 ・基本的人権を保障し主体性を尊重した自己実現の支援 ・多様な障がいのある入所者のニーズに応じたサービスの提供 ・社会資源としてのネットワークの構築と地域に根ざした施設の実現 | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | | ・定員確保 職員研修 虐待防止 入所者数 39人 (3月末現在) 救護施設協議会等研修 4回 職員会議・処遇検討会議 毎月1回 入所者との会議 代表者会議、全体会議 毎月1回 各種クラブ活動 年136回実施 | | ⇒ 入所者数 39人 (3月末現在) 救護施設協議会等研修 4回 職員会議・処遇検討会議 毎月1回 入所者との会議 代表者会議、全体会議 毎月1回 各種クラブ活動 年120回実施 | | ⇒ 入所者数 40人 (3月末現在) 救護施設協議会等研修 4回 職員会議・処遇検討会議 毎月1回 入所者との会議 代表者会議、全体会議 毎月1回 各種クラブ活動 年105回実施 | | ⇒ 入所者数 36人 (3月末現在) 救護施設協議会等研修 5回 職員会議・処遇検討会議 毎月1回 入所者との会議 代表者会議、全体会議 毎月1回 各種クラブ活動 年87回実施 | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 50,076 | 千円 | 決算額 | 53,365 | 千円 | 決算額 | 56,141 | 千円 | 決算額 | 48,273 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|--|--|-----|--|--|---------------------------------|----|--|----|----|--------|-------|----|
| 3 災害援護等事業業務 | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 災害により被災した市民及び行旅人 | | 災害によって被災した市民を激励し、市民福祉及び生活の安定に資する。行旅人に対して、行旅中必要な最低限度の援護を行う。 | | | 「市災害見舞金等給付規則」に基づき見舞金を給付する。 「市災害弔慰金の支給等に関する条例」に基づき、自然災害によって死亡された遺族に弔慰金を支給し、また被災世帯への援護資金の貸付等を行う。 行旅人に対しては、行旅に必要な最低限度の旅費を支給し、また行旅中市内で発症した急病等について必要な援護を行う。 | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| 取組内容 | | ・災害援護事業 ・行旅病人・死亡人援護事業 災害発生件数 8件 行旅人旅費支給件数 84件 | | ⇒ 災害発生件数 5件 行旅人旅費支給件数 68件 豪雨災害見舞金 39件 | | ⇒ 災害発生件数 1件 行旅人旅費支給件数 45件 | | ⇒ 災害発生件数 7件 行旅人旅費支給件数 57件 豪雨災害見舞金 210件 以災証明発行件数 431件 | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 227 | 千円 | 決算額 | 2,090 | 千円 | 決算額 | 83 | 千円 | 決算額 | 4,275 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 227 | 千円 | うち一般財源 | 1,840 | 千円 | うち一般財源 | 83 | 千円 | うち一般財源 | 20 | 千円 |

【達成目標2】国民健康保険医療費の適正化

達成目標2の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|---------------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 国民健康保険年間保険給付費 | 単位 | 目標 | | | 42.8 | 43.2 | 44.0 |
| | 億円 | 実績 | 42.0 | 41.0 | 39.2 | — | — |
| | | 達成率 | | | 109.2% | — | — |

達成目標2の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|------------|-----------|----|-----------|----|-----------|----|-----------|----|
| 直接 事業費 | 5,115,495 | 千円 | 4,964,168 | 千円 | 4,860,214 | 千円 | 5,979,408 | 千円 |
| うち 一般財源 | 1,734,559 | 千円 | 1,613,777 | 千円 | 1,489,021 | 千円 | 2,000,689 | 千円 |

4 国保給付適正化事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|-----------|---|---|--------|------------|-------|--------|------------|--------|--------|------------|-------|-------|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 国保加入者 | 医療の現状を国保加入者に啓発し、適正な受診ができるようにする。 | 適正受診の広報、医療費通知、レセプト点検、第三者傷害求償を積極的に実施し適正な保険給付を行う。 | | | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ●医療費通知 ●レセプト点検 ●第三者求償事務 ●後発医薬品の利用促進 ○医療費適正化のための啓発 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | | 決算額 | 12,081 | 千円 | 決算額 | 12,340 | 千円 | 決算額 | 10,191 | 千円 | 決算額 | 6,853 |
| 直接 事業費 | うち 一般財源 | 5,399 | 千円 | うち 一般財源 | 7,709 | 千円 | うち 一般財源 | 1,689 | 千円 | うち 一般財源 | 2,601 | 千円 |

5 国保資格管理・給付業務

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|-----------|---|--|-----------|------------|---------|-----------|------------|---------|-----------|------------|-----------|-----------|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 国保加入者 | 国保加入者の資格管理、保険給付を行い安心して受診できるようにする。 | 国保被保険者証、高齢受給者証等各種医療受給者証の交付を行う。国保加入者に係る医療費の給付を行う。 | | | | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ●資格証明書・短期証交付業務 ・国保資格関係業務・給付事業 ・国保高額療養費の給付 ・特定疾病資格管理・給付 ・退職者医療資格管理 ・前期高齢者の資格管理 ・相互扶助精神の理解を得ながら現状にあった対応 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | | 決算額 | 4,407,168 | 千円 | 決算額 | 4,189,223 | 千円 | 決算額 | 4,062,576 | 千円 | 決算額 | 5,213,878 |
| 直接 事業費 | うち 一般財源 | 1,038,347 | 千円 | うち 一般財源 | 848,240 | 千円 | うち 一般財源 | 706,370 | 千円 | うち 一般財源 | 1,246,699 | 千円 |

| 6 市税等賦課業務 | | 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
|-------------|---|---------------------------|----|---------------|--------|---|--------|---------------|----|--------|--------|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 納税義務者及び被保険者 | | 適正で公正な課税(料)を行い、自主財源を確保する。 | | | | ・各保険税(料)の算定のための市県民税未申告調査 ・国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料の賦課、減免 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ●課税システムによる電子化した課税情報の活用 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | ●市県民税の未申告者に関する調査 ・未申告者の呼び出し訪問及び臨戸訪問 (最終未申告 148世帯) | ⇒ | | (最終未申告 137世帯) | | (最終未申告 116世帯) | | (最終未申告 133世帯) | | | | |
| | ●職員の説明力、交渉力の向上 ・研修会への積極的参加 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | ●市民への分かりやすい税情報の提供 ・広報、ホームページや納付書発送時の有効利用 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 24,950 | 千円 | 決算額 | 26,475 | 千円 | 決算額 | 29,647 | 千円 | 決算額 | 29,342 | 千円 |
| | うち一般財源 | 24,950 | 千円 | うち一般財源 | 26,475 | 千円 | うち一般財源 | 29,647 | 千円 | うち一般財源 | 29,342 | 千円 |

| 7 収納・滞納整理業務 | | 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
|-----------------|-------------------|----------------|----|--------|---|--|--------|--------|----|--------|---|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 納税義務者 | | 納期限までに納付 | | | | ・督促状各納期毎送付、催告状、電話催告、夜間・休日特別徴収、岡山市町村税整理組合・岡山県滞納整理推進機構との連携 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ・催告文書、呼び出し文書の送付 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | ・財産調査の徹底 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | ・滞納処分滞納整理の強化 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | ・岡山県との連携強化 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | ・岡山市町村税整理組合等の有効活用 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| | ・全庁的な徴収体制の強化 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| ・コンビニ収納の利用促進 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| ・コールセンターからの電話催告 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| ・延長業務を行い徴収体制の強化 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| ・口座振替キャンペーン実施 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| ・岡山市町村合同公売会を主催 | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 |
| | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 |

| 8 後期高齢者医療業務 | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|---------|------------------------|--------|---------|--|--------|---------|--------|--------|---------|----|
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | |
| 75歳以上の人及び65歳以上で障がい1~3級等で認定を受けた人 | | | 対象者が安心して医療が受けられるようにする。 | | | 対象者に被保険者証を交付する。 対象者の資格異動に関する申請を受け付ける。 高額療養費及び限度額申請の勧奨をする。 広域連合への納付金支払い。 | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| 取組内容 | ●後期高齢者医療事務事業 ・後期高齢者医療資格管理・給付申請 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | |
| | 決算額 | 665,863 | 千円 | 決算額 | 731,353 | 千円 | 決算額 | 751,315 | 千円 | 決算額 | 722,047 | 千円 |
| 直接事業費 | うち一般財源 | 665,863 | 千円 | うち一般財源 | 731,353 | 千円 | うち一般財源 | 751,315 | 千円 | うち一般財源 | 722,047 | 千円 |

| 9 国民年金業務 | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|-------------------------|-------|----------------|--------|-------|--|--------|-------|--------|--------|-------|----|
| 事務事業の目的 | | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | |
| 国民年金被保険者 笠岡市老齢福祉年金受給権者 | | | 公的年金受給権の確保を図る | | | 国民年金第1号被保険者の資格取得・喪失、保険料免除申請等の受付事務 老齢基礎・障がい基礎年金等の裁定請求受付事務 笠岡市老齢福祉年金受給権者への年金支給事務 | | | | | | |
| 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | |
| 取組内容 | ・障がい基礎・老齢福祉年金受給者の所得状況報告 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | |
| | ・国民年金保険料免除 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | |
| ・笠岡市老齢福祉年金 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| ・老齢・障がい基礎年金等の裁定請求 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| ・国民年金に関する相談 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| ・国民年金書届受付 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| ・国民年金被保険者台帳管理 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 5,433 | 千円 | 決算額 | 4,777 | 千円 | 決算額 | 6,485 | 千円 | 決算額 | 7,288 | 千円 |
| | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 |

【達成目標3】適切な介護保険サービスの充実と適正な運営

達成目標3の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|--------|----|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 要介護認定率 | 単位 | 目標 | | | 20.9 | 21.0 | 21.4 |
| | % | 実績 達成率 | 20.5 | 20.7 | 20.8 | — | — |
| | | | | | 100.5% | — | — |

達成目標3の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|------------|-----------|----|-----------|----|-----------|----|-----------|----|
| 直接 事業費 | 5,561,119 | 千円 | 5,564,845 | 千円 | 5,575,445 | 千円 | 5,465,134 | 千円 |
| うち 一般財源 | 1,842,198 | 千円 | 1,847,186 | 千円 | 1,851,526 | 千円 | 1,829,889 | 千円 |

10 適切な介護保険サービスの充実と適正な運営

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | | |
|--|-----------------------------------|---|--------|------------|-----------|----|------------|-----------|----|------------|-----------|----|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 要介護・要支援認定者 | 適正な介護保険事業の運営を図るとともに、サービスの質の向上を図る。 | 適正な介護保険サービスを確保し、質を向上させるとともに、要介護認定調査・審査会においても公平公正な運営を行います。 介護保険サービス事業者を指導監督し、適正な保険給付の執行を図ります。 | | | | | | | | | | |
| 取組内容 | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | | | | | | |
| ●介護保険事業 ・適正な介護保険サービスの確保と質的向上 ●介護給付適正化事業 ・介護給付適正化システムの活用 ●介護相談員派遣事業 ・事業内容についての検討 ●地域密着型サービス事業者等指導監督 | | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | | | | | |
| 直接 事業費 | 決算額 | 5,561,119 | 千円 | 決算額 | 5,564,845 | 千円 | 決算額 | 5,575,445 | 千円 | 決算額 | 5,465,134 | 千円 |
| | うち 一般財源 | 1,842,198 | 千円 | うち 一般財源 | 1,847,186 | 千円 | うち 一般財源 | 1,851,526 | 千円 | うち 一般財源 | 1,829,889 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|------------|------------|----|------------|----|------------|----|------------|----|
| 直接 事業費 | 11,475,052 | 千円 | 11,343,768 | 千円 | 11,171,725 | 千円 | 12,134,664 | 千円 |
| うち 一般財源 | 3,766,945 | 千円 | 3,695,198 | 千円 | 3,415,175 | 千円 | 4,003,608 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|--|--|
| ・生活保護が手厚いがために、自立に向けた改善が少ないのではないだろうか。 ・生活保護世帯の内、就労して自立するよう指導に努められたい。 | 生活保護世帯の就労に向けた支援体制が整っていなかったが、30年度から相談員を1名配置して対応。4～9月の間に就労支援等による自立世帯は5世帯となっており、実績が上っている。 |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | | |
|------------|--|---|
| 施策の 進捗度 | A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | B |
|------------|--|---|

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------------------|--|
| 未達成 指標 への 対応策 | 1 生活保護受給者への就労支援は行っているが、就労までに結びついていないが、引き続き、ハローワークと連携して支援を継続していく。 |
|------------------------|--|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|----------|--|----------|------------------|----------|
| 総合 評価 | A:計画どおり進行している。 B:おおむね計画どおり進行している。 C:計画より一部遅れている。 D:計画より遅れている。 | B | (参考) 昨年度の評価結果 | B |
| コメント | <ul style="list-style-type: none"> ・生活保護受給者の方へハローワークさんと連携して就労支援を行うにあたり、H30年度の実績は前年度を下回っていますが、どんなことが問題でしょうか。また総合指標の目標数値に向けてできることは具体的にどのようなことがありますか。 ・生活保護世帯の自立支援はなかなか難しいと思われるが、引き続き根気よく長期の支援が行えるよう、尽力されたい。 ・生活保護の問題は、今後も非常に重要なものです。是非とも着実に取り組んでいただきたいと思います。 ・セイフティネットとしての生活保護制度は必要ですが、それも自立に向けての保護でないという意味をなさないと思います。自立支援の充実に期待します。 | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|--------|---|-----|--------|-----|-----|
| 施策 No. | 4-7 | 施策名 | 身近な上水道 | 担当課 | 水道課 |
| 戦略の柱 | 安定戦略 “安らぐ” | | | | |
| 基本方針 | 本市水道事業の基本理念「市民のための水道を未来へ」のもとで、「安全」「強靱」「持続」の3つの観点から、水道基準に適合した水を、いつでも、どこでも、誰でも、合理的な対価で持続的に受け取ることができるように、水道の理想像を実現するための施策を示し、事業を推進します。 | | | 関係課 | |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|-----------------------------------|----|-----|----------|-------|-------|------|------|------|
| | | | H28実績 | H29実績 | H30実績 | R1目標 | R3目標 | R7目標 |
| 水道水を安心して使用できると感じている市民 (市民意識調査) | 単位 | 目標 | | | 62.0 | — | 64.0 | 66.0 |
| | % | 実績 | 61.3 | — | 60.8 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 98.1% | — | — | — |
| 有収率 | 単位 | 目標 | | | 91.0 | 91.4 | 91.6 | 92.0 |
| | % | 実績 | 91.0 | 89.1 | 90.0 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 98.9% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|-----------|
| 【達成目標1】 | 安全な水道水の供給 |
|---------|-----------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|----------|---------------------------|-----|----------|-------|--------|------|------|
| | | | H28実績 | H29実績 | H30実績 | R1目標 | R3目標 |
| 水質検査箇所密度 | 単位 | 目標 | | | 2.2 | 2.2 | 2.2 |
| | 箇所/ 100km ² | 実績 | 2.2 | 2.2 | 2.2 | — | — |
| | | 達成率 | | | 100.0% | — | — |
| 水質基準不適合率 | 単位 | 目標 | | | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | % | 実績 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | — |
| | | 達成率 | | | 100.0% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接事業費 | 10,572 | 千円 | 1,744 | 千円 | 11,261 | 千円 | 1,611 | 千円 |
| うち一般財源 | 10,572 | 千円 | 1,744 | 千円 | 11,261 | 千円 | 1,611 | 千円 |

| | |
|---|--------|
| 1 | 水質管理事業 |
|---|--------|

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 |
|---------|--------------------------------------|--|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | |
| 水道利用者 | ・計画的な水質検査を実施することにより、安心安全な水を安定的に提供する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・水質検査計画に基づき、適切な水質検査を行う。 ・水質(残留塩素、色度、濁度)常時監視装置を順次導入する。 ・施設の日々巡回点検の実施により異常の早期発見を目指す。 |

| 取組内容 | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
|-------|---|--------|--------|--|--------|-------|--------|--|----|--------|-------|----|
| | <ul style="list-style-type: none"> ●水質管理 ・水質検査計画(年間計36回)に基づいた水質検査の実施 ・施設の日々巡回点検の実施 ・水質常時監視装置をみの越ポンプ室に導入 | | ⇒ | <ul style="list-style-type: none"> ・水質検査計画(年間計36回)に基づいた水質検査の実施 ・施設の日々巡回点検の実施 | | ●水質管理 | ⇒ | <ul style="list-style-type: none"> ・水質検査計画(年間計36回)に基づいた水質検査の実施 ・施設の日々巡回点検の実施 ・水質常時監視装置を山代配水地に導入 | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 10,572 | 千円 | 決算額 | 1,744 | 千円 | 決算額 | 11,261 | 千円 | 決算額 | 1,611 | 千円 |
| | うち一般財源 | 10,572 | 千円 | うち一般財源 | 1,744 | 千円 | うち一般財源 | 11,261 | 千円 | うち一般財源 | 1,611 | 千円 |

【達成目標2】強靱な水道システムの構築

達成目標2の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|------------------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 配水施設(基幹配水池)耐震化率 | 単位 | 目標 | | | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| | % | 実績 | 93.7 | 100.0 | 100.0 | — | — |
| | | 達成率 | | | 100.0% | — | — |
| 配水施設(管路)耐震適合率 | 単位 | 目標 | | | 14.3 | 15.0 | 16.4 |
| | % | 実績 | 12.9 | 13.2 | 14.9 | — | — |
| | | 達成率 | | | 104.2% | — | — |
| 災害時応援協定締結団体数(累計) | 単位 | 目標 | | | 11 | 11 | 11 |
| | 団体 | 実績 | 3 | 4 | 4 | — | — |
| | | 達成率 | | | 36.4% | — | — |

達成目標2の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|
| 直接事業費 | 274,526 | 千円 | 310,530 | 千円 | 417,393 | 千円 | 367,621 | 千円 |
| うち一般財源 | 166,644 | 千円 | 196,186 | 千円 | 257,637 | 千円 | 259,845 | 千円 |

2 水道施設整備事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
|---------|--|---|-------------------------------------|--|--|--|--|--|--|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | |
| 水道利用者 | <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した水道施設の改良工事を実施し、漏水事故を未然に防ぎ、利用者に安心して安定した給水を確保する。 ・配水池及び配水管の耐震化を行い災害に強い水道を目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・老朽管の更新を行うと同時に耐震管路化を図る。 ・配水池の耐震化工事を実施する。 ・未給水地区解消事業を推進し普及率の向上を図る。 ・道路改良事業等に併せて配水管の改良を行う。 | | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●老朽配水管改良工事 ・番町・笠岡・神島地区 ●配水管改良工事 ・笠岡・大河・大宜地区 ●道路改良事業に伴う配水管改良工事 ・有田・大島中地区 | ⇒ <ul style="list-style-type: none"> ・番町・笠岡地区 <ul style="list-style-type: none"> ●配水管新設改良工事 ・山口・港町地区 ⇒ <ul style="list-style-type: none"> ・有田・港町・山口地区 | | <ul style="list-style-type: none"> ●配水池耐震補強事業 ・北木北配水池耐震診断 ⇒ <ul style="list-style-type: none"> ・番町・吉浜・山口地区 ⇒ <ul style="list-style-type: none"> ・小平井・馬飼地区 ⇒ <ul style="list-style-type: none"> ・神島外浦・吉浜・港町・東大戸地区 ○中長期更新計画を策定 | | ⇒ <ul style="list-style-type: none"> ・神外接合井調整池機能診断 ⇒ <ul style="list-style-type: none"> ・番町・東大戸・大島中地区 ⇒ <ul style="list-style-type: none"> ・平成町地区 ⇒ <ul style="list-style-type: none"> ・吉浜・関戸・山口・美の浜地区 | | | |
| | 決算額 186,198 千円 うち一般財源 79,728 千円 | 決算額 213,345 千円 うち一般財源 99,699 千円 | 決算額 279,073 千円 うち一般財源 121,557 千円 | 決算額 231,548 千円 うち一般財源 125,846 千円 | | | | | |

3 水道施設維持管理事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
|---------|--|---|-------------------------------------|--|--|--|--|--|--|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | |
| 水道利用者 | <ul style="list-style-type: none"> ・配水管等の的確な漏水調査と速やかな修繕により、有収率の維持向上を図り水道供給コストの低減化と安定した給水を行う。 ・水質検査の実施、適切な施設の維持管理により、利用者が安心して使用できる水を提供する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・経年老朽管等の漏水を早期に発見・修繕し漏水量を低減し、有収率の向上を図る。 ・給水装置工事業者に工事施工に当たっての適正な指導・監督を行う。 ・施設の巡回点検・保守点検・修理の実施により、施設の延命化を図る。 | | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●漏水調査 ・園井・小平井・今立・白石島・北木島・大飛鳥地区 ●漏水修繕<406件> | ⇒ <ul style="list-style-type: none"> ・東大戸・西大戸・西大島・大島中地区 ⇒<296件> | | ⇒ <ul style="list-style-type: none"> ・吉田・尾坂・関戸・山口・新賀・みの越地区 ⇒<389件> | | ⇒ <ul style="list-style-type: none"> ・吉浜・用之江・有田・大河・入田・篠坂・押撫・城見台・大宜・春日台・大島中地区 ⇒<363件> | | | |
| | 決算額 88,328 千円 うち一般財源 86,916 千円 | 決算額 97,185 千円 うち一般財源 96,487 千円 | 決算額 138,320 千円 うち一般財源 136,080 千円 | 決算額 136,073 千円 うち一般財源 133,999 千円 | | | | | |

【達成目標3】持続可能な水道事業運営

達成目標3の指標

| 指標名 | 目標・実績の推移 | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 収納率(現年度) | 単位 | 目標 | 99.6 | 99.6 | 99.6 |
| | % | 実績 達成率 | 99.6 | 99.3 | 99.3 |

達成目標3の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|------------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|----|
| 直接 事業費 | 4,217 | 千円 | 4,664 | 千円 | 4,314 | 千円 | 4,212 | 千円 |
| うち 一般財源 | 4,217 | 千円 | 4,664 | 千円 | 4,314 | 千円 | 4,212 | 千円 |

4 水道料金等の徴収事務

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
|---------------|---|--|--------------|--------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | |
| 水道料金等を滞納している者 | 「新たな滞納を作らない」という目標の基に、現年度の目標収納率を99.4%とし、現年度・過年度分の未収金を縮減する。 | 1 電話催告・個別訪問等による徴収を行い、常習的、悪質な滞納者には給水停止を執行する。 2 現年度分滞納者に対し即座に催告・給水停止予告書を送付し多期に渡る滞納を防ぐ。 3 過年度滞納者に対し履行可能な分納誓約書を取る。 4 口座振替の推進及びコンビニ収納の有効活用を図る。 | | | | | | | |
| 取組内容 | ●水道事業会計健全化事業 ・口座振替率の向上 ・コンビニ収納の有効な活用 ・閉栓時の現場精算の活用 ・無届使用防止のためのレバー撤去 <現年度分収納率:99.4%> | ⇒ | 平成28年度 | ⇒ | 平成29年度 | ⇒ | 平成30年度 | ⇒ | ・口座振替率の向上 ・コンビニ収納の有効な活用 ・閉栓時の現場精算の活用 <現年度分収納率:99.3%> |
| 直接 事業費 | 決算額 3,677 千円 | 決算額 3,771 千円 | 決算額 3,695 千円 | 決算額 3,715 千円 | うち 一般財源 3,677 千円 | うち 一般財源 3,771 千円 | うち 一般財源 3,695 千円 | うち 一般財源 3,715 千円 | |

5 水道総務事業

| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
|-----------|-------------------------------------|---|------------|------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|---|
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | |
| 関係職員 | ・水道事業の安定的運営のため、専門的な知識・技術をもつ職員を育成する。 | ・豊富な知識・経験を持つ熟練職員による指導を行う。 ・日本水道協会等が実施する技術講習会等に積極的に参加し、人材育成を図る。 ・技術を継承するため、人材の確保を図る。 | | | | | | | |
| 取組内容 | ●人材育成 ・日本水道協会等が実施する技術講習会等への参加 | ⇒ | 平成28年度 | ⇒ | 平成29年度 | ⇒ | 平成30年度 | ⇒ | ・日本水道協会、備後圏域、県南西部地域等において実施される技術講習会等への参加 |
| 直接 事業費 | 決算額 540 千円 | 決算額 893 千円 | 決算額 619 千円 | 決算額 497 千円 | うち 一般財源 540 千円 | うち 一般財源 893 千円 | うち 一般財源 619 千円 | うち 一般財源 497 千円 | |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|------------|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|
| 直接 事業費 | 289,315 | 千円 | 316,938 | 千円 | 432,968 | 千円 | 373,444 | 千円 |
| うち 一般財源 | 181,433 | 千円 | 202,594 | 千円 | 273,212 | 千円 | 265,668 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|---|---|
| ・有収率が近年下がっています。原因を調査し、対処をお願いします。 | → 平成29年度の有収率は89.1%で平成28年度91.0%に比べて1.9ポイント低下しました。 有収率の低下は漏水に因るものです。業務委託による漏水調査や漏水箇所の早期発見、及び、老朽配水管の布設替えに努めたものの、冬季には例年を上回る寒波のため、凍結による水道管の破損で大規模な漏水が発生しました。 |
| ・老朽管の更新には膨大な経費が必要となります。将来を見通したとき、水道料金の値下げは難しいと感じますので、慎重に試算してください。 ・経年管の取り替えには多くの時間と費用がかかりますので、「中長期更新計画」に沿って着実に更新をお願いします。 | → 笠岡市水道事業ビジョンに描いた将来の水道事業のあるべき姿、理想像を実現するための施策の一環として、重要配水管について、耐震性能及び老朽度の評価を行ない、水道施設の適正化、主にダウンサイジングについて検討を行い、今後20年及び50年間の水道施設等の中長期更新計画を策定しました。 |
| ・施設の更新を法定耐用年数の1.5倍を目途に更新と変更されていますが、施設の状況に注意を怠らないようにして下さい。又漏水箇所を早期に発見し漏水量の低減に努力されたい。 | → 水道事業ビジョンの、「安全」「強靱」「持続」の3つの観点から水道事業を計画的に実施します。 配水池・ポンプ室の点検作業については、土木・建築施設の外観等は日々の点検で、また、電気・機械設備は月に一回の割合で点検を行っています。 突発的な漏水の発生に対しては、中央監視システムにより配水池の水量変化を24時間体制で監視しており、管路施設からの漏水発生を早期把握に努めています。 市民の方からの漏水を疑われる事案の通報時は、迅速に現地へ赴き調査を行ない、漏水を確認した場合は早急に対応しています。 |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | | |
|--------|--|---|
| 事業の進捗度 | A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | B |
|--------|--|---|

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------|--|
| 未達成指標への対応策 | ・災害時応援協定締結団体数(累計)の対応について 平成29年度策定の「笠岡市水道ビジョン(平成29年度～38年度)」にて、強靱な水道システムの構築のために「広域的連携の強化と広域化の検討」を施策の1つとして掲げており、大規模地震等の災害に備えて広域的応援協力体制について引き続き検討いたします。 |
|------------|--|

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|------|--|---|------------------|---|
| 総合評価 | A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。 | B | (参考) 昨年度の評価結果 | B |
| コメント | <p>・達成目標2の指標の災害時応援協定締結団体数の数値が横ばいの4件で36.4%ですが何が問題点で、今後新規災害時応援協定団体数は上がる見込みはあるのでしょうか。</p> <p>・笠岡市の水道は、安心して使用できることを、広報されてはどうか。</p> <p>・収納率の改善にむけて、早期対策をされ長期滞納をさせない工夫をされたい。また、有収率の改善にむけて、老朽給水管の年次的な更新を計画的にすすめられたい。</p> <p>・水道の安全・安定供給ですが、今後の老朽管の更新を考えると非常に心配になってきます。</p> <p>・人口減少により有収水量が遞減傾向にある一方、給水原価は上昇傾向にあり、販売利益は3期連続で減少しています。体力のあるうちに老朽管の更新を図るとともに適宜料金の改定を行い、引き続き安定供給できるように願います。</p> | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|--------|--|-----|----------|------|------|
| 施策 No. | 4-8 | 施策名 | 健全な下水道運営 | 主担当課 | 下水道課 |
| 戦略の柱 | 安定戦略 “安らぐ” | | | | |
| 基本方針 | 社会情勢及び財政情勢の変化に即し、効率的かつ安定した下水道運営による持続的な下水道サービスを提供します。 | | | 関係課 | |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|------------------------------------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 | R7 目標 |
| 汚水処理人口普及率(汚水処理施設を利用できる人口/行政人口×100) | 単位 | 目標 | | | 79.3 | 79.9 | 81.2 | 83.8 |
| | % | 実績 | 77.0 | 77.8 | 78.4 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 98.9% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|---------------|
| 【達成目標1】 | 下水道処理人口普及率の向上 |
|---------|---------------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|------------------------------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 下水道処理人口普及率(処理区域内人口/行政人口×100) | 単位 | 目標 | | | 57.6 | 57.8 | 58.2 |
| | % | 実績 | 57.3 | 57.6 | 58.1 | — | — |
| | | 達成率 | | | 100.9% | — | — |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|
| 直接事業費 | 606,932 | 千円 | 742,858 | 千円 | 539,307 | 千円 | 418,700 | 千円 |
| うち一般財源 | 2,266 | 千円 | 1,359 | 千円 | 36,769 | 千円 | 58,795 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|--|--|--|---|---------------------------------------|----|---------------------------------------|---------|----|--------|---------|----|
| 1 | 公共下水道整備事業(笠岡処理区) | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | 事務事業の内容 | | | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 公共下水道(笠岡処理区)整備区域内住民 | | 清潔で快適な生活環境を確保するとともに、公共用水域の水質保全と浸水の防除を図る。 | | 公共下水道事業(笠岡処理区)について、全体計画区域1,382ha(計画処理人口29,000人)のうち、事業計画区域944ha(事業計画処理人口27,600人)を整備する。 | | | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | | |
| | ●公共下水道事業の実施 処理場(増設工事) 面整備(茂平・神島外等枝線) 累計整備面積:752.7ha | | ⇒ 処理場(増設工事) 面整備(茂平・神島外等枝線) 累計整備面積:767.8ha | | ⇒ 面整備(茂平・神島外等枝線) 累計整備面積:777.9ha | | ⇒ 面整備(茂平・神島外等枝線) 累計整備面積:814.1ha | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 398,755 | 千円 | 決算額 | 609,539 | 千円 | 決算額 | 434,181 | 千円 | 決算額 | 328,819 | 千円 |
| | うち一般財源 | 2,230 | 千円 | うち一般財源 | 1,259 | 千円 | うち一般財源 | 34,549 | 千円 | うち一般財源 | 54,731 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|---------------------------------------|---------|------------------------------------|-----------------------------|---------|--|-----------------------------|---------|----|-----------------------------|--------|----|
| 2 | 特定環境保全公共下水道整備事業(北部処理区) | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | |
| 公共下水道(北部処理区)整備区域内住民 | | | 清潔で快適な生活環境を確保するとともに、公共用水域の水質保全を図る。 | | | 公共下水道事業(北部処理区)について、計画区域125ha(計画処理人口2,540人)のうち、事業計画区域33.4ha(事業計画処理人口750人)を整備する。 | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | |
| | ●公共下水道事業の実施 ・甲弩地区 累計整備面積:20.7ha | | | ⇒ ・甲弩地区 累計整備面積:21.7ha | | | ⇒ ・甲弩地区 累計整備面積:22.9ha | | | ⇒ ・甲弩地区 累計整備面積:22.9ha | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 208,177 | 千円 | 決算額 | 133,319 | 千円 | 決算額 | 105,126 | 千円 | 決算額 | 89,881 | 千円 |
| | うち一般財源 | 36 | 千円 | うち一般財源 | 100 | 千円 | うち一般財源 | 2,220 | 千円 | うち一般財源 | 4,064 | 千円 |

| | |
|---------|----------|
| 【達成目標2】 | 災害・老朽化対策 |
|---------|----------|

| | | | | | | | |
|----------------------|----|-----|----------|-------|--------|-------|-------|
| 達成目標2の指標 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
| 指標名 | | | H28実績 | H29実績 | H30実績 | R1目標 | R3目標 |
| 下水道ストックマネジメント計画策定進捗率 | 単位 | 目標 | | | 60.0 | 100.0 | 100.0 |
| | % | 実績 | — | 30.0 | 60.0 | — | — |
| 管路施設耐震診断調査実施率 | 単位 | 目標 | | | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| | % | 実績 | — | 30.0 | 100.0 | — | — |
| | | 達成率 | | | 100.0% | — | — |

達成目標2の事業費

| | | | | | | | | |
|--------|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|
| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
| 直接事業費 | 227,281 | 千円 | 234,065 | 千円 | 239,246 | 千円 | 249,997 | 千円 |
| うち一般財源 | 34,090 | 千円 | 33,580 | 千円 | 29,598 | 千円 | 28,634 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|----------------|-------------------------------------|--------|--|--------|---------|--|--------|--------|----|--------|--------|----|
| 3 | 管渠等維持管理業務 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | |
| 公共下水道の管渠及び排水設備 | | | 管渠及び排水設備の維持管理の適正化を行うと共に、下水道管渠管理システムによる管渠及び排水設備の維持管理の効率化・迅速化を図る | | | 管渠修繕工事及び管渠清掃調査等を実施する。また、下水道管渠管理システムにより、管渠及び排水設備の維持管理の効率化・迅速化を図る。 | | | | | | |
| 取組内容 | 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | |
| | ●下水道管渠管理システムの有効活用 ・管渠及び排水設備の維持管理 | | | ⇒ | | | ⇒ | | | ⇒ | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 19,418 | 千円 | 決算額 | 22,713 | 千円 | 決算額 | 23,489 | 千円 | 決算額 | 15,337 | 千円 |
| | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 |

| | | | | | | | | |
|------------------|--------------------------------------|---|------------|----------|------------|----------|------------|----------|
| 4 漁業集落排水施設維持管理業務 | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | |
| 漁業集落排水施設を利用する島民 | 漁港及び周辺海域の自然環境の保全に努め、島民の快適な生活環境の充実を図る | 適正な運転管理を行うことにより、水質汚濁防止法による規制値内の処理水を放流する | | | | | | |
| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ★・処理施設の適正な維持管理 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | | |
| 直接 事業費 | 決算額 | 6,437 千円 | 決算額 | 7,363 千円 | 決算額 | 8,805 千円 | 決算額 | 6,365 千円 |
| | うち 一般財源 | 3,563 千円 | うち 一般財源 | 4,543 千円 | うち 一般財源 | 5,965 千円 | うち 一般財源 | 3,739 千円 |

| | | | | | | | | |
|-----------------|---------------------------------|---|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 5 下水道処理施設維持管理業務 | | | | | | | | |
| 事務事業の目的 | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | |
| 公共下水道を使用する市民 | 海域の自然環境の保全に努め、市民の快適な生活環境の充実を図る。 | 処理場:適正な運転管理を行うことにより、水質汚濁防止法による規制値内の処理水を放流する | | | | | | |
| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ・処理施設の適正な維持管理 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | | | | |
| 直接 事業費 | 決算額 | 201,426 千円 | 決算額 | 203,989 千円 | 決算額 | 206,952 千円 | 決算額 | 228,295 千円 |
| | うち 一般財源 | 30,527 千円 | うち 一般財源 | 29,037 千円 | うち 一般財源 | 23,633 千円 | うち 一般財源 | 24,895 千円 |

【達成目標3】 下水道使用料収入の向上

| | | | | | | | |
|------------------------------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| 達成目標3の指標 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
| 指標名 | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 水洗化率(水洗化人口/処理区域内人口×100) | 単位 | 目標 | | | 88.0 | 88.0 | 88.1 |
| | % | 実績 | 87.9 | 88.6 | 89.1 | — | — |
| | | 達成率 | | | 101.3% | — | — |
| 下水道使用料徴収率(徴収額/下水道使用料確定額×100) | 単位 | 目標 | | | 99.5 | 99.5 | 99.5 |
| | % | 実績 | 99.4 | 99.3 | 99.5 | — | — |
| | | 達成率 | | | 100.0% | — | — |

達成目標3の事業費

| | | | | |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 直接 事業費 | 48,827 千円 | 55,575 千円 | 36,156 千円 | 37,087 千円 |
| うち 一般財源 | 9,860 千円 | 15,806 千円 | 5,962 千円 | 13,609 千円 |

| 6 下水道経営事業 | | | | | | | | | | | | |
|-----------|---|---|---------------------------------|--------|--|--------|--------------------|--------|----|--------|-----|----|
| 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 下水道事業 | | 長期持続的な下水道サービスを提供するため、地方公営企業法を適用し、安定した下水道事業経営の実現を図る。 | | | 法適用を行い、安定した下水道経営の実現のために、歳入歳出の両面における経営の健全性の向上を図るとともに、経営の計画性・透明性の向上を図るなど、経営基盤の強化を行う。 | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ●地方公営企業法適用化事業 ・基本計画策定 ・固定資産調査評価 ○下水道使用料及び受益者負担金の債権管理 | | ⇒ ・公営企業会計システム構築 ・固定資産調査評価 | | ⇒ ・公営企業会計システム構築 | | ⇒ ・公営企業会計システム運用 | | | | | |
| | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 16,728 | 千円 | 決算額 | 18,365 | 千円 | 決算額 | 4,677 | 千円 | 決算額 | 483 | 千円 |
| | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 65 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 |

| 7 下水道普及業務 | | | | | | | | | | | | |
|------------|---|--------------------------------|-------------------------------|--------|---|--------|-------------------------------|--------|----|--------|-------|----|
| 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 処理開始区域内の住民 | | 公共下水道へ接続することにより、地域の生活環境の向上を図る。 | | | 下水道事業の説明会や広報誌、ホームページなどを通じてPRを行うと共に未接続世帯の訪問を行い、下水道接続への理解を促し、水洗化率の向上を図る。また、排水設備工事の申請や検査、及び公共樹設置依頼等に迅速な対応を行い普及促進を図る。 | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ●水洗化率向上へのPR活動 ・未接続世帯に対する戸別訪問による水洗化への啓発 訪問戸数 約200軒 ・公共樹設置 21基 | | ⇒ 訪問戸数 約200軒 ・公共樹設置 26基 | | ⇒ 訪問戸数 約200軒 ・公共樹設置 26基 | | ⇒ 訪問戸数 約200軒 ・公共樹設置 21基 | | | | | |
| | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 4,151 | 千円 | 決算額 | 5,458 | 千円 | 決算額 | 4,859 | 千円 | 決算額 | 9,570 | 千円 |
| | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 |

| 8 浄化槽普及事業 | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|--|--------|--|--------|--|--------|----|--------|--------|----|
| 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 公共下水道事業・集落排水事業の区域外の地域及び同事業認可区域内で7年以内に供用開始が見込まない地域に住居を有する市民 | | 合併処理浄化槽の設置により、トイレの水洗化をはじめ、快適な生活環境の向上を図る。 | | | 浄化槽設置後、現地検査により補助金の交付を行う。また、事業実績により、国県補助金の申請事務を行う。 | | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | ●笠岡市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付 1 国・県補助分 5人槽 31基 7人槽 34基 8~10人槽 2基 2 特例措置(単市)分 6基 | | ⇒ 1 国・県補助分 5人槽 39基 7人槽 35基 8~10人槽 5基 2 特例措置(単市)分 4基 | | ⇒ 1 国・県補助分 5人槽 31基 7人槽 29基 8~10人槽 5基 2 特例措置(単市)分 4基 | | ⇒ 1 国・県補助分 5人槽 33基 7人槽 30基 8~10人槽 4基 2 特例措置(単市)分 2基 | | | | | |
| | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 27,948 | 千円 | 決算額 | 31,752 | 千円 | 決算額 | 26,620 | 千円 | 決算額 | 27,034 | 千円 |
| | うち一般財源 | 9,860 | 千円 | うち一般財源 | 15,741 | 千円 | うち一般財源 | 5,962 | 千円 | うち一般財源 | 13,609 | 千円 |

<4.施策の直接事業費(3の合計)>

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|---------|----|-----------|----|---------|----|---------|----|
| 直接事業費 | 883,040 | 千円 | 1,032,498 | 千円 | 814,709 | 千円 | 705,784 | 千円 |
| うち一般財源 | 46,216 | 千円 | 50,745 | 千円 | 72,329 | 千円 | 101,038 | 千円 |

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

| 委員コメント | 対応・回答 |
|--|--|
| ・「各区域ごとに効率的な手法を検討する」と今年度のシートにも記載があります。検討は今後進められるようですが、市民にとって、手戻りにならないような、早目の情報提供をお願いします。 | → 下水道事業は、将来の笠岡市全体の汚水処理施設整備の在り方を示した長期のマスタープラン「笠岡市下水道基本構想」により、整備を進めています。概ね5年から7年で見直しを行っており、見直しの際には、市民アンケートやパブリックコメントなどを行い市民の皆様にお知らせしてまいりました。今後においても下水道に関わる計画の変更の際には、早い時期に関係住民の皆様にはしっかりと周知し、御理解をいただけるように努めてまいります。 |

<6.平成30年度の振り返り>(担当部署自己評価)

| | | |
|--------|--|---|
| 施策の進捗度 | A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。 | B |
|--------|--|---|

<7.未達成の指標への対応策>

| | |
|------------|---|
| 未達成指標への対応策 | <ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道整備事業: 前年度、笠岡市全体での下水道事業計画の見直しを行った。今後の整備区域では、家屋が点在し整備効率が悪くなっていくため、各区域毎に効率的な整備手法を採用し、住民理解を得たうえで事業を進める必要がある。 ・下水道経営事業: 平成30年度の地方公営企業法適用については、例規の整備、企業会計の導入などの移行事務についてスケジュールどおりに進めることができた。今後は、下水道事業会計の見える化を図り、適正に予算を執行する。 ・下水道普及業務: 北部処理区の水洗化について戸別訪問を中心としたPR活動を実施する。 ・下水道施設の維持管理事業: 施設の老朽化に伴う対応が必要であり、ストックマネジメント計画を策定し施設管理の最適化を図る。 |
|------------|---|

(長寿命化計画)

<8.委員による評価結果>

| | | | | |
|------|--|---|------------------|---|
| 総合評価 | A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。 | B | (参考) 昨年度の評価結果 | B |
| コメント | <ul style="list-style-type: none"> ・計画の変更をされた地区については、市民へわかりやすく説明をされ、汲み取りから浄化槽へ切り替えていただけるよう対策をされ、汚水処理人口を増やすよう努力されたい。 ・指標もほぼ目標通りで、着実に業務を行っていると思います。さらに頑張ってくださいようお願いいたします。 ・人口減少を見据えて、整備計画の見直しをするべきだと思います。また、料金についても汚水処理費については料金収入で賄えるように適切な料金改定をして、経営の安定を図っていただきたい。 | | | |

令和元年度 施策評価シート

<1.施策の概要>

| | | | | | |
|--------|---|-----|---------|------|---------------------|
| 施策 No. | 4-9 | 施策名 | 消防体制の整備 | 主担当課 | 消防総務課 |
| 戦略の柱 | 安定戦略 “安らぐ” | | | | |
| 基本方針 | 住民の生命、身体及び財産を火災から保護し、安全・安心に暮らせる地域社会の実現に向けて、管内の消防体制の強化に加え、地域防災力の強化、危険物施設等の保安対策を進めます。 | | | 関係課 | 警防課 予防課 通信指令課 |

<2.総合指標>

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | | |
|--------------|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 | R7 目標 |
| 人口1万人当たりの出火率 | 単位 | 目標 | | | 3.07 | 3.07 | 3.07 | 3.07 |
| | 件 | 実績 | 3.27 | 3.79 | 5.44 | — | — | — |
| | | 達成率 | | | 56.4% | — | — | — |

<3.施策を構成する事務事業の概要>

| | |
|---------|-----------|
| 【達成目標1】 | 管内消防体制の強化 |
|---------|-----------|

達成目標1の指標

| 指標名 | | | 目標・実績の推移 | | | | |
|------------------------------|-----|----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | | | H28 実績 | H29 実績 | H30 実績 | R1 目標 | R3 目標 |
| 消防施設設備の整備数（消防組合） （笠岡市消防団） | 棟 | 目標 | | | 9 | 9 | 9 |
| | | 実績 | 8 | 8 | 9 | — | — |
| | 達成率 | | 42 | 41 | 41 | — | — |
| | | | | | 100.0% | — | — |
| 消防車両等の整備数（消防組合） （笠岡市消防団） | 台 | 目標 | | | 25 | 26 | 26 |
| | | 実績 | 25 | 25 | 25 | — | — |
| | 達成率 | | 48 | 48 | 49 | — | — |
| | | | | | 100.0% | — | — |
| 消防学校等派遣者数 | 人/年 | 目標 | | | 65 | 65 | 65 |
| | | 実績 | 64 | 60 | 62 | — | — |
| | 達成率 | | | 95.4% | — | — | |

達成目標1の事業費

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------|---------|----|---------|----|--------|----|---------|----|
| 直接事業費 | 125,761 | 千円 | 164,220 | 千円 | 46,623 | 千円 | 176,849 | 千円 |
| うち一般財源 | 30,161 | 千円 | 21,920 | 千円 | 19,141 | 千円 | 18,549 | 千円 |

| 1 指令台の更新 | | 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
|------------|--------|---|----|--------|--------|--|--------|-----------------------------------|----|--------|--------|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 地域住民及び消防職員 | | 火災等の被害を最小限に抑えるため、火災等を早期に覚知し、消防機関が素早く現場に到着するとともに、現場においては、情報の収集及び指揮命令の伝達を迅速かつ的確に行う。 | | | | 指令台の支援データ更新を随時行い、円滑な指令業務を行うため装置の保守点検を実施する。また消防指令施設の機能強化を図り、情報の収集及び指揮命令の伝達強化を行いました。 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | | ・指令台維持管理 | | ⇒ | | ⇒ ・高機能消防指令施設機能強化に伴う部分改修工事 | | ⇒ ・高機能消防指令施設機能強化に伴う部分改修工事(繰越分) | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 9,999 | 千円 | 決算額 | 11,397 | 千円 | 決算額 | 38,827 | 千円 | 決算額 | 51,993 | 千円 |
| | うち一般財源 | 9,999 | 千円 | うち一般財源 | 11,397 | 千円 | うち一般財源 | 11,345 | 千円 | うち一般財源 | 10,793 | 千円 |

| 2 消防無線のデジタル化 | | 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
|--------------|--------|---|----|--------|---|---|--------|--------|----|--------|---|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 地域住民及び消防職員 | | 消防救急無線のデジタル化を図り、消防活動の円滑な推進に努めるとともに、地域住民の避難誘導等の伝達を的確に行う。 | | | | 火災等の被害を最小限に抑えるとともに、情報の収集及び指揮命令の伝達を迅速かつ的確に行うことが重要であるため、消防救急デジタル無線の調達を行う。 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | | ・維持管理 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 |
| | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 |

| 3 梯子車の更新 | | 事務事業の目的 | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
|----------|--------|--------------------------------------|----|--------|-----|-----------------------------------|--------|--------|----|--------|-----|----|
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | |
| 地域住民 | | 中高層建築物等での迅速かつ的確な消火・救助活動を行う。 | | | | 災害対応が迅速に行えるように、はしご付消防自動車の点検整備を図る。 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | | | |
| 取組内容 | | ・現場出動 ・操作訓練 ・消防訓練等の実施 ・点検整備 | | ⇒ | | ⇒ | | ⇒ | | | | |
| 直接事業費 | 決算額 | 319 | 千円 | 決算額 | 432 | 千円 | 決算額 | 567 | 千円 | 決算額 | 439 | 千円 |
| | うち一般財源 | 319 | 千円 | うち一般財源 | 432 | 千円 | うち一般財源 | 567 | 千円 | うち一般財源 | 439 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--|-------------------------------------|---|----|--------|---|-----------------------------|--------|---|----|--|--------|----|
| 4 | | 高規格救急車の更新 | | | | | | | | | | | |
| | | 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 地域住民 | | 高度な応急処置の実施ができる高規格救急車を導入し、救命率の向上を図る。 | | | | | 現有車両の点検整備及び老朽車両を年次的に更新整備する。 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | |
| 取組内容 | | ・救急訓練等の実施 ・点検整備 | | | ⇒ ⇒ | | | ⇒ ⇒ | | | ⇒ ⇒ ・仕様書の作成 ・起債申請 ・入札 ・仮契約 ・組合議会での議決後、本契約 ・完成検査 | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 33,999 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 99 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--|---|-------|----|--|-------|--------------------------------|--|-------|----|--|-------|----|
| 5 | | 各種研修の実施 | | | | | | | | | | | |
| | | 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 消防職員 | | 災害対応に関する実践的な知識、ノウハウ、スキルを修得し、災害対応力の向上を図る。 | | | | | ・消防大学校入校 ・各種研修受講 ・関連資格取得 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | |
| 取組内容 | | ・研修事業の実施 ・消防大学校(危険物科)入校要望 ・救急救命研修所派遣要望 ・消防学校入校要望 ・各種研修・資格取得の実施 ・指導救命士の養成 | | | ⇒ ・消防大学校(火災調査科)入校要望 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ | | | ⇒ ・消防大学校(火災調査科)入校要望 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ | | | ⇒ ・消防大学校(予防科)入校要望 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 4,478 | 千円 | 決算額 | 7,889 | 千円 | 決算額 | 7,229 | 千円 | 決算額 | 7,151 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 4,478 | 千円 | うち一般財源 | 7,889 | 千円 | うち一般財源 | 7,229 | 千円 | うち一般財源 | 7,151 | 千円 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------|--|--|--------|----|--------|---|--|--------|---|----|--------|---|----|
| 6 | | 庁舎耐震改修工事 | | | | | | | | | | | |
| | | 事務事業の目的 | | | | | 事務事業の内容 | | | | | | |
| 対象(誰を) | | 意図(どのようにしたいのか) | | | | | | | | | | | |
| 地域住民及び消防職員 | | 消防防災の拠点施設となる庁舎の耐震改修工事を行うことにより、消防行政の迅速的確な業務を実施するとともに、市民の安全確保に努める。 | | | | | 鴨方消防署及び寄島出張所庁舎の耐震診断を行ったところ、耐震改修が必要であることとなったことから、耐震改修工事を実施する。 | | | | | | |
| | | 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | |
| 取組内容 | | ・耐震改修工事(寄島所) | | | | | | | | | | | |
| 直接事業費 | | 決算額 | 20,463 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 | 決算額 | 0 | 千円 |
| | | うち一般財源 | 4,863 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 | うち一般財源 | 0 | 千円 |

